

NACSIS-CAT 登録1億件突破記念

NACSIS-CAT/ILL 関連文献目録

(含む「学術情報システム」関連文献)

1975-2008

(第1版)

東京

「NACSIS-CAT/ILL 関連文献目録」作成委員会

2009年3月9日

(準備版 2009年2月6日)

収録文献についてのメモ

- ・NACSIS-CATの所蔵レコード1億件突破の祝賀イベントにちなみ、NACSIS-CAT/ILLに関する邦文文献（論文、報告、記事等）をリストアップした。本版はその「準備版」を増補改訂したものである。
- ・CAT/ILLを直接取り扱った文献だけでなく、CAT/ILLの背景を知る上で参照とすべきテーマである「学術情報システム」や「総合目録」「目録規則」「図書館の機械化」等に関する文献も幅広く収録した。
- ・ただし、今回は準備した期間も短く、学術情報センター、国立情報学研究所に關係する文献でも、直接的な関連性の希薄な「ネットワーク」「電子図書館」「情報検索」「SPARC」「機関リポジトリ」關係は割愛した。また、「JAPAN/MARC」や「他の書誌ユーティリティ」関連文献も限定的に採り上げた。
- ・文献の刊行時期は、関連文献が出始めた1975年を始めとし、最新（2008年12月）まで採録対象とした。
- ・採録文献数は約1900件である。
- ・排列は、文献の刊行年月順（二次排列は執筆者のアルファベット順）にした。月が記載されていないもの、調査がつかなかったものは当該年の冒頭に「/00/」として並べた。・排列を刊行年月順にしたのは、CAT/ILLが当時どのような状況の中で開発・運用されていたか、時代背景あるいは空気のようなものを感じることができるのではないかと考えたためである。
- ・著者名冒頭の は、その資料が単行書であることを示し、 は、単行書中の論文・記事であることを示す。
- ・限られた時間の中での作業のため、本来採り上げるべき重要なものを見落としていたり、内容的に無関係のものが含まれていたり、何よりも表記の誤りなどが多々あるものと予想されるが、これらの遺漏については他日を期すということでご寛恕いただきたい。
- ・なお、本文献目録についてお気づきのことがあれば、catill_biblio@nii.ac.jp までご一報いただくと幸甚に存じます。

2009年3月9日 小西和信（武蔵野大学）

NACSIS - CAT/ILL 関連文献目録 (1975～2008) (第1版)

1975年(昭和50年)

- [1975/00/An] 安西郁夫「逐次刊行物所蔵リスト作成システム」,『Library and Information Science』, no.13, 1975, p89-96.
- [1975/00/Ho] 細野公男「電子計算機システムの変更が図書館機械化システムに与える影響」,『Library and Information Science』, no.13, 1975, p97-107.
- [1975/00/Ko] 小林胖「目録における漢字取り扱いの問題」,『Library and Information Science』, no.13, 1975, p47-66.
- [1975/00/Ku] 倉橋英逸「<講習会>アメリカにおける大学図書館の機械化」,『東海地区大学図書館協議会誌』, 通号20, 1975, p43-.
- [1975/00/Sa] 桜井直隆「図書館機械化論序章」,『図書館短期大学紀要』, No.3, 1975, p43-56.
- [1975/01/Sh] 島内武彦「(第4章)学術情報センターと学術情報体制」,『巨大学術情報システム/北川敏男, 島内武彦編』, 東京大学出版会, 1975.01, p63-70.
- [1975/03/Ku] 熊谷紀男「学術雑誌総合目録自然科学欧文編の編集について(特集:図書館と情報の機械化)」,『医学図書館』, vol.22, no.1, 1975.03, p5-10.
- [1975/03/Sa] 坂本徹朗「学術雑誌総合目録自然科学欧文編の製作について(特集:図書館と情報の機械化)」,『医学図書館』, vol.22, no.1, 1975.03, p11-14.
- [1975/03/Sa] 沙藤隆茂「学術雑誌総合目録自然科学欧文編の作成について(特集:図書館と情報の機械化)」,『医学図書館』, vol.22, no.1, 1975.03, p1-3.
- [1975/06/Fu] 福井妙子「整理業務の省力化を(私のデスクから)」,『大学図書館研究』, No.17, 1975.06, p49-50.
- [1975/06/Ku] 緑田智晴「転換期の目録作業(私のデスクから)」,『大学図書館研究』, No.17, 1975.06, p50-51.
- [1975/06/Ma] 丸山昭二郎, 平野美恵子「ドイツにおける総合目録を中心とした図書館協力事業: その歴史と現状; 1: 第2次世界大戦まで」,『参考書誌研究』(国立国会図書館), 通号11, 1975.06, p1-7.
- [1975/09/Is] 石川徹也「図書館業務の機械化を進めるために(特集:図書館の機械化)」,『図書館雑誌』, vol.69, no.9, 1975.09, p410-413.
- [1975/11/Mi] 三浦迪彦「文部省監修『学術雑誌総合目録』地域版について」,『北海道図書館研究会会報』, no.25, 1975.11, p34-45.
- [1975/11/Ni] 似鳥正吾「『学術雑誌総合目録自然科学編 1975年版』の発行によせて」,『北海道図書館研究会会報』, no.25, 1975.11, p32-33.
- [1975/12/Sa] 坂本徹朗「学術雑誌総合目録自然科学欧文編の製作過程(特集:大学図書館とインフォメーション・サービス:文部省主催「昭和50年度大学図書館職員長期研修」:コンピュータによる書誌作成)」,『学術月報』, vol.28, no.9, 1975.12, p627-633.
- [1975/12/Sa] 沙藤隆茂「学術雑誌総合目録自然科学欧文編 1975年版の刊行について(特集:大学図書館とインフォメーション・サービス:文部省主催「昭和50年度大学図書館職員長期研修」:コンピュータによる書誌作成)」,『学術月報』, vol.28, no.9, 1975.12, p619-621.
- [1975/12/Ue] 上田修一「学術雑誌総合目録自然科学欧文編の編集について(特集:大学図書館とインフォメーション・サービス:文部省主催「昭和50年度大学図書館職員長期研修」:コンピュータによる書誌作成)」,『学術月報』, vol.28, no.9, 1975.12, p622-627.

1976年(昭和51年)

- [1976/00/Ho] 細野公男「日本における図書館機械化の特徴(〔慶応義塾大学文学部図書館・情報学科〕創立二十五周年記念特集号)」,『Library and Information Science』, no.14, 1976, p211-227.
- [1976/00/Na] 中村初雄「総合目録編成試稿(〔慶応義塾大学文学部図書館・情報学科〕創立二十五周年記念

- 特集号)』、『Library and Information Science』, no.14, 1976, p37-54.
- [1976/01/Sa] 寒川登「『学術雑誌総合目録自然科学欧文編 75』に関する疑問点」、『図書館界』, vol.27, no.4, 1976.01, p124-125.
- [1976/03/Ao] 青木静江「群馬大学附属図書館の機械処理システム; 2: 受入業務(図書)」、『大学図書館研究』, No.18, 1976.03, p79-85.
- [1976/03/Gu] 郡司良夫「目録をつくりながら(私のデスクから)」、『大学図書館研究』, No.18, 1976.03, p128-129.
- [1976/03/In] 井上康博, 関簾「東京工業大学における図書館業務の電算化(その2)」、『大学図書館研究』, No.18, 1976.03, p32-53.
- [1976/03/Ka] 柿沼正男, 酒井豊, 小山内富子, 金子豊, 丸谷治一「東京大学総合図書館における目録業務の機械化を探って」、『大学図書館研究』, No.18, 1976.03, p86-92.
- [1976/03/Ma] 丸山昭二郎, 平野美恵子「ドイツにおける総合目録を中心とした図書館協力事業: その歴史と現状; 2: 第2次世界大戦後」、『参考書誌研究』(国立国会図書館), 通号12, 1976.03, p1-10.
- [1976/05/Ho] 堀込静香「日本における情報検索電算化の実施例:(付)参考文献」、『図書館界』, 28(1), 1976.05, p17-26.
- [1976/08/Hy] 兵永朗, 河村宏「大学図書館における合理化: 目録の機械化の問題点」、『大図研論文集』, no.5・6, 1976.8, p65-86.
- [1976/09/Su] 杉村優, 石井啓豊「図書館における機械化(昭和40年代における図書館・図書館学の進歩: <第150号(日本図書館研究会)30周年)記念特集> 図書館活動」、『図書館界』, 28(2・3), 1976.09, p96-101.
- [1976/09/Ue] 植田喜久次「全国的な目録情報サービスと各館の目録の関係: 市民図書館の立場から(特集: 全国的な目録情報サービスと図書館)」、『現代の図書館』, 14(3), 1976.09, p107-111.
- [1976/09/Wa] 和田吉人[ほか]「誌上フォーラム(特集: 全国的な目録情報サービスと図書館)」、『現代の図書館』, 14(3), 1976.09, p128-134.
- [1976/12/Ta] 田中久文「大学図書館機械化の現状と問題点(特集: 日本における大学図書館の現状と問題点)」、『現代の図書館』, 14(4), 1976.12, p162-170.
- 1977年(昭和52年)**
- [1977/00/As] 浅野次郎「国立大学図書館機械化のあゆみ: 図書館機械化調査研究班の活動を中心に」, 『Library and Information Science』, no.15, 1977, p97-105.
- [1977/00/Na] 長澤雅男「過渡期における図書総合目録」, 『Library and Information Science』, no.15, 1977, p1-14.
- [1977/00/Ue] 上田修一「相互貸借のための中央図書館: 構想案と諸問題」, 『Library and Information Science』, no.15, 1977, p67-84.
- [1977/04/Ma] 松井幸子「書誌情報の共同利用ファイルの作成: 重複文献同定の技法について」, 『ドキュメンテーション研究』, vol.27, no.4, 1977.04, p157-170.
- [1977/06/Ta] 田村貴代子, 内藤衛亮, 丸山昭二郎「UNIMARC: その成立と将来」, 『びぶろす』(国立国会図書館図書館協力部), 28(6), 1977.06, p121-129.
- [1977/07/Ho] 堀込静香「全国版データ利用の雑誌目録(KWIC 索引つき)の作成: 千葉大学学術雑誌総合目録自然科学欧文編 1976年」, 『ドキュメンテーション研究』, vol.27, no.7, 1977.07, p297-305.
- [1977/07/Mo] 文部省学術国際局情報図書館課「学術情報政策の現状と課題(特集: 学術情報)」, 『文部時報』, 1202, 1977.07, p60-64.
- [1977/07/Ts] 津田良成・解説「わが国の学術情報システムの現状(特集: 学術情報)」, 『文部時報』, 1202, 1977.07, p49-54. * 1970年代前半のわが国の学術情報流通の状況。
- [1977/07/Um] 梅棹忠夫「学術情報における流通と蓄積(特集: 学術情報)」, 『文部時報』, 1202, 1977.07, p2-8.

[1977/07/Yu] 湯川泰秀, 渡辺格, 吉村融, 餌取章男; 手塚晃 (司会) 「(座談会) 学術情報と国民生活 (特集: 学術情報)」, 『文部時報』, 1202, 1977.07, p9-24. * 1970 年代前半のわが国の学術情報流通の状況。

[1977/12/Is] 石井啓豊 「東京学芸大学図書館業務機械化システム: 専用機による図書館電算化の最近の事例 (<特集> 大学と学術情報: 新しい図書館電算化のモデル)」, 『学術月報』, 30(9), 1977.12, p688-693.

[1977/12/Ka] Kaltwasser, F.G.; 永田治樹, 牧村正史訳 「ドイツ語圏における新しい目録規則 (RAK) について; 1 (<特集> 目録の機械化)」, 『現代の図書館』, 15(4), 1977.12, p246-252.

[1977/12/Mo] 森岡祐二, 板垣護人 「広島大学附属図書館の機械化業務 (<特集> 大学と学術情報: 新しい図書館電算化のモデル)」, 『学術月報』, 30(9), 1977.12, p683-688.

1978 年 (昭和 53 年)

[1978/01/It] 板寺一太郎 「海外発行文献の複写入手方法 (実践ノート)」, 『図書館界』, Vol. 29, No. 5, 1978.01, p207-213.

[1978/03/Ch] 千原秀昭 「学術情報システムの現状と展望」, 『科学』(岩波書店), 48(3), 1978.03, p130-138.

[1978/03/Ka] Kaltwasser, F.G.; 永田治樹, 牧村正史訳 「ドイツ語圏における新しい目録規則 (RAK) について; 2」, 『現代の図書館』, 16(1), 1978.03, p49-56.

[1978/03/Ma] 丸山泰通 「日本における「全国総合目録」沿革ノート」, 『図書館研究シリーズ』(国立国会図書館図書館研究所), no. 19, 1978.03, p1-100.

[1978/03/Te] 寺田瑛子 「科学技術関係欧文雑誌総合目録について」, 『図書館研究シリーズ』(国立国会図書館図書館研究所), no. 19, 1978.03, p117-138.

[1978/03/Yo] 米村隆二 「オーストラリアの全国総合目録」, 『図書館研究シリーズ』(国立国会図書館図書館研究所), no. 19, 1978.03, p101-116.

[1978/04/Na] 内藤衛亮 「MARC: その意義と利用形態について」, 『ドキュメンテーション研究』, 28(4), 1978.04, p129-142.

[1978/05/Ma] 丸山泰通, 本庄久世 「新収洋書総合目録: 国立国会図書館の総合目録」, 『科学技術文献サービス』(国立国会図書館), no. 49, 1978.05, p44-50.

[1978/05/Ta] 高橋徳太郎 「国立国会図書館の MARC 計画, 印刷カード事業について (第 19 回[日本図書館研究会]研究大会特集: 目録情報サービスの発展のために: 印刷カードを中心に (シンポジウム))」, 『図書館界』, 30(1), 1978.05, p9-11.

[1978/05/Un] 宇野弘純 「国外機関への文献複写申込業務: 支払い手続きに関して」, 『大学図書館研究』(学術文献普及会), No. 12, 1978.05, p36-41.

[1978/06/Ko] 国立大学図書館協議会図書館機械化調査研究班編 「図書館機械化調査研究班報告書」, 1978.06, 137p. * 国立大学図書館協議会「総会資料; no. 25-2」

[1978/08/In] 猪瀬博 「学術情報システムの構築 (巻頭言) (特集: 海外における学術情報の現状と将来 日英図書館学・情報科学セミナー 報告)」, 『学術月報』, Vol. 31, no. 5, 1978.08, p291.

[1978/08/Ma] 松村多美子, 坂本徹朗, 上田修一 「我が国における学術雑誌の現況 (科学研究の動向)」, 『学術月報』, Vol. 31, no. 5, 1978.08, p333-342.

[1978/11/Fu] 藤津滋生 「冊子洋書総合目録: 大学におけるその自家作成方法」, 『図書館界』, vol. 30, no. 4, 1978.11, p151-154.

[1978/11/Fu] 藤原鎮男 「特定研究「大学図書館における情報処理トータルシステムの開発」について」, 『東京大学情報図書館学研究センターニュース』, (2), 1978.11, p4-8. * 大学図書館の機械化, MARC 研究, 学術雑誌総合目録編集。

[1978/11/Sh] 柴田正美 「「学術雑誌総合目録人文・社会科学欧文編」の編集について; その(2): 参加予定機関」, 『東京大学情報図書館学研究センターニュース』, (2), 1978.11, p2-3.

[1978/12/Ha] 原田悟 「学術雑誌総合目録東海地区版の編纂について: 電算ベースでのローカルネットに向けて (私立大学図書館協会第 38 回 (昭和 53 年度) 総大会・研究会記録) (研究発表)」, 『私立大学図

書館協会会報』, 通号 71, 1978.12, p48-58.

1979 年 (昭和 54 年)

- [1979/00/Wa] 渡部満彦「オンライン分担目録作業の実際: OCLC, Inc. の事例から」, 『Library and Information Science』, no.17, 1979, p33-50.
- [1979/02/Ha] 原田悟「学術雑誌総合目録東海地区版の編集について: 電算機ベースでのローカルネットに向けて」, 『情報管理』, 21(11), 1979.02, p830-838.
- [1979/03/Ko] 国立大学図書館協議会図書館機械化調査研究班編(田中久文ほか執筆)『大学図書館の機械化』(紀伊国屋書店), 1979.03, v, 205p. * 『図書館機械化調査研究班報告書』(1978.6)
- [1979/03/Mi] 三浦整「反動と機械化への志向(1970-76)(我が国における印刷カード事業の史的考察: 今日的課題への文献レビュー的アプローチ) (年代的考察)」, 『図書館界』, 30(6), 1979.03, p212-217.
- [1979/03/Sh] 志保田務「印刷カード事業における国立国会図書館の役割(我が国における印刷カード事業の史的考察: 今日的課題への文献レビュー的アプローチ) (事項別考察)」, 『図書館界』, 30(6), 1979.03, p233-239.
- [1979/03/Ya] 山田伸枝「国際的標準化と新しい波(1977-1978)(我が国における印刷カード事業の史的考察: 今日的課題への文献レビュー的アプローチ) (年代的考察)」, 『図書館界』, 30(6), 1979.03, p240-245.
- [1979/03/Ya] 山田伸枝編「印刷カードに関する文献目録(我が国における印刷カード事業の史的考察: 今日的課題への文献レビュー的アプローチ)」, 『図書館界』, 30(6), 1979.03, p240-245.
- [1979/03/Ya] 山下信「国立大学図書館をめぐる印刷カードの諸問題(我が国における印刷カード事業の史的考察: 今日的課題への文献レビュー的アプローチ) (事項別考察)」, 『図書館界』, 30(6), 1979.03, p225-228.
- [1979/05/In] 井上如「相互協力における総合目録の役割(第1回情報図書館学シンポジウム発表; 5)」, 『東京大学情報図書館学研究センターニュース』, (3), 1979.05, p10-12.
- [1979/05/Sh] 柴田正美「『学術雑誌総合目録人文・社会科学欧文編』の編集について; その(3): 予備版の作成, 報告データ量」, 『東京大学情報図書館学研究センターニュース』, (3), 1979.05, p1-5.
- [1979/06/Id] 井出愈「学術情報システムの方向と大学図書館の役割: 図書館業務をどう変革してゆくべきか(<特集>図書館業務のシステム化)」, 『図書館雑誌』, 73(6), 1979.06, p300-302.
- [1979/06/Ma] 松浦正, 門田泰典, 藤原忠「国立大学等図書館間相互における文献複写業務の改善について(<特集>図書館業務のシステム化)」, 『図書館雑誌』, 73(6), 1979.06, p290-294.
- [1979/06/Sh] 柴田正美「大学図書館における情報処理トータルシステムの開発について(図書館の目)」, 『現代の図書館』, 17(2), 1979.06, p133-134.
- [1979/07/Sh] 柴田正美「『学術雑誌総合目録人文・社会科学欧文編』の編集について; その(4): データの受領とチェック作業」, 『東京大学情報図書館学研究センターニュース』, (4), 1979.07, p1-4.
- [1979/08/Ok] 岡本總吾「学術情報システムの整備を期待して(特集: 学術情報とコンピュータ)」, 『学術月報』, 32(5), 1979.8, p291.
- [1979/08/Mo] 文部省学術国際局情報図書館課「今後における今後の学術情報システムの在り方について(中間報告)の概要(資料)(特集: 学生生活と大学図書館)」, 『厚生補導』, 通号 158, 1979.08, p55-64.
- [1979/08/To] 遠山敦子「学術情報システムの構成(特集: 学術情報とコンピュータ)」, 『学術月報』, 32(5), 1979.08, p294-298.
- [1979/09/Ch] 千原秀昭[ほか]「<座談会>これからの我が国の学術情報システムについて(特集: 高等教育の計画的整備/学術情報)」, 『文部時報』, 1228, 1979.09, p35-48.
- [1979/09/Mo] 文部省学術国際局情報図書館課「今後における今後の学術情報システムの在り方について(中間報告)の概要(特集: 高等教育の計画的整備/学術情報)」, 『文部時報』, 1228, 1979.09, p61-65.
- [1979/09/Na] 永田治樹「ISBD(A)について」, 『現代の図書館』, 17(3), 1979.09, p165-170.
- [1979/09/Ts] 津田良成「学術情報システムと大学図書館(特集: 高等教育の計画的整備/学術情報)」, 『文部時報』, 1228, 1979.09, p49-54.

[1979/12/Ta] 田中久文「学術審議会「今後の学術情報システムの在り方について」(中間報告)の大学図書館に対して持つ意義(図書館の目)」,『現代の図書館』, 17(4), 1979.12, p230-231.

1980 年（昭和 55 年）

- [1980/00/Ma] 牧村正史, 上田修一, 中山和彦「MARC ファイルの統合とオンライン目録用データベース化」, 『Library and Information Science』, no.18, 1980, p59-76.
- [1980/01/Ga] 学術審議会『今後における学術情報システムの在り方について（答申）』, 1980.01
- [1980/01/Ga] 学術審議会「今後の学術情報システムの在り方について（答申）」, 『学術月報』, 32(11), 1980.02, p724-751.
- [1980/01/Ho] 星野雅英, 宮澤彰, 田嶋一夫「逐次刊行物目録作成システム; システム編」, 『ドクメンテーション研究』, 30(1), 1980.01, p2-11.
- [1980/01/Ka] 鹿児島大学附属図書館業務電算化ワーキンググループ編著『鹿児島大学附属図書館「図書館オンライン処理システム」: システム概要』, 鹿児島大学附属図書館, 1980.01, 45p.
- [1980/02/To] 遠山敦子「学術情報システムの構成」, 『学術月報』, 32(11), 1980.02, p294-298.
- [1980/03/Ka] 金子豊「大学図書館と学術情報システム計画(アゴラ)」, 『図書館学会年報』, 26(1), 1980.03, p45-48.
- [1980/03/Ko] 国立国会図書館総務部電子計算課「国立国会図書館における業務機械化の歩み: 総務部電子計算課の業務を中心として」, 『図書館研究シリーズ』(国立国会図書館図書館研究所), no.21, 1980.03, p1-397.
- [1980/03/Mi] 宮澤彰「MARC フォーマットと書誌データ表現」, 『国文学研究資料館紀要』, 6号, 1980.03, p97-110.
- [1980/03/Na] 永田治樹「書誌単位と書誌レベル: 目録作業のための覚え書」, 『図書館学会年報』, 26(1), 1980.03, p1-9.
- [1980/04/Mo] 森田一子「OCLC の周辺と日本(アメリカにおける図書館の機械化: 特別セミナー報告)」, 『ドクメンテーション研究』, 30(4), 1980.04, p170-173.
- [1980/04/Sh] 柴田正美「編集作業、愈々大詰め: 「学術雑誌総合目録 人文社会科学欧文編」」, 『東京大学情報図書館学研究センターニュース』, (5), 1980.04, p1-2.
- [1980/04/Us] 牛島悦子「OCLC の活動(アメリカにおける図書館の機械化: 特別セミナー報告)」, 『ドクメンテーション研究』, 30(4), 1980.04, p169-170.
- [1980/05/Ma] 松村多美子「大学図書館の共同機械化: SWALCAP システム」, 『大学図書館研究』, (ISSN03860507), No.16, 1980.05, p20-31.
- [1980/05/Ur] 浦野芳[ほか]「鹿児島大学附属図書館のコンピュータについて」, 『ドクメンテーション研究』, 30(5), 1980.05, p195-203.
- [1980/06/Ho] 堀込静香「大学図書館業務における機械処理の通覧(〈特集〉図書館の機械化: 電算機導入の現状と展望)」, 『現代の図書館』, 18(2), 1980.06, p74-79.
- [1980/06/Ko] 国立大学図書館協議会総会図書館相互協力調査研究班『国立大学間における図書館相互利用制度の整備について: 第 27 回(昭和 54 年度図書館相互協力調査研究班報告)』, 1980.06, 15p.
- [1980/06/Ma] 丸山昭二郎「図書館機械化の将来, 標準化, ネットワーク(図書館の目)」, 『現代の図書館』, 18(2), 1980.06, p72-73.
- [1980/06/Ma] 丸山泰通[ほか]「オンライン書誌情報ネットワークと国立国会図書館(〈特集〉図書館の機械化: 電算機導入の現状と展望)」, 『現代の図書館』, 18(2), 1980.06, p89-99.
- [1980/06/Ue] 植田喜久治「コンピュータによるカナ目録(〈特集〉図書館の機械化: 電算機導入の現状と展望)」, 『現代の図書館』, 18(2), 1980.06, p62-66.
- [1980/08/Ma] 松村多美子「vari ゆく図書館目録; 1」, 『ドクメンテーション研究』, 30(7), 1981.07, p310-316.
- [1980/07/Su] 諏訪敏幸「国の学術情報政策と大学図書館の機械化: 現場の実務担当者から見て(〈特集〉研究図書館)」, 『日本の科学者』, 15(7), 1980.07, p381-384.
- [1980/08/It] 伊東節子「相互貸借における機械化」, 『医学図書館員セミナー論文集』, Vol.6 (第 6 回), 1980.08.

- [1980/08/Ma] 松村多美子「varietyく図書館目録;2」、『ドキュメンテーション研究』,30(8),1981.08,p372-379.
- [1980/08/Ya] 山本千津子「洋書総合目録における目録カードの役割:目録の標準化について」、『医学図書館員セミナー論文集』,Vol.6(第6回),1980.08.
- [1980/09/Ic] 市古貞次「古典籍総合目録作成事業について」、『国文学研究資料館報』,no.15,1980.09,p1-2.
- [1980/09/Ko] [国文学研究資料館]整理閲覧室「古典籍総合目録の作成について」、『国文学研究資料館報』,no.15,1980.09,p2-3.
- [1980/09/Ma] 丸山昭二郎「ネットワークと典拠コントロール」、『びぶろす』(国立国会図書館図書館協力部),31(9),1980.09,p198-207.
- [1980/09/Na] 中山和彦,上田修一「ワシントン図書館ネットワークのオンライン目録システム」、『ドキュメンテーション研究』,30(9),1981.09,p372-379,407-414.
- [1980/10/Ho] 星野雅英,宮澤彰,田嶋一夫「逐次刊行物目録作成システム」、『ドキュメンテーション研究』,30(1),1980.10,p2-11.
- [1980/10/Mi] 宮内省司,塩見広子「図書館蔵書目録作成の機械化:そのいくつかの問題点」、『中部工業大学紀要・B』,15・16,1980.10,p87-92.
- [1980/10/Sh] 柴田正美「「学術雑誌総合目録 人文社会科学欧文編」編集経過の概要」、『東京大学情報図書館学研究センターニュース』,(6),1980.10,p1-3.
- [1980/10/Sh] 柴田正美「「学術雑誌総合目録人文・社会科学欧文編」データベースの編集を終えて」、『大学図書館研究』,no.17,1980.10,p35-52.
- [1980/10/Te] 寺村由比子「全国相互貸借システム;1:モデル研究の紹介」、『びぶろす』(国立国会図書館図書館協力部),31(10),1980.10,p218-230.
- [1980/11/Ho] 堀込静香「参考文献案内:雑誌総合目録」、『書誌索引展望』,4(4),1980.11,p40-43.
- [1980/12/Te] 寺村由比子「全国相互貸借システム;2:各国の現状1」、『びぶろす』(国立国会図書館図書館協力部),31(12),1980.12,p280-291.
- 1981年(昭和56年)**
- [1981/00/Od] 小田泰正「<論説>学術情報システムと大学図書館」、『東海地区大学図書館協議会誌』,通号26,1981,p14-.
- [1981/01/Ha] 羽賀啓子「ISBDを採用した対話型整理システム」、『図書館界』,32(5),1981.01,p171-178,185,203.
- [1981/01/Ma] 丸山昭二郎「国際MARCネットワークの方向」、『科学技術文献サービス』(国立国会図書館専門資料部),通号55,1981.01,p11-10.
- [1981/02/Ka] 加藤恭輔「図書館の機械化」、『中京大学図書館学紀要』,2,1981.02,p47-63.
- [1981/03/Da] 大学図書館研究会記録編集委員会編『学術情報の流通とレファレンス・サービス』,日本図書館協会大学図書館部会,1981.03,31p. *国公立大学図書館協力委員会との共同刊行。発売:学術文献普及会。会場:横浜市開港記念,昭和55年9月18日~19日。
- [1981/03/Fu] 福島寿男「NDLにおける「郵送による図書館貸出」の特徴と問題点(<特集>国立国会図書館における利用の現状と問題点;1)」、『図書館研究シリーズ』(ISSN:04541960),通号22,1981.03,p27-63.
- [1981/03/Ho] 宮澤彰,星野雅英「漢字データ処理の基礎的なソフトウェア(漢字・言語処理)」、『情報科学技術研究会発表論文集』,第17回(1980年),1981.03. *1980年10月23日~24日 大阪科学技術センター。
- [1981/03/Ka] 河川澄子「一次情報サブシステムの整備:雑誌の選定・収集(医学情報サービスと学術情報流通システム)」、『医学図書館員セミナー論文集』,Vol.7(第7回),1981.03. *副書名:「80年代の医学情報活動」
- [1981/03/Ok] 奥山智子「医学図書館の将来と総合目録」、『医学図書館員セミナー論文集』,Vol.7(第7回),1981.03,p1-17. *副書名:「80年代の医学情報活動」

- [1981/03/0o] 大口欣一「郵送申込みによる複写の利用状況(<特集>国立国会図書館における利用の現状と問題点; 1)」,『図書館研究シリーズ』(ISSN:04541960), 通号 22, 1981.03, p133-152.
- [1981/03/Sh] 柴田正美「集まりました! 88000 タイトル!! : 学術雑誌総合目録欧文編更新作業」,『東京大学情報図書館学研究センターニュース』, (7), 1981.03, p2-3.
- [1981/04/Ha] 長谷川邦男「目録の機械化: Japan MARC に言及して(分類・目録)」,『医学図書館員研究集会論文集』, Vol. 15 (第 15 回), 1981.04.
- [1981/04/lc] 市川淳信「わが国における学術情報システム計画」,『計測と制御』20(4), 1981.04, p419-430.
- [1981/04/Ne] 根岸正光, 井上如, 柴田正美, 藤原鎮男「学術雑誌総合目録人文・社会科学欧文編データベースにおける誌名変遷状況の計量分析: グラフ理論的接近」,『ドキュメンテーション研究』31(4), 1981.04, p149-160.
- [1981/04/Sh] 下原康子「目録の機械化と目録係(分類・目録)」,『医学図書館員研究集会論文集』, Vol. 15 (第 15 回), 1981.04.
- [1981/06/Te] 寺村由比子「全国相互貸借システム; 2: 各国の現状 2」,『びぶろす』(国立国会図書館図書館協力部), 32(6), 1981.06, p238-246.
- [1981/08/Da] 「第 2 回大学図書館研究集会: 新しい学術情報システムと大学図書館」,『ドキュメンテーション研究』, 31(8), 1981.08, p355.
- [1981/08/Mi] 宮本明雄, 勝俣好次, 内藤英雄「東京工業大学附属図書館逐次刊行物データベースシステム(TIPSY)の設計」,『ドキュメンテーション研究』, 31(8), 1981.08, p321-330.
- [1981/09/Ta] 田中久文「学術情報システム計画とその後(図書館の目)」,『現代の図書館』, 19(3), 1981.09, p156-157.
- [1981/10/To] 東京大学情報図書館学研究センター「学術雑誌総合目録データベースの動向」,『東京大学情報図書館学研究センターニュース』, (8), 1981.10, p2-3, 12.
- [1981/11/Sh] 柴田正美「「学術雑誌総合目録人文・社会科学欧文編」データベースのその後: 国立大学図書館協議会賞受賞にあたって(昭和 56 年度国立大学図書館協議会受賞者・内容紹介)」,『大学図書館研究』, no. 19, 1981.11, p87-88.
- [1981/11/Ya] 山本毅雄「図書館情報大学の情報システム」,『大学図書館研究』, no. 19, 1981.11, p11-17.
- [1981/11/Ya] 山内みを「書誌記述と MARC の相互関連と最近の動き」,『大学図書館研究』, no. 19, 1981.11, p26-35.
- 1982 年(昭和 57 年)**
- [1982/00/In] 井上如「総合目録と専門図書館(昭和 57 年度専門図書館協議会全国研究集会<特集>: 第二分科会 総合目録)」,『専門図書館』, 通号 90, 1982, p16-20.
- [1982/00/Su] 鈴木徳三「『国書総目録』にみる文献の蓄積」,『出版研究』, no. 13, 1982, p237-253.
- [1982/00/Ue] 上田修一, 長島敏樹「JPN/MARC の UNIMARC との互換性およびタイムラグ」,『Library and Information Science』, no. 20, 1982, p117-127.
- [1982/01/Na] 永嶺重敏「中世の総合目録とフランススコ会」,『図書館界』, 33(5), 1982.01, p201-209.
- [1982/01/To] 東京大学情報図書館学研究センター「学術雑誌総合目録和文編新版データベース開発(案)」,『東京大学情報図書館学研究センターニュース』, (9), 1982.01, p1-4.
- [1982/03/An] 安西郁夫, 安田博「JAPAN MARC ローカル・システム: その設計と運用(研究発表)」,『私立大学図書館協会会報』, 通号 77, 1982.03, p51-63.
- [1982/03/lc] 市川淳信「学術情報の流通(特集: 学術の国際交流・学術情報システム: 国際化する学術研究)」,『文部時報』, 1258, 1982.03, p43-49.
- [1982/03/Is] 石山洋「機械可読全国書誌情報」,『東京大学情報図書館学研究センター紀要』, 1, 1982.03, p149-151.
- [1982/03/Ko] 光斉重治「「学術情報システム」と医学図書館」,『医学図書館員セミナー論文集』, Vol. 8 (第 8 回), 1982.03.

- [1982/03/Mo] 文部省学術国際局情報図書館課「学術情報システムの答申とその後の整備状況(学術の国際交流・学術情報システム<特集>)」,『文部時報』, 1258, 1982.03, p57-62.
- [1982/03/Od] 小田泰正「JAPAN MARC 利用システム: その問題点を中心に(講演)」,『私立大学図書館協会会報』, 通号 77, 1982.03, p76-87.
- [1982/03/Ta] 田嶋一夫, 宮澤彰, 中島保行「漢字情報処理システム運用上の課題: JIS 漢字の出現状況とその問題点(漢字情報と字種)」,『情報科学技術研究会発表論文集』, 第 18 回(1981 年), 1982.03. * 1981 年 10 月 22 日 ~ 23 日 全共連ビル(東京)
- [1982/03/Ta] 田中信行「学術情報システムは必要か(特集: 学術の国際交流・学術情報システム: 国際化する学術研究)」,『文部時報』, 1258, 1982.03, p37-42.
- 1982/04/Ma] 増田幸子「機械化に関する雑感(全般)」,『医学図書館員研究集会論文集』, Vol.16(第 16 回), 1982.04.
- [1982/04/Mu] 武藤哲郎「図書館の機械化について(その他)」,『医学図書館員研究集会論文集』, Vol.16(第 16 回), 1982.04.
- [1982/04/Ta] [短期大学図書館協会]「学術雑誌総合目録人文科学和文編(改訂版)への短期大学図書館所蔵雑誌収録方に関する要望: 短期大学図書館所蔵雑誌の学術雑誌総合目録収録について(依頼)」,『図書館雑誌』, 76(4), 1982.04, p220.
- [1982/05/Ba] 坂東瑞昭「千里システム: 国立民族学博物館情報処理システム中間報告」,『大学図書館研究』, 20, 1982.05, p54-70.
- [1982/05/Is] 石川亮[ほか]「TULIPS の概要とその基盤としての DBMS」,『大学図書館研究』, 20, 1982.05, p36-48.
- [1982/05/Ni] 二宮純恭[ほか]「図書館トータルシステムの電算化について(北部九州地区国立 6 大学図書館ネットワークシステム中間報告)」,『大学図書館研究』, 20, 1982.05, p22-35.
- [1982/05/Sa] 斎藤友子「タナック・カード・セクター利用による目録システム」,『大学図書館研究』, 20, 1982.05, p95-103.
- [1982/06/Fu] 福島寿男「MARC データベースにおける CIP の役割」,『図書館学会年報』, 28(2), 1982.06, p89-91.
- [1982/06/Ok] 岡田靖「図書の整理に関する調査報告」,『現代の図書館』, Vol.20, No.2, 1982.06, p111-128.
- [1982/06/Su] 杉山時之「アメリカの図書館機械化に学ぶ」,『国立国会図書館月報』, 通号 255, 1982.06, p2-9.
- [1982/06/To] 板橋瑞夫(昭和大学図書館)「医学雑誌総合目録第 7 版編集を前に: 医学雑誌総合目録, 現行医学雑誌所在目録, 医学洋書総合目録の関連について」,『医学図書館』, 29(2), 1982.06, p166-170.
- [1982/06/To] 富木陽子「図書目録の機械化処理へのワン・ステップ」,『医学図書館』, 29(2), 1982.06, p154-165.
- [1982/08/An] 安藤英夫(東京理科大学)「学術雑誌総合目録と地区ネットワーク(第 13 回センター研究会パネル報告; 4)」,『東京大学情報図書館学研究センターニュース』, (11), 1982.08, p12.
- [1982/08/Da] 大学図書館研究集会記録編集委員会編『新しい学術情報システムと大学図書館: 大学図書館研究集会記録; 第 2 回』, 日本図書館協会大学図書館部会, 1982.08, 66p. * 国公立大学図書館協力委員会との共同刊行。発売: 学術文献普及会。会場: 国立婦人教育会館(嵐山), 昭和 56 年 9 月 15 日 ~ 17 日。内容: 「学術情報システムと大学図書館(基調講演 1)」(市川惇信), 「大学図書館は学術情報システムの中でどう変わるか(基調講演 2)」(田中久文)
- [1982/08/Ue] 石井啓豊「学術雑誌総合目録と地区ネットワーク(第 13 回センター研究会パネル報告; 2)」,『東京大学情報図書館学研究センターニュース』, (11), 1982.08, p11.
- [1982/08/Ne] 永田治樹「学術雑誌総合目録と文編新版データベースの編集方針(第 13 回センター研究会パネル報告; 3)」,『東京大学情報図書館学研究センターニュース』, (11), 1982.08, p8-9.
- [1982/08/Ne] 根岸正光「学術雑誌総合目録データベース・オンライン検索システム TOOL-ULP の開発」,『東

- 京大学情報図書館学研究センターニュース』, (11), 1982.08, p1-7.
- [1982/08/Ue] 上田修一「学術雑誌総合目録と学術情報センターシステム(第13回センター研究会パネル報告; 2)」, 『東京大学情報図書館学研究センターニュース』, (11), 1982.08, p9-11.
- [1982/09/Fu] 福島寿男「JAPAN MARCのタイム・ラグ」, 『図書館学会年報』, 28(3), 1982.09, p127-130.
- [1982/09/Is] 石山洋「北米におけるオンライン目録を閲覧用目録に採用している図書館」, 『図書館学会年報』, 28(3), 1982.09, p142.
- [1982/09/Ka] 梶浦武彦「総合目録に関する要望と問題点(昭和57年度専門図書館協議会全国研究集会<特集>: 第二分科会 総合目録)」, 『専門図書館』, 通号90, 1982.09, p26-29.
- [1982/09/Na] 内藤衛亮, 宮澤彰「書誌情報の標準化と作成における問題点([専門図書館協議会]昭和57年度全国研究集会<特集>: 第三分科会 書誌記述の標準化)」, 『専門図書館』, 通号90, 1982.09, p30-33.
- [1982/10/Ko] 国際図書館連盟世界書誌コントロール国際事務局編; 豊田淳子訳「全国書誌作成機関及び全国書誌のためのガイドライン」, 『図書館研究シリーズ』(ISSN:04541960), 通号23, 1982.10, p199-274.
- [1982/11/Fu] 福島寿男「JAPAN MARCの評価研究」, 『専門図書館』, 通号91, 1982.11, p60.
- [1982/11/0o] 大城善盛, 宝田育久「学術雑誌総合目録欧文編個別版MTを利用したオンライン・カタログ: 京都産業大学図書館の事例」, 『図書館界』, 34(4), 1982.11, p277-284.
- [1982/12/Ab] 阿部佳市「東北大学附属図書館(本館)におけるLC-MARCカード利用の現状と問題点」, 『大学図書館研究』, No.21, 1982.12, p75-83.
- [1982/12/Ar] 荒堀幸夫「図書館業務を機械化: 利用者用端末機を導入した事例(図書館の目)」, 『現代の図書館』, 20(3・4), 1982.12, p214-215.
- [1982/12/Is] 石山洋「IFLA『逐次刊行物総合目録用指針(草案)』について」, 『ドキュメンテーション研究』, 32(12), 1982.12, p621-626.
- [1982/12/Ka] 兼岩健二(順天堂大学図書館)「医学洋書総合目録季刊版の編集と製作」, 『医学図書館』, 29(4), 1982.12, p354-363.
- [1982/12/Ku] 久保為武「広島大学附属図書館和書目録システムの概要」, 『大学図書館研究』, No.21, 1982.12, p57-68.
- [1982/12/Mu] 胸永等(追手門学院大学図書館)「学術情報システムとは何か: 電算化の嵐と大学図書館(特集: 『図基法』状況を考える)」, 『季刊としょかん批評』, 創刊号, 1982.12, p127-135.
- [1982/12/Na] 永田治樹「逐次刊行物総合目録のデータ: 学術雑誌総合目録データベース欧文編『統合』補遺版から和文編新版プロジェクトへの転回において」, 『大学図書館研究』, No.21, 1982.12, p1-11.
- [1982/12/Ok] 岡部紀夫「豊橋技術科学大学図書館におけるカードレスシステム」, 『大学図書館研究』, No.21, 1982.12, p43-56.
- [1982/12/On] 小野周「図書館と総合目録」, 『学術体制と大学: 講座日本の大学改革; 4/大沢勝ほか編』(青木書店), 1982.12, p143-150.
- [1982/12/To] 東京大学情報図書館学研究センター「学術雑誌総合目録和文編新版のための予備調査集計報告」, 『東京大学情報図書館学研究センターニュース』, (13), 1982.12, p1-7.
- [1982/12/To] 東京大学情報図書館学研究センター「学術雑誌総合目録和文編新版データ調査のために」, 『東京大学情報図書館学研究センターニュース』, (13), 1982.12, p8-9.
- [1982/12/Yo] 吉田和夫「学内逐次刊行物の目録作成システム: 同志社大学の概要報告」, 『大学図書館研究』, No.21, 1982.12, p12-18.

1983年(昭和58年)

- [1983/00/Ha] 原田勝, 渡辺豊英, 坂東瑞昭, 小田泰正, 荒木雄豪, 平木しげ子, 今井恒雄「リレーショナル・データベースに基づく学術雑誌総合目録データの分散処理について」, 『情報処理学会全国大会講演論文集』, Vol.27th, No.2, 1983, p759-760.

- [1983/00/Na] 名古屋大学附属図書館『名古屋大学附属図書館業務電算処理システム報告書』,名古屋大学附属図書館,1984,166p.
- [1983/00/Ne] 根岸正光,小澤宏「学術雑誌総合目録データベース・オンライン検索システム TOOL-ULP の開発」,『東京大学文献情報センター紀要』,第2号,1983,p129-186
- [1983/01/In] 井上正則「同志社大学図書館における目録の電算化」,『大学の図書館』,110,1983.01,p241-243.
- [1983/01/Ne] 根岸正光「Item13a 学術雑誌(ULP)総合目録データベースの開発(<特集>第41回FID大会報告):第41回FID大会発表テーマ要旨」,『ドキュメンテーション研究』,33(1),1983.01,p14.
- [1983/01/Ar] 小田泰正,荒木雄豪,平木しげ子,今井恒雄,石田俊雄,白木正二「JAPAN MARC の利用システムとその問題点」,『図書館界』,34(5),1983.01,p299-321.
- [1983/02/Is] 石井啓豊,山城玲子「古典籍を対象とした総合目録における書誌コントロール(特集:増大する書誌・索引類と図書館)」,『図書館雑誌』,77(2),1983.02,p95-97.
- [1983/03/In] 猪瀬博,稲田献一,田保橋彬(鼎談)「学術情報システムの展開とその将来(<特集>研究活動と学術情報システム)」,『文部時報』,1270,1983.03,p8-23.
- [1983/03/Ka] 柿田恵広「医学中央雑誌収載誌目録と医学雑誌総合目録等を比較して見えてきたこと」,『医学図書館員セミナー論文集』,Vol.9(第9回),1983.03.
- [1983/03/Ko] 国文学研究資料館整理閲覧部編『和古書目録データベースの形成と著者名典拠ファイル:「国文学研究資料館蔵和古書目録」作成報告』,国文学研究資料館,1983.03,101p.
- [1983/03/Ku] 倉橋英逸「学術情報システムの進展(今月の話題)」,『図書館雑誌』,77(3),1983.03,p132-133.
- [1983/03/Mo] 文部省学術国際局情報図書館課「学術情報システムの展開(<特集>研究活動と学術情報システム)」,『文部時報』,1270,1983.03,p47-56.
- [1983/03/Na] 永田清一「わが国における蔵書目録の変遷:その機能と背景」,『実践女子大学文学部紀要』,25,1983.3,p1-18.
- [1983/03/Ok] 岡本道雄「学術情報システム整備の緊急性(<特集>研究活動と学術情報システム)」,『文部時報』,1270,1983.03,p4-7.
- [1983/03/Ta] 田嶋一夫「国文学データベース形成と日本語処理上の問題(<特集>研究活動と学術情報システム)」,『文部時報』,1270,1983.03,p31-39.
- [1983/03/Ts] 土屋祥子「目録の機械化について,今,考えること」,『医学図書館員セミナー論文集』,Vol.9(第9回),1983.03,p97-104.
- [1983/03/Us] 牛田郁子,吉田貴美子,大津憲子,佐野彦麿「洋雑誌総合目録の電算編集(機械化)」,『情報科学技術研究集会発表論文集』,第19回(1982年),1983.03. *1982年10月21日~22日名古屋商工会議所ビル(名古屋).
- [1983/05/Ho] 堀込静香「文献から見た『センター』の7年:東京大学情報図書館学研究センターをめぐって」,『大学図書館研究』,No.22,1983.05,p160-168.
- [1983/05/In] 井上如「東京大学情報図書館学研究センターこの7年」,『大学図書館研究』,No.22,1983.05,p148-154.
- [1983/05/Iw] 岩淵泰郎「機械化目録の問題点」,『大学図書館研究』,No.22,1983.05,p43-46.
- [1983/05/Ku] 倉橋英逸(文部省学術情報図書館課専門員)「学術情報システムにおける目録(解説)」,『大学図書館研究』,No.22,1983.5,p1-8
- [1983/05/Ma] 丸山昭二郎「目録法原則の展開とオンライン目録法:特に英米目録規則の改訂をめぐって」,『大学図書館研究』,No.22,1983.05,p20-26.
- [1983/05/Mo] 文部省学術国際局情報図書館課「昭和57年度学術情報センターシステム開発調査概要」,『大学図書館研究』,No.22,1983.05,p170-177.
- [1983/05/Sa] 酒井清彦「横浜国立大学附属図書館の図書受入システム:システムの変遷と現状」,『大学図書館研究』,No.22,1983.05,p95-100.

- [1983/05/Sa] 沢田創『国際基督教大学図書館における UTLAS の導入』、『大学図書館研究』No.22,1983.05, p36-42.
- [1983/05/Sh] 浅川雅俊「コンピュータ・カタログへの展望：慶応義塾大学三田情報センターにおける目録の将来」、『大学図書館研究』, No.22, 1983.05, p27-35.
- [1983/05/Ta] 田辺広「目録の基本問題と大学図書館」、『大学図書館研究』, No.22, 1983.05, p9-19.
- [1983/05/Ta] 田中久文「情報図書館学研究センターの活動をふりかえって：一つの側面から」、『大学図書館研究』, No.22, 1983.05, p155-159.
- [1983/05/To] 図書館情報大学附属図書館図書館業務機械化検討ワーキング・グループ「図書館情報大学附属図書館における業務の機械化；1：貸出・返却システム」、『大学図書館研究』, No.22, 1983.05, p86-94.
- [1983/06/Da] 大学図書館研究集会記録編集委員会編『学術情報流通と大学図書館情報システム：大学図書館研究集会記録；第3回』, 日本図書館協会大学図書館部会, 1983.06, 87p. * 国公立大学図書館協力委員会との共同刊行。発売：学術文献普及会。
- [1983/06/Hn] H.N.「学術雑誌総合目録と文編新版データベース作成のための全国調査」、『ドクメンテーション研究』, 33(6), 1983.06, p272.
- [1983/06/Ka] 河村宏『学術情報システム』関係文献：大学図書館の発展か解体か』、『出版ニュース』, 1290, 1983.06.
- [1983/06/Ko] 国分信「学術情報システムと大学図書館：研究情報提供システム革新への胎動（『金融経済』創刊 200 号記念号）」、『金融経済』, (通号 200), 1983.06, p463-494.
- [1983/06/Ma] 松井博「学術情報システムの評価をめぐって：山川夏雄氏らの批判に答える」、『大学の図書館』, 2(3), 1983.06.
- [1983/06/To] 富木陽子「オンライン目録へのはるかなみちのり」、『医学図書館』, 30(2), 1983.06, p209.
- [1983/07/Ga] 学術情報システムを考える集会実行委員会編『コンピュータ・大学・図書館：学術情報システムを考える集会（1984.4.30）報告集』, 茨木：学術情報システムを考える集会実行委員会, 1983.07, 52p. * 付：参考文献
- [1983/07/Ya] 山川夏雄「学術情報システムを撃つ」、『大学論通信』, 113, 1983.07.
- [1983/08/As] 浅賀律夫「続・学術情報システムに対する大図研の態度」、『大学の図書館』, 2(5), 1983.08.
- [1983/08/Ho] 細井五「学術情報システムの討議のために」、『大学の図書館』, 2(5), 1983.08.
- [1983/08/Ho] 市川惇信「学術情報システム」、『油圧と空気圧』, 14(5), 1983.08, p364-369.
- [1983/08/Mu] 村上千津子「目録作業における機械化（職員海外研修報告）」、『早稲田大学図書館紀要』, 22・23, 1984.08, p92-111.
- [1983/09/Ha] 原田悟「UTLAS 導入以後：南山大学図書館のめざすもの」、『東海地区大学図書館協議会誌』, 28, 1983.09, p31-35.
- [1983/09/Ik] 池田秀人「学術情報システムの明日：大学図書館の未来像（特集：図書館の未来像）」、『現代の図書館』, 21(3), 1983.09, p159-162.
- [1983/09/Ka] 川瀬正幸「名古屋大学における図書館業務電算処理システムの現状」、『専門図書館』No.95, 1983.09, p8-13.
- [1983/09/Ma] 松井幸子「収録文献の遡及化による総合目録データベース巨大化のもたらす諸問題：“INFORMANT” 2(1)掲載論文要約」、『ドクメンテーション研究』, 33(9), 1983.09, p459.
- [1983/09/Ma] 松村秀逸, 門田克弘「図書館相互ネットワークの機械化：米国最新文献の要約紹介（特集：図書館の未来像）」、『現代の図書館』, 21(3), 1983.09, p169-172.
- [1983/09/Sh] 椎葉[モト]子「オンライン目録における主題アクセス：Books の場合」、『知識の組織化と図書館：もり・きよし先生喜寿記念論文集』, もり・きよし先生喜寿記念会編刊, 1983.09, p343-359.
- [1983/09/Ts] 鶴田真也「JAPAN MARC 入門」、『国立国会図書館月報』, 通号 270, 1983.09, p2-13.
- [1983/09/Ya] 山田浩二「総合目録メモランダム（特集：使いやすい目録：大田区立図書館の総合目録を語る）」、『みんなの図書館』, no.76, 1983.09, p8-11.

- [1983/10/Ka] 「目録の質が低下している?」,『カレントアウェアネス』, no.51, 1983.10, p1-2
- [1983/10/Ka] 「図書館の機械化: その仕事・サービスに及ぼす影響」,『カレントアウェアネス』, no.51, 1983.10, p3-4.
- [1983/10/Ka] 加藤三郎「学術情報システム批判」,『季刊としょかん批評』, 3, 1983.10, p58-69.
- [1983/10/Ka] 河田いこひ「科学技術政策と大学図書館: 学術情報システムの問題点をさぐる」,『技術と人間』, 12(9), 1983.10, p49-59.
- [1983/10/Ma] 松井幸子, 長谷川秀彦「学生から見たオンライン目録システム」,『ドキュメンテーション研究』, 33(10), 1983.10, p471-478.
- [1983/10/Na] 内藤衛亮「国文学研究資料館における情報処理の現状と展望」,『国文学研究資料館報』, 21, 1983.10.
- [1983/10/Ta] 田中久文「学術情報流通システム: 学術審議会答申と大学の対応(パネル・ディスカッション「学術情報システム」とサブジェクト・スペシャリスト: 経済資料協議会の位置づけ)」,『経済資料研究』(ISSN03853586), No.17, 1983.10, p1-11.
- [1983/10/Ya] 山川夏雄「学術情報システムに反対する集会から」,『季刊としょかん批評』, 3, 1983.10, p7-9.
- [1983/10/Yo] 「戦後の学術情報活動の推移」,『[横浜国立大学附属図書館]館報』, 12, 1983.10
- [1983/11/Ho] 堀込静香「<資料紹介>学術雑誌総合目録 和文編 予備版 誌名変遷マップ」,『大学図書館研究』, No.23, 1983.11
- [1983/11/Is] 磯本征雄「大阪大学大型計算機センターにおける学術情報データベースの作製とサービス」,『大阪大学図書館報』, 74, 1983.11
- [1983/11/Ku] 栗山平「北部九州地区国立6大学図書館ネットワークシステムのメンバー館としての出発」,『大学図書館研究』, No.23, 1983.11, p50-56.
- [1983/11/Na] 永田治樹「学術雑誌総合目録和文編新版データベースの作成計画: 予備版の編集をめぐる」,『書誌索引展望』, 7(4), 1983.11, p14-15
- [1983/11/Sa] 坂本徹朗著『図書館とコンピュータ: 図書館員選書; 3』, 日本図書館協会, 1983.11, 279p.
- [1983/11/Su] 菅原峻「図書館からカード目録が消える日」,『Better Storage』, 74, 1983.11, p4-7.
- [1983/11/Su] 助岡君二「MARCと目録の標準化(私のデスクから)」,『大学図書館研究』, No.23, 1983.11, p93-94.
- [1983/11/Wa] 渡辺満彦「わが国大学図書館における機械化の現状: <情報センター機械化計画>」,『KULIC』, 17, 1983.11, p32-37
- [1983/11/Ya] 山田忠彦「近畿北部地区国立大学図書館機械化活動状況」,『大学図書館研究』, No.23, 1983.11, p57-73.
- [1983/12/Ho] 堀江幸司(東京女子医科大学), 山根京「『医学洋書総合目録』の誕生: ユニオン・カタログ小史」,『医学図書館』, 30(4), 1983.12, p342-351.
- [1983/12/Ka] 「RLG-CJK プロジェクト本番稼働とその周辺」,『カレントアウェアネス』, no.53, 1983.12, p4-5.
- [1983/12/Ka] 片山淳「書誌作成の機械化を巡って: MARCと目録政策(覚書)」,『大図研論文集』, 9, 1983.12, p57-93. *付: 参考文献 p87-93 和洋文献
- [1983/12/Mu] 胸永等「学術情報システムと大学の現在」,『月刊状況と主体』, 96, 1983.12.
- [1983/12/Ne] 根岸正光, 小澤宏編「学術雑誌総合目録データベース・オンライン検索システム TOOL-ULPの開発: 全国550大学・研究機関での欧文雑誌62万誌の所在検索: データベース・マニュアル; 6」, 東京大学大型計算機センター, 1983.12, 58p) *『文献情報センター紀要』第2号(1983.03)より転載。
- 1984年(昭和59年)**
- [1984/00/Ad] 安達淳「<講演要旨>学術情報システムの全国センター構想: 特に目録・所在情報作成システムについて」,『東海地区大学図書館協議会誌』, 通号29, 1984, p23-.

- [1984/00/Im] 今井恒雄, 小田泰正, 荒木雄豪[ほか]「JAPAN/MARC から UNIMARC への変換」,『情報処理学会全国大会講演論文集』, Vol.28th, No.2, 1984, p669-670.
- [1984/00/Ne] 根岸正光, 松原英一「文献情報センターシステム：データの同定・編集システム」,『情報処理学会全国大会講演論文集』, Vol.29th, No.2, 1984, p899-900. *学総目欧文編 92,000 誌の編集
- [1984/00/Ta] 棚橋章「<図書館業務紹介>学術雑誌総合目録と文編データの作成を終えて」,『東海地区大学図書館協議会誌』, 通号 29, 1984, p57-.
- [1984/01/Ad] 安達淳「学術情報センターシステムの概要」,『文献情報センターニュース』, no.2, 1984.01, p1-8
- [1984/01/As] 浅野次郎「学術情報システムにどう参加するか：フォーラム報告(1)」,『文献情報センターニュース』, no.2, 1984.01, p14
- [1984/01/Ba] 坂東瑞昭「学術情報システムにどう参加するか：フォーラム報告(2)」,『文献情報センターニュース』, no.2, 1984.01, p15
- [1984/01/Ba] 馬場俊明「学術情報システムとは何か」,『大学の図書館』, 2(10)~(12), 1984.01-03.
- [1984/01/Bu]「第1回東京大学文献情報センター・シンポジウム報告」,『文献情報センターニュース』, no.2, 1984.01, p14-20
- [1984/01/Bu] 文献情報センター「文献情報センター・計算機システムの概要」,『文献情報センターニュース』, no.2, 1984.01, p24
- [1984/01/Bu] 文献情報センター目録情報係「学術雑誌総合目録と文編データ全国調査集計報告」,『文献情報センターニュース』, no.2, 1984.01, p9-11
- [1984/01/In] 猪瀬博「学術情報システム：背景と展望」,『文献情報センターニュース』, no.2, 1984.01, p12-13.
- [1984/01/Ka]「シンポジウム『学術情報システムと大学図書館の新展開』から」,『カレントアウェアネス』, no.54, 1984.01, p1-3.
- [1984/01/Mu] 胸永ヒトシ「大学の中、図書館の中の学術情報システム」,『インパクション』, 27, 1984.01.
- [1984/01/Ne] 根岸正光「学術情報システムにどう参加するか：フォーラム報告(3)」,『文献情報センターニュース』, no.2, 1984.01, p16
- [1984/01/Ts] 津田良成「学術情報システムに期待する」,『文献情報センターニュース』, no.2, 1984.01, p19
- [1984/01/Ya] 山川夏雄「学術情報システムを知るために：最近書かれたものの中から」,『大学論通信』, 119, 1984.01.
- [1984/02/Ga] 学術情報システムを考える会『大学図書館現場からのレポート：図書館があぶない』(学術情報システムを考える会), 1984.02, 16p.
- [1984/02/Ha] 早瀬均「図書館情報のオンライン検索：筑波大学附属図書館情報処理システム(TULIPS)」,『教育と情報』, 311, 1984.02, p24-31.
- [1984/02/Ka]「文献ガイド 学術情報システム」,『カレントアウェアネス』, no.55, 1984.02, p5-6.
- [1984/03/Ao] 青島なな子, 中山和彦, 上田修一「図書館誌レコードの重複同定方法：LCMARC と筑波大学附属図書館洋書所蔵ファイル为例として」,『Library and Information Science』, no.21(1983), 1984.03, p169-180. *書名, 著者名, 出版社, 版次の4項目から18種の変換法を試行.
- [1984/03/Bu]「文献情報センター目録システム開発の現状」,『文献情報センターニュース』, no.3, 1984.03, p1-15. *目録システムとILLシステムの外部仕様
- [1984/03/Bu] 文献情報センター目録情報係「学術雑誌総合目録と文編データ編集の現状」,『文献情報センターニュース』, no.3, 1984.03, p16-17
- [1984/03/Da] 大学図書館研究集会記録編集委員会編『大学図書館情報システム化をめぐる諸問題：大学図書館研究集会記録；第4回』, 日本図書館協会大学図書館部会, 1984.03, 80p. *国公私立大学図書館協力委員会との共同刊行。発売：学術文献普及会。国立婦人教育会館, 昭和58年9月11日~13日。

- [1984/03/Fu] 藤井えりな「磁気テープによる書誌情報交換用フォーマットの標準化の動向」、『Library and Information Science』, no.21 (1983), 1984.03, p181-207.
- [1984/03/Ga] 学術情報システムを考える会『大学図書館の現在(いま)を考える: 大学図書館の現在(いま)を考える(1983.11.22~23)から』(学術情報システムを考える会), 1984.03, 14p.
- [1984/03/Ho] 堀江幸司(東京女子医科大学), 山根京「『医学洋書総合目録』の誕生: ユニオン・カタログ小史(1)」, 『医学図書館』, 31(1), 1984.03, p12-25.
- [1984/03/Is] 石橋民生「JAPAN/MARC を利用して: 電算化の意味」, 『現代の図書館』, 22(1), 1984.03, p102-106.
- [1984/03/It] 伊藤敦子, 笹山達成「南山大学図書館電算計画について: UTLAS 導入後の現状報告と将来展望」, 『館灯』(私立大学図書館協会西地区部会東海地区協議会), 22, 1984.03, p6-15.
- [1984/03/Jo] 城省自, 松田文子「オフコンによる貸出・和書書誌検索システム: 近畿大学工学部図書室の事例」, 『ドキュメンテーション研究』, 34(3), 1984.03, p107-114.
- [1984/03/Ka] 上沢田浩, 市来陽子「マーク・フォーマットを使った蔵書目録の作成と図書館管理システム」, 『短期大学図書館研究』(私立短期大学図書館協議会), no.5, 1984.03, p175-80.
- [1984/03/Ki] 切田精一「MARC を利用した冊子目録の編集の実際(特集: 日本 MARC の活用)」, 『現代の図書館』, 22(1), 1984.03, p34-38.
- [1984/03/Ku] 倉橋英逸[述]; 北信越地区国立大学図書館協議会編「学術情報システムに対する大学図書館の対応について」, (昭和 58 年度), 1984.03, 22p. * 第 33 回北信越地区国立大学図書館研修会(新潟大学附属図書館)
- [1984/03/Ku] 楠喜成「医学和書総合目録について」, 『医学図書館員セミナー論文集』, Vol.10(第 10 回), 1984.03. * 副書名: 「医学図書館と情報創出」。会期: 昭和 58 年 7 月 28 日~29 日。
- [1984/03/Ma] 松井博「オンライン目録と Japan/MARC の活用: 中央学院大学図書館の事例から」, 『現代の図書館』, 22(1), 1984.03, p11-17.
- [1984/03/Mo] 文部省学術国際局情報図書館課『大学図書館業務の電算化』, 同課, 1984.03, 26p.
- [1984/03/Na] 中村正也「目録の標準化: 目録の機械化を利用面からみて」, 『私立大学図書館協会東地区部会研究報告書』, (昭和 58 年度), 1984.03, p36-37.
- [1984/03/Su] 鈴木康綱「機械化の中での目録化とは」, 『医学図書館員セミナー論文集』, Vol.10(第 10 回), 1984.03. * 第 10 回の副書名: 医学図書館と情報創出。会期: 昭和 58 年 7 月 28 日~29 日。
- [1984/03/Ts] 筑波大学附属図書館『筑波大学附属図書館情報処理システム: TULIPS システム仕様; その 5』, 桜村(茨城県): 高橋進(研究代表者), 1984.03. * 1979.3 から 5 冊刊行。
- [1984/04/Ka] 鍵本芳雄「私たちの望む学術情報システムのための私たちの望む手順(特集: 大学図書館の新しさを求めて)」, 『図書館雑誌』, 78(4), 1984.04, p204-206.
- [1984/04/To] 東条文規「学術情報システムを問う(特集: 大学図書館の新しさを求めて)」, 『図書館雑誌』, 78(4), 1984.04, p200-201.
- [1984/04/Ue] 上田修一「学術情報システムの現実(特集: 大学図書館の新しさを求めて)」, 『図書館雑誌』, 78(4), 1984.04, p201-203.
- [1984/05/Ao] 青島なな子「名古屋大学における洋書目録電算処理システムの概要とその課題」, 『大学図書館研究』, No.24, 1984.05, p1-11.
- [1984/05/It] 伊藤祐三「大阪大学附属図書館機械化の現状と問題点」, 『大学図書館研究』No.24, 1984.05, p25-34.
- [1984/05/Ka] かみかた機械化研究グループ「学術情報システムに関する文献レビュー・文献目録」, 『大学の図書館』, 3(2), 1984.05.
- [1984/05/Mo] 茂幾周治「今、阪大図書館で何が起こっているか!?', 『大学の図書館』, 3(2), 1984.12.
- [1984/05/Mu] 胸永等「『高度情報化社会』と大学の現在: 学術情報システムによる大学の再編変革」, 『インパクション』, 29, 1984.05.

- [1984/05/Ta] 高島津雪, 星野雅英「自館[国文学研究資料館]所蔵データの機械変換による学術雑誌総合目録と文編へのデータ提出の試み」,『大学図書館研究』, No.24, 1984.05, p20-24
- [1984/05/Wa] 渡部満彦「慶應義塾大学・教育情報センターの機械化: システムの現状と今後」,『大学図書館研究』, No.24, 1984.05, p12-19.
- [1984/06/Ao] 青木公男, 室橋真「筑波大学附属図書館における目録業務: 洋書のオンライン入力を中心に」,『医学図書館』, 31(2), 1984.06, p145-152.
- [1984/06/Ho] 堀江幸司, 山根京「『医学洋書総合目録』の誕生: ユニオン・カタログ小史(2)」,『医学図書館』, 31(2), 1984.06, p153-167. * 第7回総会(昭和8年) - 第11回総会(昭和12年)
- [1984/06/Ig] 井口牧二「LC-MARC その供給側瞥見」,『早稲田大学図書館紀要』, 24, 1984.06, p12-22.
- [1984/06/Is] 石橋民生「JAPAN/MARC を利用して: 電算化の意味」,『現代の図書館』, 22(2), 1984.06, p102-106.
- [1984/06/Sa] 沢田容子, 胸永等, 山川夏雄「『図書館の自由』と学術情報システム論争」,『出版ニュース』, 1323, 1984.06.
- [1984/06/Su] 吹田和光「小規模図書館における目録電算業務の一例」,『私立大学図書館協会会報』, 通号82, 1984.06, p72-86. * 花園大学図書館
- [1984/06/Wa] 「早稲田大学学術情報システム基本構想」,『早稲田大学図書館紀要』, 24, 1984.06.
- [1984/06/Ya] 安田博「北米のネットワーク・システム: RLIN を中心として」,『私立大学図書館協会会報』, 通号82, 1984.06, p35-40.
- [1984/07/Na] 中村秀子「学術情報システムに反対するために」,『季刊としょかん批評』, 4, 1984.07, p108-116.
- [1984/07/Sh] 私立大学図書館協会東地区部会研究部逐次刊行物分科会アンケート委員会編「学術雑誌総合目録と文編」アンケート集計結果・分析報告』, 1984.07, 74p.
- [1984/08/Ka] 「昭和58年度学術情報センターシステム開発調査概要について」,『[横浜国立大学附属図書館]館報』, 8(1), 1984.8.
- [1984/08/Bu] 「文献情報センターシステムと大学図書館の対応」,『文献情報センターニュース』, no.4, 1984.08, p29
- [1984/08/Bu] [文献情報センター]システム管理係「新しく加わったシステム」,『文献情報センターニュース』, no.4, 1984.08, p25
- [1984/08/Hi] 平石隆「第2回東京大学文献情報センター・シンポジウムの印象」,『大学の図書館』, 3(5), 1984.08
- [1984/08/Ka] 鍵本芳雄「『学術情報システム論争』 回顧と部分的近況 序幕終幕つき3幕の悲喜劇;(前編)」,『大学の図書館』, 3(5), 1984.08
- [1984/08/Ki] キルガー, F.G.; 今まど子訳編「OCLC の現状と将来[講演]」,『図書館雑誌』, 78(8), 1984.08, p502-505. * 5月17日, 国際文化会館。
- [1984/08/Mi] 宮澤彰「目録システム; その1(ファイルの概念と画面)」,『文献情報センターニュース』, no.4, 1984.08, p9-14
- [1984/08/Mi] 宮澤彰「『目録端末』について」,『文献情報センターニュース』, no.4, 1984.08, p21-25
- [1984/08/Mu] 胸永ヒトシ「臨教審戦略を解き明かす: 学術情報システム症候群」,『季刊クライシス・臨時増刊』, 1984.08.
- [1984/08/Na] 永田治樹「目録システム; その2(目録のデータ)」,『文献情報センターニュース』, no.4, 1984.08, p?
- [1984/08/Ne] 根岸正光「大学図書館経営と雑誌目録システム」,『文献情報センターニュース』, no.4, 1984.08, p6-8
- [1984/08/Ni] 西原宏「京都大学附属図書館の新構想」,『文献情報センターニュース』, no.4, 1984.08, p1-6.
- [1984/08/To] 東京工業大学附属図書館「東京工業大学附属図書館情報システムについて: 文献情報セン

- ターとの接続に向けて：第4次報告』(東工大図刊行資料；No.5)，1984.8，44p.
- [1984/08/Ya] 山川夏雄「圧力がかけられてきても，最低限主張しなければならないこと：古びた内容で恐縮ですが・・・」，『大学の図書館』，3(5)，1984.08.
- [1984/09/Ad] 安達淳「学術情報センターシステムの全国センター構想：特に目録・所在情報作成システムについて」，『東海地区大学図書館協議会誌』，29，1984.09
- [1984/09/Ga] 学内共同研究[東京大学における学術情報システムの改善]に関する研究班『全学総合目録の現状と問題点：書誌情報検索システム小委員会報告』，1984.09，42p.
- [1984/09/Ho] 堀江幸司，山根京「『医学洋書総合目録』の誕生：ユニオン・カタログ小史(3)」，『医学図書館』，31(3)，1984.09，p237-250. * 第12回総会(昭和13年) - 第15回総会(昭和18年)
- [1984/09/Ka] 鍵本芳雄「『学術情報システム論争』 回顧と部分的近況 序幕終幕つき3幕の悲喜劇；(後編の1)」，『大学の図書館』，3(6)，1984.9.
- [1984/09/Na] 永田治樹「つなぎとしての逐次刊行物総合目録」，『論集・図書館学研究の歩み；第4集：メディアの多様化と図書館/日本図書館学会研究委員会編』，日外アソシエーツ，1984.09.
- [1984/09/To] 富田和俊「名古屋工業大学附属図書館における電算処理電算処理の現況報告」，『東海地区大学図書館協議会誌』，29，1984.09
- [1984/09/Ya] 山根義雄「情報化社会と大学図書館 付．機械化・学術情報システム関連文献」，『逐次刊行物分科会報告』，45，1984.09
- [1984/09/Ya] 矢野幾也「名城大学附属図書館の電算処理：JAPAN MARC を利用しての目録作成」，『東海地区大学図書館協議会誌』，29，1984.09，p38-50.
- [1984/10/Na] 長澤雅男「全学総合目録の現状と問題点：東京大学における学術情報システムの改善に関する研究班書誌情報検索システム小委員会調査報告」，『図書館の窓』(東京大学附属図書館)，23(10)(通号251)，1984.10，p95-97.
- [1984/10/Na] 永田治樹「学術雑誌総合目録データベース(〈特集〉つどいの話題)」，『図書館雑誌』，78(10)，1984.10，p652-653.
- [1984/10/Oo] 大山襄「洋書オンライン目録；入門篇」，『Lib』(京都産業大学)，11(3)，1984.10.
- [1984/10/To]「医学図書館における雑誌管理システムの概要；(1)」，『図書館の窓』(東京大学附属図書館)，251，1984.10.
- [1984/10/Ue] 上田修一「オンライン目録の特徴と現状」，『JLA 図書館学教育部会報』，18，1984.10
- [1984/11/Ad] 安達淳「ネットワーク接続の現状」，『文献情報センターニュース』，no.5，1984.11，p9-11
- [1984/11/Bu] 文献情報センターシステム管理係「センター目録端末(メインフレーム型)を導入」，『文献情報センターニュース』，no.5，1984.11，p27-28
- [1984/11/Bu] 文献情報センター目録情報係「学術雑誌総合目録欧文編 三編統合編集について」，『文献情報センターニュース』，no.5，1984.11，p24-26
- [1984/11/In] 井上如「接続を前にして」，『文献情報センターニュース』，no.5，1984.11，p1-2
- [1984/11/In] 井上如，根岸正光「科学研究『学術情報システムの環境分析と構築プロセスの研究』」，『文献情報センターニュース』，no.5，1984.11，p22-24
- [1984/11/Ka] 鍵本芳雄「『学術情報システム論争』 回顧と部分的近況 序幕終幕つき3幕の悲喜劇；(後編の2)」，『大学の図書館』，3(8)，1984.11.
- [1984/11/Ka] 河村宏「学術情報システム構想の現況とその問題点」，『黒書・コンピュータ講座』(コンピュータ合理化研究会)，1984.11
- [1984/11/Mi] 宮本明雄，内藤英雄「東京工業大学との接続」，『文献情報センターニュース』，no.5，1984.11，p2-8
- [1984/11/Na] 永田治樹「典拠レコードのデータ(目録のデータ)」，『文献情報センターニュース』，no.5，1984.11，p15-18.
- [1984/11/Ne] 根岸正光「書誌記述データの自動照合方式とデータ・オーセンティケーション」，『文献情報

- センターニュース』, no.5, 1984.11, p12-14
- [1984/11/Ni] 日本電気株式会社情報処理官庁システム編『大学図書館システム：LICSU』, 日本電気株式会社, 1984.11, , 104p.
- [1984/11/Sa] 佐藤義則「ネットワークと図書館」,『文献情報センターニュース』, No.5, 1984.11, p20
- [1984/11/Ta] 高畑悦子「1冊の目録作成にわずか6分! : 広島大学図書館電算化システム見学記」,『大学の図書館』, 3(8), 1984.11
- [1984/11/To] 東條文規「大学図書館はどうか:『学術情報システム』が投げかけるもの」,『社会評論』, 50, 1984.11.
- [1984/11/To]「医学図書館における雑誌管理システムの概要;(2)」,『図書館の窓』,(東京大学附属図書館), 252, 1984.11.
- [1984/11/Ue] 上田修一, 守屋まゆみ「オンライン閲覧用目録(OPAC): 米国図書館振興財団(CLR)の調査を中心に」,『大学図書館研究』, No.25, 1984.11, p1-13.
- [1984/11/Ya] 山田常雄「兵庫教育大学図書館電算化システム: なにを, どうしたら, どうなったか」,『図書館界』, 36(4), 1984.11, p222, 227-228
- [1984/11/Ya] 山田常雄, 笹川郁夫, 石井道悦「兵庫教育大学図書館業務電算化システム」,『大学図書館研究』, No.25, 1984.11, p41-24
- [1984/11/Ya] 山本修司「立命館大学図書館の現状と課題」,『文献情報センターニュース』, no.5, 1984.11, p21.
- [1984/12/Ga] 学術情報システムに反対する集会実行委員会編『学術情報システムに反対する?? : 学術情報システムに反対する集会(1984.10.26)報告集』(学術情報システムを考える会), 1985.12, 33p.
- [1984/12/Ha] 原田悟「学術情報システムへのラブコール: 私大にとって, 今, 何故, UTLAS なのか(私立大学図書館協会第45回(昭和59年度)総大会記録)」,『私立大学図書館協会会報』, 通号83, 1984.12, p79-90
- [1984/12/Ho] 堀江幸司, 山根京「『医学洋書総合目録』の誕生: ユニオン・カタログ小史(4)」,『医学図書館』, 31(4), 1984.12, p361-170. *第21回総会(昭和25年) - 第26回総会(昭和30年)
- [1984/12/Ka] かみかた機械化研究グループ「学術情報システムで応えうるか: 学術情報流通体制の問題点」,『日本の科学者』, 19(12), 1984.12, p704-711.
- [1984/12/Ka] 加藤一夫「学術情報の国家管理」,『季刊クライシス』, 1984.12.
- [1984/12/Ma] 松谷英佐子「朝鮮人名と目録について」,『整理技術研究』, 1984.12, p26-30.
- [1984/12/Mo] 茂幾周治「大阪大学附属図書館における業務の機械化について」,『大図研論文』, 12, 1984.12.
- [1984/12/Na] 永田治樹「新しいビブリオグラフィック・ユーティリティとしての『文献情報センター』(私立大学図書館協会第45回(昭和59年度)総大会記録)」,『私立大学図書館協会会報』, 通号83, 1984.12, p91-102
- [1984/12/Sa] 佐藤尚子「国立国会図書館和図書データベースの対公共図書館オンライン利用実験の開始」,『びぶろす』, 35(2), 1984.12, p303-304.
- [1984/12/Wa] 『早稲田大学学術情報システム基本構想; 第2版』, 1984.12, 12p.
- [1984/12/Ya] 山崎弘郎「図書館・図書室を結ぶコンピュータ・ネットワーク」,『図書館の窓』,(東京大学附属図書館), 253, 1984.12

1985 年 (昭和 60 年)

- [1985/01/Fu] 藤原鎮男「大学・大学図書館の未来像」,『IDE 現代の高等教育』,no.258,1985.01,p37-43.
- [1985/01/Ic] 市川惇信「学術情報システム:その大学への影響」,『IDE 現代の高等教育』,no.258,1985.01,p21-26.
- [1985/01/Ko] 国公立大学図書館協力委員会「カタログ・ワーキングパーティの活動」,『大学図書館協力ニュース』,5(5),1985.01,p2.
- [1985/01/Mo] 森岡祐二「学術情報と大学図書館」,『図書館界』,36(5),1985.01,325-330
- [1985/01/Ya] 山本貴子「<連載>『学術情報システム』の基礎知識;(1)」,『大学の図書館』,3(10),1985.01.
- [1985/02/Ad] 安達淳,橋爪宏達,宮澤彰「ネットワーク」,『文献情報センターニュース』,No.6,1985.02,p15-20.
- [1985/02/Bu] 文献情報センター「学術雑誌総合目録欧文編新版データベース開発」,『文献情報センターニュース』,No.6,1985.02,p1
- [1985/02/Da] 「大学図書館問題研究会第1回テーマ別研究集会『学術情報システムを多角的に考える』スケッチ」,『大学の図書館』,3(11),1985.02,p228-229.
- [1985/02/Da] 「第5回大学図書館研究集会『文献情報センター・システムと大学図書館の対応<内容紹介>』」,『大学の図書館』,3(11),1985.02
- [1985/02/Fu] 福田秀夫「国立国会図書館における書誌情報のオンライン入力:洋雑誌の書誌情報作成・更新システムの概要」,『びぶろす』,36(2),1985.02.
- [1985/02/Hy] 兵庫教育大学図書館電算化研究会(山田常雄ほか)『大学図書館業務の実際」,学術文献普及会,1985.2,149p.
- [1985/02/Ii] 飯山賢治「学術情報システムと「総合安保構想」(特集:学術情報システム 情報入手方式の転換と研究者・大学図書館)」,『日本の科学者』,20(2),1985.02,p75-83.
- [1985/02/Im] 「今、東大の図書館で重大な事態が進行している」,『大学の図書館』,135,1985.02.
- [1985/02/Ma] 松田上雄「学術情報システムでは応え得ない:効率優先よりも全体の充実を(特集:学術情報システム 情報入手方式の転換と研究者・大学図書館)」,『日本の科学者』,20(2),1985.02,p62-83.
- [1985/02/Na] 永田治樹「目録システムへの対応」,『文献情報センターニュース』,No.6,1985.02,p12-14
- [1985/02/Ne] 根岸正光,大西直樹「セミナーとタスクフォース(特別研修):システム要員の教育・育成プログラムとその事例」,『文献情報センターニュース』,No.6,1985.02,p6-8
- [1985/02/Ta] 竹村心「学術情報システムと大学図書館の機械化」,『大学図書館問題研究会・京都』,no.35,1985.02,p4-8.
- [1985/02/Ta] 田中一「研究者と学術情報システム(特集:学術情報システム 情報入手方式の転換と研究者・大学図書館)」,『日本の科学者』,20(2),1985.02,p69-74.
- [1985/02/Ue] 上田修一,井上如「大学図書館のシステム化(機械化)に関する調査」,『文献情報センターニュース』,No.6,1985.02,p21-22
- [1985/02/Ya] [山口大学附属図書館]「図書館業務電算化の現状について」,『Library News』(山口大学附属図書館),6(1),1985.02
- [1985/02/Ya] 山本貴子「<連載>『学術情報システム』の基礎知識;(2):学術情報システム,文献情報センター・システムと個別図書館の機械化の相違」,『大学の図書館』,3(11),1985.02.
- [1985/03/As] 浅野正一郎「新しい技術と図書館ネットワーク」,『東京都図書館協会報』,no.65,1985.03
- [1985/03/Bu] 「文献情報センター第3回シンポジウム」,『カレントアウェアネス』,no.68,1985.03,p6-7
- [1985/03/Bu] 「目録情報の基準(検討案)」,『文献情報センターニュース』,No.7,1985.03,p12-76
- [1985/03/Fu] 藤掛久美子,板垣和美,伊藤康伸,小川光男「UTLAS 実験トライアルを終えて:図書館電算化へのアプローチ」,『中京大学図書館学紀要』,6,1985.03,p1-55.
- [1985/03/Ik] 池田秀人「学術情報システムの現状と展望:第55回日本医学図書館協会総会 特別講演1」,『医学図書館』,32(1),1985.03,p4-11.

- [1985/03/In] 猪瀬博「文献情報センター・システムの運用開始にあたって」、『文献情報センターニュース』, No.7, 1985.03, p1
- [1985/03/In] 井上如「アンケート結果の要約：第3回文献情報センター・シンポジウムの報告」、『文献情報センターニュース』, No.7, 1985.03, p77
- [1985/03/Ka]「文献情報センター第3回シンポジウム」、『カレントアウェアネス』, no.68, 1985.08, p5-6.
- [1985/03/Ka]「和図書館データベース・オンライン実験館探訪記」、『カレントアウェアネス』, no.68, 1984.03, p5-6
- [1985/03/Ku] 黒沢正彦, 西村徹「マークをうまく使うには：機械可読目録入門」(三洋出版貿易), 1984.03, 310p. * 内容：なぜマークは生まれたか(丸山昭二郎)ほか4章, マークにはどんな種類があるか(渡部満彦)ほか2章, ジャパン・マーク(田村貴代子), 日本で市販されているマーク(戸田あきら), マークはどう使ったらよいか(鶴田真也), マーク利用の実際(及川美知子, 伊藤峻, 常世田良, 石塚英弘, 沢田創, 山崎久道, 黒沢正彦), マークに関する文献目録(西村徹)
- [1985/03/Ma] 松本和子「慶應義塾大学三田情報センターにおける海外 ILL 実務の実際」,『私立大学図書館協議会東地区研究部会 相互協力研究分科会報告』, 1, 1985.03, p25-34.
- [1985/03/Ne] 根岸正光, 井上如「文献情報センター・システムの研究開発(昭和58~59年度)」,『文献情報センターニュース』, No.7, 1985.03, p2-7
- [1985/03/No] 野村文保「JAPAN/MARC について」,『私立大学図書館協議会東地区部会研究報告書』, (昭和59年度), 1985.03, p59-69.
- [1985/03/Ok] 奥泉栄三郎「アメリカにおける図書館相互協力の周辺」,『私立大学図書館協議会東地区研究部会 相互協力研究分科会報告』, 1, 1985.03, p5-20.
- [1985/03/Ok] 奥泉栄三郎「米国における図書館相互協力について」,『私立大学図書館協議会東地区研究部会 相互協力研究分科会報告』, 1, 1985.03, p55-78.
- [1985/03/On] 小野田尚子「カード体目録から機械可読目録へ：省スペースを主眼とした一考察」,『医学図書館員セミナー論文集』, Vol.19 (第19回), 1985.03, p127-135.
- [1985/03/Sh] 柴田正美「大学図書館における MARC の活用と問題点」,『図書館界』, 36(6), 1985.03, p390-395
- [1985/03/Sh] 篠田昌江「機械化による雑誌管理システムの一考察」,『医学図書館員セミナー論文集』, Vol.11 (第11回), 1985.03. * 副書名：「今日の医学図書館における諸問題」.
- [1985/03/Su] 鈴木卓美「Japan/MARC の利用上の問題点及びその対処方法：金城学院大学図書館の場合」,『館灯』(私立大学図書館協議会西地区部会東海地区協議会), 23, 1985.03, p9-27.
- [1985/03/Ta] 平均, 松井博「図書館機械化の概要と Japan MARC の利用について」,『私立大学図書館協議会東地区部会研究報告書』, (昭和59年度), 1985.03, p41-46.
- [1985/03/To]「東京大学文献情報センターの『目録端末』」,『カレントアウェアネス』, no.68, 1985.3, p5
- [1985/04/Da] 大学図書館研究集会記録編集委員会編「文献情報センターシステムと大学図書館の対応：大学図書館研究集会記録；第5回」, 日本図書館協会大学図書館部会, 1985.04, 65p. * 国公立大学図書館協力委員会との共同刊行。発売：学術文献普及会。神奈川県立婦人総合センター, 昭和59年11月29日~30日。内容：「文献情報センターシステムの展開(基調講演)」(宮澤彰), 「学術情報システムにおける大学図書館の役割(基調講演)」(倉橋英逸)
- [1985/04/Iw] 岩井信子, 山上豊「『学術雑誌総合目録 和文編(新版)』刊行のための当館所蔵調査を終えて：二, 三の感想」,『うんてい』(奈良県立奈良図書館), 46, 1985.04.
- [1985/04/Su] 杉山誠司「『JAPAN/MARC の問題点の認識とその対処法：文献による考察』,『研修フォーラム』(法音寺学園日本福祉大学), 31号, 1985.04, p1-25.
- [1985/05/BI] Bloss, Majorie E「総合目録に掲載されなかったもの：データベースにない逐次刊行物」,『ライブラリアンズ・フォーラム』, 2(1), 1985.05, p46-51.
- [1985/05/De] DeGennaro, Richard「図書館の機械化とネットワーク：その30年をふりかえって」,『ライブラリアンズ・フォーラム』, 2(1), 1985.05, p39-45.

- [1985/05/Gu] 郡司良夫,石川徹也「LC-MARC データベースにおける ISBN の問題点」,『図書館界』,37(1), 1985.05, p37-43.
- [1985/05/Ka] かみかた機械化研究グループ,大学図書館問題研究会出版部編『「学術情報システム」その現状と課題:研究情報と大学図書館のゆくえ』枚方,大学図書館問題研究会出版部(大図研シリーズ; No.9), 1985.05, 51,36p. *「かみかた機械化研究グループの思想と行動」,藤本郁子ほか「「学術情報システム」へ至る五つの道」,「学術情報システムに関する文献目録」など収録。
- [1985/05/Ku] 栗山正光「オンライン目録データの品質管理:筑波大学附属図書館の場合」,『大学図書館研究』,No.26, 1985.05, p13-20
- [1985/05/Mo] 森田一子「Shared Cataloging に於ける品質向上への努力:OCLC の場合」,『大学図書館研究』,No.26, 1985.05, p8-12.
- [1985/05/Na] 長島敏樹「JAPAN MARC と TRC MARC:比較検討と問題点の理」,『大学図書館研究』,No.26, 1985.05, p21-28.
- [1985/05/Na] 中川晃次郎「整理業務の諸問題」,『ビブリア』(天理図書館), 84, 1985.05, p39-41. *天理図書館における整理業務の電算処理について。
- [1985/05/Ya] 山口和之「機械可読書誌レコードの国際交換と著作権に関する IFLA の調査報告」,『科学技術文献サービス』(国立国会図書館), no.68, 1985.05, p31-33.
- [1985/05/Ya] 山田常雄「ヨチヨチ歩き始めた「ガクジョーカ」」,『檜蔭:北海道大学附属図書館報』,65, 1985.05, p8-9.
- [1985/05/Yo] 吉田昭「国立大学図書館の現物貸借について」,『大学図書館研究』,No.26, 1985.05, p.
- [1985/06/Ho] 堀江幸司,山根京「『医学洋書総合目録』の誕生:ユニオン・カタログ小史(5)」,『医学図書館』,32(2), 1985.06, p197-207.
- [1985/06/Ho] 星野駿「漢字データベースの開発をめぐって」,『図書館情報大学附属図書館報』,1(2), 1985.06
- [1985/06/Ik] 池田昌昭「目録電算化への試み」,『私立大学図書館協会会報』,通号 84, 1985.06, p89-99.
- [1985/06/Na] 内藤衛亮「ビブリオグラフィック・ユティリティをめぐる諸問題」,『図書館学会年報』,31(2), 1985.06, p92. *日本図書館学会月例研究会発表要旨時の標題:「ビブリオグラフィック・ユティリティ:書誌サービス機構」(1985.2.16)
- [1985/06/Na] 内藤英雄「学術情報システムの現在:東京工業大学附属図書館のケース」,『現代の図書館』,23(2), 1985.06, p105-106
- [1985/06/Ya] 山本勝弘「大学図書館における業務機械化の問題点」,『私立大学図書館協会会報』,通号 84, 1985.06, p112-115.
- [1985/06/Ya] 山本貴子「<連載>『学術情報システム』の基礎知識;(3):反システム派の意見を検討する」,『大学の図書館』,4(3), 1985.06, p24-27.
- [1985/07/Ch] 千代正明「図書館の機械化:図書館員が犯(マ)しがちな重大な誤り」,『専門図書館』No.104, 1985.07, p23-25.
- [1985/07/Ki] 木村正昭「文献複写申込に対する謝絶:岡山大学附属図書館農業生物研究所分館における謝絶の実情<昭和 58 年度分のまとめ>」,『図書館界』,Vol.37, No.2, 1985.07, p80-82,89.
- [1985/07/Ni] 日本教職員組合大学部編『学術情報システムと大学図書館:討議資料』(日本教職員組合大学部), 1985.07, 45p.
- [1985/07/To] [東北大学附属図書館]『東北大学図書館情報処理システム計画(概要)』『木道子』(東北大学附属図書館), 10(1)別冊, 1985.07. 1冊.
- [1985/08/Ad] 安達淳「画面アプリケーション向けネットワークプロトコルの開発」,『東京大学文献情報センター紀要』,第 1 号, 1985.08, p86-129
- [1985/08/Ad] 安達淳「N-1 仮想端末プロトコルの拡張」,『東京大学文献情報センター紀要』,第 1 号, 1985.08, p130-170.

- [1985/08/Ha] 原田悟「文献情報センター・システム『解釈と鑑賞』から『参加と創造』へ」、『東京大学文献情報センター紀要』, 第1号, 1985.08, p193-205
- [1985/08/Ha] 橋爪宏達ほか「図書館ネットワークの構成方法と展開」、『東京大学文献情報センター紀要』, 第1号, 1985.08, p63-85
- [1985/08/Ho] 北海道大学附属図書館システム設計部会(文責:小西和信)「北海道大学オンラインシステム:利用者優先のシステムを目指して:北海道大学附属図書館システム設計部会報告」、『檜蔭:北海道大学附属図書館報』, No.66, 1985.08, p7-17.
- [1985/08/Ho] 堀孝彦「『学術情報システム』問題:研究者の岐路」、『大学の図書館』, 4(5), 1985.08, p65-66.
- [1985/08/It] 板橋瑞夫「医学洋書総合目録」、『書誌索引展望』, Vol.9, no.3, 1985.08, p26-28.
- [1985/08/Ka] 「文献情報センター第4回シンポジウム」、『カレントアウェアネス』, no.73, 1985.8, p6-7
- [1985/08/Ka] 片山淳「逐次刊行物情報を巡るシステム化の現状と問題点:学術情報システムとの関わりにおける考察」、『東京大学文献情報センター紀要』, 第1号, 1985.08, p232-241
- [1985/08/Ma] 丸山昭二郎「『日本目録規則』の総則(案)と書誌階層について」、『図書館雑誌』, 79(8), 1985.08, p466-468.
- [1985/08/Mi] 宮本明雄, 内藤英雄「文献情報センター・目録システムと図書館業務システムの接続:東京工業大学における適用事例」、『東京大学文献情報センター紀要』, 第1号, 1985.08, p171-192
- [1985/08/Mi] 宮澤彰「拡張文字セットについて」、『東京大学文献情報センター紀要』, 第1号, 1985.08, p29-62
- [1985/08/Mo] 森岡祐二「図書館ネットワークと当館の対応」、『館燈』(名古屋大学附属図書館), 79, 1985.8
- [1985/08/Ne] 根岸正光, 井上如「文献情報センター・システムの研究開発(昭和58~59年度)」、『東京大学文献情報センター紀要』, 第1号, 1985.08, p1-7
- [1985/08/Ne] 根岸正光「欧文雑誌名の中の綴り誤り、類似語の検出方法(1):雑誌目録データベースのためのオーセンティケーション・システムへの接近」、『東京大学文献情報センター紀要』, 第1号, 1985.08, p9-28.
- [1985/08/Ta] 田辺広「大学図書館のユニオン・カタログをめぐって(〈特集〉戦後40年の歩みの中から:「21世紀の図書館」のために)」、『図書館雑誌』, 79(8), 1985.08, p452-454.
- [1985/08/Sa] 佐藤義則「ネットワークと図書館の変容」、『東京大学文献情報センター紀要』, 第1号, 1985.08, p289-295.
- [1985/08/To] 外山良子「RLG(調査研究図書館グループ)の現況とその運営」、『ライブラリアンズ・フォーラム』, 2(2), 1985.08, p31-37.
- [1985/08/Ya] 山田常雄「学術情報システムの一環としての北海道大学図書館オンラインシステム」、『北海道地区大学図書館職員研究集会記録』, 第28回, 1985.08, p19-28. *8月2日の講演記録
- [1985/08/Ya] 安永勉「学術情報システムに対する学内整備:愛媛大学附属図書館の場合」、『東京大学文献情報センター紀要』, 第1号, 1985.08, p257-264.
- [1985/09/Ab] 阿部博則「駒沢大学図書館の現状と将来」、『文献情報センターニュース』, no.8, 1985.9, p39.
- [1985/09/Bu] 文献情報センター「目録所在情報サービス利用の手引き」, 文献情報センター, 1985.9, 197p
- [1985/09/Ha] 浜瀬善雄「関西大学総合図書館の開館と大学図書館の直面する課題」、『丸善ライブラリーニュース』, 131, 1985.08, p1-7.
- [1985/09/Ha] 原田勝「目録規則, 目録情報, 目録システム:文献情報センター「目録情報の基準(検討案)」を読んで」、『図書館雑誌』, 79(9), 1985.09, p566-568.
- [1985/09/Ho] 本郷清次郎「文献情報センターと琉球大学附属図書館」、『文献情報センターニュース』, no.8, 1985.09, p41.
- [1985/09/In] 井上如「文献情報センターの近況から」、『文献情報センターニュース』, no.8, 1985.09
- [1985/09/Iw] 岩下康夫「日本目録規則(NCR)本版案における多段階記述についての一考察」、『図書館学』,

- (西日本図書館学会), 47, 1985.09, p1-15.
- [1985/09/Ka] 「大学図書館における業務レベルの測定：時間にもとづくアプローチ」, 『カレントアウェアネス』, no.74, 1985.09, p3-4.
- [1985/09/Ka] 「図書館情報大学の図書館トータルシステム<LIAISON>」, 『カレントアウェアネス』, no.74, 1985.09, p4-5.
- [1985/09/Ma] 丸谷治一「学術情報システムと大学図書館のインターフェース」, 『図書館の窓』, (東京大学総合図書館), 24(9), 1985.09
- [1985/09/Mi] 宮澤彰「文献情報センターシステムの現況」, 『文献情報センターニュース』, no.8, 1985.09, p.5-11
- [1985/09/Mi] 宮澤彰, 大山敬三「目録システムの運用と開発の現況」, 『文献情報センターニュース』, no.8, 1985.09, p18-25
- [1985/09/Na] 内藤英雄「東京大学文献情報センター・システムへの接続事例」, 『文献情報センターニュース』, no.8, 1985.09, p.11-12
- [1985/09/Ne] 根岸正光「昭和60年度研究開発計画の概要」, 『文献情報センターニュース』, no.8, 1985.09, p.2-4
- [1985/09/Ne] 根岸正光, 石井啓豊「雑誌目録データベースの形成と学術雑誌総合目録編集事業」, 『文献情報センターニュース』, no.8, 1985.09, p.26-28
- [1985/09/Oo] 大井敏暉「成蹊大学図書館(漢字処理)へ向けて MARC 実験」, 『文献情報センターニュース』, no.8, 1985.09, p.40-41
- [1985/09/To] [東京大学文献情報センター]目録情報掛「中国語・韓国・朝鮮語圖書の目録に関するアンケート結果」, 『文献情報センターニュース』, no.8, 1985.09, p35-37.
- [1985/09/Ya] 山田常雄「附属図書館学術情報課の設置にあたって」, 『北大時報』, 378, 1985.09, p8-9.
- [1985/10/Ga] 学術情報システムを大学図書館の現場から考える研究討論集会世話人編『学術情報システムを大学図書館の現場から考える：1985.7 研究討論集会報告集』, 学術情報システムを考える会, 1985.10, 52p.
- [1985/10/Ma] 丸山昭二郎「漢字文化圏における機械可読書誌情報の標準化について」, 『びぶるす』, 36(10), 1985.10, p226-232.
- [1985/10/Ma] 松井博「これまでの『論争』の反省と今後の希望」, 『大学の図書館』, 4(7), 1985.10/11.
- [1985/10/Ni] 日本図書館協会編刊『日本目録規則 本版2次案』, 日本図書館協会, 1986.10, 102p.
- [1985/10/Sh] Shimomura, Masamitsu「医学洋書総合目録のファイル管理と編集システム」, "Proceedings of the 5th Congress on Medical Librarianship.", (1巻), 1985.10, p640-649. * 英文
- [1985/11/Ka] 「Japan-MARC と取次系 MARC：タイムラグと書誌データの比較」, 『カレントアウェアネス』, no.76, 1985.11, p3-5.
- [1985/11/Wa] 渡辺敏一「図書館業務機械化の史的パースペクティブ」, 『短期大学図書館研究』(私立短期大学図書館協議会), 6, 1985.11, p6-11.
- [1985/12/As] 浅井三千治, 杉町宏「<研究>私立大学図書館における機械化の展望」, 『私立大学図書館協会会報』, 通号 85, 1985.12.
- [1985/12/Bu] 文献情報センター目録情報掛「学術雑誌総合目録欧文編 新版データ調査の概要」, 『文献情報センターニュース』, no.9, 1985.12, p.3-5
- [1985/12/Bu] 「接続図書館説明会開催」, 『文献情報センターニュース』, no.9, 1985.12, p8-9
- [1985/12/Fu] 船越一英「関西大学の図書館電算システム」, 『大学図書館研究』, No.27, 1985.12, p56-65.
- [1985/12/Ha] 浜瀬善雄「大学図書館の直面する課題：関西大学としての対応」, 『大学図書館研究』, No.27, 1985.12, p51-55.
- [1985/12/Is] 石塚英弘[ほか]「図書館情報大学の図書館トータルシステム LIAISON;2：図書館管理サブシステム」, 『大学図書館研究』, No.27, 1985.12, p39-50.

- [1985/12/It] 伊藤祐三「大阪大学附属図書館の接続状況」、『文献情報センターニュース』,No.9,1985.12, p12-13
- [1985/12/Ki] 菊池亮一（明治大学図書館）「ILIS 目録検索システムと洋雑誌データの遡及入力」、『大学図書館研究』, No.27, 1985.12, p74-84. * ILIS-富士通の大規模図書館向けシステム
- [1985/12/Ki] 北風貴紫「早稲田大学図書館における目録システムの開発」、『大学図書館研究』, No.27, 1985.12, p66-73.
- [1985/12/Ky] 京都大学附属図書館機械化実施委員会目録管理推進班「京都大学附属図書館目録システムの現状」、『文献情報センターニュース』, No.9, 1985.12, p14-16
- [1985/12/Ma] 松田文子, 城省自「オフコンによる図書館機械化システム: Japan MARC の利用を中心として」、『ドキュメンテーション研究』, 35(12), 1985.12, p60-62.
- [1985/12/Ma] 松野とも子「東京大学文献情報センターシステムと ISSN」、『文献情報センターニュース』, No.9, 1985.12, p20
- [1985/12/Mo] 森岡祐二「ネットワーク接続まで: 名古屋大学附属図書館の事例」、『文献情報センターニュース』, no.9, 1985.12, p13-14
- [1985/12/Na] 永田治樹「学術雑誌総合目録と文編データベースの編集」、『大学図書館研究』, No.27, 1985.12, p15-34.
- [1985/12/Na] 長田秀一（亜細亜大学）「学術雑誌総合目録を用いた心理学関係の洋雑誌分析」、『医学図書館』, Vol.32, No.4, 1985.12, p358-370.
- [1985/12/Na] 内藤英雄「図書から雑誌へ: 東京工業大学のケース」、『文献情報センターニュース』, no.9, 1985.12, p.11-12
- [1985/12/Na] 内藤英雄「文献情報ネットワークの現在: 接続館の側から」、『ライブラリアンズ・フォーラム』, 2(3), 1985.12, p53-54
- [1985/12/Oj] 尾城孝一「書誌所在データベースと二次情報データベースの統合に向けて: モデル・システムの作成」、『文献情報センターニュース』, no.9, 1985.12, p.18.
- [1985/12/Ta] 谷内聡, 内藤英雄「ネットワーク接続の完成へ向けて: 東京工業大学からの短い報告」、『大学図書館研究』, No.27, 1985.12, p35-38
- [1985/12/Ts] 辻川輝男「ローカルの雑誌管理システムと学術雑誌総合目録所蔵データ: 受入から製本・所蔵データへの流れと学総目録データ形式への変換」、『文献情報センターニュース』, no.9, 1985.12, p.20
- [1985/12/Ya] 山本貴子「『学術情報システム』の基礎知識(3)を検討する』を読んで」、『大学の図書館』, 4(9), 1985.12, p12.

1986年(昭和61年)

- [1986/00/Ne] 根岸正光「学術情報システム: 過去から未来へ」、『言語生活』(筑摩書房), 419, 1986, p48-55.
- [1986/00/Us] 牛崎進「オンライン協同分担目録作業: 立教大学図書館における3年間の Utlas の利用分析を通して」、『Library and Information Science』, no.24, 1986, p57-70.
- [1986/01/Da]「<研究・研修>第5回東京大学文献情報センターシンポジウム」、『大学図書館協力ニュース』, 6(5), 1986.01, p1
- [1986/01/It] 伊藤陽子「学術情報システムと音楽図書館との関わりについて(報告): '85 音図協合宿における文献情報センター宮澤先生のお話から」、『MLAJ newsletter』(音楽図書館協議会), 7(5), 1986.01, p1-5.
- [1986/02/Bu] 文献情報センター「目録情報係『目録情報の基準(検討案)』に関するアンケート結果の要約(2)」、『文献情報センターニュース』, No.10, 1986.02, p38-39.
- [1986/02/Ha] 橋爪宏達「VTSS 方式による新接続サービス」、『文献情報センターニュース』, No.10, 1986.02, p23-31
- [1986/02/Ic] 市川惇信「学術情報センターに期待する」、『文献情報センターニュース』, No.10, 1986.02, p1-2.

- [1986/02/It] 伊藤祐三「大阪大学附属図書館における文献情報センターシステムの接続利用：現状と今後の課題」、『文献情報センターニュース』, No.10, 1986.02, p3-13.
- [1986/02/Ka] 加藤誠之助「オンライン化の進展に向けて：大学図書館の対応：第6回大学図書館研究集会開かる」、『図書館雑誌』, 80(2), 1986.02, p70
- [1986/02/Ma] 丸山昭二郎「文献情報センター『目録情報の基準（検討案）』作成における考え方」、『文献情報センターニュース』, No.10, 1986.2, p31-38
- [1986/02/Ne] 根岸正光, 郷端清人「オンライン雑誌目録システムの運用と学術雑誌総合目録欧文編新版データベースの開発」、『文献情報センターニュース』, No.10, 1986.02, p14-22
- [1986/03/Ad] 安達淳, 橋爪宏達「目録システムの利用状況」、『文献情報センターニュース』, No.11, 1986.03, p7-13
- [1986/03/Bu] 文献情報センター目録情報掛「学術雑誌総合目録欧文編 データ提出状況について」、『文献情報センターニュース』, No.11, 1986.03, p6-7
- [1986/03/Da] 大学図書館問題研究会かみかた機械化研究グループ「利用者の求める情報流通を：学術情報システムの現実と課題」、『みんなの図書館』, (通号106), 1986.03, p42-53.
- [1986/03/Da] 「第2回文献情報センター図書館ネットワーク専門委員会の概要」、『大学図書館協力ニュース』, 6(6), 1986.03, p3
- [1986/03/Ho] 堀江幸司, 山根京「『医学洋書総合目録』の誕生：ユニオン・カタログ小史(6)」、『医学図書館』, 33(1), 1986.03, p58-65. *第33回総会(昭和37年) - 第35回総会(昭和39年)
- [1986/03/In] 猪瀬博編「学術情報システムの環境分析と構築プロセスの研究；昭和60年度」, 東京大学文献情報センター, (昭和63年度), 1986.03, 120p. *内容：1)大学図書館のシステム化に関するアンケート調査：定量及び定性分析, 2)大学図書館のシステム化と共同分担目録システムも総合分析, 3)書誌データの自動照合手法の研究：綴り誤り, 変形綴り, 類字語の検出。
- [1986/03/Is] 石井啓豊「学術情報システムと[sic]現状と今後の方向」、『大学生協???』, 1986.03, p2-11
*東大生協主催の学術情報システム・シンポジウムでの講演記録。
- [1986/03/It] 伊藤茂夫「中小規模大学図書館における電算化の基本的認識」、『文献情報センターニュース』, No.11, 1986.3, p17
- [1986/03/Iw] 岩猿敏生(関西大学文学部)「図書館情報とネットワークについて」、『技苑』(ISSN02856301), No.47, 1986.03, p3-7.
- [1986/03/Ka] 柿沼澄男「東京大学文献情報センターのTRC・MARCに関して：変換時における問題点の整理」, 『文献情報センターニュース』, No.11, 1986.03, p18
- [1986/03/Na] 永田治樹「学術情報システムにおける大学図書館：東京大学図書館の場合」, 『大学生協???』, 1986.03, p12-18. *東大生協主催の学術情報システム・シンポジウムでの講演記録。
- [1986/03/Na] 内藤衛亮「東京大学文献情報センターの現状と今後」, 『あいみっく』, Vol.7, No.1, 1986.03, p14-19.
- [1986/03/No] 野沢豊子「どこまで機械化することが出来るか：小規模図書館の目録システム」, 『医学図書館員研究集会論文集』, Vol.20(第20回), 1986.03, p81-86.
- [1986/03/Ok] 岡崎義富訳「稀観書の書誌記述：AACR2, ISBD(A)形式による稀観書及びその他の特殊印刷資料の記述目録/[アメリカ議会図書館]整理サービス局記述目録方策担当室編」(一橋大学社会科学古典資料センター), 1986.03, 62p. *内容：タイトルと責任表示エリア, 一枚ものの出版物, 特殊細目エリア, 注記エリアほか, 実例, 用語解説。
- [1986/03/Sh] 渋谷雅俊「慶応義塾大学の学術情報システム構想について」, 『大学生協???』, 1986.03, p19-27. *東大生協主催の学術情報システム・シンポジウムでの講演記録。
- [1986/03/Ta] 谷村章子「お国のために...：学総目の作業をめぐって」, 『大学の図書館』, 4(12), 1986.3, p182-183
- [1986/03/To] 図書館情報大学附属図書館「LIASON 開発報告書：図書館情報大学における図書館業務トー

- タルシステム』(図書館情報大学附属図書館), 1986.03, 375p.
- [1986/03/Ts] 津田良成「学術情報センターへの積極的な協力の必要」,『文献情報センターニュース』No.11, 1986.03, p1-2.
- [1986/03/Ud] 宇土行良「大学図書館における文献複写業務処理上の諸問題」,『図書館学』(西日本図書館学会), no.48, 1986.03, p11-20.
- [1986/03/Wa] 渡辺章夫「電算化の進展に伴う目録業務の変化について:徳島大学附属図書館蔵本分館の事例」,『医学図書館員セミナー論文集』, Vol.12 (第12回), 1986.03, p185-193.
- [1986/03/Wa] 渡部哲夫「学術雑誌総合目録データベースの多面的利用に関する考察:医学系図書館を背景として」,『文献情報センターニュース』, No.11, 1986.3, p19
- [1986/03/Yu] 由良信道「接続前後: CBI システムとローカルシステムの融合をめざして」,『文献情報センターニュース』, No.11, 1986.3, p13-14.
- [1986/04/Da] 大学図書館研究集会記録編集委員会編『オンライン化の進展に向けて:大学図書館の対応:大学図書館研究集会記録;第6回』,日本図書館協会大学図書館部会, 1986.04, 82p. * 国公立大学図書館協力委員会との共同刊行。発売:学術文献普及会。国立教育会館筑波分館, 昭和60年12月12日~14日。
- [1986/04/Ta] 田村貴代子「JAPAN MARC と書誌情報」,『情報管理』, 29(1), 1986.04, p61-75.
- [1986/04/Ta] 田中久文「業務電算化稼動を前にして」,『図書館の窓』(東京大学附属図書館) 25(4), 1986.04, p39-41.
- [1986/05/To] 豊田邦雄「日本目録規則本版案における書誌階層と多巻もの」,『図書館界』, 38(1), 1986.05, p26-30.
- [1986/06/Ha] 原田悟「図書館業務とネットワーク・システム:外部システムとのインターフェイスを軸に」,『大学図書館研究』, No.28, 1986.06, p5-33.
- [1986/06/Hi] 樋川清司「マーク関連問題の再整理」,『私立大学図書館協会会報』, 通号 86, 1986.06, p60-64.
- [1986/06/Hi] 平元健史「京都工芸繊維大学附属図書館の選択と現状:人間ネットワークを基礎に」,『学術情報センターニュース』, No.1, 1986.06, p13-15.
- [1986/06/Is] 石川忠雄「開かれた学術情報システムの実現を」,『学術情報センターニュース』, No.1, 1986.06, p7.
- [1986/06/Ka] 川瀬正幸「文献情報センター・目録システムへの接続と既存システムの改造:名古屋大学に於ける模索」,『大学図書館研究』, No.28, 1986.06, p17-24.
- [1986/06/Na] 永田治樹「東京大学図書館のデータベースシステム(既接続図書館だより)」,『学術情報センターニュース』, No.1, 1986.06, p17-19.
- [1986/06/Na] 永田治樹「日本目録規則(NCR)新版の課題と本版案の特徴」,『図書館の窓』(東京大学附属図書館), 25(6), 1986.06, p66-68.
- [1986/06/Ni] 二宮純恭「北部九州地区におけるオンラインネットワーク接続の方法と運用の実際」,『大学図書館研究』, No.28, 1986.06, p34-45.
- [1986/06/Su] 杉野哲谷「JAPAN/MARC の利用について」,『私立大学図書館協会会報』, 86, 1986.06, p139-182.
- [1986/06/Ta] 高木昭「名古屋工業大学附属図書館における業務電算化・ネットワークの接続について」,『学術情報センターニュース』, No.1, 1986.6, p15-17.
- [1986/06/Ta] 高畑悦子「幅広い検討と統一を:シンポジウム「学術情報システムと大学図書館」を聴いて」,『図書館雑誌』, 80(6), 1986.06, p337-339.
- [1986/06/Ts] 達昭二「北海道大学図書館オンラインシステム」について(既接続図書館だより)」,『学術情報センターニュース』, No.1, 1986.06, p11-12.
- [1986/06/Us] 牛崎進「学術情報システムと私立大学図書館」,『私立大学図書館協会会報』, 通号 86, 1986.06, p52-59.
- [1986/07/Ch] [中国四国地区大学図書館協議会]「目録業務の今後:学術情報システムとの絡みの中で(研

- 究討議」,『中国四国地区大学図書館協議会誌』, 26, 1986.07, p11-12.
- [1986/03/0o] 大塚奈奈絵, 脇野京子「日本科学技術関係逐次刊行物目録のデータベース化」,『科学技術文献サービス』(国立国会図書館), no. 77, 1986.03, p1-5.
- [1986/07/Sh] 柴田正美「学術情報システムという名のネットワーク(第 27 回[日本図書館協会]研究大会: 図書館協力の可能性を探る: オンライン・ネットワークの構想を検証する<シンポジウム>)」,『図書館界』, 38(2), 1986.07, p62-66.
- [1986/07/Sh] 志保田務, 野口恒雄, 三浦整, 吉田暁史「日本目録規則本版 2 次案批判」,『図書館界』, 38(2), 1986.07, p88-92.
- [1986/08/Ka] かみかた機械化研究グループ『文部省学術情報システムへの評価と提言; 1986 年 8 月版』枚方, 大学図書館問題研究会出版部(大図研シリーズ; No.10), 1986.08, 94p.
- [1986/09/Hi] 廣田とし子「逐次刊行物のオンライン処理システムについて: NOTIS 及び OCLC」,『逐次刊行物分科会報告』, 46, 1986.09, p47-52.
- [1986/09/Ho] 星けい子「外部 MARC 利用によるシステム化」,『私立大学図書館協会会報』, 通号 87, 1986.09, p122-148.
- [1986/09/In] 猪瀬博「学術情報システムの展開(学術情報システムの展開<特集>)」,『大学と学生』, 通号 247, 1986.09, p1-6.
- [1986/09/In] 井上如「学術雑誌総合目録におけるネットワーク(昭和 61 年度[専門図書館協議会]全国研究集会<特集>: 全体会 2)」,『専門図書館』, 通号 110, 1986.09, p84-90.
- [1986/09/In] 井上如「学術情報センターの目的と機能(学術情報システムの展開<特集>)」,『大学と学生』, 通号 247, 1986.09, p7-12.
- [1986/09/Iw] 岩下康夫「“ 著作単位 ” “ 書誌単位 ” と “ 書誌階層 ”: 日本目録規則本版案批判試論」,『図書館界』, 38(3), 1986.09, p148-154.
- [1986/09/Mo] 文部省学術国際局学術情報課「学術情報システムの整備について(学術情報システムの展開<特集>)」,『大学と学生』, 通号 247, 1986.09, p31-35.
- [1986/09/Na] 内藤衛亮「海外における学術情報システム: 特に米国の状況について(学術情報システムの展開<特集>)」,『大学と学生』, 通号 247, 1986.09, p25-30.
- [1986/09/Od] 小田泰正「書誌情報データベースのファイル構造: ローカル・システムの場合」,『図書館界』, Vol. 38, No. 3, 1986.09, p136-142.
- [1986/09/Ts] 津田良成「慶應義塾大学における学術情報システムへの対応(学術情報システムの展開<特集>)」,『大学と学生』, 通号 247, 1986.09, p19-24.
- [1986/09/Us] 牛崎進「目録データの Retrospective Conversion」,『図書館学会年報』, 32(3), 1986.09, p108. * 日本図書館学会月例研究会発表要旨(1986.7.19)
- [1986/09/Ya] 山本貴子「学術情報システムの成立過程とその背景」,『逐次刊行物研究分科会報告』, 第 46 号, 1986.09, p33-43.
- [1986/09/Ya] 山崎弘郎「東京大学における学術情報システム(学術情報システムの展開<特集>)」,『大学と学生』, 通号 247, 1986.09, p13-18.
- [1986/10/Br] ブラウン, ローランド C.W.; 内藤衛亮通訳「OCLC の現状と将来: 特別講演会記録」,『学術情報センターニュース』, 2, 1986.10, p1-7. * 5 月 9 日, 東京大学附属図書館。
- [1986/10/Ga] 学術情報センター研修・資料係「第 1 回総合目録データベース実務研修終わる」,『学術情報センターニュース』, No. 2, 1986.10, p36.
- [1986/10/Ga] 学術情報センター目録情報係「学術雑誌総合目録欧文編データ全国調査集計報告」,『学術情報センターニュース』, No. 2, 1986.10, p28-33.
- [1986/10/Ga] 学術情報センターシステム業務係「総合目録データベース個別版提供について」,『学術情報センターニュース』, No. 2, 1986.10, p34-35.
- [1986/10/In] 井上如「研究活動と学術情報システム(第 1 回学術情報センターシンポジウム報告 1)」,『学

術情報センターニュース』, No.2, 1986.10, p8-10.

[1986/10/Ko] 小山弘志「日本文学研究資料と学術情報システム(第1回学術情報センターシンポジウム報告1)」,『学術情報センターニュース』, No.2, 1986.10, p11-13.

[1986/10/Ky] 京藤真「富山大学附属図書館の接続状況」,『学術情報センターニュース』, No.2, 1986.10, p37-39.

[1986/10/Oo] 大井敏曜「成蹊大学図書館の電算化の現況」,『学術情報センターニュース』, No.2, 1986.10, p40-41.

[1986/11/In] 猪瀬博「学術情報センターの発足に当たって」,『学術月報』, 39(11), 1986.11, p830-838

[1986/11/Ko] 高谷康子「学術情報センター「オンライン目録システム」について」,『KULIC』, 20, 1986.11, p12-14.

[1986/12/Ga] 学術情報センター図書目録情報係「登録時の注意事項」,『オンライン・システムニュースレター』, No.2, 1986.12.08. * 流用入力と書誌検索の注意。

[1986/12/In] 井上如「文献情報センターから学術情報センターへ: 情報特性論からのスケッチ」,『大学図書館研究』, No.29, 1986.12, p41-43.

[1986/12/Na] 中井えり子「学術情報センター目録システムを利用して: 参加館における一つの実験」,『整理技術研究』, 23, 1986.12, p18-44.

[1986/12/Na] 中里龍瑛(日本医学図書館協会)「四部刊行ことはじめ: 医学図書館・外国医学雑誌総合目録・ユニオンカタログ増加篇(増加目録)・現行医学雑誌所在目録」,『医学図書館』, Vol.33 No.4, 1986.12, p309-315. * 医図協刊行物について, 著者が編集に携わっていた期間の回想。

[1986/12/Og] 小川光男「UTLASの実験利用から本稼働へ: 中京大学附属図書館に於ける事例」,『中京大学図書館学紀要』, 7, 1986.12, p67-77. * 第33回日本図書館学会研究会(相山女学園, 昭和60.11.9-10)発表の加筆訂正。

[1986/12/Sa] 佐々木光子「北海道大学図書館オンラインシステム」,『オンライン検索』, 7(4), 1986.12, 157-163.

[1986/12/Ta] 高木忠「総合目録に関する一考察」,『図書館学研究報告』(東北大学), no.19, 1986.12, p82-89.

[1986/12/Ta] 高砂慶「北海道大学図書館オンラインシステムの概要」,『大学図書館研究』, No.29, 1986.12, p44-57.

[1986/12/Ue] 上田修一「分担目録作業(用語解説)」,『ドキュメンテーション研究』, 36(12), 1986.12, p636-638.

[1986/12/Yo] 吉田曉史「書誌階層の研究」,『帝塚山学院大学研究論集』, 21, 1986.12, p160-173.

1987年(昭和62年)

[1987/01/Ga] 学術情報センター研修・資料係「第2回総合目録データベース実務研修終えて」,『学術情報センターニュース』, No.3, 1987.01, p29-30.

[1987/01/Ha] 原田悟(南山大学)「接続のあとさき」,『学術情報センターニュース』, No.3, 1987.1, p17-19.

[1987/01/Ho] 北海道大学附属図書館編「北海道大学図書館オンラインシステム」(北海道大学附属図書館) 1987.01, 226p.

[1987/01/Ko] 小出いずみ「相互貸借による資料提供: ある国際比較の試み(国際化時代におけるライブラリアンシップ: 第52回IFLA東京大会を中心に)」,『図書館界』, Vol.38, No.5, 1987.01, p289-300.

[1987/01/Na] 永田治樹「OPACとネットワーク」,『図書館雑誌』, Vol.81, No.1, 1987.01, 34-35.

[1987/01/Na] 中井えり子「学術情報センター目録システムを利用して: 和図書の入力実験をふりかえって」,『学術情報センターニュース』, No.3, 1987.01, p20-22.

[1987/01/Ne] 根岸正光「電子計算機システムの更新にあたって」,『学術情報センターニュース』, No.3, 1987.01, p1-2.

[1987/01/Sa] 佐藤尚武「茨城大学の図書館システム」,『学術情報センターニュース』, No.3, 1987.01, p25-27.

- [1987/01/Un] 宇野弘純「北海道大学 (NEC) 図書館仕様端末とケース 2 開発」,『学術情報センターニュース』, No.3, 1987.01, p15-16.
- [1987/01/Wa] 渡部満彦,長島敏樹「現状報告: 慶應義塾大学三田情報センター」,『学術情報センターニュース』, No.3, 1987.01, p23-25.
- [1987/02/Ga] 学術情報センター図書目録情報係「教育用目録システムのサービスについて」,『オンライン・システムニュースレター』, No.4, 1987.02.10. *昭和 62 年 2 月 17 日から運用開始。
- [1987/02/Ga] 学術情報センター図書目録情報係「オンラインシステム C&R (特集:「目録情報の基準」の運用について)」,『オンライン・システムニュースレター』, No.5, 1987.02.27. *「目録情報の基準」に関する質問, 意見のうち重要なものについて, 昭和 61 年度総合目録委員会及び同小委員会の検討で結論を得たもの。
- [1987/02/Ma] 真弓育子,倉田啓子「目録作成におけるエキスパートシステム応用の可能性とその課題」,『情報の科学と技術』, 37(2), 1987.02, p57-65.
- [1987/03/Ad] 安達淳ほか「TSS 接続による仮想画面転送 (VTSS) 方式: 付録・TSS 接続による仮想画面転送 (VTSS) 方式」,『学術情報センター紀要』, 1 号, 1987.03, p73-89.
- [1987/03/Ch] [千葉大学附属図書館亥鼻分館]「千葉大学附属図書館亥鼻分館における目録業務の電算化状況」,『医学図書館員研究集会論文集』, Vol.21 (第 21 回), 1987.03, p121-124.
- [1987/03/Ga] 学術情報センター目録情報係「学術雑誌総合目録欧文編データ編集の現状」,『学術情報センターニュース』, No.4, 1987.03, p37-41.
- [1987/03/Ga] 学術情報センター図書目録情報係「フィールドの拡張について」,『オンライン・システムニュースレター』, No.6, 1987.03.13. *AL, PTBL, UTL の各フィールドを拡張。
- [1987/03/Ha] 橋爪登美雄「群馬大学の第二世代図書館システム」,『学術情報センターニュース』, No.4, 1987.03, p50-52.
- [1987/03/Ha] 橋爪宏達,宮澤彰「学総目調査と誤り訂正記号」,『学術情報センターニュース』, No.4, 1987.03, p42-45.
- [1987/03/Ha] 橋爪宏達,宮澤彰「誤り訂正記号の調査票記入への応用」,『学術情報センター紀要』, 1 号, 1987.03, p61-71.
- [1987/03/Ho] 本城和男「学術情報センターとの接続を終えて」,『学術情報センターニュース』, No.4, 1987.03, p53-55.
- [1987/03/Is] 石川徹也「図書館業務システム」『情報処理』, 28(3), 1987.03, p315-329.
- [1987/03/Ma] 丸山昭二郎編『新・目録法と書誌情報』, 雄山閣, 1987.03, 267p. *内容: アクセスポイント, 書誌単位とその関連付け, 書誌情報の記録 (蓄積) と利用 (出力), 目録規則の歴史ほか。
- [1987/03/Ma] 松野とも子「(研修レポート) 東京大学文献情報センターシステムと ISSN」,『学術情報センター紀要』, 1 号, 1987.03.
- [1987/03/Mi] 宮澤彰「学術情報センターの立場から (第 2 回学術情報センターシンポジウム報告 1)」,『学術情報センターニュース』, No.4, 1987.03, p13-15.
- [1987/03/Mo] 森茜「東京学芸大学附属図書館における業務電算化について」,『学術情報センターニュース』, No.4, 1987.03, p41-51.
- [1987/03/Oj] 尾城孝一 (名古屋大学附属図書館)「(研修レポート) 書誌所在データベースと二次情報データベースの統合に向けて: モデル・システムの作成」,『学術情報センター紀要』, 1 号, 1987.03.
- [1987/03/Oo] 大井敏曜「(研修レポート) 成蹊大学図書館機械化 (漢字処理) へ向けての MARC の実験: リレーショナル・データベースの応用」,『学術情報センター紀要』, 1 号, 1987.03, p133-147.
- [1987/03/Oo] 大山敬三「画面指向通信用簡易プロトコル VTSS のテストシステムおよびプロトタイプ端末システム」,『学術情報センター紀要』, 1 号, 1987.03, p91-107.
- [1987/03/Ts] 辻川輝男「(研修レポート) ローカルの雑誌管理システムと学術雑誌総合目録所蔵データ: 受入から製本・所蔵データへの流れと学総目所蔵データ形式への交換」,『学術情報センター紀要』, 1 号,

1987.03, p197-204.

[1987/03/Us] 牛崎進「(研修レポート) Recon から総合目録データベースへ」,『学術情報センター紀要』, 1号, 1987.03, p167-174.

[1987/04/Ga] 学術情報センター目録情報課「システムの不良対策について」,『オンライン・システムニュースレター』, No.7, 1987.04.30. * 検索キーの長さ制限, 著者名典拠レコードの重複チェック機構。

[1987/04/Ko] [国立国会図書館]「新収洋書総合目録について」,『国立国会図書館月報』, 通号 313, 1987.03, p27.

[1987/04/Mo] 森脇仁子, 山崎久道「わが国における各種 MARC データベースを使用したオンライン主題検索の問題点の分析」,『情報の科学と技術』, 37(4), 1987.04, p135-146.

[1987/04/Oo] 大塚奈奈絵「国立国会図書館和図書データベースの分析: オンラインによる科学技術関係図書の分析をもとに; 1」,『科学技術文献サービス』, 80, 1987.04, p20-24.

[1987/05/Mi] 宮澤彰「学術情報ネットワークシステム<特集>高度情報社会を支える公共情報システム」,『日立評論』, 69(5), 1987.05, p421-426.

[1987/05/Na] 永田治樹, 増田元, 大西直樹「アップロードとダウンロード: 目録所在情報ネットワークとローカルシステム」,『情報の科学と技術』, 37(5), 1987.05, p175-184

[1987/05/Na] 永田治樹「図書館ネットワークと OPAC: 東京大学図書館における新しい情報システム」,『大学図書館研究』, No.30, 1987.05, p33-43.

[1987/05/No] 野口幸生「RLIN と OCLC の CJK システム: 参加図書館の立場からの比較分析」,『書誌索引展望』, 11(2), 1987.05, p12-29.

[1987/05/Sa] 坂本博「洋図書機械化苦労話」,『国立国会図書館月報』, 通号 314, 1987.05, p10-17.

[1987/05/Us] 牛崎進「書誌ユーティリティにおける品質管理: 問題の所在と日本における展開」,『大学図書館研究』, No.30, 1987.05, p23-32.

[1987/06/Da] 大学図書館研究集会記録編集委員会編『大学図書館のシステム整備と開発に向けて: よりよい発展の方向をめざして: 大学図書館研究集会記録; 第7回』, 日本図書館協会大学図書館部会, 1987.06, 84p. * 国公立大学図書館協力委員会との共同刊行。発売: 学術文献普及会。東京都立大学会館, 昭和61年11月21日~22日。

[1987/06/Ko] 国立大学図書館協議会『大学図書館のシステム化: 図書館ネットワーク構築のために: 学術情報システム特別委員会ネットワーク専門委員会第1次報告』, 1987.06.

[1987/07/Oo] 大塚奈奈絵「国立国会図書館和図書データベースの分析: オンラインによる科学技術関係図書の分析をもとに; 2」,『科学技術文献サービス』, 81, 1987.07, p8-15.

[1987/07/Su] 菅原英一「写像論: 図書館目録についてのノート」,『北の文庫』, No.12, 1987.07, p5-10.

[1987/08/Ga] 学術情報センター目録情報課「目録システムの仕様改訂について」,『オンライン・システムニュースレター』, No.8, 1987.08.31. * 国大図協の申し入れを受けて「典拠リンクの任意化」と「書誌構造の2階層化」に系統的に対応したもの。あわせて「目録情報の基準」も改訂。

[1987/08/Iz] 泉沢久美子「UTLAS の利用: トータルシステム構築にむけて」,『丸善ライブラリーニュース』, 143, 1987.08, p8-9.

[1987/08/Ki] 菊池亮一「明治大学図書館における UTLAS: ローカルシステムへのデータ投入処理」,『丸善ライブラリーニュース』, 143, 1987.08, p7.

[1987/08/Ki] 木村裕之「神戸学院大学における UTLAS の利用」,『丸善ライブラリーニュース』, 143, 1987.08, p4.

[1987/08/Ki] 鬼頭當子「ICU 図書館と UTLAS その後」,『丸善ライブラリーニュース』, 143, 1987.08, p1-3.

[1987/08/Ko] 小林真理「目録データの整備と UTLAS: 立教大学図書館の場合」,『丸善ライブラリーニュース』, 143, 1987.08, p6.

[1987/08/Ko] 今まど子「カードレスがお好き」,『月刊法学教室』(有斐閣), 1987.08, p29.

[1987/08/Og] 小川光男「適合率がモノをいう: 中京大学附属図書館の場合」,『丸善ライブラリーニュース』,

- 143, 1987.08, p5. *UTLAS の利用
- [1987/08/Su] 鈴木卓美「UTLAS の「典拠リンク」について：金城学院大学図書館の場合」,『丸善ライブラリーニュース』, 143, 1987.08, p10.
- [1987/09/In] 井上正則「学術情報センターのオンライン目録システムにおける書誌構造について」,『図書館界』, 39(3), 1987.09, p100-103.
- [1987/09/Ga] 学術情報センター雑誌目録情報課「学術雑誌総合目録欧文編新版データベース確認調査」,『学術情報センターニュース』, No.5, 1987.09, p18.
- [1987/09/In] 井上如「目録システムの仕様変更」,『学術情報センターニュース』, No.5, 1987.09, p15-17.
- [1987/09/Ku] 栗原進一(杏林大学)「米国国立医学図書館の相互貸借サービスと DOCLINE」,『医学図書館』, Vo.34, No.3, 1987.09, p201-205.
- [1987/09/Ma] 丸山昭二郎, 杉山時之「書誌情報と外字漢字の出現率：JAPAN MARC による調査から」,『情報の科学と技術』, 37(9), 1987.09, p429-430.
- [1987/09/Mi] 三浦逸雄「書誌ユーティリティ」,『図書館の窓』(東京大学附属図書館), 26(9), 1987.09, p71-73.
- [1987/09/Mi] 宮澤彰「MAB1 のフォーマット (MARC と書誌データをめぐって<特集>)」,『現代の図書館』, 25(3), 1987.09, p138-142
- [1987/09/Na] 内藤英雄「フランスの INTERMARQ (MARC と書誌データをめぐって<特集>)」,『現代の図書館』, 25(3), 1987.09
- [1987/09/Ni] 日本図書館協会目録委員会編「日本目録規則 1987 年版」, 日本図書館協会, 1987.09, 324p.
- [1987/09/Ue] 上田修一「オンライン分担目録システムと図書館の選択：目録サービス・センターか、資源共有か (MARC と書誌データをめぐって<特集>)」,『現代の図書館』, 25(3), 1987.09, p134-137.
- [1987/09/Wa] 和中幹雄「岐路に立つ Japan MARC (MARC と書誌データをめぐって<特集>)」,『現代の図書館』, 25(3), 1987.09, p
- [1987/09/Yo] 横山幸雄「国立国会図書館とコピー・カタログニング：LC/MARC を利用した洋図書目録作業」(
<特集>MARC と書誌データをめぐって),『現代の図書館』, 25(3), 1987.09, p
- [1987/10/Mi] 宮澤彰「書誌ユーティリティと目録作成」,『論集・図書館学研究の歩み；第7集：図書館目録の現状と将来/日本図書館学会研究委員会編』, 日外アソシエーツ, 1987.10, p90-103
- [1987/10/Oo] 大城善盛「図書館における書誌コントロール：目録の機能」,『論集・図書館学研究の歩み；第7集：図書館目録の現状と将来/日本図書館学会研究委員会編』, 日外アソシエーツ, 1987.10.
- [1987/10/Sa] 斎藤泰則「オンライン閲覧目録の現状と課題」,『論集・図書館学研究の歩み；第7集：図書館目録の現状と将来/日本図書館学会研究委員会編』, 日外アソシエーツ, 1987.10.
- [1987/10/Sh] 志保田務「書誌階層関係概念理解のカテゴリーを求めて」,『整理技術研究』, 24, 1987.10, p49-57.
- [1987/11/Ga] 学術情報センター目録情報課「目録システムの仕様改訂について」,『オンライン・システムニュースレター』, No.10, 1987.11.12. *「書誌構造の2階層化」のシステム改訂に伴い,「総合目録データベース書誌構造調査(10月29日現在)」を実施しその結果を紹介。
- [1987/11/Ga] 学術情報センター目録情報課「RDB1 目録システムの運用について」,『オンライン・システムニュースレター』, No.10, 1987.11.12. *昭和62年11月4日から運用開始。
- [1987/11/In] 井上如「学術情報システムの話」,『図書館雑誌』, 81(11), 1987.11, p677-679.
- [1987/12/Bu] バーガー, ロバート H.(Burger, Robert H.), 松井幸子・内藤衛亮共訳「データベースの典拠作業」, 丸善, 1987.12, 168p.
- [1987/12/Ga] 学術情報センター目録情報課「目録システムの改善について」,『オンライン・システムニュースレター』, No.12, 1987.12.24. *時差更新システムの運用(1週間を通しての運用), 書誌構造リンクの検索キーの変更。
- [1987/12/Ga] 学術情報センター目録情報課「削除予定レコードについて」,『オンライン・システムニ

- ニュースレター』, No.12, 1987.12.24. * 誤って書誌レコードを作成した場合の手順。
- [1987/12/Ga] 学術情報センター目録情報課「重複レコードについて」,『オンライン・システムニュースレター』, No.12, 1987.12.24. * 重複レコード発生の原因調査。
- [1987/12/Ga] 学術情報センター目録情報課「オンライン雑誌目録システム(和雑誌)の運用開始」,『オンライン・システムニュースレター』, No.12, 1987.12.24.
- [1987/12/Ga] 学術情報センター目録情報課「目録システムの仕様改訂について」,『オンライン・システムニュースレター』, No.12, 1987.12.24. * 「仕様改訂」実施(12月14日)以降の運用上の注意。
- [1987/12/Ha] 浜瀬善雄「国公立大学図書館間文献複写に関する協定締結について:経緯と問題点」,『大学図書館研究』, No.31, 1987.12, p1-15. * 文献複写委員会(昭和54年発足)の活動の経緯。
- [1987/12/Is] 石垣久四郎「文字認識システムにおける図書目録カードの入力手法について」,『東北大学附属図書館研究年報』, 通号20, 1987.12, p180-189.
- [1987/12/Ko] 国立大学図書館協議会「学術情報システム特別委員会ネットワーク専門委員会第一次報告大学図書館のシステム化:図書館ネットワーク構築のために」,『大学図書館研究』, No.31, 1987.12, p57-80.
- [1987/12/Ma] 松井幸子「米国議会図書館「典拠テープ」累積版(名前および件名)の内容調査」,『情報の科学と技術』, 37(12), 1987.12, p545-554.
- [1987/12/Su] 菅原英一「目録の世界についてのメモ」,『北の文庫』, No.13, 1987.12, p27-28.
- 1988年(昭和63年)
- [1988/00/Ka] 川崎一, 橋本登美雄「学術情報処理 学術情報システムと附属図書館の目録システム」,『群馬大学年報』, 3, 1988, p29-37.
- [1988/00/Mi] 宮澤彰「<講演要旨>学術情報センター活動の現状と展望」,『東海地区大学図書館協議会誌』, 通号33, 1988, p20-28.
- [1988/00/Na] 永田治樹「<講演要旨>大学図書館におけるコンピュータ化の問題と指標」,『東海地区大学図書館協議会誌』, 通号33, 1988, p29-.
- [1988/01/Ch] 中央学院大学図書館司書グループ「目録サービス・教育モードを使い始めて(特集:学術情報センターを利用して)」,『大学の図書館』, 171, 1988.01, p3-12.
- [1988/01/Fu] 藤田恵美「学術情報センターの目録システムを使ってみて(特集:学術情報センターを利用して)」,『大学の図書館』, 171, 1988.01, p3-12.
- [1988/01/Hi] 日出弘「書誌に庶子あり:書誌統合をめぐる」,『図書館界』, 39(5), 1988.01, p212-216.
- [1988/01/Na] 永田治樹, 堀井郁子「日本目録規則(NCR)1987年版の課題と特徴」,『図書館雑誌』, 82(1), 1988.01, p38-40.
- [1988/02/In] 猪瀬博, 井上如, 上田修一, 根岸正光, 三輪真木子編著『学術情報システムと大学図書館』, 紀伊國屋書店, 1988.02, p1-309
内容:第1章.研究の概要と本書の構成(根岸正光, p3-6);第2章.学術情報センターにおけるオンライン共同分担目録システム(根岸正光, p7-57);第3章.大学図書館システム化の現状とその特徴(上田修一・原田隆史, p58-81);第4章.大学図書館システム化の数量化分析(根岸正光, p82-97);第5章.大学図書館訪問調査とその分析(三輪真木子・梁瀬美千代, p98-148);第6章.共同分担目録システムの海外動向(上田修一・原田隆史, p149-152);第7章.大学図書館のシステム化と学術情報システム(井上如, p153-162);資料編4.調査文献摘録(上田修一, 187-199)
- [1988/02/Se] センチュリリサーチセンタ株式会社編『横浜市立大学図書館のシステム化計画基礎調査』, センチュリリサーチセンタ, 1988.02, 98p.
- [1988/03/Ga] 学術情報センター研修・資料係「昭和62年度総合目録データベース実務研修報告」,『学術情報センターニュース』, No.6, 1988.03, p26.
- [1988/03/Ga] 学術情報センター目録情報課「オンライン雑誌目録システム(洋雑誌)の運用開始」,『オンライン・システムニュースレター』, No.13, 1988.03.10.
- [1988/03/Iw] 岩下康夫「日本目録規則(NCR)1987年版の基礎構造について」,『図書館学』(西日本図書

- 館学会), no.52, 1988.03, p3-10.
- [1988/03/Ma] 丸山昭二郎「日本目録規則 1987 年版について」,『神奈川図書館学会誌』,no.61,1988.03, p1-10.
- [1988/03/Na] 内藤衛亮ほか著『学術情報システムにおける総合目録の機能と応用に関する研究』,学術情報センター(研究課題番号 61580019),1988.03,120p.
内容:国立国会図書館における典拠データベース(田村貴代子),学術情報センターの著者名典拠について(宮澤彰),学術雑誌総合目録(室橋真,小西和信),学術情報センター著者名典拠に関する若干の統計(宮澤彰,榎端清人),LC 名前典拠レコードの参照構造の分析(松井幸子),典拠コントロールの目的・機能・構造(樋川清司),付録・典拠関係文献リストほか
- [1988/03/Na] 内藤衛亮『学術情報システムにおける総合目録の機能と応用に関する研究:18 世紀簡略書名目録「ESTC」;昭和 61-62 年度』,学術情報センター(研究課題番号 61580019),1988.03,151p.
- [1988/03/Sa] 斎藤泰則「オンライン目録の主題アクセス・ツールとしての図書館分類に関する考察」,『図書館学会年報』,34(1),1988.03,p11-18.
- [1988/03/To] 東北大学附属図書館『T-LINES:その開発と運用』(東北大学附属図書館),1988.03,322p.
- [1988/03/Ts] 堤直子,森永浩子,木村伸子,中島真由美「『学術雑誌総合目録と文編 1985 年版』の検討:収録範囲,誌名,排列について『国立国会図書館所蔵和雑誌目録』と比較する」,『図書館学』(西日本図書館学会),no.52,1988.03,p36-49.
- [1988/04/Ga] 学術情報センター目録情報課「重複レコードの処理について」,『オンライン・システムニュースレター』,No.14,1988.04.30. *重複レコード発見時の注意.
- [1988/04/Ga] 学術情報センター目録情報課「オンラインシステム C&R」,『オンライン・システムニュースレター』,No.14,1988.04.30. *ロシア語の入力,物理単位,書誌レコードの作成単位.
- [1988/04/Ga] 学術情報センター目録情報課「遡及入力データの公開について」,『オンライン・システムニュースレター』,No.14,1988.04.30. *RECON ファイルの運用開始.
- [1988/04/Ta] 田辺広「10 年後の学術情報<特集>日本の図書館界 1988」,『図書館雑誌』,72(4),1988.04,p165-167.
- [1988/05/Hi] 日出弘「わかち書きの「ゆれ」について」,『図書館界』,40(1),1988.05,p24-26.
- [1988/05/Ki] 北風貴紫「MARC を利用した主題検索とその課題」,『書誌索引展望』,12(2),1988.05,p26-34.
- [1988/05/Na] 永田治樹,谷沢滋生,増田元「密結合ネットワーク接続(いわゆる Case3)の実現によるローカル業務モジュールの拡張」,『情報の科学と技術』,38(5),1988.05,p225-233.
- [1988/05/No] 能美純子「MARC と日本目録規則 1987 年版:NCR 改訂における一考察」,『図書館界』,40(1),1988.05,p12-18.
- [1988/06/Ga] 学術情報センター目録情報課「オンライン雑誌目録システム(洋雑誌)の運用開始」,『オンライン・システムニュースレター』,No.13,1988.06.23. *7 月 11 日から運用開始.
- [1988/06/It] 伊藤祐三「米国における書誌 utilities の役割について」,『大学図書館研究』No.32,1988.06,p63-70.
- [1988/06/Ko] 国立大学図書館協議会「目録情報ネットワークの展開と大学図書館のシステム化:学術情報システム特別委員会ネットワーク専門委員会第 2 次報告」,1988.06,81p.
- [1988/06/Na] 中井えり子「診断リストによる目録データの点検作業について」,『大学図書館研究』No.32,1988.06,p54-62.
- [1988/06/Na] 成井恵子「目録および書誌情報における書誌レベルについて」,『茨城女子短期大学紀要』,15,1988.06,p70-75.
- [1988/06/Sa] 笹川郁夫,酒井清彦,堀込静香,石井道悦「学術情報センター目録システム対応の中小規模図書館ローカル・システム:VTSS 方式ケース 2 による NEC ユーザグループの共同開発システム」,『大学図書館研究』,No.32,1988.06,p28-38.
- [1988/06/Un] 宇野弘純,杉田福夫,富田健市「学術情報センター密結合型北大型目録・検索システムの仕組

- みとその運用」、『大学図書館研究』, No.32, 1988.06, p39-53
- [1988/07/Ga] 学術情報センター「目録・所在情報の遡及入力事業について」,『大学図書館協力ニュース』, 9(2), 1988.07, p5
- [1988/07/Iw] 岩淵泰郎「日本目録規則 1987 年版に対する意見」,『整理技術研究』, 25, 1988.07, p1-7.
- [1988/07/Ka] 川崎秀子「学術情報システムに接続したローカルシステム:個別館の目録政策」,『図書館界』, 40(2), 1988.07, p103-108
- [1988/07/Se] 千賀正之「J-BISC 開発と図書館の明日: Japan MARC CD-ROM の研究開発特別委員会報告」,『図書館雑誌』, 82(7), 416-419.
- [1988/08/Ga] 学術情報システム研究グループ「文部省学術情報システムのあゆみ」,『私立大学図書館協議会東地区研究部会 相互協力研究分科会報告』, 2, 1988.08, p30-37.
- [1988/08/Ga] 学術雑誌総合目録検討委員会「学術雑誌総合目録と文編 1985 年版アンケート」,『私立大学図書館協議会東地区研究部会 相互協力研究分科会報告』, 2, 1988.08, p103-122.
- [1988/08/Ig] 五十嵐輝雄「学術情報センター目録システム利用の状況について」,『東北地区大学図書館協議会誌』, 39, 1988.08, p17-18.
- [1988/08/Ka] かみかた機械化研究グループ編刊『大学図書館の機械化・電算化, 学術情報システム文献リスト 1988 年版』, 1988.08, 88p.
- [1988/08/Na] 永田治樹「オンライン目録(OPAC)の意義と現状」,『私立大学図書館協議会東地区研究部会 相互協力研究分科会報告』, 2, 1988.08, p1-9.
- [1988/08/So] 相互協力の歴史グループ「相互協力の歴史」,『私立大学図書館協議会東地区研究部会 相互協力研究分科会報告』, 2, 1988.08, p45-47.
- [1988/08/Ya] 山田尚勇「学術情報システムにおける大学図書館の役割(<特集>大学図書館)」,『大学と学生』, 通号 272, 1988.08, p22-27.
- [1988/09/Ga] 学術情報センター「オンライン雑誌目録システムの開始について」,『大学図書館協力ニュース』, 9(3), 1988.09, p2
- [1988/09/Is] 石井啓豊「学術情報センターの活動と大学図書館(特集:変貌する図書館 専門情報サービス)」,『現代の図書館』, 26(3), 1988.09, p145-148.
- [1988/09/Is] 石倉賢一「カード目録からオンライン目録へ(特集:変貌する図書館 専門情報サービス)」,『現代の図書館』, 26(3), 1988.09, p140-144. * 東大図書館のオンライン目録検索システム
- [1988/09/Iz] 伊澤和夏「書誌ユーティリティについて: Ut las を中心に」,『逐次刊行物研究分科会報告』, 47, 1988.09, p74-87.
- [1988/09/Iz] 伊澤和夏「Ut las: 図書館自動化システムの概要」,『薬学図書館』, 33(3), 1988.09, p187-198.
- [1988/09/Ki] 木村裕之「アトラス導入とその対応」,『薬学図書館』, 33(3), 1988.09, p199-204.
- [1988/09/Ma] 丸山昭二郎「NCR1987 年版の経緯と問題点」,『逐次刊行物研究分科会報告』, 47, 1988.09, p1-17.
- [1988/09/Mi] 宮澤彰, 小西和信「目録所在情報サービス(第 5 回学術情報センターシンポジウム報告 1)」,『学術情報センターニュース』, No.7, 1988.09, p15-20.
- [1988/09/Sh] 柴田正美「大学図書館行政とその施策」,『論集・図書館学研究の歩み; 8: 日本における図書館行政とその施策/日本図書館学会研究委員会編』, 日外アソシエーツ, 1988.09, p143-.
- [1988/09/To] 東京大学附属図書館『東京大学図書館情報システム: LILIPUT』(東京大学附属図書館), 1988.09, 254p.
- [1988/10/Da] 大学図書館研究集会記録編集委員会編『大学図書館のサービス改善の方向を探る: イノベーションへの対応: 大学図書館研究集会記録; 第 8 回』, 日本図書館協会大学図書館部会, 1988.10, 136p.
* 国公立大学図書館協力委員会との共同刊行。発売: 学術文献普及会。大阪市立大学田中記念館, 昭和 62 年 11 月 25 日(水)~26 日(木)。後援: 国立大学図書館協議会, 公立大学協会図書館協議会, 私立大学図書館協会。

- [1988/10/In] 猪瀬博「学術情報システムについて」,『学術情報センター論文集;和文編』,1,1988.10,p1-11.*再掲
- [1988/10/In] 猪瀬博「オンライン図書館への展望」,『学術情報センター論文集;和文編』,1,1988.10.*再掲
- [1988/10/In] 井上如「学術情報システムと大学図書館」,『コンピュータソフトウェア』(日本ソフトウェア科学会),5(4),1988.10,p301.
- [1988/10/In] 井上如「学術情報システムから見た大学図書館」,『学術情報センター論文集;和文編』,1,1988.10,p19-27.*再掲
- [1988/10/In] 井上如「学術雑誌総合目録におけるネットワーク」,『学術情報センター論文集;和文編』,1,1988.10,p84-90.*再掲
- [1988/10/In] 井上如「大学図書館と学術情報システム」,『学術情報センター論文集;和文編』,1,1988.10,p10-18.*再掲
- [1988/10/In] 井上如「学術情報センターの例」,『学術情報センター論文集;和文編』,1,1988.10,p258-276.*再掲
- [1988/10/Mi] 宮澤彰「MAB1のフォーマット」,『学術情報センター論文集;和文編』,1,1988.10,p138-142.*再掲
- [1988/10/Mi] 宮澤彰「書誌ユティリティと目録作成」,『学術情報センター論文集;和文編』,1,1988.10,p138-142.*再掲
- [1988/10/Ne] 根岸正光「誌名変遷マップの研究と開発」,『学術情報センター論文集;和文編』,1,1988.10,p5-23.*再掲
- [1988/10/Ne] 根岸正光「学術情報センター・システム:オンライン共同分担目録システムを中心に」,『学術情報センター論文集;和文編』,1,1988.10,p1-10.*再掲
- [1988/10/Ya] 山中秀夫「天理図書館業務電算化について(中間報告)」,『ピブリア』(天理図書館),91,1988.10,p188-200.
- [1988/11/Ga] 学術情報センター目録情報課「オンライン目録システムの機能拡張について」,『オンライン・システムニュースレター』,No.16,1988.11.24.*昭和63年度実施予定の機能拡張項目14件。
- [1988/11/Ga] 学術情報センター目録情報課「所蔵登録件数100万件突破」,『オンライン・システムニュースレター』,No.16,1988.11.24.
- [1988/11/Ga] 学術情報システムを考える会編『巨大情報システムと図書館』(技術と人間),1988.11,211p.
- [1988/11/Ik] 池田純一,岡島芳伸,田中憲彦「図書目録作成等のための図書カードのデータ化」,『専門図書館』,121,1988.11,p8-12.
- [1988/11/Ko] 国立国会図書館編刊『JAPAN MARC マニュアル:逐次刊行物編』(日本図書館協会発売),1988.11,141p.内容:フォーマットとデータ内容,アクセスポイントの読みと分かち書き磁気テープの仕様,書誌レコードの内容,データ要素一覧,付録(逐次刊行物扱いとする資料の判定基準ほか)
- [1988/11/Na] 中島紘一「カード目録からカードレス目録の移行について」,『KULIC』,22,1988.11,p36-37.
- [1989/11/0o] 大塚奈奈絵,岸美雪「国立国会図書館における複写利用:来館および郵送による複写利用の実態の調査研究;2」,『科学技術文献サービス』,86,1988.11,p12-21.
- [1988/11/Su] 菅原通「資料の共有化をはかるために:私立大学図書館間の相互貸借について」,『図書館雑誌』,82(11),1988.11.
- [1988/12/Go] 合田修「機械可読目録による内容検索の効率化」,『大阪城南女子短期大学研究紀要』,23,1988.12,p21-36.
- [1988/12/Ha] 浜瀬善雄「大学図書館のコンピュータ化による効果と評価」,『大学図書館研究』,No.33,1988.12,p1-8.
- [1988/12/Ho] 堀込静香「国立大学図書館における機械化からシステム化まで:千葉大学附属図書館10年の歩みと全国的動向」,『大学図書館研究』,No.33,1988.12,p9-18.

- [1988/12/Is] 石垣久四郎, 塚本哲人「東北大学における図書館システムとキャンパス情報ネットワーク・システムとの関係」,『東北大学附属図書館研究年報』, 通号 21, 1988.12, p206-240.
- [1988/12/Ka] 加藤信也「JAPAN MARC からみた日本の音楽資料の出版と流通」,『びぶろす』(国立国会図書館図書館協力部), 39(12), 1988.12, p286-293.
- [1988/12/Ki] 鬼頭當子, 黒澤公人「ICU 図書館における文献複写から見た相互協力の実態と分析(私立大学図書館協会第 49 回(昭和 63 年度)総大会記録)」,『私立大学図書館協会会報』, 通号 91, 1988.12, p64-79.
- [1988/12/Ko] 国立大学図書館協議会「相互貸借の推進方策調査研究班報告(昭和 63 年 3 月)」,『大学図書館研究』, No.33, 1988.12, p67-84.
- [1988/12/Ku] 栗原進一(杏林大学)「OCLC のオンラインネットワーク」,『医学図書館』, Vo.35, No.4, 1988.12, p256-262. * OCLC システムの概要.
- [1988/12/Ku] 黒澤節男「大学図書館における複写サービスに関する著作権問題」,『大学図書館研究』, Vol.33, 1988.12, p52-59.
- [1988/12/Na] 永田治樹ほか「文書目録情報のデータベース化の問題: 文書 OPAC 作成と MARC (AMC) の事例から」,『大学図書館研究』, No.33, 1988.12, p41-51.
- [1988/12/Na] 成田誠之助, 斎藤明「総合図書館システム「DOBIS/LIBIS/WINE」」,『早稲田大学図書館紀要』, (通号 29), 1988.12, p54-78. * 成田執筆文は英文。早稲田大学の図書館システム「WINE」概要.
- [1988/12/Sh] 私立大学図書館協会相互協力委員会「図書館間の図書館資料の相互貸借について」,『大学図書館研究』, No.33, 1988.12, p85-91.
- [1988/12/Ta] 田中久文「<講演>学術情報センターのサービス事業(私立大学図書館協会第 49 回(昭和 63 年度)総大会記録)」,『私立大学図書館協会会報』, 通号 91, 1988.12, p80-86. * メインテーマ:「機械化時代における人間中心の図書館づくり」
- [1988/12/Us] 牛崎進[ほか]「<パネルディスカッション>機械化の方向を求めて(私立大学図書館協会第 49 回(昭和 63 年度)総大会記録)」,『私立大学図書館協会会報』, 通号 91, 1988.12, p98-120. * メインテーマ:「機械化時代における人間中心の図書館づくり」
- 1989 年(平成元年)**
- [1989/00/Au] Larry Auld; 図書館整理技術研究会名古屋支部訳「典拠コントロール: 80 年間のレビュー」,『整理技術研究』, No.26, 1989, p66-79.
- [1989/00/Ha] 土師守, 橋本登美雄「学術情報システムと群馬大学目録検索システム」,『群馬大学年報』, 4, 1989, p118-129.
- [1989/00/Ha] 原田隆史「大学図書館貸出データの計量的分析: 上智大学図書館貸出データの分析を中心に」,『彦根論叢』, No.260・261, 1989, p83-99..
- [1989/00/Ts] 津田良成「<講演要旨>コンピュータ・システムと新しい大学図書館」,『東海地区大学図書館協議会誌』, 通号 34, 1989, p2-.
- [1989/00/Wa] 渡辺豊英「<講演要旨>書誌情報のデータベース化の課題」,『東海地区大学図書館協議会誌』, 通号 34, 1989, p42-.
- [1989/01/Hi] 樋口恵子「学術図書館を中心とした情報システムの現状と今後: 米国の大学図書館及び書誌ユーティリティを視察して」,『情報処理学会研究報告』, Vol.89, No.3 (IS-22), 1989.01, p1-10.
- [1989/01/Is] 石川史士「和図書データ遊及入力計画」,『国立国会図書館月報』, 334, 1989.01, p6-13.
- [1989/01/Ku] 栗原進一「Linked Systems Project: 三大書誌ユーティリティと LC の相互接続プロジェクト」,『情報管理』, Vol.31, No.10, 1989.01, p869-876.
- [1989/02/Ab] 阿部佳市「学術情報センター目録システムと T-LINES 図書目録システム」,『第 15 回医学図書館セミナー論文集』, Vol.15 (第 15 回), 1989.02, p133-144.
- [1989/02/Ki] 木俣康之「ネット・ワークにおける書誌情報」,『びぶろす』, 40(2), 1989.02, p24-33. * TRC MARC と JAPAN/MARC について.

- [1989/03/Ga] 学術情報センター研修・資料係「昭和 63 年度総合目録データベース実務研修報告」,『学術情報センターニュース』, No. 8, 1989.03, p39-40.
- [1989/03/Ga] 学術情報センター目録情報課「オンライン目録システムの機能拡張について」,『オンライン・システムニュースレター』, No.17, 1989.03.01. *COPY コマンドの追加など.
- [1989/03/Ga] 学術情報センター目録情報課「GPO/MARC のサービス開始」,『オンライン・システムニュースレター』, No.17, 1989.03.01.
- [1989/03/Ga] 学術情報センター目録情報課「コーディング・マニュアルについて」,『オンライン・システムニュースレター』, No.17, 1989.03.01.
- [1989/03/Iw] 岩下康夫「日本目録規則(NCR)87 年版への書誌単位概念の導入による書誌用語「多巻もの」「セットもの」「シリーズ」の意味の変質について」,『図書館界』, 40(6), 1989.03, p281-289.
- [1989/03/Ko] 古賀節子「学術情報システムと司書課程」,『21 世紀への大学図書館国際シンポジウム(京都外国語大学付属図書館)司書論』, 1989.03. *会期: 昭和 63 年 3 月 22 日~24 日.
- [1989/03/Ko] 倉橋英逸「学術情報システムと大学図書館司書」,『21 世紀への大学図書館国際シンポジウム(京都外国語大学付属図書館)司書論』, 1989.03. *会期: 昭和 63 年 3 月 22 日~24 日.
- [1989/03/Ku] 倉橋英逸「日本における総合目録データベース形成の現状と問題点(10 月 5 日部会報告全体会議)」,『第 4 回日米大学図書館会議報告/大学図書館国際連絡委員会』, 1989.03.
- [1989/03/Ku] 栗原進一(杏林大学図書館)「OCLC 相互貸借サブシステム」,『医学図書館』, Vol.36, No.1, 1989.03, p20-23. *1979 年 4 月から提供している相互貸借サブシステムについて.
- [1989/03/Na] 長島敏樹「MARC サービスの現状(国内)」,『私立大学図書館協会東地区部会研究報告書』(昭和 63 年度), 1989.03, p51-59.
- [1989/03/Oo] 大野公男「学術情報システムと大学図書館(10 月 5 日部会報告全体会議)」,『第 4 回日米大学図書館会議報告/大学図書館国際連絡委員会』, 1989.03.
- [1989/03/Ta] 田辺広(富士大学)「日韓図書の目録と排列に関する諸問題」,『富士大学紀要』, Vol.21, No.2, 1989.03, p51-68.
- [1989/03/To] 東京大学総合図書館職員組合「欠陥だらけの目録電算化: 東大図書館の場合」,『巨大情報システムと図書館』(技術と人間), 1989.03, p97-107. *内容: OPAC 講習会, 講習は必要か, 明文化されない方針, 凡例のない目録, ほか
- [1989/03/Ue] 上田修一「オンライン閲覧用目録の動向」,『私立大学図書館協会東地区部会研究報告書』, (昭和 63 年度), 1989.03, p64-68.
- [1989/03/Us] 牛崎進「MARC サービスの現状(国外)」,『私立大学図書館協会東地区部会研究報告書』, (昭和 63 年度), 1989.03, p60-63.
- [1989/03/Us] 牛崎進「遡及変換における典拠コントロール(社会科学分野の著者名典拠ファイルの構造研究とその編成: 文部省科学研究費試験研究)」,『図書館情報大学松井研究室』, 1989.03, 103p. *内容: 遡及変換の歴史, 遡及変換事業検討すべき事業, 遡及事業と総合目録データベース, ほか
- [1989/03/Wa] 早稲田大学学術情報システム課「「WINE」の発展をめざして(〔早稲田大学〕図書館 100 年の歩み<特集>)(図書館の新世紀を迎えて: 総合学術情報センター計画)」,『早稲田大学図書館紀要』, (通号 30), 1989.03, p243-249.
- [1989/03/Ya] 山口大学附属図書館編『山口大学附属図書館電算化システム』(山口大学附属図書館), 1989.03, 222p.
- [1989/04/Ob] 小幡砂智子「学術情報センター総合目録システムの検索について」,『整理技術研究』, 26, 1989.04, p19-65
- [1989/04/Oo] 大塚奈奈絵, 岸美雪, 滝本佳代「国立国会図書館における複写利用: 来館および郵送による複写利用の実態の調査研究; 3」,『科学技術文献サービス』, 88, 1989.04, p18-26.
- [1989/05/Ga] 学術情報センター目録情報課「学術雑誌総合目録と文編データベースの改訂について」,『オンライン・システムニュースレター』, No.18, 1989.05.23.

- [1989/05/Ga] 学術情報センター目録情報課「目録情報データベースの IR サービス開始」,『オンライン・システムニュースレター』, No.18, 1989.05.23.
- [1989/05/0o] 大城善盛(述)「NCR1987 年版における書誌階層について」,『同志社大学図書館学年報』,15, 1989.05, p88-97.
- [1989/05/0o] 大城善盛「書誌階層とそのパターン分析: NCR1987 年版の書誌階層の批判的考察を通して」,『図書館学会年報』, 35(2), 1989.05, p59-68.
- [1989/05/Sa] 鈴木太郎「図書館業務の機械化にあたって」,『びぶろす』(国立国会図書館図書館協力部), 40(5), 1989.05, p118-123.
- [1989/06/In] 井上如「学術情報システムについて: 小規模図書館・企業体との関わり」,『薬学図書館』, Vo.34, No.2, 1989.06, p84-95. *学術情報システムの中心はデータベース事業と説明。
- [1989/06/Ka] 金子昌嗣, 中元誠「大学図書館における図書館トータルシステムの導入: 早稲田大学所沢図書館の経験(特集: 利用者目録の新形態)」,『現代の図書館』, 27(2), 1989.06, p66-101(特集全体)
- [1989/06/Ka] 金子豊「OPAC とこれからの大学図書館サービス: 愛媛大学附属図書館における利用例を中心に(特集: 利用者目録の新形態)」,『現代の図書館』, 27(2), 1989.06, p83-89.
- [1989/06/Ko] 国公私立大学図書館協力委員会文献複写委員会「相互協力実態調査報告書: 図書館の相互協力の実態について」,『大学図書館研究』, No.34, 1989.06, p115-133.
- [1989/06/Ko] 小山悟「大学図書館機械化実態調査アンケートの中間報告」,『私立大学図書館協会会報』, 通号 92, 1989.06, p94-111.
- [1989/06/Ku] 黒田晴雄, 倉橋英逸, 山崎弘郎, 田中久文「北米における目録所在情報形成システムの調査」,『大学図書館研究』, No.34, 1989.06, p16-40.
- [1989/06/Mo] 「文部省, 学術情報システムの整備を急ぐ」,『情報の科学と技術』, 39(6), 1989.06, p220.
- [1989/06/Su] 杉町宏, 北克一「学術情報センター目録システムとローカルシステムのインターフェイスの一例: 柔構造結合を考慮して」,『大学図書館研究』, No.34, 1989.06, p62-70
- [1989/06/Ts] 達昭二, 吉竹忍, 川端美明「北大図書館における図書データ大量遡及入力の実験: 学術情報センターファイルを利用した目録カードによるオンライン入力」,『大学図書館研究』, No.34, 1989.06, p49-61.
- [1989/06/Ya] 八木敬子, 辻本一好, 北克一「目録担当者から見た NACSIS 総合目録データベース」,『情報の科学と技術』, 39(6), 1989.06, p201-210. *現状調査と統計的分析及び品質向上の方策。
- [1989/07/Ai] 相原信也, 千賀正之, 田屋裕之, 松島文子, 西来路秀彦, 高木秀子, 中村規子「和図書検索ツールとしての J-BISC: インデキシングおよび操作性について; 前編」,『科学技術文献サービス』, 89, 1989.07, p4-13.
- [1989/07/Ga] 学術情報センター目録情報課「総合目録データベースの磁気テープサービスについて」,『オンライン・システムニュースレター』, No.19, 1989.07.28.
- [1989/07/Is] 石山洋「国立国会図書館における書誌情報技術の進歩と今後の課題」,『国立国会図書館月報』, 340, 1989.07, p2-9.
- [1989/07/Na] 永田治樹「大学図書館におけるドキュメント・デリバリー・サービス(<特集>ドキュメント・デリバリー)」,『情報の科学と技術』, 39(7), 1989.07, p231-239.
- [1989/07/Na] 南条利悠輝「図書館業務・機械化にあたって」,『びぶろす』(国立国会図書館図書館協力部), 40(7), 1989.07, p157-165.
- [1989/07/0o] 大塚奈奈絵, 岸美雪, 滝本佳代「国立国会図書館における複写利用: 来館および郵送による複写利用の実態の調査研究; 4」,『科学技術文献サービス』, 89, 1989.07, p28-40, 13.
- [1989/08/Ka] かみかた機械化研究グループ編「大学図書館の機械化・電算化, 学術情報システム文献リスト 89 年版」, 1989.08, 80p.
- [1989/09/Da] 大学図書館研究会集録編集委員会編「大学図書館のネットワーク形成をめざして: 情報検索と新しいサービスの在り方を求めて: 大学図書館研究会集録; 第 9 回」,『日本図書館協会大学図書

館部会，1989.09，82p. * 国公立大学図書館協力委員会との共同刊行。発売：学術文献普及会。後援：
国立大学図書館協議会，公立大学協会図書館協議会，私立大学図書館協会。

- [1989/09/Go] 後藤恵里子(千葉大学附属図書館)「学術情報センターの雑誌目録システムを利用して」,『医学図書館』,Vo.36,No.3,1989.09,p145-154. * 「医総目」「学総目」の歴史と雑誌目録システム。
- [1989/09/Ha] 原田勝「書誌情報システムの標準化」,『図書館学会年報』,35(3),1989.09,p107-115.
- [1989/09/Ku] 栗原進一「ILLINET OnLine」,『医学図書館』,Vo.36,No.3,1989.09,p160-163.
- [1989/09/Sa] 佐藤義則「T-LINES:東北大学附属図書館の蔵書検索システム」,『オンライン検索』,10(3),1989.09,p127-137.
- [1989/10/Ai] 相原信也,千賀正之,田屋裕之,松島文子,西来路秀彦,高木秀子,中村規子「和図書検索ツールとしての J-BISC: インデキシングおよび操作性について;後編」,『科学技術文献サービス』,90,1989.10,p24-30.
- [1989/10/Ga] 学術情報センター目録情報課「学術雑誌総合目録と文編新版全国調査の実施」,『オンライン・システムニュースレター』,No.20,1989.10.16.
- [1989/10/Ma] 松井幸子「遡及的書誌情報データベース編成における LC 名前典拠ファイルの有効性」,『図書館情報大学研究報告』,8(1),1989.10,p157-170. * 英文
- [1989/10/ML] 「NACSIS-CAT Music を目指して:学術情報システム総合目録データベースへの音楽資料入力仕様についての提案」,『MLAJ newsletter』,11(3),1989.10,p7-10
- [1989/10/Oo] 大塚奈奈絵,岸美雪,斎藤友紀子「国立国会図書館における複写利用:来館および郵送による複写利用の実態の調査研究;5」,『科学技術文献サービス』,90,1989.10,p32-38.
- [1989/12/Su] 菅原英一「オンライン目録への一つの視点」,『北海道地区大学図書館職員研究集会』,第32回(平成元年),1989.12,p51-59.
- [1989/11/Wa] 渡辺豊英「書誌情報のデータベース化の課題」,『東海地区大学図書館図書館協議会誌』,34,1989.11,p42-49.
- [1989/12/Ga] 学術情報センター雑誌目録情報係「学術雑誌総合目録と文編の改訂について」,『学術情報センターニュース』,No.10,1989.12,p9-11.
- [1989/12/Ga] 学術情報センター目録情報課「平成元年度目録システムの機能向上」,『オンライン・システムニュースレター』,No.21,1989.12.08. * 平成元年度開発項目5件の紹介。
- [1989/12/Ga] 学術情報センター目録情報課「[平成元年度]総合目録委員会・小委員会での審議事項の報告」,『オンライン・システムニュースレター』,No.21,1989.12.08.
- [1989/12/Ga] 学術情報センター目録情報課「注文生産の複製資料の扱い」,『オンライン・システムニュースレター』,No.21,1989.12.08.
- [1989/12/Ga] 学術情報センター目録情報課「分類・件名等の取り扱い」,『オンライン・システムニュースレター』,No.21,1989.12.08. * 分類・件名フィールドの削除に対する注意。
- [1989/12/Is] 石垣久四郎「図書目録カードの認識システムにおける自動文字切り出し法」,『東北大学附属図書館研究年報』,22,1989.12,p223-248.
- [1989/12/Ku] 栗原進一(杏林大学)「RLIN データベースと相互貸借サブシステム」,『医学図書館』,Vo.36, No.4,1989.12,p230-234.

1990 年 (平成 2 年)

- [1990/00/Iw] 岩下紀之「図書館の検索システムの現状と展望」,『愛知淑徳大学国語国文』, 13 号, 1990, p1-20.
- [1990/01/Ga] 学術情報センター目録情報課「データの修正は慎重に!」,『オンライン・システムニュースレター』, No. 22, 1990.01.29. * EDIT コマンドと COPY コマンドの混同による誤操作への注意喚起。
- [1990/01/Ga] 学術情報センター目録情報課「雑誌書誌レコードの修正」,『オンライン・システムニュースレター』, No. 22, 1990.01.29. * 画面及び情報源コピー送付のお願い。
- [1990/01/Ga] 学術情報センター目録情報課「平成元年度目録システムの機能向上の詳細」,『オンライン・システムニュースレター』, No. 22, 1990.01.29.
- [1990/01/Sa] 佐藤義則[ほか]「LAN と大学図書館システム: T-LINES における対応」,『大学図書館研究』, No. 35, 1990.01, p24-33.
- [1990/01/Su] 杉町宏, 北克一「学術情報センター目録システムと柔構造密結合方式による目録形式: オンライン・パッチシステム方式によるアップロードダウンロード」,『情報の科学と技術』, 40(1), 1990.01, p35-42
- [1990/01/Su] 鈴間智弘「人文・社会科学系外国雑誌センターについての覚書: 資料収集と文献複写利用をめぐる」,『大学図書館研究』, No. 35, 1990.01, p48-55.
- [1990/01/Ta] 田村貴代子「国立国会図書館の業務機械化の現状について」,『国立国会図書館月報』(ISSN:00279153), 通号 346, 1990.01, p6-13.
- [1990/01/Ya] 山重壮一「TRC マークの作成過程とプログラムから図書館員が書いた OPAC: TRC 見学会とコンピュータ研究会「公共図書館におけるコンピュータ導入の現状と問題点」を読む学習会の報告」,『みんなの図書館』, 153, 1990.01, p52-59.
- [1990/02/Ko] 国立大学図書館協議会『ILL (Inter-library Loan) システムレポート: 国立大学図書館協議会学術情報システム特別委員会報告』, 1990.02, , 78p.
- [1990/02/Kr] Krempien, Rainer; 小林公夫「日本の学術雑誌へのアクセスの提供: ドイツの図書館の役割の概観とヨーロッパにおける協力についてのいくつかの考察(<特集>ベルリン会議)」,『情報の科学と技術』, 40(2), 1990.02, p101-104.
- [1990/02/Su] 杉町宏, 北克一「学術情報センター目録システムと柔構造密結合方式による目録形式: オンライン自動登録の一試み」,『情報の科学と技術』, 40(2), 1990.02, p115-122
- [1990/03/Ga] 学術情報センター雑誌目録情報係「学術雑誌総合目録 CD-ROM 版の刊行について」,『学術情報センターニュース』, No. 11, 1990.03, p1-3.
- [1990/03/Ga] 学術情報センター目録情報課「JAPAN/MARC(S)のサービス開始」,『オンライン・システムニュースレター』, No. 23, 1990.03.31.
- [1990/03/Ga] 学術情報センター目録情報課「[平成元年度]総合目録委員会・小委員会での審議事項の報告」,『オンライン・システムニュースレター』, No. 23, 1990.03.31.
- [1990/03/Ga] 学術情報センター目録情報課「和資料と洋資料の区分について」,『オンライン・システムニュースレター』, No. 23, 1990.03.31.
- [1990/03/Go] 郷端清人「立命館大学学術情報システム (RUNNERS) の概要 (<特集>学術情報システムの現状と課題)」,『情報の科学と技術』, 40(3), 1990.03, p197-205.
- [1990/03/Ha] 原田勝「図書館の機械化と図書館ネットワーク」,『図書館学』(西日本図書館学会), 56, 1990.03, p14-21.
- [1990/03/In] 猪瀬博「学術情報システムの展望 (<特集>学術情報システムの現状と課題)」,『情報の科学と技術』, 40(3), 1990.03, p149-158.
- [1990/03/Is] 石井啓盛「学術情報システムにおけるデータベースの作成とサービス (<特集>学術情報システムの現状と課題)」,『情報の科学と技術』, 40(3), 1990.03, p166-174.
- [1990/03/Ko] 小林年春「機械化へのワンステップ (パネル討議: 短期大学図書館の機械化に伴う様々な問

- 題)』、『図書館研究協議会集録』(東京都私立短期大学協会図書館研究委員会),平成元年度,1990.03, p19-27.
- [1990/03/Ko] 河野徳吉「機械化に伴う図書館業務の見直し(パネル討議:短期大学図書館の機械化に伴う様々な問題)』、『図書館研究協議会集録』(東京都私立短期大学協会図書館研究委員会),平成元年度,1990.03, p27-30.
- [1990/03/Ko] 小杉静夫,川[埒]正広,岡本正貴「愛知教育大学附属図書館におけるオフコンによる図書館システム(<特集>学術情報システムの現状と課題)』、『情報の科学と技術』,40(3),1990.03, p207-218.
- [1990/03/Mi] 宮本勉「電子計算機導入に伴う問題点(パネル討議:短期大学図書館の機械化に伴う様々な問題)』、『図書館研究協議会集録』(東京都私立短期大学協会図書館研究委員会),平成元年度,1990.03, p13-19.
- [1990/03/Na] 永田治樹(金沢大学附属図書館)「目録・所在情報サービス:その展開と新たな課題(<特集>学術情報システムの現状と課題)』、『情報の科学と技術』,40(3),1990.03, 175-182
- [1990/03/Na] 内藤英雄,今川敏男,杉村俊一「理工学系外国雑誌センター館の目録情報サービス(<特集>学術情報システムの現状と課題)』、『情報の科学と技術』,40(3),1990.03, p183-190.
- [1990/03/Ni] 西村徹「ライブラリアンシップと機械化(パネル討議:短期大学図書館の機械化に伴う様々な問題)』、『図書館研究協議会集録』(東京都私立短期大学協会図書館研究委員会),平成元年度,1990.03, p9-13.
- [1990/03/Oo] 大井敏暉(成蹊大学図書館)「図書館ネットワーク接続と目録情報サービスの実際:中小規模接続館として(学術情報システムの現状と課題)』、『情報の科学と技術』,40(3),1990.03, p191-196.
- [1990/03/Sa] 笹川郁夫(横浜国立大学附属図書館)「学術情報センターとローカル・システムの実際」、『オンライン検索』,11(1),1990.03, p14-19.
- [1990/03/So] [相互協力研究分科会]「増え続ける ILL:アメリカ合衆国テキサス州の一私大の例」、『私立大学図書館協議会東地区研究部会 相互協力研究分科会報告』,3,1990.03, p71-79.
- [1990/03/Wa] 和中幹雄(国立国会図書館)「ネットワーク時代の目録」、『館灯』(私立大学図書館協会西地区部会東海地区協議会),28,1990.03, p1-14.
- [1990/03/Wa] 渡辺良子(順天堂大学図書館)「相互貸借」、『薬学図書館』,Vo.35, No.1,1990.03, p31-40.
- [1990/04/Ga] 学術書議会学術情報分科会学術情報部会「学術情報流通の拡大方策について(報告)」、『学術月報』,Vol.43, No.4,1990.04, p422-455.
- [1990/04/Ts] 鶴田真也「和図書 CD-ROM 閲覧利用実験を終了して」、『国立国会図書館月報』(ISSN:00279153),通号 349,1990.04, p22-29.
- [1990/05/Da] 大学図書館研究集会記録編集委員会編「転換期の大学図書館:ニューメディアとシステム化が与えるインパクト:大学図書館研究集会記録;第10回」,日本図書館協会大学図書館部会,1990.05, 92p. *国公私立大学図書館協力委員会との共同刊行。発売:学術文献普及会。早稲田大学大隈小講堂,平成元年11月13日~14日。後援:国立大学図書館協議会,公立大学協会図書館協議会,私立大学図書館協会。
- [1990/05/Ga] 学術情報センター目録情報課「遡及入力データのロード作業が終了」、『オンライン・システムニュースレター』,No.24,1990.05.31.
- [1990/05/Ik] 池内健次郎「西洋古版本の形態の記述について」、『ビブリア』(天理図書館),94,1990.05, p128-156.
- [1990/05/In] 猪瀬博「学術情報システムの現状(<特集>ながす)」、『建築雑誌』,105(通号 1299),1990.05, p18-19.
- [1990/05/Ko] 小西和信「目録所在情報システムの運用について」、『北の文庫』,No.16,1990.05, p1-14.
*軌道に乗り始めた NACSIS-CAT の運用状況について現場からの報告。講演会記録。
- [1990/05/Sa] 笹川郁夫「学術情報センターを利用した System up の実際:中小規模大学図書館汎用パッケージ・システムを目指して」、『北の文庫』,No.16,1990.05, p15-27. *NEC 製 LiCSU

- [1990/05/Su] 菅原英一「図書館目録論ノート」,『北の文庫』, No.16, 1990.05, p33-39.
- [1990/05/Ta] 高田和彦(大日本印刷)「CD-ROM ソフトウェアサプライヤーの現状と問題点」,『情報処理学会研究報告』(ISSN:0919-6072), Vol.90, No.46 (FI-17), 1990.05, p17.4.1-17.4. *『学術雑誌総合目録 CD-ROM 版』作成報告。
- [1990/06/Ga] 学術情報センター雑誌目録情報係「学術雑誌総合目録和文編全国調査データ提出状況について(中間報告)」,『学術情報センターニュース』, No.12, 1990.06, p2.
- [1990/06/Is] 石井啓豊「目録所在情報データベースの統計的分析」,『分類と索引とデータベース: 山田常雄氏追悼論集』, 学術文献普及会, 1990.06.
- [1990/06/Mi] 宮澤彰「個別版フォーマットと UNIMARC」,『分類と索引とデータベース: 山田常雄氏追悼論集』, 学術文献普及会, 1990.6, p231-255.
- [1990/07/Sa] 佐藤隆司「学術図書館における選及目録の機械データへの変換」,『大学図書館研究』, No.36, 1990.07, p40-57.
- [1990/07/Sh] 島村隆夫「国立国会図書館における逐次刊行物の取り扱いとデータベースの再構築(〈特集〉国立国会図書館の逐次刊行物書誌データベース)」,『科学技術文献サービス』, 通号 93, 1990.07, p1-8.
- [1990/07/Ta] 高橋昇「海外機関との ILL の現状と課題」,『大学図書館研究』, No.36, 1990.07, p37-41.
- [1990/07/Ta] 竹内比呂也「オンラインアップロード機能を用いた目録情報選及入力: 東京大学附属図書館における試行」,『大学図書館研究』, No.36, 1990.07, p28-36.
- [1990/08/Ga] 学術情報センター目録情報課「音楽資料の取り扱いについて」,『オンライン・システムニュースレター』, No.25, 1990.08.31.
- [1990/08/Ga] 学術情報センター目録情報課「逐次刊行物複製版の取り扱いについて」,『オンライン・システムニュースレター』, No.25, 1990.08.31.
- [1990/08/Ka] 影浦映「学術雑誌総合目録 CD-ROM 版誌名・団体名インデックスの作成」,『書誌索引展望』, Vol.14, no.3, 1990.08, p38-45.
- [1990/08/To] 所理喜夫「国立史料館移転問題と学術情報システム: 日歴協報告をかねて」,『地方史研究』, 40(4), 1990.08, p116-118.
- [1990/09/Ho] 堀込静香「JAPAN MARC を利用したデータベースの作成と検索」,『オンライン検索』(ISSN:0286-3200), Vol.11, No.3, 1990.09, p118-125.
- [1990/09/Is] 石井洋「学術情報センターと接続した RUNNERS(立命館大学学術情報システム) 図書管理システムの概要(特集: 書誌情報サービスをめぐる動き)」,『現代の図書館』, Vol.28, no.2, 1990.09, p76-82.
- [1990/09/Is] 石井啓豊「大学図書館蔵書の重複分布と Zipf の法則について」,『図書館学会年報』, 36(3), 1990.09, p97-107.
- [1990/09/Mi] 宮澤彰「韓国の文字コードについて」,『学術情報センター紀要』(ISSN09135022), 3号, 1990.09, p1-20.
- [1990/09/Ok] 岡田靖「図書の整理に関する調査 1989 の集計報告及び分析: 基本データをもとに」,『現代の図書館』, Vol.28, No.2, 1990.09, p116-126.
- [1990/09/Oo] 大石博昭「NACSIS-CAT の基礎知識: データベースの概況と目録システムのめざすもの」,『逐次刊行物分科会報告』, 48, 1990.09, p13-21.
- [1990/09/Sh] 島恵子「学術情報センター総合目録データベースによる音楽資料データベース作成について」,『MLAJ newsletter』, 12(3), 1990.09, p1-6.
- [1990/09/Wa] 和中幹雄「日々進展する北米の書誌情報ネットワーク: LC と OCLC を中心に」,『国立国会図書館月報』, 通号 354, 1990.09, p2-9.
- [1990/10/Ga] 学術情報センター図書目録情報係「「アメリカン・センター図書館総合目録データベース」のサービス開始について」,『学術情報センターニュース』, No.13, 1990.10, p19.
- [1990/10/Ne] 根岸正光「密結合型図書館ネットワークにおける統合業務システムの研究の概要」,『学術情報センターニュース』, No.13, 1990.10, p7-12.

- [1990/10/0o] 大野公男「英国の大学図書館による NACSIS-CAT の試用」,『学術情報センターニュース』, No.13, 1990.10, p2.
- [1990/11/Fu] Furuya, Natsuko「Utlas の新戦略と構想 (特集・北米におけるビブリオグラフィック・ユーティリティ '90s)」,『情報の科学と技術』, 40(11), 1990.11, p725-734.
- [1990/11/Ga] 学術情報センター目録情報課「登録時の注意事項」,『オンライン・システムニュースレター』, No.26, 1990.11.9. *検索, リンクコマンド使用, 重複レコードへの対応, レコード修正等への注意.
- [1990/11/Ga] 学術情報センター目録情報課「和雑誌所蔵データの修正にはご注意ください」,『オンライン・システムニュースレター』, No.26, 1990.11.9.
- [1990/11/Ga] 学術情報センター目録情報課「[平成2年度]総合目録委員会・小委員会での審議事項」,『オンライン・システムニュースレター』, No.26, 1990.11.9.
- [1990/11/Hi] 平井邦造, 小坂哲郎 (丸善)「Utlas 図書館ネットワーク: 情報の宝庫である図書館 (特集・北米におけるビブリオグラフィック・ユーティリティ '90s)」,『情報の科学と技術』, 40(11), 1990.11, p747-754.
- [1990/11/Im] 今井清史「日本における OCLC サービス (特集・北米におけるビブリオグラフィック・ユーティリティ '90s)」,『情報の科学と技術』, 40(11), 1990.11, p735-746.
- [1990/11/No] 野口幸生「アメリカ大学図書館のユーティリティ活用 (特集・北米におけるビブリオグラフィック・ユーティリティ '90s)」,『情報の科学と技術』, 40(11), 1990.11, p697-707.
- [1990/11/Se] 関川雅彦「葦 (よし) の随から天井を覗くと: 目録システムについて考えること」,『図書館の窓』(東京大学附属図書館), 29(11), 1990.11, p109-110.
- [1990/11/Ta] 田屋裕之「書誌ユーティリティ: 発展の軌跡と展望 (特集・北米におけるビブリオグラフィック・ユーティリティ '90s)」,『情報の科学と技術』, 40(11), 1990.11, p693-696.
- [1990/11/Wa] 和中幹雄「北米における東アジア文字資料の書誌コントロールの動向 (特集・北米におけるビブリオグラフィック・ユーティリティ '90s)」,『情報の科学と技術』, 40(11), 1990.11, p708-716.
- [1990/11/Ya] 山中秀夫「天理図書館整理業務電算化について: 書誌所在情報作成システム(2)」,『ビブリア』(天理図書館), 95, 1990.11, p386-414.
- [1990/12/Ga] 学術情報センター研修係「平成2年度第1回総合目録データベース実務研修を終えて」,『学術情報センターニュース』, No.14, 1990.12, p37.
- [1990/12/Ga] 学術情報センター図書目録情報係「アメリカン・センター図書館総合目録データベースに関する調印式」,『学術情報センターニュース』, No.14, 1990.12, p3.
- [1990/12/Ha] 橋爪宏達「学術雑誌総合目録 CD-ROM の舞台裏」,『学術情報センターニュース』, No.14, 1990.12, p6-9.
- [1990/12/Is] 石垣久四郎「図書館データベースシステムの入力・認識・理解(データベース化)システム」,『東北大学附属図書館研究年報』, 23, 1990.12, p219-238.
- [1990/12/Ma] 松原修「立命館大学学術情報システム (RUNNERS) と利用者サービス (特集: 図書館機械化の動向を探る)」,『図書館雑誌』, 84(12), 1990.12, p841-843.
- [1990/12/Ta] 谷口祥一「記述目録法のための三層構造モデル」,『図書館学会年報』, 36(4), 1990.12, p149-166.
- [1990/12/Yo] 吉田恵一 (富山医薬大)「学術情報センターシステムを利用して: 富山医科薬科大学附属図書館の場合」,『薬学図書館』, Vo.35, No.4, 1990.12, p228-237.

1991年(平成3年)

- [1991/00/Ne] Hashizume, Hiromichi (橋爪宏達); Kageura, Kyo (影浦映). An index mechanism for CD-ROM Japanese Information System(NACSIS), Tokyo, JPN. 「CD-ROM 日本語情報検索用の索引メカニズム」, "Preprint of 3rd International Conference Japanese Information in Science, Technology and Commerce, Nancy. ", (3rd), 1991, p435-446. *英文
- [1991/00/Ki] 北克一「海を渡った NACSIS-CAT; 英国日本資料の共同目録の実現性調査プロジェクト」,『整

理技術研究』, (28), 1991, p1-7

- [1991/00/Ne] Negishi, Masamitsu (根岸正光); Miyazawa, Akira (宮澤彰); Koyama, Noboru (小山騰); King, Sherley. Union Catalogue pilot project for Japanese Information System(NACSIS), Tokyo, JPN. 「NACSIS-英国図書館 衛星リンクを用いた英国内日本資料の総合目録パイロット・プロジェクト」, “Preprint of 3rd International Conference Japanese Information in Science, Technology and Commerce, Nancy.”, (3 rd), 1991, p507-521. * 英文
- [1992/02/Ki] 岸美雪, 兎内勇津流 「NDL のデータベースから ; 8 : 日本関係欧文図書 : 洋図書データベース B001 による分析 (<特集> 日本情報の国際化と国立国会図書館) 」, 『科学技術文献サービス』 (国立国会図書館), no. 95, 1992. 02, p27-71.
- [1991/02/Ma] 松本浩一, 和泉新 「漢籍目録データベースのための典拠ファイルの開発 (<特集> 「典拠コントロール」) 」, 『情報の科学と技術』, 41(2), 1991. 02, p123-130.
- [1991/02/Ta] 田村貴代子 「UNIMARC/Authorities (案) の概要 (<特集> 「典拠コントロール」) 」, 『情報の科学と技術』, 41(2), 1991. 02, p92-98.
- [1991/02/Us] 牛崎進 「NACO 事業 : 米国における典拠ファイル共同作成事業の現況 (<特集> 「典拠コントロール」) 」, 『情報の科学と技術』, 41(2), 1991. 02, p100-106.
- [1991/02/Yo] 横山幸雄 「共同・分担目録における典拠コントロール : NACSIS-CAT の著者名典拠システム (<特集> 「典拠コントロール」) 」, 『情報の科学と技術』, 41(2), 1991. 02, p113-122.
- [1991/03/Am] 雨森弘行 「NACSIS の当面の事業とその展開 (平成 2 年度学術情報センター・シンポジウム講演要旨) 」, 『学術情報センターニュース』, No. 15, 1991. 03, p28.
- [1991/03/Fu] 福田理 「英国 ILL システムの概観と実状 (特集 : 情報サービスにおける ILL (Interlibrary Loan) の展開) 」, 『情報の科学と技術』, 41(3), 1991. 03, p281-289.
- [1991/03/Ga] 学術情報センター雑誌目録情報係 「学術雑誌総合目録和文編新版データベース確認調査の実施 (予定) 」, 『学術情報センターニュース』, No. 15, 1991. 03, p18.
- [1991/03/Ga] 学術情報センター雑誌目録情報係 「学術雑誌総合目録欧文編誌名変遷マップの刊行」, 『学術情報センターニュース』, No. 15, 1991. 03, p22-23.
- [1991/03/Ga] 学術情報センター目録情報課 「自動登録ソフトの使用にあたって」, 『オンライン・システムニュースレター』, No. 28, 1991. 03. 15.
- [1991/03/Ga] 学術情報センター目録情報課 「雑誌「創刊号」の扱い」, 『オンライン・システムニュースレター』, No. 28, 1991. 03. 15.
- [1991/03/Is] 石井啓豊 「わが国の大学図書館における資源共有からみた目録所在情報データベースの評価」, 『大学図書館研究』, No. 37, 1991. 03, p9-25.
- [1991/03/Is] 石井啓豊 「オンライン分担目録システムのヒット率に関するモデル」, 『図書館学会年報』, No. 37(1), 1991. 03, p10-21.
- [1991/03/Jo] [『情報の科学と技術』編集部] 「 “ ILL・貸出 ” に関する文献リスト」, 『情報の科学と技術』, 41(3), 1991. 03, 289. * 邦文 9 点、英文 16 点。
- [1991/03/Ki] 北川正路, 兼岩健二 「日本医学図書館協会の相互貸借活動 (特集 : 情報サービスにおける ILL (Interlibrary Loan) の展開) 」, 『情報の科学と技術』, 41(3), 1991. 03, p245-254.
- [1991/03/Ko] 小林公夫 「アメリカ合衆国における ILL ネットワーク : 現状と課題 (特集 : 情報サービスにおける ILL (Interlibrary Loan) の展開) 」, 『情報の科学と技術』, 41(3), 1991. 03, p271-280.
- [1991/03/Ue] 上田修一, 三輪真木子 共著 『書誌データベース構築法』, 丸善, 1991. 03, 195p.
- [1991/04/Mi] 南館義孝, 力石貢子, 小陳左和子, 栄野川敦 「書誌同定 : 重複書誌を作成しないために (特集 : NACSIS-CAT) 」, 『北の文庫』, 18, 1991. 04, p1-8.
- [1991/03/Ta] 田口照美, 大久保恒次 「学総目ファイルから抽出した特定機関所蔵目録作成の試み : 日本経済統計情報センター所蔵雑誌ファイル作成の場合」, 『大学図書館研究』, No. 37, 1991. 03, p26-33.
- [1991/03/Ta] 高山正也 「わが国における I.L.L. の計画と展望 : 「図書館情報ネットワーク研究会」の活動

- とその報告概要(特集:情報サービスにおける ILL (Interlibrary Loan) の展開)」,『情報の科学と技術』, 41(3), 1991.03, p223-229.
- [1991/03/Ta] 田村潤二「大学図書館間 ILL の新しい展開へ向けて(特集:情報サービスにおける ILL (Interlibrary Loan) の展開)」,『情報の科学と技術』, 41(3), 1991.03, p230-236.
- [1991/03/To] [東京大学]OPAC 運用調整班(平成2年度)『OPAC 入門』, 東京大学附属図書館, 1991.03, 89p.
- [1991/04/To] 富田健市 渋谷真理子 神崎一江 藤島隆「共有レコードの修正を巡って(特集:NACSIS-CAT)」,『北の文庫』, 18, 1991.04, p1-55
- [1991/06/Am] 天野善雄「NACSIS-CAT に期待する(特集;セミナー「学術情報センターに期待する」)」,『医学図書館』, 38(2), 1991.06, p135-138.
- [1991/06/Ga] 学術情報センター目録情報課「目録・所在情報データベース 500 万件突破」,『オンライン・システムニュースレター』, No.29, 1991.06.10.
- [1991/06/Ga] 学術情報センター目録情報課「USMARC(Music, Visual Materials, Maps)のサービス開始」,『オンライン・システムニュースレター』, No.29, 1991.06.10.
- [1991/06/Ga] 学術情報センター目録情報課「ILL システムの概要」,『オンライン・システムニュースレター』, No.29, 1991.06.10.
- [1991/06/Ga] 学術情報センター目録情報課「[平成2年度]総合目録委員会の審議結果(図書)」,『オンライン・システムニュースレター』, No.29, 1991.06.10.
- [1991/06/In] 猪瀬博「創立5周年を迎えるにあたって(創立5周年特集号)」,『学術情報センターニュース』, No.16, 1991.06, p2.
- [1991/06/In] 井上如「学術情報センター事業の現状と展望:NACSIS-CAT 事業を中心に」,『私立大学図書館協会会報』, 通号 96, 1991.06, p74-76.
- [1991/06/In] 泉峰子「学術情報システム“接続不可能館”より一言(特集;セミナー「学術情報センターに期待する」)」,『医学図書館』, 38(2), 1991.06, p149-150
- [1991/06/Jo] [『情報の科学と技術』編集部]「"OPAC"に関する文献目録(<特集>オンライン利用者目録(OPAC)の現在)」,『情報の科学と技術』, 41(6), 1991.06, p512-513. *図書19点、雑誌論文30点。
- [1991/06/Ki] 北山雅博「新しい媒体による目録検索:オンディスク目録の提供(特集:遡及入力と資料提供)」,『情報の科学と技術』, 41(6), 1991.06, p505-511.
- [1991/06/Ko] 小林真理「イギリスの大学図書館における OPAC (特集:オンライン利用者目録(OPAC)の現在)」,『情報の科学と技術』, 41(6), 1991.06, p490-497.
- [1991/06/Ko] 小西和信「学術情報センターの活動と医学図書館」,『医学図書館』, Vol.38, No.2, 1991.06, p130-134.
- [1991/06/Ma] 増井ゆう子「古典籍総合目録データベースの形成(特集:遡及入力と資料提供)」,『現代の図書館』, Vol.29, no.2, 1991.06, p81-90.
- [1991/06/Mi] 宮澤彰 小西和信「目録システム(創立5周年特集号)」,『学術情報センターニュース』, No.16, 1991.06, p.27-36.
- [1991/06/Na] 永崎由紀子「NACSIS-CAT を利用したオンライン目録作業;機械化へのワン・ステップとして」,『医学図書館』, Vol.38, No.2, 1991.06, p130-134.
- [1991/06/Na] 永田治樹「西洋古刊本に関する総合目録データベースの形成」,『現代の図書館』, Vol.29, no.2, 1991.06, p105-115. *西洋古刊本の書誌データの標準化について(ISBD(A), AACR2, ETCでの扱い)
- [1991/06/Na] 永田治樹「OPAC の展開:次世代の図書館像を求めて(<特集>オンライン利用者目録(OPAC)の現在)」,『情報の科学と技術』, 41(6), 1991.06, p457-462.
- [1991/06/Ni] 西村弘之「OCP (Oxford Concordance Program) による蔵書データベースの分析と評価:遡及入力データに見る文字数の分布と語の出現頻度」,『情報の科学と技術』, 41(6), 1991.06, p514-527.
- [1991/06/Ob] 大日方聖信「上智大学の SAINT-OPAC システム:利用者の反応と今後の改善点(<特集>オン

- ライン利用者目録 (OPAC) の現在」,『情報の科学と技術』, 41(6), 1991.06, p463-473.
- [1991/06/0o] 大城善盛, 平野裕志「オンライン目録の比較研究」,『同志社大学図書館学年報・別冊, 同志社図書館情報学』, 17, 1991.06, p10-45.
- [1991/06/Sa] 佐藤義則「学内 LAN との接続による OPAC 検索環境の拡張 (<特集>オンライン利用者目録 (OPAC) の現在)」,『情報の科学と技術』, 41(6), 1991.06, p498-504.
- [1991/06/Su] 菅利信 (東京医大)「学術情報センターと医学図書館: セミナー「学術情報センターに期待する」 (平成 3 年 1 月 30 日開催)」,『医学図書館』, Vol. 38, No. 2, 1991.06, p124-129.
- [1991/06/Ta] 高橋進 (東邦大学医学部)「NACSIS-IR と医学図書館: 東邦大学医学部図書館での利用状況と今後の改良点を中心に」,『医学図書館』, Vol. 38, No. 2, 1991.06, p139-141.
- [1991/06/To] 遠山敦子「学術情報システムの草創の頃 (創立 5 周年特集号)」,『学術情報センターニュース』, (16), 1991.06, p10-11.
- [1991/06/Ya] 山口直比古 (浜松医科大学附属図書館)「医学洋書総合目録と学術情報センターの役割」,『医学図書館』, Vol. 38, No. 2, 1991.06, p142-145.
- [1991/07/Ga] 学術情報センター目録情報課「非図書資料の入力指針」,『オンライン・システムニュースレター』, No. 30, 1991.07.30.
- [1991/07/Ga] 学術情報センター目録情報課「[平成 3 年度]総合目録委員会の審議事項」,『オンライン・システムニュースレター』, No. 30, 1991.07.30.
- [1991/07/Ga] 学術情報センター目録情報課「[平成 3 年度]総合目録小委員会の審議事項」,『オンライン・システムニュースレター』, No. 30, 1991.07.30.
- [1991/07/Ki] 北克一「書誌ユーティリティにおける目録: NACSIS-CAT を例として (第 32 回[日本図書館研究会]研究大会シンポジウム)(第 32 回[日本図書館研究会]研究大会グループ研究発表)」,『図書館界』, 43(2), 1991.07, p89-96.
- [1991/07/Ma] 松井幸子「図書分類の現状と問題点」,『情報処理学会研究報告』(ISSN:0919-6072), Vol. 91, No. 55 (FI-22), 1991.07, p1-8. *NACSIS-CAT における分類付与の実態について.
- [1991/07/0o] 大塚奈奈絵「OPAC の主題検索」,『カレントアウェアネス』, 143, 1991.07, p4-5.
- [1991/07/Se] 関谷直子「機械化の夢の後 (特集: 小規模図書館の機械化)」,『情報の科学と技術』, 41(7), 1991.07, p567-574.
- [1991/08/Ik] 池田憲昭, 土井和美, 宇野彰男, 山崎美智子, 宮原英夫, 山本昇, 木川田隆一「北里大学図書館における図書・雑誌所在情報のオンライン化」,『情報の科学と技術』, 21(4), 1991.08, p376-382.
- [1991/08/Ne] 根本彰「全国書誌と全国総合目録: アメリカにおける書誌コントロール概念成立の背景」,『論集・図書館学研究の歩み; 第 11 集: 図書館ネットワークの現状と課題/日本図書館学会研究委員会編』, 日外アソシエーツ, 1991.08.
- [1991/08/Sh] 柴田正美「大学図書館ネットワークとしての学術情報センター・システム」,『論集・図書館学研究の歩み; 第 11 集: 図書館ネットワークの現状と課題/日本図書館学会研究委員会編』, 日外アソシエーツ, 1991.08, p166-189. *NACSIS の初期の歴史.
- [1991/09/Mi] 宮澤彰「CJK-JRG: 漢字コードに関する国際会議」,『学術情報センターニュース』, (ISSN09125922), 1991.09, p26-27.
- [1991/09/Ue] 上田修一著『書誌ユーティリティ: 新たな情報センターの誕生』(図書館員選書; 18), 日本図書館協会, 1991.09, 223p. *第 5 章「学術情報センター」
- [1991/10/Ga] 学術情報センター目録情報課「[平成 3 年度]第 2 回総合目録小委員会・第 1 回 ILL システム開発協力者会議の審議事項」,『オンライン・システムニュースレター』, No. 31, 1991.10.18.
- [1991/10/Gu] 群馬大学附属図書館電子図書館化推進グループ「群馬大学附属図書館における電子的手段導入の現状と課題」,『大学図書館研究』, No. 38, 1991.10, p8-18.
- [1991/10/Ha] 早瀬均「発展する目録: 米国におけるオンライン目録の展開」,『大学図書館研究』, No. 38, 1991.10, p67-79.

- [1991/10/0o] 大野公男 小西和信「英国で NACSIS CAT 操作説明会を開催」、『学術情報センターニュース』, 15, 1991.10, p2
- [1991/10/Su] 杉本昌彦「上智大学図書館における NACSIS-CAT の利用とオンライン遡及入力;和書遡及入力を中心として」,『大学図書館研究』, No.38, 1991.10, p80-90
- [1991/10/Su] 鈴木孝明「NACSIS-CAT を利用したパソコンによるローカル・データベースの構築」,『医学図書館』, 38(1), 1991.10, p1-6
- [1991/10/Ya] 柳瀬吉雄「文献複写業務改善の試み: FAX 普及時代を迎えて」,『大学図書館研究』, No.38, 1991.10, p91-103.
- [1991/12/Ao] 青木壮(順天堂大学図書館)「Brandon リストに収載されている主要医学図書の経時的調査」,『医学図書館』, Vol.38, No.4, 1991.12, p383-391. * 小規模医学図書館の選書指針(第1版~第13版)に基づいて医学洋書総合目録を調査。
- [1991/12/Ko] 小西和信「学術情報センター ILL システムの概要」,『北海道地区大学図書館職員研究集会記録』(北海道地区大学図書館協議会), 第34回, 1991.12, p15-29.
- [1991/12/Mi] 宮澤彰「韓国の大学図書館電算化国際セミナーに参加して」,『学術情報センターニュース』, (ISSN09125922), 1991.12, p14-15.
- [1991/12/Ne] 根岸正光「学術雑誌総合目録・誌名変遷マップの開発: 和文編マップから欧文編マップへ」,『学術情報センター紀要』, (ISSN09135022), 4号, 1991.12, p1-12.
- [1991/12/Ne] 根岸正光「誌名変遷マップ: 学術雑誌総合目録における誌名変遷の図式的表現 第3版欧文編の開発と新たな特色」,『学術情報センター紀要』, (ISSN09135022), 4号, 1991.12, p13-36.
- [1991/12/Ne] 根岸正光 猪瀬博「図書館システムの将来像: 密結合型図書館ネットワークと電子図書館」, 紀伊國屋書店, 1991.12, vii, 229p.
- [1991/12/Ne] 根岸正光「付論学術情報センター目録システムの関連諸統計とその分析. 6 図書総合目録におけるヒット率」,『図書館システムの将来像: 密結合型図書館ネットワークと電子図書館』, 紀伊國屋書店, 1991.12, p219-223.
- 1992 年 (平成 4 年)**
- [1992/00/Am] 天笠洋一「学術情報システムの利用; 既存ローカル・システムとの関連 (研究発表)」,『私立大学図書館協会会報』, 通号 98, 1992, p120-127
- [1992/00/Is] 石塚英弘「<講演要旨>目録システムにおける HYPERTEXT の適用可能性」,『東海地区大学図書館協議会誌』, 通号 37, 1992, p21-.
- [1992/01/Ka] 甲斐重武「学術情報センター ILL システムの概要」,『薬学図書館』, 37(1), 1992.01, p8-15.
- [1992/02/Ga] 学術情報センター目録情報課「ILL システムのサービス開始」,『オンライン・システムニュースレター』, No.32, 1992.02.26.
- [1992/02/Ga] 学術情報センター目録情報課「[平成3年度]第2回総合目録委員会の審議事項」,『オンライン・システムニュースレター』, No.32, 1992.02.26.
- [1992/02/Ga] 学術情報センター目録情報課「[平成3年度]第3回総合目録小委員会・第2回 ILL システム開発協力者会議の審議」,『オンライン・システムニュースレター』, No.32, 1992.02.26.
- [1992/02/Ga] 学術情報センター目録情報課「[平成3年度]第4回総合目録小委員会の審議事項」,『オンライン・システムニュースレター』, No.32, 1992.02.26.
- [1992/02/Wa] 柴田正美「心配なのは目録作成機能能力の衰退: なぜ進まない「NCR87」の普及 (<特集>MARC と目録規則)」,『みんなの図書館』, no.177, 1992.02, p8-15.
- [1992/02/Wa] 和中幹雄「日本における MARC システムの現状と課題 (<特集>MARC と目録規則)」,『みんなの図書館』, no.177, 1992.02, p2-7.
- [1992/03/Da] 大学図書館研究集会事務局編「情報環境の変貌と大学図書館: 新しい図書館サービスの可能性を考える: 大学図書館研究集会記録; 第12回」, 日本図書館協会大学図書館部会, 1992.03, 124p. * 国公立大学図書館協力委員会との共同刊行。発売: 学術文献普及会。一橋大学兼松講堂, 平成3年11

月 28 日 (木) ~ 29 日 (金)。

- [1992/03/Ga] 学術情報センター雑誌目録情報係「学術雑誌総合目録欧文編 (新版) の調査概要」,『学術情報センターニュース』, No.19, 1992.03, p21.
- [1992/03/Ga] 学術情報センター雑誌目録情報係「学術雑誌総合目録和文編 1991 年版の刊行」,『学術情報センターニュース』, No.19, 1992.03, p22.
- [1992/03/Ga] 学術情報センター目録情報課「ILL システムの参加館について」,『オンライン・システムニュースレター』, No.33, 1992.03.
- [1992/03/Ga] 学術情報センター目録情報課「学術雑誌総合目録欧文編新版の全国調査の概要について」,『オンライン・システムニュースレター』, No.33, 1992.03.
- [1992/03/Ga] 学術情報センター目録情報課「[平成 3 年度]第 3 回総合目録委員会の審議内容」,『オンライン・システムニュースレター』, No.33, 1992.03.
- [1992/03/Ga] 学術情報センター目録情報課「[平成 3 年度]第 5 回総合目録小委員会の審議内容」,『オンライン・システムニュースレター』, No.33, 1992.03.
- [1992/03/Ha] 狭間晴美「大学図書館機械化における一考察:名古屋商科大学中央情報センターを事例として」,『館灯』(私立大学図書館協会西地区部会東海地区協議会), 30, 1992.03, p41-49.
- [1992/03/Ho] 星野雅英「遡及変換と総合目録データベース (特集:図書館目録の遡及変換)」,『情報の科学と技術』, 42(3), 1992.03, p.219-228
- [1992/03/Is] 石井啓豊「ILL システムへの期待と要望 (平成 3 年度学術情報センター・シンポジウム講演要旨)」,『学術情報センターニュース』, No.19, 1992.03, p35.
- [1992/03/Ka] 蟹瀬智弘, 峠畑猛史「大規模遡及入力の実験作業 (特集:図書館目録の遡及変換)」,『情報の科学と技術』, 42(3), 1992.03, p243-250.
- [1992/03/Ki] 北克一「オンライン自動登録方式による遡及変換:書誌ユーティリティ NACSIS-CAT を利用して (特集:図書館目録の遡及変換)」,『情報の科学と技術』, 42(3), 1992.03, p211-218
- [1992/03/Ko] 木場隆司 [ほか]「「壁のない図書館」をめざして:鹿児島大学図書館システム開発報告」,『大学図書館研究』, No.39, 1992.03, p23-39.
- [1992/03/Ma] 牧村正史「ドイツの中央専門図書館の活動 (<特集>図書館をとりまく環境)」,『現代の図書館』(日本図書館協会 ISSN:00166332), Vol.30, No.1, 1992.03, p12-18. * ドイツの文献提供システム
- [1992/03/Mi] 宮川公男, 林英輔, 松浦正, 根岸正光 (パネラー), 井上如 (コーディネーター)「学術情報センターに期待するもの:パネル討論 (平成 3 年度学術情報センター・シンポジウム講演要旨)」,『学術情報センターニュース』, No.19, 1992.03, p37.
- [1992/03/Mi] 宮澤彰「第 3 回 CJK-JRG と統合化漢字レパートリ」,『学術情報センターニュース』, (ISSN09125922), 1992.03, p6.
- [1992/03/Na] 永田治樹「ILL システムへの期待と要望 (平成 3 年度学術情報センター・シンポジウム講演要旨)」,『学術情報センターニュース』, No.19, 1992.03, p36.
- [1992/03/Sa] 佐藤晃久「東京都立大学付属図書館における遡及入力 (特集:図書館目録の遡及変換)」,『情報の科学と技術』, 42(3), 1992.03, p236-242.
- [1992/03/Sh] 志保田務, 北克一「書誌ユーティリティ:新たな情報センターの誕生」,『図書館界』, 44(13), 1992.03, p34-35.
- [1992/03/So] [相互協力研究分科会]「第 6 章 オンライン ILL システムの動向 (第 1 部国内機関との ILL の手引き)」,『私立大学図書館協議会東地区研究部会 相互協力研究分科会報告』, 4, 1990.03, p51-57.
- [1992/03/To] 友光健二, 平井洋「東京学芸大学における閲覧システムのパソコン化 GULIVER システム開発の経緯」,『大学図書館研究』, No.39, 1992.03, p40-48.
- [1992/03/To] 遠山潤 (活水女子大学)「JBCAT における目録データの品質」,『図書館学』(西日本図書館学会), 60, 1992.03, p17-23. * 日頃 NACSIS-CAT に感じていることを整理。
- [1992/03/Ya] 山本かおる「大学図書館における遡及変換:立命館の場合 (特集:図書館目録の遡及変換)」,

- 『情報の科学と技術』, 42(3), 1992.03, p229-235.
- [1992/03/Yo] 米田政明, 長谷博明「遡及変換の新技術(特集:図書館目録の遡及変換)」, 『情報の科学と技術』, 42(3), 1992.03, p204-210.
- [1992/04/As] 浅野次郎「文献複写をめぐる最近の動向: 大学図書館を中心に (<特集>著作権; 2: 著作権と流通)」, 『情報の科学と技術』, 42(4), 1992.04, p312-319.
- [1992/04/Iw] 岩猿敏生, 大城善盛, 浅野次郎著『大学図書館の管理と運営』, 日本図書館協会, 1992.04.
* 「8 大学図書館とコンピュータ (p165-200)」(浅野次郎) で NACSIS-CAT に言及。
- [1992/04/Na] 永田治樹「次世代大学図書館を展望するシステム: カーネギー・メロン大学図書館訪問記」, 『檜蔭: 北海道大学附属図書館報』, 通号 83, 1992.04, p5-8.
- [1992/05/Ki] 北風貴紫「MARC の利用と情報提供と課題: いわゆる学総目のコンバーターを中心に」, 『早稲田大学図書館紀要』, 36, 1992.05, p42-63.
- [1992/05/Oo] 大塚奈奈絵「トランザクション・ログ・アナリシス: より良い OPAC を目指して」, 『カレントアウェアネス』, 153, 1992.05, p4.
- [1992/05/Ya] 柳瀬吉雄「図書館評価と相互貸借」, 『図書館界』, Vol.44, No.1, 1992.05, p22-26, 35.
- [1992/06/Ei] 英国 CAT ワーキング・グループ「英国における NACSIS-CAT パイロット・プロジェクト; Pilot Phase の報告(研究開発)」, 『学術情報センターニュース』, (20), 1992.06, p6-8
- [1992/06/Ga] 学術情報センター目録情報課「平成 4 年度目録システムの機能向上予定項目」, 『オンライン・システムニュースレター』, No.34, 1992.06.10.
- [1992/06/Ko] 小西和信, 甲斐重武「大学図書館サービスの活性化に向けて: 学術情報センター ILL システムの概要」, 『情報管理』, 35(3), 1992.06, p192-204. * ILL システム開発の経緯とシステムの概要。
- [1992/06/Mi] 宮澤彰「英国の大学図書館による NACSIS-CAT 試用の状況: 英国出張報告」, 『学術情報センターニュース』, (20), 1992.06, p9
- [1992/07/Ka] 甲斐重武「新しい図書館利用のための ILL システム: 「相互利用」から「総合利用」へ」, 『図書館雑誌』, Vol.86, No.7, 1992.07, p457-460.
- [1992/07/Ki] 北克一, 芝勝徳「公共図書館における OPAC: ネットワーク環境における書誌情報の展開」, 『図書館界』, Vol.44, No.2, 1992.07, p88-93.
- [1992/08/Ga] 学術情報センター目録情報課「目録所在情報サービスを利用するための新たな接続形態について」, 『オンライン・システムニュースレター』, No.35, 1992.08.10. * DDX-P の 80 年版規格
- [1992/08/Ga] 学術情報センター目録情報課「[平成 4 年度]総合目録委員会・総合目録小委員会の開催」, 『オンライン・システムニュースレター』, No.35, 1992.08.10.
- [1992/08/Na] 長尾真「目次情報などを利用した図書・文献検索方式」, 『情報の科学と技術』, 42(8), 1992.08, p711-718.
- [1992/08/Na] 長尾真, 谷口敏夫「目次情報に基づく図書検索と OCR による目次入力の実現可能性」, 『情報の科学と技術』, 42(8), 1992.08, p719-726.
- [1992/09/Mi] 宮澤彰「翻字, ローマ字, ISO (<特集>標準化活動の概要: ISO/TC46 の動向を中心に: 第 2 部 ISO/TC46)」, 『現代の図書館』(日本図書館協会 ISSN:00166332), Vol.30, No.3, 1992.09, p191-195.
- [1992/09/Mi] 宮澤彰「CJK-JRG と DIS10646: 背景, 経過, 今後(情報・ドキュメンテーション標準化ニュースレター, No.1 (1991.11) より転載)(<特集>標準化活動の概要: ISO/TC46 の動向を中心に)」, 『現代の図書館』(日本図書館協会 ISSN:00166332), Vol.30, No.3, 1992.09, p230-232.
- [1992/09/Ta] 高井力, 松井幸子「NACSIS-CAT における連絡・調整作業の課題: 参加機関から学術情報センターへの報告・質問の分析」, 『大学図書館研究』, No.40, 1991.09, p9-21
- [1992/09/Uc] 内田房子「洋図書の OPAC を提供開始」, 『カレントアウェアネス』, 157, 1992.09, p5-6.
- [1992/10/Ga] 学術情報センター目録情報課「レコード登録時の注意事項」, 『オンライン・システムニュースレター』, No.36, 1992.10.20. * 検索, 書誌同定, 流用入力等への注意喚起。
- [1992/10/Ga] 学術情報センター目録情報課「平成 4 年度第 2 回総合目録小委員会の審議内容」, 『オンライ

ン・システムニュースレター』, No.36, 1992.10.20.

[1992/10/Ko] 国立国会図書館編刊『JAPAN MARC マニュアル: 図書編』(日本図書館協会発売), 1992.10, 129p.

[1992/10/Ko] 国立国会図書館図書館協力部国内協力課「総合目録ネットワークの形成をめざして: 調査報告会から」, 『国立国会図書館月報』, 379, 1992.10, p21-25.

[1992/10/Sa] 齋藤ひさ子「総合目録ネットワークの形成をめざして: 調査報告会から」, 『国立国会図書館月報』, no.379, 1992.10, p21-25.

[1992/12/Ga] 学術情報センター研修係「平成4年度総合目録データベース実務研修報告」, 『学術情報センターニュース』, No.22, 1992.12, p26-27.

[1992/12/Ga] 学術情報センター目録情報課「ILLシステムの機能向上について」, 『オンライン・システムニュースレター』, No.37, 1992.12.14.

[1992/12/Ga] 学術情報センター目録情報課「洋雑誌の誌名変遷について」, 『オンライン・システムニュースレター』, No.37, 1992.12.14.

[1992/12/Is] 石垣久四郎「図書目録カードの選及変換入力」, 『東北大学附属図書館研究年報』25, 1992.12, p122-138.

[1992/12/Is] 石川敏明, 山本正宜(ソアクリスタル)「書誌目録端末システム Lumina の概要: 学術情報センターの接続システムの特徴と利用方法」, 『オンライン検索』(ISSN:0286-3200), Vol.13, No.4, 1992.12, p169-177.

[1992/12/Ka] 開原成允「<巻頭言>学術情報センターと図書館」, 『学術情報センター紀要』, 5号, 1992.12.

[1992/12/Mo] 森谷めぐみ「医学分類について: NACSIS-CAT を利用した NDC と DDC との比較の試み」, 『医学図書館』, Vol.39, No.4, 1992.12, p389-393.

[1992/12/Sm] スミス, ニール; 坂上光明「<資料>英国内の日本語出版物総合目録の実現可能性に関する調査研究プロジェクト: 実験段階での NACSIS への報告」, 『学術情報センター紀要』, 5号, 1992.12, p137-161.

1993年(平成5年)

[1993/00/Ga] 学術情報センター「NACSIS-CAT/ILL 等の利用者(機関)の範囲を大幅に拡大」, 『大学図書館協力ニュース』, 14(2), 1993.

[1993/00/In] 井上如「NACSIS: 学術情報流通のためのユーティリティ」, 『情報通信とドキュメンテーションセンター: 日仏の現状と展望: 日仏シンポジウム報告書/日仏会館フランス事務所, 日仏図書館情報学会編』(日仏会館フランス事務所), 1993, p23-.

[1993/00/Ko] 小島恵美子「NACSIS-ILL 導入後の相互貸借業務」, 『医学図書館員研究集会論文集』, Vol.28 (第28回), 1993, p165-165.

[1993/00/Sa] 沢美照美「NACSIS-ILL システムについて: 岡山理科大学図書館における NACSIS-ILL システム利用と相互協力の推移」, 『岡山理科大学紀要・B, 人文・社会科学』, 通号29B, 1993, p335-361.

[1993/01/0o] 大野友和(明治大学)「図書館のシステム化と情報サービスの今後」, 『薬学図書館』, Vol.38, No.1, 1993.01, p39-50.

[1993/03/Ga] 学術情報センター目録情報課「ILLシステムの機能向上について」, 『オンライン・システムニュースレター』, No.38, 1993.03.26.

[1993/03/Ga] 学術情報センター目録情報課「著者名典拠レコードの登録・作成・修正等の注意点」, 『オンライン・システムニュースレター』, No.38, 1993.03.26.

[1993/03/Ga] 学術情報センター目録情報課「目録システムに関するアンケートから」, 『オンライン・システムニュースレター』, No.38, 1993.03.26. *平成4年8月に接続館201機関を対象に実施したアンケートの質問・要望事項への回答。

[1993/03/Ga] 学術情報センター目録情報課「平成4年度総合目録委員会・小委員会の審議結果」, 『オンライン・システムニュースレター』, No.38, 1993.03.26.

[1993/03/Ho] 星野雅英「学術情報システムと短大図書館」, 『図書館研究協議会集録』(東京都私立短期大

- 学協会図書館研究委員会), 平成4年度, 1993.03, p37-44.
- [1993/03/In] 井上如「学術情報サービスの展開における学術情報センターの役割」,『二十一世紀の大学図書館：私立大学図書館協会五十周年記念論文集』(私立大学図書館協会), 1993.03, p1-.
- [1993/03/It] 伊藤尚武[ほか]「関西館のドキュメント・サプライ・サービスについて(＜特集＞関西館構想：調査報告書作成)」(文献と情報の発信拠点をめざして),『図書館研究シリーズ』(ISSN:04541960), 通号30, 1993.03, p2-19.
- [1993/03/Ka] 甲斐重武「学術情報センター ILL システムの利用状況と図書館協力」,『大学図書館研究」, No.41, 1993.03, p1-16.
- [1993/03/Ko] 国立国会図書館関西館事業部図書館協力課「内外のドキュメント・サプライ実施機関の概要(＜特集＞関西館構想：調査報告書作成)」(文献と情報の発信拠点をめざして),『図書館研究シリーズ』(ISSN:04541960), 通号30, 1993.03, p20-45.
- [1993/03/Ko] 国立国会図書館関西館事業部図書館協力課「内外のドキュメント・サプライ実施機関の機能の比較(＜特集＞関西館構想：調査報告書作成)」(文献と情報の発信拠点をめざして),『図書館研究シリーズ』(ISSN:04541960), 通号30, 1993.03, p46-76.
- [1993/03/Ud] 宇土行良, 遠山潤, 森茂樹「日本人著者の名前についての調査」,『図書館学会年報」, No.39, No.1, 1993.03, p13-24. *TRC MARC, Japan/MARC, JBCAT 等の人名調査.
- [1993/04/Ko] 国立国会図書館図書館研究所編「日本における既存 OPAC の比較調査：中間報告」, 国立国会図書館図書館研究所(図書館研究所調査研究レポート; no.1), 1993.04, 107p.
- [1993/05/Ki] 北克一, 芝勝徳, 志保田務「書誌情報の標準化と OPAC：1980 年代以降の動向と発展(V 目録と書誌情報)」,『図書館界」, Vo.45, No.1, 1993.05, p123-142. *1980 年以降の書誌情報の標準化や目録関連の論文を国際的視野で12年間にわたって評価, レビュー.
- [1993/05/Su] 菅原通, 莊司雅之「早稲田大学学術情報システムとユーザー」,『情報処理学会研究報告」, Vol.93, No.37 (IM 情報メディア), 1993.05, p9-16.
- [1993/05/Ya] 山田尚勇「近未来の学術情報システムと人工現実感(特集:人口現実感 Virtual Reality)」,『科学技術ジャーナル」(科学技術広報財団), 1(2), 1993.05, p21-23.
- [1993/06/Am] 天笠洋一「学術情報システムの利用：既存ローカル・システムとの関連」,『私立大学図書館協会会報」, 通号98, 1993.06, p120-127.
- [1993/06/Ga] 学術情報センター目録情報課「図書所蔵レコード件数1,000万件突破」,『オンライン・システムニュースレター」, No.39, 1993.06.24.
- [1993/06/Ga] 学術情報センター目録情報課「UNIX 版 UIP (XUIP) の提供について」,『オンライン・システムニュースレター」, No.39, 1993.06.24.
- [1993/06/Ho] 堀込静香「OPAC(《現代》ミニ講座;1)」,『現代の図書館」, Vol.31, No.2, 1993.06, p133-137.
- [1993/06/Oo] 大塚奈奈絵「ユーザサイドから見た図書の主題検索」,『TP&D フォーラムシリーズ」(TP&D フォーラム実行委員会 ISSN:0918404X), 通号2, 1993.06, p14-21.
- [1993/06/Sa] 酒井清彦, 飯倉忍「NACSIS CAT 目録の品質管理について」,『私立大学図書館協会会報」, 通号100, 1993.06, p99-104.
- [1993/06/Sh] 柴山盛生, 井上明夫, 小林清一「学術情報システムと大学図書館ネットワーク(特集:わが国の情報流通施策)」,『情報の科学と技術」, 43(6), 1993.06, p511-516
- [1993/06/Ue] 上田修一「OPAC における主題検索の問題」,『TP&D フォーラムシリーズ」(TP&D フォーラム実行委員会 ISSN:0918404X), 通号2, 1993.06, p2-11.
- [1993/07/Yu] 由良信道「図書館活動と学術情報センター」,『薬学図書館」, Vol.38 No.3, 1993.07, p164-166.
- [1993/08/Ga] 学術情報センター目録情報課「図書書誌レコード修正指針について(案)」,『オンライン・システムニュースレター」, No.40, 1993.08.27.
- [1993/08/Ga] 学術情報センター目録情報課「平成5年度目録システム開発予定項目」,『オンライン・システムニュースレター」, No.40, 1993.08.27.

- [1993/08/Ga] 学術情報センター目録情報課「BLDSC への依頼機能について」,『オンライン・システムニュースレター』, No. 40, 1993.08.27.
- [1993/08/Ga] 学術情報センター目録情報課「平成 5 年度第 1 回総合目録小委員会の審議内容」,『オンライン・システムニュースレター』, No. 40, 1993.08.27.
- [1993/08/Ki] 北克一, 芝勝徳「図書館多重ネットワーク時代の現状と展望: 公共図書館を機軸として」,『図書館界』, Vo. 45, No. 3, 1993.08, p288-293.
- [1993/08/Sa] 佐々木光子「NACSIS-CAT に期待する "知恵袋" 機能」,『大学の図書館』, 12(8), 1993.08, p140-141
- [1993/09/Ko] [国立国会図書館]業務機械室ネットワーク研究開発班「図書館協力の新たな基盤づくりをめざして: 総合目録ネットワーク・パイロット・プロジェクトの概要」,『国立国会図書館月報』, no. 390, 1993.09, p19-23.
- [1993/09/Mi] 宮澤彰「NACSIS のデータベース: NACSIS-CAT を中心に (全体会議)」,『学術情報への国際的アクセス拡大のための日米協力: 21 世紀をめざして: 第 5 回日米大学図書館会議/清水忠雄ほか編』(ユニバーサル・アカデミー・プレス), 1993.09, p146-. *会期: 1992 年 10 月 6~9 日, 場所: 東京
- [1993/10/Am] 雨森弘行「情報の "心" の伝達 (<INFOSTA Forum> 第 36 回)」,『情報の科学と技術』, 43(10), 1993.10, p965.
- [1993/10/Ki] 岸美雪「日本における既存 OPAC 上の比較調査」,『びぶろす』, 44(10), 1993.10, p233-239.
- [1993/10/Ko] 小林康隆「東京情報大学図書館業務システム化の概要: 富士通図書館システムパッケージ「ILIS」を導入して (特集: 図書館の電算化 最近の事例)」,『薬学図書館』, Vol. 149, 1993.10, p246-255.
- [1993/10/Mu] 村田輝「個別版 CD-ROM システムの開発」,『全国共同利用大型計算機センター研究開発センター研究開発論文集』, No. 15, 1993.10, p113-118.
- [1993/10/Ta] 谷口甲二「図書館の電算化について: ILIS へのシステム移行 (特集: 図書館の電算化 最近の事例)」,『薬学図書館』, Vol. 149, 1993.10, p239-245.
- [1993/11/Ga] 学術情報センター目録情報課「目録所在情報サービス等の利用資格の拡大」,『オンライン・システムニュースレター』, No. 41, 1993.11.15.
- [1993/11/Ga] 学術情報センター目録情報課「平成 5 年度目録システム開発予定項目」,『オンライン・システムニュースレター』, No. 41, 1993.11.15.
- [1993/11/Ga] 学術情報センター目録情報課「平成 5 年度第 1 回総合目録委員会の審議内容」,『オンライン・システムニュースレター』, No. 41, 1993.11.15.
- [1993/11/In] 井上如「リソース・シェアリングと図書館: ILL の心と形 (特集: リソース・シェアリング: 資料利用のための協力)」,『情報の科学と技術』, 43(11), 1993.11, p978-985. * ILL を成り立たせる精神
- [1993/11/Ir] 入江玲子「ILLINET とリソース・シェアリング: 米国の ILL とライブラリー・システムを見る (特集: リソース・シェアリング: 資料利用のための協力)」,『情報の科学と技術』, 43(11), 1993.11, p1027-1035.
- [1993/11/Ka] 甲斐重武「ILL システムによる資料評価 (特集: リソース・シェアリング: 資料利用のための協力)」,『情報の科学と技術』, 43(11), 1993.11, p986-995.
- [1993/11/Ku] 熊谷俊夫, 重里信一「学術資源の全国保存システムと共同保存図書館 (特集: リソース・シェアリング: 資料利用のための協力)」,『情報の科学と技術』, 43(11), 1993.11, p996-1005.
- [1993/12/Ga] 学術情報センター研修係「平成 5 年度総合目録データベース実務研修報告」,『学術情報センターニュース』, No. 26, 1993.12, p19-20.
- [1993/12/Ga] 学術情報センター目録情報課「図書書誌レコードの修正方針について」,『オンライン・システムニュースレター』, No. 42, 1993.12.24. * 「目録情報の基準運用細則」作成検討部会で作成。
- [1993/12/Ga] 学術情報センター目録情報課「典拠レコードの注記フィールドの取り扱いについて」,『オンライン・システムニュースレター』, No. 42, 1993.12.24.
- [1993/12/Ga] 学術情報センター目録情報課「平成 5 年度第 2 回総合目録小委員会の審議内容」,『オンライ

ン・システムニュースレター』, No.42, 1993.12.24.

[1993/12/Ha] 長谷川豊佑「大学紀要の輪郭とその取り扱い」,『現代の図書館』(日本図書館協会 ISSN:00166332), Vol.33, No.4, 1993.12, p228-236.

[1993/12/Ii] 飯島正裕(獨協医科大学図書館)「OPAC 時代における薄暮文献の取扱い」,『医学図書館』, Vol.40, No.4, 1993.12, p393-399. *単行本か雑誌かといった境界領域の不明な出版物(薄暮文献)

[1993/12/Ko] 国立大学図書館協議会文献複写に係る著作権問題特別委員会『著作権使用に係る文献複写の実態調査:報告書』, 1993.12, 15p.

1994年(平成6年)

[1994/00/Ad] 安達淳「電子図書館システムの試行に向けて:学術情報システムの新たな展開(トピックス)」,『学術情報センターニュース』, (28), 1994, p2-4.

[1994/00/Fu] 藤沢靖子「NACSIS-CAT の医学書ヒット率」,『医学図書館員研究集会論文集』, Vol.28, 1994, p39-44.

[1994/00/Ic] 市川淳信「大学図書館の将来:自律分散型学術情報システムの形成(特別記事:これからの大学図書館)」,『文部時報』, (1409), 1994, p48-49.

[1994/00/Ot] 大瀧礼二「NACSIS-CAT 雑誌目録システムにおける「Lancet」の巻次表現」,『医学図書館員研究集会論文集』, Vol.28, 1994, p45-48.

[1994/00/Un] 宇野彰男「看護雑誌総合目録の作成:パソコンを利用した DTP を試みて」,『看護と情報:看護図書館協議会誌』, 1, 1994, 61-69.

[1994/02/Da] 大学図書館研究集会事務局編『リソース・シェアリングの新たな視界:相互協力のさらなる推進に向かって:大学図書館研究集会記録;第14回』,日本図書館協会大学図書館部会,1994.02,131p.
*国公立大学図書館協力委員会との共同刊行。発売:学術文献普及会。立教大学新座キャンパス1号館,平成5年11月25日(木)~26日(金)。後援:国立大学図書館協議会,公立大学協会図書館協議会,私立大学図書館協会。

[1994/02/Ga] 学術情報センター目録情報課「NACSIS-ILL の BKDSC 依頼機能について」,『オンライン・システムニュースレター』, No.43, 1994.02.28.

[1994/02/Ga] 学術情報センター目録情報課「JAPAN/MARC 遡及データの導入について」,『オンライン・システムニュースレター』, No.43, 1994.02.28.

[1994/03/Am] 雨森弘行「<巻頭言>すべての図書館をすべての利用者に:世界の図書館の一体化へ向けて」,『中部図書館学会誌』, Vol.35, 1994.03, p.2-. *BLDSC と NACSIS-ILL の接続の話。

[1994/03/Ga] 学術情報センター目録情報課「遡及入力指針」の運用について」,『オンライン・システムニュースレター』, No.44, 1994.03.31.

[1994/03/Ga] 学術情報センター目録情報課「学術雑誌総合目録欧文編の確認調査」,『オンライン・システムニュースレター』, No.44, 1994.03.31.

[1994/03/Ga] 学術情報センター目録情報課「平成5年度第2回総合目録委員会の審議内容」,『オンライン・システムニュースレター』, No.44, 1994.03.31.

[1994/03/Ga] 学術情報センター目録情報課「平成5年度第3回総合目録小委員会の審議内容」,『オンライン・システムニュースレター』, No.44, 1994.03.31.

[1994/03/Hi] 平野美恵子[ほか]「日本における既存 OPAC の比較調査(図書館情報学調査研究報告)」,『図書館研究シリーズ』(ISSN:04541960), 通号31, 1994.03, p231-327.

[1994/03/In] 井上修, 平岡博, 篠塚富士夫「インターネットによる筑波大学附属図書館蔵書検索サービスについて」,『大学図書館研究』, No.43, 1994.03, p61-66.

[1994/03/Ke] 慶應義塾大学図書館・情報学科[編]『図書館サービスから見た著作権法:新しい時代の大学図書館サービスと著作権法の共存に向けて』,1994.03. *平成5年度慶應義塾学事振興資金による研究(共同研究):情報サービスの側面から見た著作権概念の再構築(報告書)。

[1994/03/Ma] 牧村正史, 竹内比呂也「大学図書館における目録の評価について:OPAC の機能を中心とし

- て」,『大学図書館研究』,(ISSN:04541960),No.43,1994.03,p1-11.
- [1994/03/Mo] 森茂樹「図書館電算システムの効率的な開発について:パッケージ・ソフトの利用と自館開発の併用」,『図書館学』(西日本図書館学会),no.64,1994.03,p18-22.
- [1994/03/So] [相互協力研究分科会]「第1部 私立大学図書館相互協力の指針(試案)」,『私立大学図書館協議会東地区研究部会 相互協力研究分科会報告』,5,1994.03,p1-9.
- [1994/03/So] [相互協力研究分科会]「第2部 NACSIS-ILLの利用マニュアル:〈序論〉」,『私立大学図書館協議会東地区研究部会 相互協力研究分科会報告』,5,1994.03,p10-29.
- [1994/03/So] [相互協力研究分科会]「第3部 NACSIS-ILLの利用マニュアル:〈実践編〉」,『私立大学図書館協議会東地区研究部会 相互協力研究分科会報告』,5,1994.03,p30-99.
- [1994/03/So] [相互協力研究分科会]「第4部 ドキュメント・デリバリーによる ILL」,『私立大学図書館協議会東地区研究部会 相互協力研究分科会報告』,5,1994.03,p100-121.
- [1994/03/So] [相互協力研究分科会]「第5部 海外図書館との ILL サービス」,『私立大学図書館協議会東地区研究部会 相互協力研究分科会報告』,5,1994.03,p122-144.
- [1994/03/To] 東京大学附属図書館編『東京大学図書館電算機システム専門委員会次世代・次期システム検討ワーキング・グループ報告:LILIPUT からネットワークの海へ』,東京大学附属図書館,1994.03,32p.
- [1994/04/Ku] 熊懷節子(摂南大学)「図書館員の生活と意見シリーズ:目録作成4:目録作成について」,『薬学図書館』,Vol.39,No.2,1994.04,p134-136.
- [1994/04/Ne] 根岸正光「データベースの運用と品質管理(特集:データベースの品質管理)」,『情報の科学と技術』,44(4),1994.04,p154-161.
- [1994/04/Sa] 酒井清彦「オンライン総合目録データベースの重複排除(特集:データベースの品質管理)」,『情報の科学と技術』,44(4),1994.04,p183-189.
- [1994/04/Sh] 私立大学図書館協会東地区部会研究部資料組織研究分科会編刊,『OPAC ユーザ・インタフェースの現状と問題点:首都圏9大学を対象とした現地調査結果報告』,1994.04,5,242p.
- [1994/04/Ta] 谷和人「図書館員の生活と意見シリーズ:目録作成3:目録作成の現状と問題点」,『薬学図書館』,Vol.39,No.2,1994.04,p132-133.*近畿大学中央図書館における目録作成の電算化の経緯
- [1994/04/Yo] 吉岡陽子「図書館員の生活と意見シリーズ:目録作成2:目録作成の現場から」,『薬学図書館』,Vol.39,No.2,1994.04,p129-131.
- [1994/05/Mi] 葉袋秀樹「わが国の公共図書館における総合目録」,『書誌索引展望』,Vol.18,no.2,1994.05,p1-14.
- [1994/06/Ga] 学術情報センター目録情報課「書誌調整についての注意とお願い」,『オンライン・システムニュースレター』,No.45,1994.06.10.*重複注記の扱い,書誌修正報告等.
- [1994/06/Ho] 堀込静香「MARC」,『現代の図書館』,Vol.32,No.2,1994.06,p140-145.*MARC入門
- [1994/06/Ik] 池田典子「図書館システムに望むこと:音楽資料の目録業務・OPACの観点から」,『オンライン検索』,15(2),1994.06,p65-96.
- [1994/06/Ki] 北克一,芝勝徳「OPACにおける主題検索と典拠システム:主題検索システム・プロトタイプと利用者OPAC(特集:資料組織の現在)」,『現代の図書館』,32(2),1994.06,p115-122.
- [1994/06/Yo] 吉田憲一「主題検索とOPAC:司書課程の学生への目録調査から[含資料]」,『図書館学会年報』,40(2),1994.06,p71-85.
- [1994/07/Br] Brown, Yu-ying「イギリスにおける日本語図書の収集と利用」,『専門図書館』,No.149,1994.07,p1-12.
- [1994/07/Na] 永田治樹「大学図書館とエレクトロニック・ドキュメント・デリバリー(特集:エレクトロニック・ドキュメント・デリバリー)」,『情報の科学と技術』,44(7),1994.07,p352-361.
- [1994/08/As] 浅野次郎「大学図書館をめぐる回想」,『大学図書館研究』,No.44,1994.08,p50-53.
- [1994/08/Ga] 学術情報センター目録情報課「IRからのREQUESTコマンドの機能追加」,『オンライン・シ

ステムニュースレター』, No.46, 1994.08.10.

[1994/08/Ha] 橋洋平「NACSIS-IR ILL サービスの問題点：金沢大学の教官に対するアンケートから」,『大学図書館研究』, No.44, 1994.08, p15-30.

[1994/08/Ok] 岡田咲子「大学図書館業務システムへの UNIX の導入」,『大学図書館研究』, No.44, 1994.08, p61-67.

[1994/08/0o] 大西直樹「大学図書館業務電算化の諸問題」,『大学図書館研究』, No.44, 1994.08, p1-14

[1994/08/0o] 大滝博久「外国雑誌自動チェックインシステム (J-ACCESS) の稼働と運用」,『大学図書館研究』, No.44, 1994.08, p54-60.

[1994/09/Sa] 佐々木光子「NACSIS-CAT に期待する ” 知恵袋 ” 機能：その後」,『大学の図書館』, 13(通号 250), 1994.09, p163-164.

[1994/09/Sh] 下田富美子「NACSIS-ILL システムを利用して今感じていること」,『図書館学』(西日本図書館学会), no.65, 1994.09, p9-12.

[1994/10/Ga] 学術情報センター目録情報課「[平成 6 年度]総合目録委員会・総合目録小委員会の開催」,『オンライン・システムニュースレター』, No.47, 1994.10.07.

[1994/11/Ka] 金沢みどり「日本の大学図書館における ILL の現状とその問題点」,『図書館学会年報』, 40(3), 1994.11, p110-117

[1994/11/Ko] 国立国会図書館業務機械化室ネットワーク研究開発班「総合目録ネットワーク・パイロットプロジェクト (第 1 期) の終了について」,『国立国会図書館月報』, 通号 404, 1994.11, p11-15.

[1994/12/Ka] 加藤晃一「インターネットと大学図書館の昨今: 自分の仕事をふりかえって」,『図書館雑誌』, 89(12), 1994.12, p12.

[1994/12/Ku] 栗山正光「インターネットと大学図書館」,『大学図書館研究』, No.45, 1994.12, p1-7.

[1994/12/Mo] 守一雄, 守秀子「学術情報センター (NACSIS) の「全国大学図書館収書状況データベース (JBCAT)」を用いた著者業績の客観的評価法」,『信州大学教育学部紀要』, 83, 1994.12, p59-70.

1995 年 (平成 7 年)

- [1995/00/Ko] 小山照夫「メインフレームからオープンシステムへ」『学術情報センターシンポジウム』, (1995 年度), 1995, p24-33. *NACSIS-CAT 等のオープンシステム移行について。
- [1995/00/Na] 内藤衛亮「日本の学術情報システム」,『学術情報の国際交換に関する実証研究; 平成 6 年度報告』, (1994 年度), 1995, p22-32.
- [1995/00/On] 小野亘「これからの“学術情報システム”」,『大学の図書館』, 14(2), 1995, 23-24
- [1995/00/Se] 関秀行「イギリス NACSIS-CAT プロジェクト」,『Medianet』(慶応義塾大学メディアセンター本部), (3), 1995, 80-82
- [1995/00/Ta] 田中昭夫「図書館と UNIX: メインフレームから C/S システムへ」,『館灯』(私立大学図書館協会西地区部会東海地区協議会), 34, 1995, p15-20.
- [1995/00/Ta] 高須淳宏「NACSIS CAT/情報検索サービスと将来計画」,『学術情報の国際交換に関する実証研究; 平成 6 年度報告』, 1995, p33-41.
- [1995/00/Te] 寺元貴幸「図書館の蔵書データベースシステムの構築」,『津山工業高等専門学校紀要』No.36, 1995, p73-78. *NACSIS-CAT に接続して蔵書を構築する
- [1995/02/Ga] 学術情報センター目録情報課「目録情報課 WWW ホームページの試験的公開について」,『オンライン・システムニュースレター』, No.49, 1995.02.28.
- [1995/03/Ga] 学術情報センター研修係「平成 6 年度総合目録データベース実務研修報告」,『学術情報センターニュース』, No.31, 1995.03, p22.
- [1995/03/Ic] 市村省二「主題アクセスから見た OPAC の現状(特集: 主題アクセスの環境)」,『現代の図書館』, Vol.33, No.1, 1995.03, p9-14.
- [1995/03/Od] 小田泰正「日本 MARC と MARC ネットワーク(第 1 部: 小田泰正主要論文)」,『技術情報と図書館: 小田泰正先生追悼論文集』, 同刊行会, 1995.03, p56-.
- [1995/03/Oo] 大城善盛, 倉橋英逸, 石田俊郎, 吉田和夫, 伊藤光春「関西私立大学図書館 OPAC ユーザインタフェースの調査研究(第 3 部 情報技術と図書館)」,『情報技術と図書館: 小田泰正先生追悼論文集』(発売: 丸善京都支店営業センター), 1995.03, p285-.
- [1995/03/Ta] 高須淳宏, 牧野隆志, 山田清志, 橋爪宏達「データベースサーバ上での目録データベースの論理設計」,『学術情報センター紀要』, 7 号, 1995.03, p63-72.
- [1995/04/Ga] 学術情報センター目録情報課「個別版 CD-ROM 提供サービスの開始について」,『オンライン・システムニュースレター』, No.50, 1995.04.20.
- [1995/04/Ga] 学術情報センター目録情報課「[平成 6 年度]総合目録委員会・総合目録小委員会の審議内容」,『オンライン・システムニュースレター』, No.50, 1995.04.20.
- [1995/04/Ha] 萩原宣夫「神奈川県内における図書館相互協力の現状と展望」,『大学図書館研究』, No.46, 1995.04, p13-19.
- [1995/04/Na] 中村恵「私立大学図書館協会京都地区における相互協力 3 協定成立の経過」,『大学図書館研究』, No.46, 1995.04, p6-12.
- [1995/04/Na] 中野美智子「近世史料目録情報のデータベース化をめざして: 第 47 回 FID/ARM 参加・報告」,『大学図書館研究』, No.46, 1995.04, p34-40.
- [1995/04/Oh] 大石博昭「NACSIS-CAT をつかって仕事をすること: すべてを語れるわけではないが」([特集] ネットワークのいま・これから)」,『図書館雑誌』, 89(4), 1995.04, 248-249
- [1995/06/Ga] 学術情報センター目録情報課「文献複写料金相殺のための NACSIS-ILL ユーザ会加盟館の料金相殺処理開始」,『学術情報センターニュース』, No.32, 1995.06, p18.
- [1995/06/Ga] 学術情報センター雑誌目録情報係「学術雑誌総合目録欧文編 1994 年版の刊行」,『学術情報センターニュース』, No.32, 1995.06, p17.
- [1995/06/Ga] 学術情報センター目録情報課「学術雑誌総合目録和文編 1996 年版全国調査の開始」,『オンライン・システムニュースレター』, No.51, 1995.06.30.

- [1995/06/Ga] 学術情報センター目録情報課「連載：AACR2 の改訂について；(1)」、『オンライン・システムニュースレター』, No.51, 1995.06.30.
- [1995/06/Ko] 国立国会図書館「学術情報センターとの相互協力に関する協定について」、『国立国会図書館月報』, 通号 411, 1995.06, p22-23.
- [1995/06/Mi] 宮澤彰「英国 CAT プロジェクト終了」、『学術情報センターニュース』, No.32, 1995.06, p9-10.
- [1995/06/Sa] 桜井武志「パソコンによる ISBN 総合目録作成の試み」、『図書館雑誌』, 89(6), 1995.06, p438-441.
- [1995/06/Ue] 上田修一「日本の大学図書館の OPAC の現状」、『図書館学会年報』, 41(2), 1995.06, p81-88.
- [1995/07/To] 常世田良「パソコンを利用した広域の総合目録(PC 目録)の試み」、『みんなの図書館』, no.219, 1995.07, p79.
- [1995/08/Ho] 北海道大学附属図書館次期システム館内準備委員会「UNIX マシンによる大規模図書館システム：北海道大学図書館情報システム」、『大学図書館研究』, No.47, 1995.08, p32-43.
- [1995/08/Ta] 高野彰「同じ本？」、『大学図書館研究』, No.47, 1995.08, p14-23.
- [1995/08/Ta] 田澤恭二「大学図書館の戦後 50 年：学術情報システムを中心に（〔特集〕図書館の戦後 50 年を問いなおす）」、『図書館雑誌』（日本図書館協会 ISSN03854000）, 89(8), 1995.08, 597-599
- [1995/09/Ga] 学術情報センター雑誌目録情報係「学術雑誌総合目録和文編 1996 年版全国調査の実施」、『学術情報センターニュース』, No.33, 1995.09, p8.
- [1995/09/Ok] 岡田茂「ネットワーク時代と小規模大学図書館：学術情報センター接続を踏まえて」、『図書館学』（西日本図書館学会）, No.67, 1995.09, p8-13.
- [1995/09/Sh] 志保田務「集中・分担目録時代の整理業務の位相」、『図書館界』, Vo.47, No.2, 1995.09, p112-121.
- [1995/11/Ma] 松原康夫, 志津田嘉康, 貝田辰雄「学術情報センターにおけるオープンシステムへの対応」『全国共同利用大型計算機センター研究開発センター研究開発論文集』, No.17, 1995.11, p90-93.
- [1995/11/Mi] 宮澤彰「漢字コードの種類と相互関係はどうなっているの？（素朴な疑問）」、『情報処理』, 36(11), 1995.11, p1070-1073.
- [1995/11/Sa] 寒川登「ILL と大学図書館」、『図書館界』, Vo.47, No.3, 1995.11, p240-244.
- [1995/12/Ai] 相原信也, 田中久徳「ネットワーク時代における図書館の公共性（特集：機械化から電子化へ）」、『現代の図書館』, Vol.33, No.4, 1995.12, p244-249.
- [1995/12/Ga] 学術情報センター研修課「平成7 年度総合目録データベース実務研修会終了報告」、『学術情報センターニュース』, No.34, 1995.12, p26.
- [1995/12/Ga] 学術情報センター目録情報課「総合目録データベースの図書所蔵レコード 2000 万件突破に向けて」、『学術情報センターニュース』, No.34, 1995.12, p8.
- [1995/12/Ga] 学術情報センター目録情報課「学術雑誌総合目録和文編全国調査説明会の開催報告」、『学術情報センターニュース』, No.34, 1995.12, p17.
- [1995/12/Ga] 学術情報センター目録情報課「図書所蔵レコード 2,000 万件突破」、『オンライン・システムニュースレター』, No.52, 1995.12.20.
- [1995/12/Ga] 学術情報センター目録情報課「[平成7 年度]総合目録委員会・総合目録小委員会の開催」, 『オンライン・システムニュースレター』, No.52, 1995.12.20.
- [1995/12/Is] 石井啓豊「ILL ネットワーク・モデルに基づくサービスの集中と分散の限界」、『図書館学会年報』, 41(3・4), 1995.12, p130-144.
- [1995/12/Ka] 桂啓壮「OPAC の変容：欧米の動向を中心にして（特集：機械化から電子化へ）」、『現代の図書館』（日本図書館協会 ISSN:00166332）, Vol.33, No.4, 1995.12, p264-273.
- [1995/12/Ne] 根岸正光「日本情報の海外提供：インターネット時代への展開（〈特集〉海外からアクセスする日本情報）」、『情報の科学と技術』, 45(12), 1995.12, p600-606.
- [1995/12/Ta] 高山正也「機械化図書館から電子図書館への展開：情報化環境の図書館に及ぼす影響と図書

館の類型化(特集:機械化から電子化へ)』、『現代の図書館』, Vol.33, No.4, 1995.12, p231-237.

[1995/12/To] 常世田良「パソコンを用いた総合目録の試み(特集:図書館ネットワークの新たな段階)」, 『みんなの図書館』, no.224, 1995.12, p33-39.

1996年(平成8年)

[1996/00/Ha] 芳賀奈央子, 松井幸子「NACSIS-CATの和図書館誌ファイルにおける主題情報の現状調査」『研究成果流通システムの研究開発:平成7年度(文部省S)』(図書館情報大学),(平成7年度),1996, p101-115.

[1996/00/Mi] 宮澤彰「Javaによる新目録システムインタフェース」,『学術情報センターシンポジウム』,(1996年度),1996, p35-38.

[1996/00/Ut] 内海啓也「総合目録ネットワーク・プロジェクトの現状について:国立国会図書館関西館建設に向けて(特集:第7回日仏学術シンポジウム:会議『これからの図書館ネットワークを考える』)」,『日仏図書館情報研究』, no.22, 1996, p33-36.

[1996/00/Ya] 山内隆文「カレント雑誌受入システムの画面設計と自動データ処理:名古屋学院大学における試み」,『館灯』(私立大学図書館協会西地区部会東海地区協議会), 35, 1996, p49-59.

[1996/01/Na] 永田治樹「ネットワーク資源の雑誌コントロールとメタデータ形成」,『論集・図書館情報学研究の歩み;15:ネットワーク情報資源の可能性/日本図書館学会研究委員会編』,日外アソシエーツ, 1996.01, p134-164.

[1996/03/Fu] 藤勝周次「次期図書館システムを考える視点(特集:次期図書館システム)」,『大学の図書館』, 15(3), 1996.03, p34-36.

[1996/03/Ga] 学術情報センター目録情報課「ILLシステムの国会図書館依頼機能」,『オンライン・システムニュースレター』, No.54, 1996.03.30.

[1996/03/Ga] 学術情報センター目録情報課「目録所在情報データベースのサーバ移行」,『オンライン・システムニュースレター』, No.54, 1996.03.30.

[1996/03/Ga] 学術情報センター目録情報課「新CAT/ILLシステムの概要」,『オンライン・システムニュースレター』, No.54, 1996.03.30. *新システムの考え方,新システムの機能について。

[1996/03/Ga] 学術情報センター目録情報課「フランス語資料の遡及入力事業」,『オンライン・システムニュースレター』, No.54, 1996.03.30.

[1996/03/Ga] 学術情報センター目録情報課「[平成7年度]総合目録委員会・総合目録小委員会の開催」,『オンライン・システムニュースレター』, No.54, 1996.03.30.

[1996/03/Ho] 堀口裕(鹿児島大学附属図書館)「OPACのための主題検索支援シソーラス」『学術情報センター・セミナー研究レポート』,(平成7年度),1996.03, p151-254. *総合目録データベースを使用して,単語の共出現回数をもとにした主題検索支援シソーラスの試作と評価実験。

[1996/03/Ho] 星健二「図書館目録構築の支援サービス(<特集>図書館目録に未来はあるか)」,『情報の科学と技術』, 46(3), 1996.03, 122-127

[1996/03/Ko] 小林成江「大学図書館における相互貸借の現状と今後(特集:Document Deliveryの現状と今後)」,『医学図書館』, 43(1), 1996.03, p69-72.

[1996/03/Ku] 忽那一代「目録システムと外字管理」,『学術情報センター・セミナー研究レポート』,(平成7年度),1996.03, p71-150. *NACSIS-CATにおける外字の状況とJSX0221-1995導入の影響。

[1996/03/Ma] 松澤孝男,長谷川順子,高野恵子,木村勇人,須田美智子,清水仁康,菊池豊寿,大坪友信,松澤志津代「図書館システムに学情雑誌データを取り込むプログラムの試作」『茨城工業高等専門学校研究彙報』, (31), 1996.03, p27-33.

[1996/03/Mi] 宮澤彰「英国CATプロジェクトを終えて」『学術情報センター紀要』,8号,1996.03, p434-444

[1996/03/Na] 永田治樹「図書館目録の現状と将来:メタデータとOPAC(<特集>図書館目録に未来はあるか)」,『情報の科学と技術』, 46(3), 1996.03, p106-113.

[1996/03/0o] 大塚奈奈絵,深田泰代「コアジャーナルは利用されている?:複写・利用統計の結果から」,

- 『科学技術文献サービス』(国立国会図書館), no.109, 1996.03, p12-16.
- [1996/03/Pe] Perry, Brian. 「NACSIS-CAT Project Final Report (報告)」『学術情報センター紀要』, 8号, 1996.03, p385-434.
- [1996/03/Sa] 佐々木光子「大学図書館の現場から;NACSIS-CAT カタログングリポート(<特集>図書館目録に未来はあるか)」,『情報の科学と技術』, 46(3), 1996.03, p128-135
- [1996/03/So] [相互協力研究分科会]「図書館協定と ILL 業務の現状について」,『私立大学図書館協議会東地区研究部会 相互協力研究分科会報告』, 6, 1996.03.
- [1996/03/Ta] 田中康雄「大学図書館における目録構築の新たな試み: 情報発信機能の強化にむけて(<特集>図書館目録に未来はあるか)」,『情報の科学と技術』, 46(3), 1996.03, p114-121.
- [1996/03/Ta] 田屋裕之「パイロット電子図書館における総合目録ネットワークの現段階(<特集>図書館目録に未来はあるか)」,『情報の科学と技術』, 46(3), 1996.03, p136-141.
- [1996/03/Uz] 鶴沢和往「インターネット向け画面型検索インターフェースの設計」,『学術情報センター・セミナー研究レポート』,(平成7年度), 1996.03, p1-70. * Java 言語による目録検索インターフェースの設計.
- [1996/03/Ya] 山田知子, 北川正路「NACSIS-ILL 利用の現状と今後: 東京慈恵会医科大学情報センターの事例(特集: Document Delivery の現状と今後)」,『医学図書館』, 43(1), 1996.03, p65-68.
- [1996/04/Oo] 大山敬三, 高須淳宏, 鶴岡弘「学術情報センターにおけるオンライン DB と IR システムの連携: 目録系データベースの形成」,『情報処理学会研究報告 情報基礎研究会報告』, Vol. 96, No. 34(FI-41), 1996.04, p17-24.
- [1996/06/Ga] 学術情報センターデータベース課「北海道大学北方資料総合目録データベース」サービス開始」,『学術情報センターニュース』, No. 36, 1996.06, p13.
- [1996/06/Go] 五条堀孝, 田村卓郎「生物分野における学術情報システムの現状(特集: 学術情報システム)」,『学術月報』, 49(6), 1996.06, p687-692.
- [1996/06/Ha] 原正一郎, 安永尚志「国文学情報システム(特集: 学術情報システム)」,『学術月報』, 49(6), 1996.06, p700-707.
- [1996/06/Ii] 飯沼三和子, 山崎美成「『国書総目録』・『古典籍総合目録』による著作年譜のこころみ」,『私立大学図書館協会会報』(私立大学図書館協会 ISSN:02887002), 通号 106, 1996.06, p84-89.
- [1996/06/In] 井上如, 齋藤忠夫, 鈴木義昭, 開原成允(司会)「<座談会>学術情報システムの今後の展開: ネットワーク, コンテンツ, アプリケーション(特集: 学術情報システム)」,『学術月報』, 49(6), 1996.06, p708-724.
- [1996/06/Ki] 木島令己「学術情報システムの新たな展開に向けて(特集: 学術情報システム)」,『学術月報』, 49(6), 1996.06, p647-653.
- [1996/06/Ko] 国立大学図書館協議会「図書館情報システム特別委員会 目録業務システム専門委員会 最終報告」, 1996.06. * 内容: (1) 遡及入力促進について, (2) 中国語資料入力について, (3) 目録システム地域講習会の開催について.
- [1996/06/To] 戸高敏之「学術情報システムの在り方(特集: 学術情報システム)」,『学術月報』, 49(6), 1996.06, p682-686.
- [1996/06/Wa] 若林克己「医学研究と学術情報システムの現状: 身近な例から(特集: 学術情報システム)」,『学術月報』, 49(6), 1996.06, p693-699.
- [1996/07/Ki] 北克一, 村上泰子「マルチメディア資料の書誌記述: ALA『インタラクティブ・マニュアルの書誌記述ガイドライン』(特集: [日本図書館研究会]第37回研究大会) (グループ研究発表)」,『図書館界』, Vol. 48, No. 2, 1996.07, p62-68.
- [1996/08/Gu] 郡司良夫「専門主題の文献・情報センターと外国雑誌センターの現状」,『図書館資源の共有理念とその検証: 論集・図書館情報学研究の歩み; 16』, 日外アソシエーツ, 1996.08, p84-103.
- [1996/08/Ii] 飯倉忍「商業ドキュメントデリバリーサービスと大学図書館(CA1077)」,『カレントアウェ

- アネス』, No.204, 1996.08.
- [1996/08/Is] 石井啓豊「図書館資源共有の理論モデルのための枠組み」,『論集・図書館情報学研究の歩み;16: 図書館資源の共有理念とその検証/日本図書館学会研究委員会編』,日外アソシエーツ,1996.08, p9-36.
- [1996/08/Ki] 木藤淳子「NDL から NACSIS へ: 学術情報センターNACSIS へゆく (図書館協力の最前線)」,『びぶろす』, 47(8), 1996.08, p185-189.
- [1996/09/Ga] 学術情報センター目録情報課「学術雑誌総合目録 CD-ROM 新システムの開発」,『学術情報センターニュース』, No.37, 1996.09, p6.
- [1996/09/Ga] 学術情報センター目録情報課「学術雑誌総合目録和文編 1996 の編集状況」,『学術情報センターニュース』, No.37, 1996.09, p13.
- [1996/09/Ga] 学術情報センター目録情報課「[平成 8 年度]総合目録委員会の開催」,『オンライン・システムニュースレター』, No.56, 1996.09.30.
- [1996/09/Ma] 松井幸子, 徐文光「インターネット OPAC へのアクセスの現状と将来: 日本の大学図書館 20 館の OPAC 比較調査にもとづいて」,『図書館情報大学研究報告』, 15(1), 1996.09, p77-103.
- [1996/09/Oo] 大川竜一「『南アジア関係逐次刊行物総合目録』の刊行: 5 機関共同編集による初の試み」,『びぶろす』(国立国会図書館図書館協力部), 47(9), 1996.09, p212-215.
- [1996/09/Ta] 多田一男「日本医学図書館協会における分担収集・分担保存の現状」,『医学図書館』, 43(3), 1996.09, p347-352.
- [1996/10/Go] 郷端清人「新図書館システムの構築にむけて」,『大学図書館研究』, No.50, 1996.10, p41-48.
- [1996/10/Ma] 増田元, 佐藤義則「変化する大学図書館電算化システム」,『大学図書館研究』, No.50, 1996.10, p34-40.
- [1996/10/Mi] 宮澤彰「多言語目録データベースの課題」,『大学図書館研究』, No.50, 1996.10, p62-67.
- [1996/10/Sa] 坂本徹朗著「図書館とコンピュータ: 図書館員選書;3(第 3 版)」, 日本図書館協会, 1996.10, 318p. * 1983 年刊の初版, 1985 年刊の第 2 版の全面改稿版。電子図書館に関する説明強化。
- [1996/10/Su] 菅野育子「情報検索システムとしての OPAC 評価基準の考察」,『Library and information science』, 通号 35, 1996.10, p41-49.
- [1996/10/Ta] 高畑圭子「米国デューク大学パーキンス図書館: 電子図書館時代の足腰: ILL ドキュメント・デリバリー (シリーズ・海外図書館事情を探索; 4)」,『図書館雑誌』(日本図書館協会 ISSN03854000), 90(10), 1996.10, p804-807.
- [1996/10/Ue] 上田修一「相互協力とネットワーク: 『大学図書館研究』の 50 号に基づいて」,『大学図書館研究』, No.50, 1996.10, p93-99.
- [1996/11/Ga] [学術情報センター]十周年記念事業委員会編(井上如ほか執筆)『[学術情報センター]創立十周年記念誌』, 学術情報センター, 1996.11, 360p. * 重要な基本文献。
- [1996/11/Na] 永田治樹「ネットワーク情報資源の発見: 探索とメタデータ」,『現代の図書館』, 20(4), 1996.11, p1-6.
- [1996/11/Su] 鈴木敬二「新目録所在情報システムの概要」,『全国共同利用大型計算機センター研究開発センター研究開発論文集』, No.18, 1996.11, p96-100.
- [1996/12/Ga] 学術情報センター研修課「平成 8 年度総合目録データベース実務研修終了報告」,『学術情報センターニュース』, No.38, 1996.12, p24.
- [1996/12/Ga] 学術情報センター目録情報課「総合目録データベースにおける和洋の統合および VOL による書誌分割の廃止」,『学術情報センターニュース』, No.38, 1996.12, p10.
- [1996/12/Ga] 学術情報センター目録情報課「総合目録データベースの移行について」,『オンライン・システムニュースレター』, No.57, 1996.12.20.
- [1996/12/Ga] 学術情報センター目録情報課「総合目録データベースにおける和洋の統合及び VOL による書誌分割の廃止」,『オンライン・システムニュースレター』, No.57, 1996.12.20.

[1996/12/Ga] 学術情報センター目録情報課「[平成 8 年度]総合目録委員会の開催」,『オンライン・システムニュースレター』, No. 57, 1996.12.20.

[1996/12/Ga] 学術情報センター目録情報課「中国語資料データベース化検討ワーキンググループの審議内容」,『オンライン・システムニュースレター』, No. 57, 1996.12.20.

[1996/12/In] 井上如「NACSIS: 10 年の軌跡とこれから」,『情報管理』, 39(9), 1996.12, p703-709

[1996/12/Sa] 佐々木光子「NACSIS-CAT カタログングリポート」,『北海道地区大学図書館職員研究集会記録』, 通号 39, 1996.12, p2-13.

1997 年 (平成 9 年)

[1997/00/Ka] 甲斐重武「学術情報システムと地理学: 学術情報センター及び大学図書館の活動を中心として」,『地理科学』, 52(3), 1997, p154-158.

[1997/00/Ka] 兼松芳之「Z39.50 入門; その 1」,『パイロット電子図書館総合目録ネットワーク参加館ニュース』, 7, 1997, p1-3.

[1997/00/Ka] 兼松芳之「Z39.50 入門; その 2」,『パイロット電子図書館総合目録ネットワーク参加館ニュース』, 8, 1997, p9-12.

[1997/00/Mi] 養島智子「相互協力業務の実態と分析: 中部大学附属三浦記念図書館の事例を中心に」,『館灯』(私立大学図書館協会西地区部会東海地区協議会), 36, 1997, p12-23.

[1997/00/Pi] パイロット電子図書館総合目録調整委員会「総合目録ネットワークの発展に向けて: パイロット電子図書館総合目録調整委員会報告書」, 日本図書館協会, 1997, 62p.

[1997/00/Sh] 穴戸奈実「<短報>大学図書館における OPAC の利用者の探索行動: 学生を対象としたインタビュー調査」,『Library and Information Science』, no.37, 1997, p35-53.

[1997/00/Su] 諏訪敏幸「逐次刊行物目録におけるタイトルの変遷と記入単位; NACSIS-CAT(洋雑誌)を中心とする困難事例、その分析、および考察(前編)」,『大図研論文集』, (19), 1997, p37-210

[1997/00/Ue] 上田修一「分散型と集中型データベース」,『パイロット電子図書館総合目録ネットワーク参加館ニュース』, 6, 1997, p1-4.

[1997/03/Ai] 相原信也, 内藤英亮「CJK(中国語/日本語/韓国語)環境下での国際標準件名標目システムの適用(学術情報分野)」,『学術情報センター紀要』, 9 号, 1997.03, p73-81.

[1997/03/An] 安齋宏幸, 山本毅雄, 石塚英弘「WWW による図書目録データベースの提供実験」,『図書館情報大学研究報告』, 15(2), 1997.03, p1-16.

[1997/03/As] 浅倉秀三「国内図書館の蔵書検索 Web ページの調査」,『情報科学リサーチジャーナル』, 4, 1997.03, p51-60.

[1997/03/Ga] 学術情報センター目録情報課「学術雑誌総合目録 1996 年版の出版」,『学術情報センターニュース』, No. 39, 1997.03, p5.

[1997/03/Ga] 学術情報センター目録情報課「総合目録データベースのサーバ移行を終えて(トピックス)」,『学術情報センターニュース』, No. 39, 1997.03, p8-11.

[1997/03/Ga] 学術情報センター目録情報課「Webcat の試行サービス開始」,『オンライン・システムニュースレター』, No. 58, 1997.03.10.

[1997/03/Ga] 学術情報センター目録情報課「移行後の総合目録データベースの問題点について」,『オンライン・システムニュースレター』, No. 58, 1997.03.10.

[1997/03/Ga] 学術情報センター目録情報課「[平成 8 年度]総合目録小委員会の開催」,『オンライン・システムニュースレター』, No. 58, 1997.03.10.

[1997/03/Iw] 岩下康夫「Michael Gorman における目録法上の提言をめぐって(特集: [日本図書館研究会] 創立 50 周年記念第 38 回研究大会) (グループ研究発表)」,『図書館界』, Vol. 48, No. 6, 1997.03, p524-531.

[1997/03/Na] 浪岡正継「学術情報システムへの対応と利用(ネットワーク情報資源の活用と実際)」,『図書館研究協議会集録』(東京都私立短期大学協会図書館研究委員会), 平成 8 年度, 1997.03, p53-58.

- [1997/03/0o] 大山敬三, 高須淳宏, 鶴岡弘「総合目録オンライン DB と情報検索システムの連携方式 (学術情報分野)」,『学術情報センター紀要』, 9号, 1997.03, p83-90.
- [1997/03/Ta] 谷口祥一「三層構造モデル再論: IFLA『書誌的記録の機能要件 (案)』との比較を通して」,『日本図書館情報学会誌』(日本図書館情報学会 ISSN:13448668), Vol.43, No.1, 1997.03, p1-18.
- [1997/03/Ta] 谷口敏夫「情報システム再編と電子図書館 (特集: 情報システム再編と図書館)」,『現代の図書館』, Vol.35, No.1, 1997.03, p3-8. * 学術情報センターへの7つの提言。
- [1997/03/Yo] 米澤誠「NACSIS-CAT/ILL 入門」,『ほすびたるらいぶらりあん』, 22(1), 1997.03, p5-9.
- [1997/04/As] 浅倉秀三「Web ブラウザを用いた NACSIS CD-Serials の検索」,『情報管理』,40(4), 1997.04, p310-317.
- [1997/04/Ko] 今野穂「Welcome New CAT!: 新目録所在情報サービスに期待する (特集: 新 CAT)」,『大学の図書館』, 16(4), 1997.04, p57-58.
- [1997/04/On] 小野亘「新 CAT への期待 (特集: 新 CAT)」,『大学の図書館』, 16(4), 1997.04, p55-56.
- [1997/04/0o] 大場高志「新 CAT-ILL システムのサービス開始 (特集: 新 CAT)」,『大学の図書館』, 16(4), 1997.04, p54-55.
- [1997/04/Ta] 田屋裕之「全国的な図書館情報基盤の発展のために: パイロット電子図書館総合目録ネットワークの進展」,『図書館雑誌』, 91(4), 1997.04, p261-263.
- [1997/05/Na] 永田治樹著『学術情報と図書館』, 丸善, 1997.05, vi, 209p. * 内容: 「5 ネットワーク環境における図書館協力」, 「6 目録とメタデータ」, 「7 ドキュメント・デリバリー・サービスと ILL」など。
- [1997/05/Sh] 城崎しおり「IPA 総合目録を使ってみて (特集: 予約をすすめるために)」,『みんなの図書館』, no.241, 1997.05, p24-28.
- [1997/05/Ta] 田屋裕之「全国総合目録の可能性: 総合目録ネットワークパイロットプロジェクトから (特集: 予約をすすめるために)」,『みんなの図書館』, no.241, 1997.05, p17-23.
- [1997/06/Ga] 学術情報センター目録情報課「総合目録データベース WWW 検索サービス (Webcat) 試行サービス開始」,『学術情報センターニュース』, No.40, 1997.06, p9.
- [1997/06/Ga] 学術情報センター目録情報課「学術雑誌総合目録欧文編新版の編集開始」,『学術情報センターニュース』, No.40, 1997.06, p10.
- [1997/06/Ga] 学術情報センター目録情報課「新 CAT/ILL システムの現状と今年度の予定」,『オンライン・システムニュースレター』, No.59, 1997.06.30.
- [1997/06/Ga] 学術情報センター目録情報課「学術雑誌総合目録欧文編 1998 年版全国調査の開始」,『オンライン・システムニュースレター』, No.59, 1997.06.30.
- [1997/06/Ga] 学術情報センター目録情報課「[平成 9 年度]総合目録委員会・総合目録小委員会の開催」,『オンライン・システムニュースレター』, No.59, 1997.06.30.
- [1997/06/Wa] 若山安徳「NACSIS-CAT における中国書誌作成の諸問題: 主として入力・検索の視点から (平成 8 年度私立大学図書館協会東地区部会研究部研究会講演・研究発表記録)」,『私立大学図書館協会会報』(私立大学図書館協会 ISSN:02887002), 通号 108, 1997.06, p97-101
- [1997/07/Ko] [国立国会図書館]電子図書館推進委員会総合目録システム事業化推進班「国立国会図書館における総合目録ネットワーク: その事業化に向けて」,『国立国会図書館月報』, (436), 1997.07, p2-11.
- [1997/07/Mi] 宮澤彰「漢字情報処理と UCS (<特集>アジアを知る; 2: 中国と漢字情報)」,『情報の科学と技術』, 47(7), 1997.07, p330-333.
- [1997/09/Ga] 学術情報センター目録情報課「新 CAT/ILL 特集」,『オンライン・システムニュースレター』, No.60, 1997.09, p2-8. * 「新 CAT/ILL サーバの公開」, 「新 ILL システムの概要」, 「新 CAT/ILL システムの Q&A」, 「新 CAT/ILL への対応状況: 目録所在情報サービス利用に関するアンケート調査結果」の最終報告」, 「Webcat Q&A」等
- [1997/09/Ga] 学術情報センター目録情報課「学術雑誌総合目録欧文編 1998 年版全国調査説明会の開催」,

- 『学術情報センターニュース』, No.41, 1997.09, p3.
- [1997/09/Hi] 平田義郎「学術情報センターの新目録所在情報システム」,『医学図書館』,44(3), 1997.09, p375-377.
- [1997/09/Ka] 川崎かおる (岩手医科大学附属図書館)「NACSIS-ILLの利用とユーザー会(事例報告)」,『医学図書館』, 44(3), 1997.09, p364-368.
- [1997/09/Ko] 故選義浩「ILL規約に現れたデジタル化の影響: デジタル化に直面した図書館活動 (特集: デジタル環境下の図書館)」,『現代の図書館』(日本図書館協会 ISSN:00166332), Vol.35, No.3, 1997.09, p151-156.
- [1997/09/0o] 大城善盛, 鍛冶宏介「わが国のインターネット OPAC の現状」,『図書館学会年報』, 43(3), 1997.09, p103-116.
- [1997/10/Ka] 川島健也「WWW をユーザ・インタフェースとする単行書 OPAC システムの構築: 製薬企業研究所図書館における試み(事例報告)」,『薬学図書館』, 42(4), 1997.10, p401-106.
- [1997/10/0o] 大野優子, 岩沢一男, 村田博彦「海外のエレクトロニック・ドキュメント・デリバリー・サービスの比較 (<特集>INFOSTA シンポジウム '97)」,『情報の科学と技術』, 47(10), 1997.10, p509.
- [1997/10/0t] 乙[メ]美智恵, 渡部晋太郎, 寺内久実「目録作成業務のアウトソーシング(事例報告)」,『薬学図書館』, 42(4), 1997.10, p396-400.
- [1997/11/Na] 永田治樹「ライブラリー・コンソーシアムの歴史と現状 (<特集>ライブラリー・コンソーシアムの可能性)」,『情報の科学と技術』, 47(1), 1997.11, p566-573.
- [1997/12/Ga] 学術情報センター研修課「平成9年度総合目録データベース実務研修終了報告」,『学術情報センターニュース』, No.42, 1997.12, p33.
- [1997/12/Ga] 学術情報センターデータベース課「『アメリカン・センター図書館総合目録データベース』および『海外研究プロジェクトデータベース』サービス終了」,『学術情報センターニュース』, No.42, 1997.12, p25-26.
- [1997/12/Ga] 学術情報センター目録情報課「学術雑誌総合目録欧文編全国調査説明会の開催報告」,『学術情報センターニュース』, No.42, 1997.12, p22.
- [1997/12/Ga] 学術情報センター目録情報課「図書館蔵レコード3,000万件突破」,『オンライン・システムニュースレター』, No.61, 1997.12.20, p.2.
- [1997/12/Ga] 学術情報センター目録情報課「新目録所在情報システム開発洋資料の公開」,『オンライン・システムニュースレター』, No.61, 1997.12.20, p.4.
- [1997/12/Ga] 学術情報センター目録情報課「『目録情報の基準』第3版の刊行」,『オンライン・システムニュースレター』, No.61, 1997.12.20, p.6.
- [1997/12/Ga] 学術情報センター目録情報課「[平成9年度]会議開催報告」,『オンライン・システムニュースレター』, No.61, 1997.12.20, p.11-12.
- [1997/12/Go] 後藤斉「人文学研究とインターネット: ゆるやかな分散型総合学術情報システムの構築へ(特集: インターネットと学術情報)」,『人文学と情報処理』, (15), 1997.12, p9-14.
- [1997/12/Ma] 松浦淳子「OPACにおける典拠コントロールの重要性 (日米図書館会議 1996 第2日目 1996年9月4日)」,『電子化された情報と図書館: 日米図書館会議 1996 会議録/松下鈞編』, 紀伊国屋書店, 1997.12, p75-.
- [1997/12/Na] 中尾美佐子「農林水産省農業研究センターにおける ILL 利用 (参加館紹介)」,『学術情報センターニュース』, No.42, 1997.12, p15.
- [1997/12/No] 野口真理子「国文学研究資料館における学術情報センターシステムの利用 (参加館紹介)」,『学術情報センターニュース』, No.42, 1997.12, p16.
- [1997/12/0o] 大城善盛, 鍛冶宏介「わが国のインターネット OPAC の現状」,『図書館学会年報』, 43(4), 1997.12, p103-116.
- [1997/12/0o] 大山敬三「学術情報センターとインターネット (特集: インターネットと学術情報)」,『人

文学と情報処理』, (15), 1997.12, p3-8.

[1997/12/Ue] 植月献二「国立国会図書館の電子図書館プロジェクトをめぐる動き」,『図書館雑誌』,91(12), 1997.12, p988-989.

1998年(平成10年)

[1998/00/Ko] 近藤紀男「新しいシステムを導入して:実現できたこと、残された課題」,『館灯』(私立大学図書館協会西地区部会東海地区協議会), 37, 1998, p15-19.

[1998/00/Su] 鈴木卓美「Web OPAC の共同開発(標準化)」,『館灯』(私立大学図書館協会西地区部会東海地区協議会), 37, 1998, p20-25.

[1998/01/Oo] 大島映里「文献複写依頼システムの変遷」,『薬学図書館』,Vol.43, No.1, 1998.01, p14-23.

[1998/02/Ii] 飯倉忍「MARC Harmonization」,『カレントアウェアネス』, 222, 1998.02, p3.

[1998/02/Pi] パイロット電子図書館総合目録ネットワーク協力会議「パイロット電子図書館総合目録ネットワーク協力会議活動状況報告:図書館情報資源の全国的共有を目指して」,日本図書館協会, 1998.02, 71p. *情報処理振興事業協会(IPA)技術応用事業部監修

[1998/02/Su] 鈴木康之「図書館システムのティポロジー:循環システム・システム・複雑系」,『中部図書館学会誌』, 40, 1998.02, p35-44.

[1998/03/Ga] 学術情報センター目録情報課「総合目録データベース 3,000 万件突破:平成 9 年 11 月 28 日」,『学術情報センターニュース』, No.43, 1998.03, p2.

[1998/03/Ga] 学術情報センター目録情報課「韓国・朝鮮語資料の登録方法」,『オンライン・システムニュースレター』, No.62, 1998.03.20, p4.

[1998/03/Ga] 学術情報センター目録情報課「重複書誌に対する注記(雑誌)」,『オンライン・システムニュースレター』, No.62, 1998.03.20, p5.

[1998/03/Ga] 学術情報センター目録情報課「[平成 9 年度]会議開催報告」,『オンライン・システムニュースレター』, No.62, 1998.03.20.

[1998/03/Ii] 飯島朋子「目録規則の比較検討:版エリアを中心に」,『大図研論文集』, (20), 1998.03

[1998/03/It] 伊東昭子「帝京平成短期大学図書館コンピュータの新システム導入計画:パッケージソフト『情報館 95』選定まで」,『看護と情報:看護図書館協議会誌』, Vo.5, 1998.03, p53-59.

[1998/03/Ku] 黒澤公人「Z39.50 による新たな目録作成システムを求めて:国際基督教大学図書館での個別版 Gateway-CAT の活用(特集:Z39.50)」,『情報の科学と技術』, no.48, No.3, 1998.03, p140-143.

[1998/03/Ma] 松尾博朋「目次情報を利用した図書主題検索システムの検討」,『学術情報センター・セミナー研究レポート』, (平成 9 年度), 1998.03, p1-32. *タイトルのみと目次を含めた場合の検索実験。

[1998/03/Mi] 宮澤彰「Multi-lingual Catalog(Chinese):Tasks and Future」,『海外における日本情報の需要と供給に関する研究:科学研究費補助金国際研究;平成 9 年度報告』(学術情報センター),(平成 9 年度), 1998.03, p13-17. *英文

[1998/03/Mo] 森茂樹「J-BISC を利用した遡及データ入力の方法と諸問題」,『図書館学』(西日本図書館学会), no.72, 1998.03, p12-20.

[1998/03/Ni] 日本図書館協会目録委員会編「目録の利用と作成に関する調査報告書」,日本図書館協会, 1998.03, 104p.

[1998/03/So] [相互協力研究分科会]「第 1 章 相互協力における文献複写業務について:現状と今後の展望」,『私立大学図書館協議会東地区研究部会 相互協力研究分科会報告』, 7, 1998.03, p1-46.

[1998/03/So] [相互協力研究分科会]「第 2 章 海外 ILL:最近の動向」,『私立大学図書館協議会東地区研究部会 相互協力研究分科会報告』, 7, 1998.03, p47-92.

[1998/03/So] [相互協力研究分科会]「第 3 章 相互協力と ILL」,『私立大学図書館協議会東地区研究部会 相互協力研究分科会報告』, 7, 1998.03, p93-122.

[1998/03/Su] 諏訪敏幸「逐次刊行物目録におけるタイトルの変遷と記入単位;NACSIS-CAT(洋雑誌)を中心とする困難事例、その分析、および考察;前編への補遺 NACSIS-CAT(洋雑誌)コーディング・マニュアル

- による主な変更点とその特徴」、『大図研論文集』, (20), 1998.03, p37-51
- [1998/03/Ue] 上田修一「Z39.50 とその可能性(特集:Z39.50)」、『情報の科学と技術』, no.48 No.3, 1998.03, p126-133.
- [1998/03/Wa] 渡邊隆弘「BSH(基本件名標目表)における OPAC の主題検索」、『学術情報センター・セミナー研究レポート』, (平成 9 年度), 1998.03, p33-134. * BSH4 版の編集用機械可読ファイルを使用して、件名標目間の関係構造を利用した主題検索支援システム BSH-OPAC を作成。
- [1998/03/Ya] 山田直子「『国書総合目録』書誌情報データベースの主題検索:分類をアクセス・ツールとして」、『国文学研究資料館紀要』, no.24, 1998.03, p1-19.
- [1998/04/Ka] 片山正博, 住本武司(神戸学院大学図書館)「UNIX による図書館システム導入:そしてその後(特集:平成 9 年度日本薬学会図書館協議会研究集会, テーマ:学内 LAN と図書館)」、『薬学図書館』, 43(2), 1998.04, p126-131. * 神戸学院大学図書館情報システム(BRIDGE)
- [1998/04/Ko] 国立大学図書館協議会図書館情報システム特別委員会「ILL システム専門委員会報告;最終報告」, 1998.04. * 総会資料 44-4
- [1998/05/Yu] 湯瀬裕昭「WWW 版図書目録検索システムのユーザインタフェースの分析」、『人間工学』(ISSN05494974), Vol.34, Supplement, 1998.05, p286-287.
- [1998/06/Ga] 学術情報センター国際事業係「英国 NACSIS-CAT 参加機関の図書所蔵登録件数 10 万件突破」,『学術情報センターニュース』, (44), 1998.06, p3
- [1998/06/Ga] 学術情報センター目録情報課「Webcat(総合目録データベース WWW 検索サービス)本運用開始」,『学術情報センターニュース』, No.44, 1998.06, p4.
- [1998/06/Ga] 学術情報センター目録情報課「学術雑誌総合目録欧文編 1998 年版の編集状況」,『学術情報センターニュース』, No.44, 1998.06, p15.
- [1998/06/Ga] 学術情報センター目録情報課「目録所在情報サービスの運用時間の延長」,『オンライン・システムニュースレター』, No.63, 1998.06.30, p2.
- [1998/06/Ga] 学術情報センター目録情報課「新 CAT/ILL システム Q&A; (2)」,『オンライン・システムニュースレター』, No.63, 1998.06.30, p3-4.
- [1998/06/Hi] 平輪麻里子(東邦大学医学部図書館)「ネットワーク検索時代におけるキーワードの役割」,『医学図書館』, 45(2), 1998.06, p268-270. * 56 大学の OPAC のキーワードを比較検討。
- [1998/06/Yo] 横山順子「整理業務と書誌作成業務:和図書の機械化:シリーズ国立国会図書館の 50 年;(5)」,『国立国会図書館月報』(ISSN:00279153), 通号 447, 1998.06, p2-7.
- [1998/06/Yo] 米澤誠, 鶴澤和佳「Webcat:総合目録データベース WWW 検索サービス」,『医学図書館』, 45(2), 1998.06, p268-270.
- [1998/07/Ma] 松永義昭「図書館情報システム iLiswave」,『Fujitsu』, Vol.49, No.4, 1998.07, p331-335.
- [1998/07/Mi] 三木宏之「NT サーバーによる相互貸借業務の開発(特集:日本薬学会第 118 会薬学図書館協議会図書館協議会部会)」,『薬学図書館』, 43(3), 1998.07, p228-232.
- [1998/08/Mu] 村田輝「図書管理システムの再構築へ向けて:横浜国立大学附属図書館の事例分析から新 CAT への対応まで」,『大学図書館研究』, No.53, 1998.08, p16-26.
- [1998/09/Ma] 松本直子「聖路加看護大学における図書館システムの現状と課題:LibVision を導入して(システムの現状と問題点)」,『医学図書館』, 45(3), 1998.09, p331-336.
- [1998/09/Mo] 森田創平「北里大学医学図書館における図書館システム(LINUS/S)の現状図書館(システムの現状と問題点)」,『医学図書館』, 45(3), 1998.09, p347-350.
- [1998/09/Mo] 森山光良「我が国の公共図書館界の総合目録ネットワークに対する考察:データ处理的側面を中心に」,『日本図書館情報学会年報』, 44(3), 1998.09, p92.
- [1998/09/Na] 中村丈夫「学習院大学図書館システム GLIM 稼働状況(ILIS/X-WR 導入事例)(システムの現状と問題点)」,『医学図書館』, 45(3), 1998.09, p320-327.
- [1998/09/Od] 小田切夕子「麻布大学附属図書館における図書館情報管理システム LIMEDIO の導入(システ

- ムの現状と問題点」,『医学図書館』,45(3),1998.09,p340-344.
- [1998/09/Wa] 若田部純子「自治医科大学図書館におけるトータルシステム CALIS の使用経験(システムの現状と問題点)」,『医学図書館』,45(3),1998.09,p313-317.
- [1998/10/Ga] 学術情報センター目録情報課「ドイツ MARC (Deutsche Nationalbibliographie) の導入」,『オンライン・システムニュースレター』,No.64,1998.10.16,p2.
- [1998/10/Ga] 学術情報センター目録情報課「新システム対応クライアント紹介(その1)」,『オンライン・システムニュースレター』,No.64,1998.10.16.
- [1998/10/Ga] 学術情報センター目録情報課「[平成10年度]会議開催報告」,『オンライン・システムニュースレター』,No.64,1998.10.16.
- [1998/10/In] 井上喜久美「[1998]事例発表:市町村立図書館で持つ総合目録(総合目録の現状と課題 ネットワークの拡がりを目指して(整理部門研究集会))」,『全国公共図書館研究集会報告書』(1998年度),1998.10,p17-19.
- [1998/10/Ko] 児玉史子「[1998]事例発表:国立国会図書館総合目録ネットワーク事業について(総合目録の現状と課題 ネットワークの拡がりを目指して(整理部門研究集会))」,『全国公共図書館研究集会報告書』(1998年度),1998.10,p12-14.
- [1998/10/Ku] 熊懷節子「NACSIS-ILL を利用した文献複写料金相殺制度を考える」,『薬学図書館』,43(4),1998.10,p404-408.
- [1998/10/Ku] 栗林茂ほか「[1998]研究協議(総合目録の現状と課題 ネットワークの拡がりを目指して(整理部門研究集会))」,『全国公共図書館研究集会報告書』(1998年度),1998.10,p19-22.
- [1998/10/Sh] 柴田正美「総合目録と書誌コントロール(総合目録の現状と課題 ネットワークの拡がりを目指して(整理部門研究集会))」,『全国公共図書館研究集会報告書』(1998年度),1998.10,p3-11.
- [1998/10/To] [図書館問題研究会]「新しい技術による総合目録の構築と図書館協力への活用(図書館問題研究会第45回全国大会の記録-二日目・分科会)」,『みんなの図書館』,(通号258),1998.10,p30-32.
- [1998/10/Ty] Izumi K. Tytler (Oxford Univ.)「英国における日本研究図書館の目録機械化・総合目録作成」,『レコード・マネージメント』(記録管理学会 ISSN 09154787),No.37,1998.10,p39-43. *NACSIS/UK 和書総合目録作成プロジェクトの紹介.
- [1998/11/Sa] 佐藤初美「NACSIS 総合目録データベース WWW 検索サービス「Webcat」」,『情報管理』,41(8),1998.11,p602-611. *平成10年4月から公開が始まった Webcat を担当者が解説.
- [1998/12/Ga] 学術情報センター研修課「平成10年度総合目録データベース実務研修終了報告」,『学術情報センターニュース』,No.46,1998.12,p27.
- [1998/12/Ga] 学術情報センター目録情報課「目録システムにおける中国語,韓国・朝鮮語資料の扱い」,『オンライン・システムニュースレター』,No.65,1998.12.25,p2-3.
- [1998/12/Ga] 学術情報センター目録情報課「連載:新システム対応クライアント紹介(その2)」,『オンライン・システムニュースレター』,No.65,1998.12.25.
- [1998/12/Ga] 学術情報センター目録情報課「[平成10年度]会議開催報告」,『オンライン・システムニュースレター』,No.64,1998.12.25.
- [1998/12/Sa] 崔政昭「図書館間の相互貸借(ILL)を中心としたネットワークについて」,『アジア資料通報』,国立国会図書館専門資料部アジア資料課,36(6),1998.12,p5-10.
- [1998/12/Sa] 桜井武志「ISBN 総合目録(オン・ザ・スポット)」,『医学図書館』,45(4),1998.12,p479-480.
- [1998/12/Ya] 矢島邦昭,海野啓明,武山慎一,月浦雅章「仙台電波高専における図書情報の電算化の試み:図書 DB システムの構築」,『研究紀要』(仙台電波工業高等専門学校 ISSN:03864243),No.28,1998.12,p99-104.

1999年(平成11年)

- [1999/00/Ha] 原直美「KOSMOS2 の図書目録システム(特集:新システムへの移行:3つのコンセプトを掲げて)」,『Medianet』(慶応義塾大学メディアセンター本部),(通号7),1999,p14-15.

- [1999/00/Hi] 平野真紀「ILL サービスの拡充について」,『Medianet』(慶応義塾大学メディアセンター本部), (通号 7), 1999, p40-43.
- [1999/00/Ir] 入江伸「KOSMOS2 リプレースの経過とその意味(特集:新システムへの移行:3つのコンセプトを掲げて)」,『Medianet』(慶応義塾大学メディアセンター本部), (通号 7), 1999, p4-9.
- [1999/00/Ka] 金子康樹「新 OPAC について(特集:新システムへの移行:3つのコンセプトを掲げて)」,『Medianet』(慶応義塾大学メディアセンター本部), (通号 7), 1999, p24-28.
- [1999/00/Mi] 三浦文博「図書館の情報化における文字コード問題:中国・ハングル文字コードアンケートに見る現状と課題」,『館灯』(私立大学図書館協会西地区部会東海地区協議会), 38, 1999, p6-8.
- [1999/00/Ni] 西原一幸「異体字整理のメカニズム」,『館灯』(私立大学図書館協会西地区部会東海地区協議会), 38, 1999, p1-5.
- [1999/00/Sa] 沢田純子「図書発注・受入システムについて(特集:新システムへの移行:3つのコンセプトを掲げて)」,『Medianet』(慶応義塾大学メディアセンター本部), (通号 7), 1999, p10-13.
- [1999/00/Ta] 竹内美樹「雑誌システム「KOHEI」の現在(特集:新システムへの移行:3つのコンセプトを掲げて)」,『Medianet』(慶応義塾大学メディアセンター本部), (通号 7), 1999, p16-18.
- [1999/00/Ya] 山田稔, 杉山麻里「図書館システムの移行:選定と実施」,『館灯』(私立大学図書館協会西地区部会東海地区協議会), 38, 1999, p16-21.
- [1999/01/Su] 杉田茂樹「図書館目録とメタデータ(<特集>メタデータ)」,『情報の科学と技術』, 49(1), 1999.01, 128-135.
- [1999/03/Ga] 学術情報センター目録情報課「学術雑誌総合目録欧文編 1998 年版の刊行」,『学術情報センターニュース』, No.47, 1999.03, p4.
- [1999/03/Ga] 学術情報センター目録情報課「目録システムの中国語資料対応に伴う留意点」,『オンライン・システムニュースレター』, No.66, 1999.03.15, p2-5.
- [1999/03/Ga] 学術情報センター目録情報課「学術雑誌総合目録欧文編 1998 年冊子体の出版」,『オンライン・システムニュースレター』, No.66, 1999.03.15, p8.
- [1999/03/Ga] 学術情報センター目録情報課「総合目録データベースの品質管理」ビデオの刊行」,『オンライン・システムニュースレター』, No.66, 1999.03.15, p7-8.
- [1999/03/Ga] 学術情報センター目録情報課「連載:総合目録データベースデータベース品質管理事例集(その1)」,『オンライン・システムニュースレター』, No.66, 1999.03.15.
- [1999/03/Ga] 学術情報センター目録情報課「連載:新システム対応クライアント紹介;(その3):多言語対応システム」,『オンライン・システムニュースレター』, No.66, 1999.03.15.
- [1999/03/Ga] 学術情報センター目録情報課「[平成 10 年度]会議開催報告」,『オンライン・システムニュースレター』, No.66, 1999.03.15.
- [1999/03/Ic] 市古貞次, 増田宗, 笹山晴生「『国書総目録』の編纂(国史学界の今昔;47)」,『日本の歴史』, no.610, 1999.3, p34-49.
- [1999/03/Ii] 飯島朋子「洋図書目録登録:NC 書誌作成修正初心者用マニュアル[1998.9.8]版」,『大図研論文集』, 第 22 号, 1999.03.
- [1999/03/Ko] 今野穂, 池崎康, 小岩重治, 中山純一(札幌医科大学図書館)「Proxy サーバーを使った異種データベース間連動システムの開発」,『医学図書館』, Vol.46, No.1, 1999.03, p70-78.
- [1999/03/Ma] 増田元, 高橋努, 米澤誠, 村田輝「遡及入力における目録自動登録システムの有効性(コンソーシアム特集号)」,『大学図書館研究』, No.55, 1999.03, p38-53.
- [1999/03/Mo] 森山光良「わが国の公共図書館の都道府県域総合目録ネットワークに関する考察:目録データ処理を中心に」,『日本図書館情報学会誌』, 45(1), 1999.03, p17-34. * 今後の課題 (1)目録規則の調整, (2)予算の確保, (3)民間 MARC の著作権.
- [1999/03/Mu] 村上佳久, 緒方恭子(筑波技術短大)「電子図書の管理に関する研究;1」,『筑波技術短期大学テクノレポート』, No.6, 1999.03, p103-104. * 視覚部図書館の電子データの管理.

- [1999/03/Ta] 田村貴代子「JAPAN/MARC の国際化:UBCIM の近況と UNIMARC」,『国立国会図書館月報』,456, 1999.03, p27-31.
- [1999/03/Ya] 安岡孝一「Web 版東洋学文献類目 (CHINA3) の実現」,『京都大学大型計算機センター研究セミナー報告』, Vol.62nd, 1999.03, p24-36.
- [1999/04/Ka]「オンライン総合目録における書誌レコードの同定方法 (CA1248)」,『カレントアウェアネス』, No.236, 1999.04, p4-6.
- [1999/05/Is] 石田茂 (インテックシステム研究所)「Z39.50 と日本語書誌目録の連携に関する考察」,『情報処理学会研究報告』 (ISSN09196072), Vol.99, No.39(DBS-118 FI-54), 1999.05, p81-88.
- [1999/05/Su] 須井麻由美「“Lettura” の作成:「近畿病院図書室協議会医学雑誌総合目録 1997 年改訂版」のデータベース化」,『病院図書室』 (近畿病院図書室協議会), 19(2), 1999.05, p53-61.
- [1999/06/Ga] 学術情報センター目録情報課「学術雑誌総合目録と文編新版の編集開始」,『学術情報センターニュース』, No.48, 1999.06, p4.
- [1999/06/Ga] 学術情報センター目録情報課「総合目録データベース品質管理」ビデオの刊行」,『学術情報センターニュース』, No.48, 1999.06, p14.
- [1999/06/Ga] 学術情報センター目録情報課「学術雑誌総合目録と文編 2000 年版全国調査の開始」,『オンライン・システムニュースレター』, No.67, 1999.06.10, p2.
- [1999/06/Ga] 学術情報センター目録情報課「連載:総合目録データベースデータベース品質管理事例集 (その 2)」,『オンライン・システムニュースレター』, No.67, 1999.06.10.
- [1999/06/Ga] 学術情報センター目録情報課「連載:新システム対応クライアント紹介 (その 4)」,『オンライン・システムニュースレター』, No.67, 1999.06.10.
- [1999/06/Ga] 学術情報センター目録情報課「[平成 11 年度]会議開催報告」,『オンライン・システムニュースレター』, No.67, 1999.06.10.
- [1999/07/Ki] 北克一, 村上泰子「OPAC における目録構造 (特集: [日本図書館研究会] 第 40 回研究大会) (グループ研究発表)」,『図書館界』, Vol.51, No.2 (通号 287), 1997.07, p100-108.
- [1999/07/Ku] 栗田英和, 柴田裕介, 竹田正幸, 有川節夫「イメージデータ化された図書目録カードの検索システム」,『情報処理学会研究報告』 (ISSN09196072), Vol.99, No.59(CH-43), 1999.07, p1-7.
- [1999/07/Ta] 谷口祥一「書誌の実体設定における二つ観点から見た三層構造モデルと IFLA FRBR モデル」,『日本図書館情報学会誌』 (日本図書館情報学会 ISSN:13448668), Vol.45, No.2, 1999.07, p45-60.
- [1999/07/Wa] 渡邊隆弘「件名標目による OPAC の主題検索」,『TP&D フォーラムシリーズ』, (通号 8), 1999.07, p3-26.
- [1999/08/Is] 石井啓豊「資源共有の新展開と ILL (特集・ILL の展望)」,『情報の科学と技術』, 49(8), 1999.08, p378-386.
- [1992/03/Sh] 志保田務, 北克一「書誌ユーティリティ:新たな情報センターの誕生」,『図書館界』, 44(13), 1992.03, p34-35.
- [1992/04/As] 浅野次郎「文献複写をめぐる最近の動向: 大学図書館を中心に (<特集>著作権; 2: 著作権と流通)」,『情報の科学と技術』, 42(4), 1992.04, p312-319.
- [1999/08/Ku] 黒澤節男「ILL と著作権 (特集・ILL の展望)」,『情報の科学と技術』, 49(8), 1999.08, p399-404.
- [1999/08/Ya] 山口直比古「日本医学図書館協会の相互協力活動 (特集・ILL の展望)」,『情報の科学と技術』, 49(8), 1999.08, p378-386.
- [1999/09/Ga] 学術情報センター目録情報課「総合目録データベース図書所蔵レコード件数 4,000 万件突破」,『学術情報センターニュース』, No.49, 1999.09, p2.
- [1999/09/Ga] 学術情報センター目録情報課「学術雑誌総合目録と文編 2000 年データ作成説明会の開催」,『学術情報センターニュース』, No.49, 1999.09, p16.
- [1999/09/Ga] 学術情報センター目録情報課「図書所蔵レコード件数 4,000 万件突破」,『オンライン・システムニュースレター』, No.68, 1999.09.30.

- [1999/09/Ga] 学術情報センター目録情報課「学術雑誌総合目録 CD-ROM 版 1998 の刊行」,『オンライン・システムニュースレター』, No. 68, 1999.09.30.
- [1999/09/Ga] 学術情報センター目録情報課「新 CAT/ILL システム Q&A ; (3) : 多言語対応システム」,『オンライン・システムニュースレター』, No. 68, 1999.09.30.
- [1999/09/Ga] 学術情報センター目録情報課「連載 : 新システム対応クライアント紹介 (その 5)」,『オンライン・システムニュースレター』, No. 68, 1999.09.30.
- [1999/09/Ga] 学術情報センター目録情報課「連載 : 総合目録データベースデータベース品質管理事例集 ; (その 3) : 雑誌編」,『オンライン・システムニュースレター』, No. 68, 1999.09.30.
- [1999/09/Ga] 学術情報センター目録情報課「[平成 11 年度]会議開催報告」,『オンライン・システムニュースレター』, No. 68, 1999.09.30.
- [1999/09/Ha] 林賢紀「日本におけるインターネット上の OPAC の概観」,『オンライン検索』No.20 No.3/4, 1999.09, p120-122.
- [1999/09/Ii] 飯倉忍「米加共通 MARC フォーマット「MARC21」」,『カレントアウェアネス』, 241, 1999.09, p3.
- [1999/09/Ki] 氣谷陽子, 門松ゆかり, 徳永智子, 樋浦真弓「“和古書及び漢籍の NACSIS-CAT への入力における問題点 : 筑波大学附属図書館の現状”」,『大学図書館研究』(ISSN:0386-0507), No.56, 1999.09, p1-11
- [1999/09/Ma] 松本哲哉, 栗田英和, 柴田裕介, 竹田正幸, 有川節夫「図書目録イメージデータの検索システム」,『情報処理学会全国大会講演論文集』, Vol.59th, No.3, 1999.09, p3.153-3.154.
- [1999/09/Su]「フランス総合目録 (CA1273)」,『カレントアウェアネス』, No.241, 1999.09, p2-3.
- [1999/10/Mo] 茂出木理子, 杉田いづみ, 前田朗「東京大学ブックコンテンツ・データベースサービスの紹介」,『薬学図書館』, 44(4)(通号 166), 1999.10, p342-344.
- [1999/10/Oo] 大山敬三「電子的メディアの学術情報の保存」,『資料保存シンポジウム講演会』, 第 9 回, 1999.10, p27-37.
- [1999/10/Su] 須井麻由美(三菱京都病院)「近畿病院図書室協議会相互貸借ソフト“Lettura(レチュラ)”の作成」,『薬学図書館』, 44(4), 1999.10, p345-354.
- [1999/12/Fu] 藤倉恵一「PLATON と LIMEDIO の間に : 文教大学越谷図書館資料受入システム (小特集 : 発注受入システム)」,『大学の図書館』, 18(12)(通号 313), 1999.12, p238-240.
- [1999/12/Ga] 学術情報センター目録情報課「多言語対応目録システムの運用開始」,『オンライン・システムニュースレター』, No.69, 1999.12.20.
- [1999/12/Ga] 学術情報センター目録情報課「「目録情報の基準」第 4 版の刊行」,『オンライン・システムニュースレター』, No.69, 1999.12.20.
- [1999/12/Ga] 学術情報センター目録情報課「目録所在情報サービスの 2000 年問題への対応」,『オンライン・システムニュースレター』, No.69, 1999.12.20.
- [1999/12/Ga] 学術情報センター目録情報課「次期メインシステムの導入」,『オンライン・システムニュースレター』, No.69, 1999.12.20.
- [1999/12/Ga] 学術情報センター目録情報課「ILL システムの ISO ILL プロトコル対応」,『オンライン・システムニュースレター』, No.69, 1999.12.20.
- [1999/12/Ga] 学術情報センター目録情報課「連載 : 新システム対応クライアント紹介 (その 6)」,『オンライン・システムニュースレター』, No.69, 1999.12.20.
- [1999/12/Ga] 学術情報センター目録情報課「連載 : 総合目録データベースデータベース品質管理事例集 ; (その 4) : 雑誌編」,『オンライン・システムニュースレター』, No.69, 1999.12.20.
- [1999/09/Ga] 学術情報センター目録情報課「[平成 11 年度]会議開催報告」,『オンライン・システムニュースレター』, No.69, 1999.12.20.
- [1999/12/Ka]「システム・ライブラリアン : 求められる図書館員像の一つとして (CA1289)」,『カレント

アウェアネス』, No.243, 1999.11, p8.

[1999/12/Ka] 「図書館システムで失敗しないために(CA1287)」,『カレントアウェアネス』No.243,1999.11, p6-7.

[1999/12/Mi] 宮澤彰「学術情報センターのサービスと国際利用(全体会議:新しい日本学構築のために:第2部「日本研究」支援のネットワーク関係諸機関担当者からの現状報告)」,『新しい日本学構築:お茶の水女子大学大学院人間文化研究科国際日本学専攻シンポジウム報告書』, 1999.12, p174-.

[1999/12/Na] 長嶺悦子「仮想 OPAC vs. 総合目録データベース(CA1293)」,『カレントアウェアネス』No.244, 1999.12, p6-7.

[1999/12/0o] 大元利彦「発注受入システム「Super ちょいす君」の導入に関する事例報告(小特集:発注受入システム)」,『大学の図書館』, 18(12)(通号 313), 1999.12, p240-241.

[1999/12/Su] 諏訪敏幸「学術図書館における自足性の後退と学術情報ユーティリティ:逐次刊行物分野を中心に」,『大学図書館研究』(ISSN:0386-0507), No.57, 1999.12, p1-21.

[1999/12/Ta] 高木貞治「図書館における書誌分類 DDC と NDC 間の分類対応表の作成:総合目録データベースを利用して」,『大学図書館研究』(ISSN:0386-0507), No.57, 1999.12, p31-38.

[1999/12/Ue] 上田修一「大学図書館のホームページと OPAC を採点する(情報とデザイン)」,『情報の科学と技術』, 49(12), 1999.12, p618-625.

2000 年（平成 12 年）

- [2000/00/It] 逸村裕「ネットワーク情報資源とメタデータ：CORC にみる図書館サービスへの応用」,『館灯』(私立大学図書館協会西地区部会東海地区協議会), 39, 2000, p35-40.
- [2000/00/Na] 長嶺悦子「[2000 年度]事例発表 1: 国立国会図書館総合目録ネットワークの事業展開(広がるネットワークと図書館資料の整備: 検索システムと資料目録(整理部門研究集会))」,『全国公共図書館研究集会報告書』, 2000 年度, 2000, p11-13.
- [2000/00/No] 野村茂夫「漢籍の目録について: 漢字・書籍・目録」,『館灯』(私立大学図書館協会西地区部会東海地区協議会), 39, 2000, p1-7.
- [2000/00/Su] 菅野育子「IFLA/FRBR と ISWC, ISTC の work 概念の比較」,『Library and information science』, 通号 44, 2000, p27-41.
- [2000/00/Su] 杉本節子, 加戸文子, 早川尚美[ほか]「入門講座 相互貸借(ILL=Inter-library loan)の基礎」,『看護と情報: 看護図書館協議会誌』, 7, 2000, p103-110.
- [2000/00/Ts] 土本潤「分散型総合目録の構築と進化の可能性について: 岐阜県内図書館(5 館)HP 横断蔵書検索システム(実験版)(2000 21 世紀への飛翔)」,『INFOSTA シンポジウム予稿集』(情報科学技術協会), 2000 年, 2000, p66-70.
- [2000/00/Ya] 山下邦靖「階層を持つ書誌データベースの構築における問題点: 特に単行書・逐次刊行物の二重性格をもつ資料への対応(2000 21 世紀への飛翔)」,『INFOSTA シンポジウム予稿集』(情報科学技術協会), 2000 年, 2000, p51-53.
- [2000/02/Go] 郷端清人「図書館システムとセキュリティ(情報サービスとセキュリティ)」,『情報の科学と技術』, 50(2), 2000.02, p80-87.
- [2000/02/Ka] 金子康樹「利用者公開 PC のセキュリティについて(情報サービスとセキュリティ)」,『情報の科学と技術』, 50(2), 2000.02, p73-79.
- [2000/03/Da] 大学図書館研究集会運営委員会編『学術情報提供と次世代図書館サービス: 大学図書館の対応: 大学図書館研究集会記録; 第 17 回』, 日本図書館協会大学図書館部会, 2000.03, 150p. * 国公立大学図書館協力委員会との共同刊行。発売: 学術文献普及会。大阪市立大学, 平成 11 年 9 月 9 日~10 日。「全体会・分科会報告(p119-132)」(北克一, 永田治樹, 上田修一ほか)
- [2000/03/Fu] 藤巻俊樹「WINE システム・デモ(早稲田大学新学術情報システム記念式典記録)」,『早稲田大学図書館紀要』, 通号 47, 2000.03, p19-22.
- [2000/03/Fu] 深澤良彰「基調報告・早稲田大学新図書館システム WINE99 が目指すもの(早稲田大学新学術情報システム記念式典記録)」,『早稲田大学図書館紀要』, 通号 47, 2000.03, p5-19.
- [2000/03/Ga] 学術情報センター研修課「平成 11 年度総合目録データベース実務研修終了報告」,『学術情報センターニュース』, No.50, 2000.03, p50.
- [2000/03/Ga] 学術情報センター目録情報課「学術雑誌総合目録 CD-ROM 版 1988 の刊行」,『学術情報センターニュース』, No.50, 2000.03, p32.
- [2000/03/Ga] 学術情報センター目録情報課「多言語対応目録システムの運用開始」,『学術情報センターニュース』, No.50, 2000.03, p29.
- [2000/03/Ga] 学術情報センター目録情報課「目録所在情報サービスの参加機関 700 機関を突破」,『学術情報センターニュース』, No.50, 2000.03, p28.
- [2000/03/Ga] 学術情報センター目録情報課「目録所在情報サービスの歩み(特集: 学術情報センターの目録所在情報サービス)」,『オンライン・システムニュースレター』, No.70 最終号, 2000.03.17, p5-12.
* 目録所在情報システム 15 年間の歩み(年表)
- [2000/03/Ga] 学術情報センター目録情報課「学術雑誌総合目録のあゆみ(特集: 学術情報センターの目録所在情報サービス)」,『オンライン・システムニュースレター』, No.70 最終号, 2000.03.17, p13-15.
- [2000/03/Ga] 学術情報センター目録情報課「多言語対応目録システム移行後における検索・登録時の注意事項」,『オンライン・システムニュースレター』, No.70 最終号, 2000.03.17, p16-19.

- [2000/03/Ga] 学術情報センター目録情報課「多言語対応目録システム運用開始に伴う外字データの整備」,『オンライン・システムニュースレター』, No.70 最終号, 2000.03.17, p20.
- [2000/03/Ga] 学術情報センター目録情報課「連載: 総合目録データベースデータベース品質管理事例集; (その5): 図書所蔵編」,『オンライン・システムニュースレター』, No.70 最終号, 2000.03.17, p23-28.
- [2000/03/Ga] 学術情報センター目録情報課「[平成 12 年度]会議開催報告」,『オンライン・システムニュースレター』, No.70 最終号, 2000.03.17, p32.
- [2000/03/Mi] 宮澤彰「目録所在情報サービス今後の展開(特集: 学術情報センターの目録所在情報サービス)」,『オンライン・システムニュースレター』, No.70 最終号, 2000.03, p2-4.
- [2000/03/Mi] 宮澤彰「書誌ユーティリティの接続(第 1 部: 日本情報の国際共有)」,『日本情報の国際共有に関する研究; 平成 11 年度報告』, (研究代表者: 内藤衛亮), 2000.03.
- [2000/03/Mi] 宮澤彰「NACSIS-CAT における韓国語対応(第 1 部: 日本情報の国際共有)」,『日本情報の国際共有に関する研究; 平成 11 年度報告』, (研究代表者: 内藤衛亮), 2000.03.
- [2000/03/Mo] 森川博之「奈良県立図書館の学術情報センターシステムの利用: 所蔵資料の遡及入力を中心に(参加館紹介)」,『学術情報センターニュース』, No.50, 2000.03, p35.
- [2000/03/Na] 中野和廣「東京電機大学理工学部における文献複写業務の機械化について(第 2 章 文献複写システムと ILL)」,『私立大学図書館協議会東地区研究部会 相互協力研究分科会報告』, 8, 2000.03, p55-94 (第 2 章全体).
- [2000/03/Ni] 西村昭子, 水谷長志 (東京国立近代美術館)「展覧会カタログの書誌情報: その生成と流通に関する一試論」,『アート・ドキュメンテーション研究フォーラム報告書』, Vol.2nd, 2000.03, p28-36.
- [2000/03/No] 野原千鶴 (済生会下関総合病院)「NACSIS に参加する病院図書室: 今とこれから(小特集: ネットワークの中の病院図書室: より広く, より近く, より深く)」,『ほすびたるらいぶらりあん』, 25(1), 2000.03, p21-27.
- [2000/03/On] 小貫有紀子「工学系大学図書館における相互協力のあり方: 学術情報センターに参加していない ILL の事例報告(第 2 章 文献複写システムと ILL)」,『私立大学図書館協議会東地区研究部会 相互協力研究分科会報告』, 8, 2000.03, p55-94 (第 2 章全体).
- [2000/03/Sa] 佐久間広徳「MARC と図書館システム」,『図書館の学校』, 3, 2001.03, p28-29.
- [2000/03/Sa] 佐藤美子「目録をとるといふこと: 記録をする意味(<目録を考える>)」,『図書の譜』(明治大学図書館), 4 号, 2000.03. * 「文字」と NC 総合目録データベース.
- [2000/03/Si] Silberstein, Steve「次世代図書館システムにむけて(早稲田大学新学術情報システム記念式典記録)」,『早稲田大学図書館紀要』, 通号 47, 2000.03, p22-39.
- [2000/03/To] 図書館システム・ネットワーク専門委員会編『インターネットに公開された OPAC 調査: 図書館システム・ネットワーク専門委員会報告書; 平成 11 年度』, 浦和: 埼玉県公共図書館協議会, 2000.03, 44p.
- [2000/03/Wi] ミョン・チャン・ウィルソン (Myoung C. Wilson); 野末俊比古「全国的・国際的研究コミュニティの研究: 21 世紀の学術情報センター(報告)」,『日本情報の国際共有に関する研究; 平成 11 年度報告』, (研究代表者: 内藤衛亮), 2000.03.
- [2000/03/Ya] 山内隆文 (名古屋学院大学附属図書館)「ポーランドから発信する日本情報: ポーランド日本情報工科大学における講演より」,『館灯』(私立大学図書館協会西地区部会 東海地区協議会 ISSN:03873919), Vol.38, 2000.03, p9-15.
- [2000/03/Yo] 吉田千草 (明治大学図書館整理課)「総合目録データベースの品質管理についての考察: OCLC との比較を通して(<目録を考える>)」,『図書の譜』(明治大学図書館), 通号 4, 2000.03, p170-186.
- [2000/04/Ma] 松林正巳「ネットワーク時代の目録規則: AACR2 の改訂動向について(特集: ネットワーク時代の目録)」,『大学の図書館』, 19(4) (通号 317), 2000.04, p54-57.
- [2000/04/Mo] 森山光良「公共図書館の都道府県域総合目録ネットワークの現段階: 独特の発展形態と課題」,『図書館雑誌』(日本図書館協会, ISSN:03854000), 94(4), 2000.04, p260-263.

- [2000/04/To] 徳永智子「和装古書目録データ入力この一年(特集:ネットワーク時代の目録)」,『大学の図書館』, 19(4) (通号 317), 2000.04, p59-61.
- [2000/06/Ka] 河原田伊左男「総合目録データベース実務研修受講報告」,『関西大学図書館フォーラム』(ISSN:13420828), 5, 2000.06, p63-65.
- [2000/06/Ko] 国立大学図書館協議会国際情報アクセス特別委員会『海外機関との相互利用(文献複写)に関する調査報告』, 2000.06, 27p.
- [2000/06/Ta] 竹村心(京都大学教育学部)「わが国の図書館政策; : 学術政策と大学図書館: 解説 .80-90年代の学術と大学図書館の政策」,『現代の図書館』(日本図書館協会 ISSN:00166332), Vol. 38, No. 2, 2000.06, p79-82.
- [2000/07/As] 浅野泉「Webcat での大学図書館公開の可能性への提案」,『北の文庫』, no.29, 2000.07, p6-10.
- [2000/07/Wa] 中山伸一「感情による図書の検索システム(特集:情報検索)」,『人文学と情報処理』, (28), 2000.07, p73-82.
- [2000/07/Wa] 和中幹雄「児童書の収集と発掘:国際子ども図書館児童書総合目録の概要(特集:情報検索)」,『人文学と情報処理』, (28), 2000.07, p62-72.
- [2000/08/Ko] 国立情報学研究所コンテンツ課「国立情報学研究所の設置」,『NACSIS-CAT/ILL ニュースレター』, 1号, 2000.08.10.
- [2000/08/Mo] 渡部聡彦(東京大学情報基盤センター)「ここがすごいぞ! 電子図書館」,『電気学会誌』, Vol. 120, No. 8/9, 2000.08, p526-529. * 総合目録情報データベース, ILL, オンラインジャーナル
- [2000/09/As] 浅倉秀三「文字列検索による J-BISC 検索」,『情報管理』(ISSN00217298), Vol. 43, No. 6, 2000.09, p481-490.
- [2000/09/Ma] 松井幸子(図書館情報大学), 今野裕美(サンネット)「わが国の公共図書館における WWW 版 OPAC の現状: 46 館の OPAC システムの現状調査と 3 種の OPAC システムの利用調査」,『日本図書館情報学会誌』, 46(2), 2000.09, p49-72.
- [2000/09/Mi] 南俊朗, 栗田英和, 有川節夫「イメージによる図書目録カード検索システム: 遡及入力問題の一解決法」,『情報処理学会研究報告』(ISSN09196072), Vol. 2000 No. 91(FI-60), 2000.09, p63-71.
- [2000/09/Mi] 南俊朗, 栗田英和, 有川節夫「イメージによる図書目録カード検索システム: 遡及入力問題の一解決法」,『ディジタル図書館』(ISSN13407287), No. 18, 2000.09, p27-35.
- [2000/09/Na] 永森光晴, 阪口哲男, 杉本重雄, 田畑孝一(図書館情報大学)「RDF Schema に基づくメタデータレジストリ」,『ディジタル図書館』(ISSN13407287), No. 18, 2000.09, p49-56.
- [2000/09/Sa] 酒井香里, 松田明子, 小宮山淑子(東京都立航空工業高等専門学校学生係)「<研究ノート> 学術情報センターのデータを利用した雑誌目録の作成」,『研究紀要』(東京都立航空工業高等専門学校 ISSN:03871355) Vol. 37, 2000.09, p137-139
- [2000/09/Su] 杉本重雄(図書館情報大学)「Dublin Core について: 最近の動向, 特に qualifier について」,『ディジタル図書館』(ISSN13407287), No. 18, 2000.09, p36-48.
- [2000/09/Ya] 山口直比古「NACSIS-ILL とユーザー会(特集:文献入手の可能性を拡げるために)」,『医学図書館』, 47(3), 2000.09, p262-265. * ILL 料金相殺のためのユーザー会設立の試み
- [2000/10/Ha] 原田隆史「図書館コンソーシアムとドキュメント・デリバリー」,『同志社大学図書館学年報』, 別冊, 同志社図書館情報学』, 12, 2000.10, p1-18.
- [2000/10/Ha] 蓮沼龍子,「Die Vernetzung der japanbezogenen Bibliotheken in Deutschland mit der NACSIS-CAT, 3」,『日独図書館懇談会会報』(日独図書館懇談会) Vol. 14, No. 4 (通号 55), 2000.10, p2-4
- [2000/10/Mo] 森岡倫子, 松浦淳子(国立音楽大学図書館)「音楽資料を対象とした OPAC のログの分析: 利用者の用いる検索語と検索方法」,『情報の科学と技術』, 50(10), 2000.10, p514.
- [2000/10/Ts] 土本潤「分散型総合目録とその発展の可能性について(特集:INFOSTA シンポジウム 2000)」,『情報の科学と技術』, 50(10), 2000.10, p508.
- [2000/10/Ya] 山下邦靖(日本大学生物資源科学部)「階層をもつ書誌データベースの構築における問題点:

- 特に単行書・逐次刊行物の二重性格を持つ資料への対応」、『情報の科学と技術』, 50(10), 2000.10, p506.
- [2000/11/In] 猪瀬博編『学術情報サービス：21世紀への展望：情報学シリーズ；1』, 丸善, 2000.11, 1冊.
- [2000/11/Ko] 「複写申込ランキング調査による逐次刊行物の利用傾向について」, 『国立国会図書館月報』(ISSN:00279153), 通号 476, 2000.11, p34-37.
- [2000/11/Ma] 松川伸一(九州大学大学院)「図書目録カードイメージ入力のパトルネック：大量データの正当性を検証する」『デジタル図書館』(ISSN13407287), No.19, 2000.11, p5-18.
- [2000/11/No] 野口迪子「基本図書を主として(特集：医学情報を探す, 医学書を探す)」, 『情報の科学と技術』, 50(11), 2000.11, p542-552.
- [2000/11/Ue] 上田修一, 倉田敬子, 吉野貴庸, 石田栄美「WWW上のOPACにおける既知事項検索の諸問題」, 『Library and Information Science』, no.41, 2000.11, p1-15. *利用者の視点からOPACを評価
- [2000/12/In] 井上智雄, 上野晴樹(国立情報学研究所)「NACSIS-ILL 自学システムの開発」, 『NII Journal』, (国立情報学研究所 ISSN:13459996), 1, 2000.12, p43-49.
- [2000/12/Ko] 国立情報学研究所コンテンツ課「図書所蔵レコード5,000万件突破!」, 『NACSIS-CAT/ILL ニュースレター』, 2号, 2000.12.25.
- [2000/12/Ko] 国立情報学研究所コンテンツ課「WWW 対応新 CAT/ILL ゲートウェイ WebUIP の公開」, 『NACSIS-CAT/ILL ニュースレター』, 2号, 2000.12.25.
- [2000/12/Ko] 国立情報学研究所コンテンツ課「総合目録データベースへの電子ジャーナルの登録」, 『NACSIS-CAT/ILL ニュースレター』, 2号, 2000.12.25.
- [2001/12/Ko] 国立情報学研究所コンテンツ課「目録で慰安の操作は大丈夫?」, 『NACSIS-CAT/ILL ニュースレター』, 2号, 2000.12.25.
- [2001/12/Ko] 国立情報学研究所コンテンツ課「平成12年度総合目録データベース実務研修(目録担当者コース)報告」, 『NACSIS-CAT/ILL ニュースレター』, 2号, 2000.12.25.
- [2000/12/Mi] 宮崎敬, 松島久夫, 西村治(長野工業高等専門学校)「電子化の時代を迎えた高専図書館：長野高専における図書館情報化システムの導入とその利用について」, 『長野工業高等専門学校紀要』(長野工業高等専門学校 ISSN:02861909), Vol.34, 2000.12, p179-186

2001年(平成13年)

- [2001/00/Ab] 阿部立郎(平和情報センター)「図書館における日本語データベースの現状：21世紀における日本情報ドイツ語圏日本関係図書館の新しい課題」, 『日本情報の国際共有に関する研究；平成12年度報告』, 2001, p227-239. *日本語自然文の解析ソフトウェア Happiness の紹介等。
- [2001/00/Go] 後藤敦子(東洋文庫ユネスコ東アジア文化研究センター)「アラビア文字図書における図書整理の現状と課題：東洋文庫アラビア語図書典拠ファイル作成の紹介」, 『典拠情報と典拠コントロールの現状：国立情報学研究所共同研究「日本における国際書誌調整」；平成13年』, 2001, p91-113.
- [2001/00/Ha] 濱口幾子「愛知県立看護大学附属図書館における図書館間相互協力について(事例報告テーマ：大学図書館における相互協力(平成12年度第1回[東海地区大学図書館協議会]研修会))」, 『東海地区大学図書館協議会誌』, 通号 46, 2001, p18-20.
- [2001/00/Hi] 平井芳美「名古屋大学附属図書館における ILL (事例報告テーマ：大学図書館における相互協力(平成12年度第1回[東海地区大学図書館協議会]研修会))」, 『東海地区大学図書館協議会誌』, 通号 46, 2001, p15-17.
- [2001/00/Is] 石井啓豊「<講演要旨>図書館活動の新しい展開の中で(事例報告テーマ：大学図書館における相互協力(平成12年度第1回[東海地区大学図書館協議会]研修会))」, 『東海地区大学図書館協議会誌』, 通号 46, 2001, p8-14.
- [2001/00/Ka] 加藤直美「大学図書館における相互協力：東海地区私立大学図書館の動向を中心に(事例報告テーマ：大学図書館における相互協力(平成12年度第1回[東海地区大学図書館協議会]研修会))」, 『東海地区大学図書館協議会誌』, 通号 46, 2001, p21-23.

- [2001/00/Ko] 国立情報学研究所『中国との学術情報交流プロジェクト；2000 年度報告』, 2001, 89p. * 北京日本学術研究センターの目録データベース構築について。
- [2001/00/Ko] 国立情報学研究所『日米両国におけるドキュメント・デリバリー・サービスの改善に関するプロジェクト；2000 年度報告』, 2001, 74p. * 米国 RLG 及び OCLC の各 ILL システムと NACSIS-ILL とを ISO の ILL プロトコルを用いてシステム間の相互利用の実現するための検討。
- [2001/00/Ku] 桑原節子 (ベルリン日独センター)『ドイツ語日本関係図書館の新しい課題開催報告：21 世紀における日本情報ドイツ語圏日本関係図書館の新しい課題』, 『日本情報の国際共有に関する研究；平成 12 年度報告』, (平成 12 年度), 2001, p171-175.
- [2001/00/Ma] 松井幸子『名称典拠共同計画活動：文献展望』, 『Record of Workshop on Authority Control among Chinese, Korean and Japanese Language』, 2001, p127-144. * 英文, NACO プログラムについて。
- [2001/00/Mi] 宮部浩之『図書館システム構築のヒント：ドキュメントから見たシステム作り』, 『館灯』(私立大学図書館協会西地区部会東海地区協議会), 40, 2001, p28-40.
- [2001/00/Mi] 宮澤彰『NACSIS-CAT のヨーロッパにおける展開：21 世紀における日本情報ドイツ語圏日本関係図書館の新しい課題』, 『日本情報の国際共有に関する研究；平成 12 年度報告』(平成 12 年度) 2001, p212-216. * ドイツの日本関係図書館における NACSIS-CAT 導入への提案。
- [2001/00/Mi] 宮澤彰『NACSIS-CAT 典拠コントロールの概念』, 『Record of Workshop on Authority Control among Chinese, Korean and Japanese Language』, 2001, p7-12. * 英文付
- [2001/00/Na] 内藤衛亮『典拠データベースの可能性』, 『典拠情報と典拠コントロールの現状：国立情報学研究所共同研究「日本における国際書誌調整」；平成 13 年度』, (平成 13 年度), 2001, p1-6.
- [2001/00/Na] 中村茂彦『IT を活用した目録の編集』, 『東京都立中央図書館研究紀要』(ISSN 09144005), (31), 2001, p3-56.
- [2001/00/Sa] 酒井清彦『NACSIS-CAT における著者名典拠レコードの現状』, 『典拠情報と典拠コントロールの現状：国立情報学研究所共同研究「日本における国際書誌調整」；平成 13 年度』, (平成 13 年度), 2001, p7-24.
- [2001/00/Sa] 酒井清彦, 京藤貫『NACSIS-CAT における著者名典拠レコード：その機能と作成方法』, 『Record of Workshop on Authority Control among Chinese, Korean and Japanese Language』, 2001, p13-45. * 英文付
- [2001/00/Sa] 酒井清彦, 京藤貫『NACSIS-CAT における著者名典拠データの記述方法』, 『Record of Workshop on Authority Control among Chinese, Korean and Japanese Language』, 2001, p160-169. * 英文付
- [2001/00/Sh] 柴山盛生 (国立情報学研究所)『わが国の大学図書館における学術情報流通状況の分析』, 『日仏図書館情報研究』(ISSN 09167684 日仏図書館情報学会)(27), pp.53~58, 2001,
- [2001/00/Ta] 太刀川佑子, 松井幸子『NACSIS-CAT の著者名典拠ファイルの解析』, 『典拠情報と典拠コントロールの現状：国立情報学研究所共同研究「日本における国際書誌調整」；平成 13 年』(平成 13 年度), 2001, p57-79.
- [2001/01/Ha] 橋爪宏達『振り仮名を振ること』, 『プログラミング・シンポジウム報告書』Vol.42nd 2001.01, p21-25. * NACSIS-CAT データベースの書名の「読み」に基づき漢字表記の分かちを行い, 高度な漢字書名索引を作成。
- [2001/01/In] 井上智雄, 上野晴樹 (国立情報学研究所)『NACSIS-ILL システム講習の遠隔化に向けて』, 『情報処理学会研究報告』, Vol.2001, No.5 (GW-38), 2001.01, p37-42.
- [2001/01/Ky] 京藤貫『講演(1)NACSIS-CAT・ILL の現状と将来 (私立大学図書館協会第 61 回(2000 年度)総会・研究大会記録) -- (研究大会メインテーマ 大学図書館の新世紀)』, 『私立大学図書館協会会報』(私立大学図書館協会 ISSN:02887002), 通号 115, 2001.01, p112~116
- [2001/01/No] 野原千鶴『病院図書室のような小規模図書館での NACSIS-CAT-ILL の利用 (Q&A)』, 『医学図書館』, 48(1), 2001.01, p117-118.

- [2001/02/Ko] 国分一也『『国書総目録』を究めたい(特集:図書館員が書いた本の探し方;4)』,『みんなの図書館』, no.286, 2001.02, p37-45.
- [2001/03/Fu] 船渡川清「引用リンクを基盤とした高機能学術文献情報プラットフォームの形成:国立情報学研究所(学術情報センター)情報サービス高度化に向けた一戦略」,『大学図書館研究』, No.61, 2001.03, p1-7.
- [2001/03/Ko] 国立情報学研究所『日米両国におけるドキュメント・デリバリー・サービスの改善に関するプロジェクト;2000年度報告』, 2001.03, 21p.
- [2001/03/Ko] 国立情報学研究所コンテンツ課「学術雑誌総合目録和文編 2000年版冊子体の出版」,『NACSIS-CAT/ILL ニュースレター』, 3号, 2001.03.25.
- [2001/03/Ko] 国立情報学研究所コンテンツ課「多言語対応 Webcat の利用方法」,『NACSIS-CAT/ILL ニュースレター』, 3号, 2001.03.25.
- [2001/03/Ko] 国立情報学研究所コンテンツ課「NACSIS-ILL システムの ISO ILL プロトコル対応」,『NACSIS-CAT/ILL ニュースレター』, 3号, 2001.03.25.
- [2001/03/Ko] 国立情報学研究所コンテンツ課「目録で慰安の操作は大丈夫?(2)」,『NACSIS-CAT/ILL ニュースレター』, 3号, 2001.03.25.
- [2001/03/Ko] 国立情報学研究所コンテンツ課「平成12年度総合目録データベース実務研修(システム担当者コース)報告」,『NACSIS-CAT/ILL ニュースレター』, 3号, 2001.03.25.
- [2001/03/Ku] 工藤邦彦(福岡大学図書館)「目録データベースからみた漢字」,『図書館学』(西日本図書館学会), No.78, 2001.03, p9-14. *UCS の採用.
- [2001/03/Ku] 熊野慎治「NACSIS-CAT 総合目録データベースにおける図書書誌の変化:ローカルシステムへ取込んだ後の修正に関する調査」,『図書館界』, 52(6), 2001.03, p294-303.
- [2001/03/Mi] 宮澤彰(国立情報学研究所), 安立眞理子(チューリヒ大学東洋学部日本学科図書館)「チューリヒ大学日本学科図書館 NACSIS-CAT プロジェクト報告(事例報告)」,『NII journal』(国立情報学研究所), (2), 2001.03, 81-91.
- [2001/03/Su] 杉田茂樹, 江口浩二「目録データベースと Web コンテンツの統合的利用方式」,『情報処理学会研究報告』(ISSN:0919-6072), Vol.2001 No.20-(FI-61 NL-142), 2001.03, p153-158.
- [2001/03/Su] 杉田茂樹「図書に関する異種情報資源の統合的利用方式に関する一検討」,『学術情報センター・セミナー研究レポート』, (平成12年度), 2001.03, p1-12. *目録データベースと WWW 上に分散する非定型な書評コンテンツの統合および連携方式を試作.
- [2001/03/Wa] 渡部聡彦, 武井純孝, 杉本雅則, 中川裕志「携帯端末への書誌・所蔵館情報の表示方法」,『情報処理学会年次大会発表論文集』, Vol.7th, 2001.03, p139-142.
- [2001/04/Ii] 飯倉忍「Z39.50 の行く末(CA1386)」,『カレントアウェアネス』, No.260, 2001.04, p7-8.
- [2001/05/Ya] 山中秀夫「古典籍の記述対象単位に関する考察:総合目録における資料の同定の可能性」,『ピブリア』(天理図書館), No.115, 2001.05, p142-156.
- [2001/05/Yo] 米澤誠「<教育講演>病院図書室で利用できる NACSIS サービス[含質疑応答](全国図書研究会)」,『日本病院会雑誌』, 48(5), 2001.05, p697-704.
- [2001/06/As] 浅井将行「『医学洋書総合目録』に関するアンケート調査:結果報告」,『医学図書館』, (日本医学図書館協会 ISSN:04452429) Vol.48, No.2, 2001.06, p218-222.
- [2001/06/Ko] 国立国会図書館逐次刊行物部新聞課「全国新聞総合目録データベースについて」,『国立国会図書館月報』(ISSN:00279153), 通号 483, 2001.06, p1-8.
- [2001/06/Mo] 茂出木理子「東京大学における新しい情報サービスの戦略と展開:利用者は電子図書館サービスに何を求めているのだろうか?」,『INFOSTA シンポジウム予稿集』, No.2001, 2001.06, p63-66.
- [2001/07/Sh] 志保田務, 中村恵信「書誌情報の集中提供システムの成立と利用関係マニュアル策定の相関:その読み取りの試み(特集[日本図書館研究会]第42回研究大会)(グループ研究発表)」,『図書館界』, Vol.53, No.2, 2001.07, p142-145.

- [2001/07/Wa] 渡邊隆弘「図書館目録とメタデータ（特集[日本図書館研究会]第42回研究大会）（グループ研究発表）」、『図書館界』, Vol. 53, No. 2, 2001.07, p126-133.
- [2001/08/Ka] 鹿島みづき（愛知淑徳大学図書館）「CORC プロジェクトに参加して（メタデータ Part2：21世紀のメタデータの利用方法と可能性）」、『情報の科学と技術』（社団法人情報科学技術協会 ISSN:09133801）, Vol. 52, No. 8, 2002.08, p409-417.
- [2001/08/Ko] 国立情報学研究所コンテンツ課「韓国・朝鮮語資料の取扱い(案)の公開」、『NACSIS-CAT/ILL ニュースレター』, 4号, 2001.08.17.
- [2001/08/Ko] 国立情報学研究所コンテンツ課「REMARC の導入」、『NACSIS-CAT/ILL ニュースレター』, 4号, 2001.08.17.
- [2001/08/Ko] 国立情報学研究所コンテンツ課「学術雑誌総合目録欧文編 2002 年版データ更新の開始」, 『NACSIS-CAT/ILL ニュースレター』, 4号, 2001.08.17.
- [2001/08/Ma] 増元弘信（広島大学附属図書館）「小規模資料群の遡及入力法試論：OCR ソフトと JGAWK を使用して」, 『大学図書館研究』（学術文献普及会 ISSN:03860507）No. 62, 2001.08, p27-36.
- [2001/08/Mi] 三浦敬子, 松井幸子「欧米における著者名典拠ファイルの共同作成の動向」, 『日本図書館情報学会誌』（日本図書館情報学会 ISSN:13448668）, Vol. 47, No. 1, 2001.08, p29-41.
- [2001/08/Mo] 森山光良「分散型総合目録ネットワークの分類と評価：図書館ネットワークの発展段階と標準化過程における Z39.50 の位置付け」, 『図書館雑誌』（日本図書館協会, ISSN:03854000）, 95(8) 2001.08, p554-557.
- [2001/08/Mu] 村上泰子（梅花女子大学）「図書館界とメタデータ：米国議会図書館の戦略を中心に（メタデータ Part2：21世紀のメタデータの利用方法と可能性）」, 『情報の科学と技術』（社団法人情報科学技術協会 ISSN:09133801）, Vol. 52, No. 8, 2002.08, p402-408.
- [2001/08/Oo] 大野友和, 久保木和義, 平田さくら（明治大学図書館）「国際協力事業としての図書館づくり：韓国・翰林大学校日本学研究所図書整理を支援して」, 『大学図書館研究』（学術文献普及会 ISSN:03860507）, No. 62, 2001.08, p13-19. *韓国図書館における NACSIS-CAT の利用
- [2001/08/To] 富田健市「海外日本語図書館への情報化支援：北京日本学研究中心の場合（国立情報学研究所中国との学術情報プロジェクト）」, 『大学図書館研究』（学術文献普及会 ISSN:03860507）No. 62, 2001.08, p20-26. *1998年7月から始まった3か年プロジェクトの概要。
- [2001/08/Uz] 鵜澤和佳「ISO ILL プロトコルと NACSIS-ILL」, 『カレントアウェアネス』, no. 264, 2001.08, p2-4.
- [2001/09/Fu] 藤沢みどり「大学図書館と公共図書館の相互貸借の事例：厚木方式とは（特集：ネットワーク時代の図書館資料相互貸借）」, 『現代の図書館』（日本図書館協会 ISSN:00166332）, Vol. 39, No. 3, 2001.09, p146-152.
- [2001/09/It] 伊藤民雄（実践女子大学図書館）「東アジアの書誌ユーティリティ（特集：書誌情報）」, 『医学図書館』, Vol. 48, No. 3, 2001.09, p274-281. *書誌ユーティリティの機能として NII へ提言。
- [2001/09/Ki] 北克一, 呑海沙織「学術情報流通の変容と大学図書館：20世紀最後の10年間〔図書館界〕300号記念特集：図書館・図書館学の発展 21世紀を拓く（図書館サービス）」, 『図書館界』, Vol. 53, No. 3, 2001.9, p301-313. *10年間の関係文献のレビュー。
- [2001/09/Ko] 河野綾音「岐阜県における図書館資料相互貸借と県域総合目録の現状（特集：ネットワーク時代の図書館資料相互貸借）」, 『現代の図書館』（日本図書館協会 ISSN:00166332）, Vol. 39, No. 3, 2001.09, p125-130.
- [2001/09/Ku] 町田敬一郎「山口県域総合図書目録構築の試み」, 『図書館学』（西日本図書館学会）, 79 2001.9, p15-21.
- [2001/09/Sa] 阪口哲男（図書館情報大学）「XML と図書館目録（書誌情報）」, 『医学図書館』, （日本医学図書館協会 ISSN:04452429）Vol. 48, No. 3, 2001.09, p282-289. *RDF によるメタデータの記述。
- [2001/09/Sh] 柴田正美「図書館ネットワークの意義と課題（特集：ネットワーク時代の図書館資料相互貸

- 借),『現代の図書館』(日本図書館協会 ISSN:00166332),Vol.39, No.3, 2001.09, p115-124.
- [2001/09/Ta] 田窪直規「書誌情報とその標準化([図書館界]300号記念特集:図書館・図書館学の発展 21世紀を拓く) (資料の組織化と標準化)」,『図書館界』,Vol.53, No.3, 2001.9, p364-376.
- [2001/09/Ta] 田邊稔「ドキュメントデリバリーサービスの実際と応用(概説):グローバル ILL/DDS を目指して(特集:ネットワーク時代の図書館資料相互貸借)」,『現代の図書館』(日本図書館協会 ISSN:00166332),Vol.39, No.3, 2001.09 p159-166.
- [2001/09/Yo] 米澤誠「NACSIS-CATの現状と総合目録データベース統計(特集:書誌情報)」,『医学図書館』, (日本医学図書館協会 ISSN:04452429) Vol.48, No.3, 2001.9, p267-273.
- [2001/09/Yo] 吉田倫子「総合目録と相互貸借考:横浜市の現状から見てきたこと(特集:ネットワーク時代の図書館資料相互貸借)」,『現代の図書館』(日本図書館協会 ISSN:00166332),Vol.39, No.3, 2001.09 p131-139.
- [2001/10/Ko] 小島浩之「図書館とOPAC(学術リソースレビュー:学術サイト)」,『漢字文献情報処理研究』(好文出版), No.2, 2001.10, p156-161.
- [2001/10/Ko] 小島浩之「大学図書館利用者のためのオンライン目録学」,『漢字文献情報処理研究』(好文出版), No.2, 2001.10, p31-39.
- [2001/10/Mi] 宮澤彰「NACSIS-CAT 総合目録における中国書目録」,『 』(),, 2001.10. *Web 上
- [2001/10/Sa] 斎藤敏治, 酒井香里, 松田明子, 石崎明男(東京都立航空工業高等専門学校)「東京都立航空高等専門学校図書館蔵書検索システムの構築」,『研究紀要』(東京都立航空工業高等専門学校 ISSN:03871355) Vol.38, 2001.10, p169-171.
- [2001/11/Mi] 三浦勲「外国文献複写と著作権(特集:図書館・情報センターと法制度)」,『情報の科学と技術』, 51(11), 2001.11, p579-584.
- [2001/11/Mo] 森山光良「Z39.50 と Dublin Core を用いた郷土関係電子図書館ネットワークの構築:『デジタル岡山山人大百科』における構想と課題」,『デジタル図書館』(ISSN13407287), No.21, 2001.11, p3-18.
- [2001/11/Su] 杉本重雄「Dublin Core 最近の話題から」,『デジタル図書館』(ISSN13407287), No.21, 2001.11, p19-27.
- [2001/11/Ta] 玉井良知「国立国会図書館総合目録ネットワークの参加館拡大:市町村立図書館等 443 館が新規参加」,『国立国会図書館月報』, (通号 488), 2001.11, p1-9.
- [2001/11/Ur] 上村順一「BL, UKMARC から MARC21 へ変換」,『カレントアウェアネス』, 267, 2001.11, p2-3.
- [2001/11/Yo] 米澤誠「目録システム(NACSIS-CAT)の多言語対応」,『全国共同利用大型計算機センター研究開発センター研究開発論文集』, No.23, 2001.11, p81-88. *CATP サーバにおける多言語対応。
- [2001/12/Ha] 原正一郎, 安永尚志「国文学研究支援のためのデータベース統合の試み」,『情報処理学会シンポジウム論文集』, Vol.2001, No.18, 2001.8, p125-132. *Z39.50 規約とダブリンコア・メタデータの採用。
- [2001/12/Ko] 国立情報学研究所コンテンツ課「今後の多言語対応計画」,『NACSIS-CAT/ILL ニュースレター』, 5号, 2001.12.20.
- [2001/12/Ko] 国立情報学研究所コンテンツ課「総合目録データベースにおける劣化資料の取扱い」,『NACSIS-CAT/ILL ニュースレター』, 5号, 2001.12.20.
- [2001/12/Mu] 村上かおり「中国の図書館ネットワーク・CALIS の現状(CA1443)」,『カレントアウェアネス』, No.268, 2001.12, p7-8.
- [2001/12/No] 野村知子「図書館複写サービスと著作権:『利用者のための複製』規定を中心として」,『純真紀要』(純真短期大学), 42, 2001.12, p37-55.
- [2001/12/On] 小野亘「国立大学図書館政策を概観する(小特集:大学政策と大学図書館)」,『大学の図書館』, 20(12) (通号 337), 2001.12, p242-244.
- [2001/12/Zh] 張樞(Zhang Q), 李晨英(Li), 韓明血傑(Han M)(中国農業大学西校区図書館)「CALIS 日本語資料共同目録作成における研究報告」,『大学図書館研究』(学術文献普及会 ISSN:03860507), No.63,

2001.12, p9-16.

2002 年 (平成 14 年)

- [2002/00/Ch] 千野国広「山梨県における総合目録データベースの取り組み (平成 14 年度関東地区公共図書館協議会研究集会・研究発表大会)」,『関東地区公共図書館協議会研究集会報告書』(2002 年度),2002, p6-8.
- [2002/00/Ir] 入江伸「ライブラリーシステム研究会の経過とシステムの課題:図書館システムの標準化に向けて(特集:図書館を結ぶ新しい協力のかたち)」,『Medianet』(慶応義塾大学メディアセンター本部), (通号 9), 2001/2002, p8-11.
- [2002/00/Ka] 金原優「学術専門出版物利用の適正化に向けて(特集:文献複写の著作権をめぐる問題)」,『薬学図書館』, 47(2) (通号 176), 2002, p138-144.
- [2002/00/Ko] 国立情報学研究所「日米両国におけるドキュメント・デリバリー・サービスの改善に関するプロジェクト;2001 年度報告」,(2001 年度), 2002, 132p.
- [2002/00/Mi] 南亮一「学術文献の利用をめぐる最近の著作権制度の動向について(特集:文献複写の著作権をめぐる問題)」,『薬学図書館』, 47(2) (通号 176), 2002, p121-127.
- [2002/00/Mi] 三浦勲「文献複写の著作権問題をとりまく現状と問題点(特集:文献複写の著作権をめぐる問題)」,『薬学図書館』, 47(2) (通号 176), 2002, p114-120.
- [2002/00/Mi] 宮澤彰「東アジア図書館ネットワークのネットワーク:可能性の検討」,『Record of Workshop on Authority Control among Chinese, Korean and Japanese Language』, (3 rd), 2002, p5-8. * 英文付
- [2002/00/Na] 中西敦男「学著協をめぐる新しい動き(特集:文献複写の著作権をめぐる問題)」,『薬学図書館』, 47(2) (通号 176), 2002, p132-137.
- [2002/00/Na] 長坂功「OPAC 横断検索:相互貸借物流に関する調査について」,『館灯』(私立大学図書館協会西地区部会東海地区協議会), 41, 2002, p65-79.
- [2002/00/Sa] 酒井清彦, 京藤寛「NACSIS-CAT における最近の動向」,『Record of Workshop on Authority Control among Chinese, Korean and Japanese Language』, (3 rd), 2002, p9-22. * 英文付
- [2002/00/Su] 末廣恒夫「文献複写の現状と問題点(特集:文献複写の著作権をめぐる問題)」,『薬学図書館』, 47(2) (通号 176), 2002, p145-147.
- [2002/00/Ya] 山下邦夫「日本複写権センターについて(特集:文献複写の著作権をめぐる問題)」,『薬学図書館』, 47(2) (通号 176), 2002, p128-131.
- [2002/00/Yo] 横山幸雄, 本橋修「国立国会図書館における目録作業:2002 年 4 月以降の概要及び NII との関係を中心に」,『Record of Workshop on Authority Control among Chinese, Korean and Japanese Language』, (3 rd), 2002, p13-38. * 英文付
- [2002/00/Yo] 米井勝一郎, 大橋美佳「WebUIP による中国語雑誌書誌レコードの登録について:愛知県立大学附属図書館における NACSIS 多言語化への対応」,『東海地区大学図書館協議会誌』, 通号 47, 2002, p40-45.
- [2002/02/Is] 石黒啓子「図書館システム更新でんまつ記」,『中部図書館学会誌』, 43, 2002.02, p40-45.
- [2002/02/Ka] 加藤好郎「大学図書館における複写問題:日本複写権センターとの対応と著作権」,『日本農学図書館協議会誌』, 123, 2002.02, p1-8.
- [2002/02/Ko] 国公私立大学図書館協力委員会著作権問題拡大ワーキンググループ「大学図書館における著作権問題 Q&A; [第 1 版]」, 2002.02. * 国立大学図書館協会の Web サイトで公開.
- [2002/02/Ku] 黒澤公人, 相徳真理「電子ジャーナル:図書館 WebOPAC を活用した電子情報の提供」,『情報の科学と技術』(社団法人情報科学技術協会 ISSN:09133801), Vol.52, No.2, 2002.02, p73-78.
- [2002/03/It] 伊藤民雄「大学図書館とインターネット(講演会報告)」,『私立大学図書館協議会東地区研究部会 相互協力研究分科会報告』, 9, 2002.03, p176-192.
- [2002/03/Ka] 加藤好郎「大学図書館の相互協力の展望:グローバル・リソース・シェアリングの必要性(講

- 演会報告)』、『私立大学図書館協議会東地区研究部会 相互協力研究分科会報告』, 9, 2002.03, p164-175.
- [2002/03/Ki] 北克一「21 世紀の国立国会図書館：書誌コントロール、総合目録、データベース、電子図書館：志保田務「日本における国立図書館機能、国民のための図書館奉仕：史的考察」について（シリーズ：21 世紀の図書館を展望する：対論編3）」、『図書館界』, vol.53, no.6, 2002.03, p540-545.
- [2002/03/Ko] 小島浩之「現代中国書の書誌的特長」、『大学図書館研究』(ISSN 03860507), No.64, 2002.03, p1-9.
- [2002/03/Ko] 国公立大学図書館協力委員会著作権問題拡大ワーキンググループ「大学図書館著作権問題ワークショップ(報告):国公立大学図書館協力委員会ニュース」、『大学図書館研究』, Vol.64, 2002.03, p64-71.
- [2002/03/Ko] 国立情報学研究所コンテンツ課「「韓国・朝鮮語資料の取扱い」,「韓国・朝鮮語資料の取扱い」解説の公開」,『NACSIS-CAT/ILL ニュースレター』, 6号, 2002.03.29.
- [2002/03/Ko] 国立情報学研究所コンテンツ課「和漢古書に関する取扱い(案)及び解説(2002年3月5日)」,『NACSIS-CAT/ILL ニュースレター』, 6号, 2002.03.29.
- [2002/03/Ko] 国立情報学研究所コンテンツ課「和漢古書に関する取扱い(案)及び解説(2002年3月5日)」,『NACSIS-CAT/ILL ニュースレター』, 6号, 2002.03.29.
- [2002/03/Ko] 国立情報学研究所コンテンツ課「NACSIS-CAT Z39.50 クライアント機能の開発」,『NACSIS-CAT/ILL ニュースレター』, 6号, 2002.03.29.
- [2002/03/Ko] 国立情報学研究所コンテンツ課「NACSIS-CAT Z39.50 ゲートウェイサーバの本格運用開始」,『NACSIS-CAT/ILL ニュースレター』, 6号, 2002.03.29.
- [2002/03/Ky] 京藤貢「<事例紹介>国際的な図書館間接続による文献提供サービスの開始：NACSIS-ILL と OCLC-ILL とのシステム間リンクの実現(特集/大学図書館)」,『大学と学生』(第一法規 ISSN 02864657), 447, 2002.03, p38-44.
- [2002/03/Mi] 宮澤彰『図書館ネットワーク：書誌ユーティリティの世界』(丸善), 2002.03, 193p. *内容：「1.書誌ユーティリティ, 2.諸誌ユーティリティの誕生, 3.書誌ユーティリティのサービス, 4.日本における書誌ユーティリティの展開, 5.世界の書誌ユーティリティ, 6.最近の技術動向から」. NACSIS-CAT に関する最も重要な基本文献の一つ。特に, 第4章では NACSIS-CAT の設計思想が詳述されている。
- [2002/03/Mo] 森山光良「総合目録ネットワークの現状と課題：異館種連携による統合的な電子図書館ネットワークの実現に向けて(特集 総合目録ネットワークの新しい展開)」,『図書館雑誌』(日本図書館協会, ISSN:03854000), 96(3) (通号 940), 2002.03, p167-170.
- [2002/03/Ok] 岡田隆「山口県総合図書目録システムの取り組みから：小規模図書館の参画を目指して(特集 総合目録ネットワークの新しい展開)」,『図書館雑誌』(日本図書館協会, ISSN:03854000), 96(3) (通号 940), 2002.03, p177-179.
- [2002/03/Sa] 佐野広明(京都大学総合人間学部図書館)「マークアップ言語を用いた目録データの変換について」,『学術情報センター・セミナー研究レポート』,(平成13年度), 2002.03, p1-14. *コシュート・ラヨシュ大学(洪)日本語図書室の SGML を用いた目録作成システムの紹介とその発展形としての XML 技術を用いたシステム構築を試みる。NACSIS-CAT データの MARC21 フォーマットへの変換法の提案。
- [2002/03/Sa] 佐藤大, 増田英孝, 渡部聡彦「WAP 系言語による OPAC 検索インタフェースの実装」,『情報処理学会全国大会講演論文集』, Vol.64th No.3, 2002.03, p3.545-3.546.
- [2002/03/Sh] 柴山盛生「わが国の大学図書館における学術情報流通状況の分析」,『NII Journal』(国立情報学研究所 ISSN 13459996)(4), 2002.03, p61-72. *学総目データベースを用いて学術雑誌の流通状況を分析。
- [2002/03/Ta] 高橋菜奈子「韓国の図書館における ILL 活動と国際 ILL 事情」,『大学図書館研究』(ISSN 03860507), No.64, 2002.03, p25-37.
- [2002/03/Ta] 高橋昇「海外 ILL ハンドブック(補遺版)(講演会報告)」,『私立大学図書館協議会東地区研究部会 相互協力研究分科会報告』, 9, 2002.03, p193-.

- [2002/03/Ta] 玉井良知「国立国会図書館総合目録ネットワークの現況：全国の公共図書館 512 館が参加館に(特集 総合目録ネットワークの新しい展開)」、『図書館雑誌』(日本図書館協会, ISSN:03854000), 96(3) (通号 940), 2002.3, p171-173.
- [2002/03/Ya] 安岡孝一「全国漢籍データベースの設計とその運用」,『京都大学大型計算機センター研究セミナー報告』, Vol.69th, 2002.03, p3-14.
- [2002/03/Yo] 米澤誠「NII 総合目録データベースと NACSIS-CAT の展開 (特集 総合目録ネットワークの新しい展開)」,『図書館雑誌』(日本図書館協会, ISSN:03854000), 96(3) (通号 940), 2002.03, p 174-176.
- [2002/03/Yo] 米澤誠「国立情報学研究所のメタデータ共同構築計画」,『デジタル図書館』(ISSN13407287), No.22, 2002.03, p30-35.
- [2002/04/Ab] 阿部年展 (エム・ピー・エー)「プロダクトレビューMILAGO (NACSIS 利用例)」,『ほすびたるらいぶらりあん』, Vol.27, No.1, 2002.04, p53-56. *新 CAT 接続ソフトウェア
- [2002/04/Do] フィリピ,ドミニク FILIPPI Dominique (日仏会館図書室)「日仏会館図書室:日本のネットワークにおけるフランス専門図書館の役割(<特集>海外の情報を提供する専門図書館)」,『情報の科学と技術』(社団法人情報科学技術協会 ISSN:09133801), Vol.52, No.4, 2002.04, p224-228.
- [2002/04/Fu] 福永千鶴 (山口県済生会下関総合病院)「病院図書室での NACSIS-ILL 利用例 Web 版 (NACSIS 利用例)」,『ほすびたるらいぶらりあん』, Vol.27, No.1, 2002.04, p42-45. *WebUIP の活用。
- [2002/04/Sa] 佐藤正 (ブレインテック)「プロダクトレビュー:BT-CATP/ILL (NACSIS 利用例)」,『ほすびたるらいぶらりあん』, Vol.27, No.1, 2002.04, p49-52. *新 CAT 接続ソフトウェア
- [2002/04/Sa] 米澤誠 (国立情報学研究所)「病院図書室の NACSIS 目録所在情報サービスへの参加 (NACSIS 利用例)」,『ほすびたるらいぶらりあん』, Vol.27, No.1, 2002.04, p39-41.
- [2002/04/Yo] 吉見八重 (愛媛県医療技術短期大学)「BT-CATP/ILL を導入して (NACSIS 利用例)」,『ほすびたるらいぶらりあん』, Vol.27, No.1, 2002.04, p46-48.
- [2002/05/Ko] 国公私立大学図書館協力委員会「大学図書館における著作権法と図書館の今日的問題 (特集: 図書館と著作権法の今日的状況と課題)」,『図書館雑誌』, 96(5) (通号 942), 2002.05, p302-304.
- [2002/05/Mu] 村上泰子「International Coalition of Library Consortia (ICOLC) の動向 (特集: 図書館コンソーシアムの動向)」,『情報の科学と技術』, Vol.52, No.5, 2002.05, p266-271.
- [2002/06/Mu] 村上幸二, 中尾泰士「オープンソースを用いた主題語と NDC カテゴリの統合による図書主題検索システムの開発」,『情報管理』(ISSN00217298), Vol.45, No.3, 2002.06, p180-189.
- [2002/06/Na] 中林雅士「個人情報の保護と図書館システム: 明治大学図書館を事例として (特集 図書館の危機管理)」,『現代の図書館』(日本図書館協会 ISSN:00166332), Vol.40, No.2 (通号 162), 2002.06, p99-107.
- [2002/07/Ho] 細川聖二「NACSIS-CAT/ELS/IR の紹介」,『日本病院会雑誌』(ISSN:03859363), No.49, No.7, 2002.07, p1072-1078.
- [2002/07/Ko] 国立情報学研究所コンテンツ課「RLG との目録システム間リンクの運用開始」,『NACSIS-CAT/ILL ニュースレター』, 7号, 2002.07.01.
- [2002/07/Ko] 国立情報学研究所コンテンツ課「図書館蔵レコード 6,000 万件突破!」,『NACSIS-CAT/ILL ニュースレター』, 7号, 2002.07.01.
- [2002/07/Ko] 国立情報学研究所コンテンツ課「OCLC との ILL システム間リンクの運用開始」,『NACSIS-CAT/ILL ニュースレター』, 7号, 2002.07.01.
- [2002/07/Ko] 国立情報学研究所コンテンツ課「メタデータ・データベース共同構築システムの試行運用開始および NII メタデータ記述要素(案)の公開」,『NACSIS-CAT/ILL ニュースレター』, 7号, 2002.07.01.
- [2002/07/Mi] 宮澤彰「(講演) NII-NDL 間における書誌コントロールの課題」,『書誌コントロールの課題 (書誌調整連絡会議記録集; 第 2 回) /国立国会図書館編』, 国立国会図書館, 2002.07, p53-. *第 2 回書誌調整連絡会議 (とき: 2001 年 11 月 21 日, ところ: 国立国会図書館新館 3 階研修室)
- [2002/07/Sh] 志保田務「日本における書誌基準実質決定システムの変遷に関する一考察 (特集: [日本図

- 書館研究会]第43回研究大会)(グループ研究発表)、『図書館界』,Vol.54, No.2(通号305),2002.07, p116-121.
- [2002/07/Ts] 土屋俊「大学図書館サービスと著作権(特集:[日本図書館研究会]第43回研究大会)」,『図書館界』,Vol.54, No.2(通号305),2002.07, p54-58.
- [2002/07/Yo] 吉田暁史,田窪直規,堀池博巳「記述対象と書誌記述:細菌における国際的な目録研究および規則改訂動向をふまえて(特集:[日本図書館研究会]第43回研究大会)(グループ研究発表)」,『図書館界』,Vol.54, No.2(通号305),2002.07, p110-115.
- [2002/08/Eg] 江上敏哲「主に女性研究者の結婚に伴う改正・旧姓と目録・書誌・データベース類について」,『大図研論文集』(大学図書館問題研究会 ISSN:02866862),No.24,2002.08, p1-22.
- [2002/08/Ko] 小島 浩之「NACSIS-CATの多言語化と中国書目録:『中国語資料の取扱い(案)』の検討」,『大図研論文集』(大学図書館問題研究会 ISSN:02866862),No.24,2002.08, p23-42.
- [2002/09/Is] 石川徹也「図書館システムの機能(<特集>図書館システムと評価)」,『情報の科学と技術』(社団法人情報科学技術協会 ISSN:09133801),Vol.52, No.9,2002.09, p449-454.
- [2002/09/Ki] 気谷陽子「学術図書館における学術文献の供給可能率に関する研究」,『情報の科学と技術』(社団法人情報科学技術協会 ISSN:09133801),Vol.52, No.9,2002.09, p477-483.
- [2002/09/Ko] 国立情報学研究所コンテンツ課「東京大学東洋文化研究所「現代中国書データベース」のRECONファイルへのロード」,『NACSIS-CAT/ILL ニュースレター』,8号,2002.09.13.
- [2002/09/Ko] 国立情報学研究所コンテンツ課「目録で今の操作は大丈夫?」,『NACSIS-CAT/ILL ニュースレター』,8号,2002.09.13.
- [2002/09/Ko] 国立情報学研究所コンテンツ課「ドイツでの目録システム講習会開催」,『NACSIS-CAT/ILL ニュースレター』,8号,2002.09.13.
- [2002/09/Ku] 工藤邦彦(福岡大学図書館)「ハングル資料の目録作成」,『図書館学』(西日本図書館学会),No.81,2002.09, p28-36. *ハングルの文字コード番号やローマ字表記法による入力,検索,表示.
- [2002/09/Ku] 黒澤公人「図書館システムを評価する視点(図書館システムと評価)」,『情報の科学と技術』(社団法人情報科学技術協会 ISSN:09133801),Vol.52, No.9,2002.09, p443-448.
- [2002/09/Sa] 佐藤正(ブレインテック)「図書館総合情報管理パッケージソフト「情報館 5.0」の特色と「情報館」関連製品について(図書館システムと評価)」,『情報の科学と技術』(社団法人情報科学技術協会 ISSN:09133801),Vol.52, No.9,2002.09, p460-465.
- [2002/09/To] 鳥井伸哉(日本電子計算)「日本電子計算(株)の図書館情報ネットワークシステム LINUS/NCの特色(図書館システムと評価)」,『情報の科学と技術』(社団法人情報科学技術協会 ISSN:09133801),Vol.52, No.9,2002.09, p455-459.
- [2002/10/Ko] 小島浩之「図書館とOPAC(学術リソースレビュー:学術サイト)」,『漢字文献情報処理研究』(好文出版),No.3,2002.10, p162-165.
- [2002/11/Mi] 溝上智恵子「学術情報流通を支える法制度」,『図書館を支える諸制度:シリーズ・図書館情報学のフロンティア;No.2/日本図書館情報学会研究員会編』,勉誠出版,2002.11, p125-145.
- [2002/11/Sa] 咲尾佳秀「学術文献とその課題:大学図書館と相互貸借」,『病院図書館』,Vol.22, No.4,2002.11, p168-170.
- [2002/12/Ki] 気谷陽子「博士論文の引用分析を用いた博士課程大学院生の文献利用についての研究:筑波大学の事例」,『大学図書館研究』,No.66,2002.12, p33-41.
- [2002/12/Ko] 国立情報学研究所コンテンツ課「REMARCの提供開始」,『NACSIS-CAT/ILL ニュースレター』,9号,2002.12.18.
- [2002/12/Ko] 国立情報学研究所コンテンツ課「Webcat Plusのサービス開始」,『NACSIS-CAT/ILL ニュースレター』,9号,2002.12.18. *平成14年10月8日からサービスを開始したWebcat Plusの概要.
- [2002/12/Ko] 国立情報学研究所コンテンツ課「学術雑誌総合目録」冊子体の刊行終了」,『NACSIS-CAT/ILL ニュースレター』,9号,2002.12.18.

- [2002/12/Ko] 国立情報学研究所コンテンツ課「平成 14 年度総合目録データベース実務研修の実施報告」,『NACSIS-CAT/ILL ニュースレター』, 9 号, 2002.12.18.
- [2002/12/Ku] 黒澤節男「図書館サービスと著作権の今日的課題 (特集: 著作権・公貸権・図書館)」,『現代の図書館』, 40(4), 2002.12, p207-214.
- [2002/12/Na] 中井恵久「OCLC Connexion: 目録サービスの統合(CA1477)」,『カレントアウェアネス』, No. 274, 2002.12, p3-4.
- [2002/12/Ny]「ニュース: 目録所在情報サービスの最近の話題から」,『大学図書館研究』, No. 66, 2002.12, p68-74.
- [2002/12/Ta] 高橋晶子「早稲田大学中央図書館の海外 ILL: 現状と課題」,『大学図書館研究』, No. 66, 2002.12, p33-41. * OCLC-WorldCat への日本語図書登録
- [2002/12/Wa] 和中幹雄「<動向レビュー>AACR 改訂と FRBR をめぐって: 目録法の最新動向 (小特集: 電子情報提供の基盤) (CA1480)」,『カレントアウェアネス』, No. 274, 2002.12, p11-14.
- 2003 年 (平成 15 年)**
- [2003/00/Se] 関口素子「新 ILL システム: 開発の経緯とその特徴」,『Medianet』(慶応義塾大学メディアセンター本部), (通号 10), 2003, p36-38.
- [2003/00/Tu] 土屋俊「(講演要旨)現代の大学図書館と著作権」,『東海地区大学図書館協議会誌』, (通号 48), 2003, p2-15.
- [2003/02/Am] 雨森弘行「<講演>すべての図書館をすべての利用者に: 目標達成のための方略を求めて」,『中部図書館学会誌』, 44, 2003.02, p1-15.
- [2003/02/Su] 杉田茂樹, 小陳左和子「国立情報学研究所この一年: 新たな事業展開 (特集: 大学図書館界の最近の話題から)」,『大学の図書館』, 22(2) (通号 351), 2003.02, p18-20.
- [2003/02/To] 豊田裕昭「一橋大学附属図書館所蔵漢籍の「全国漢籍データベース」へのデータ提供について (特集: 大学図書館界の最近の話題から)」,『大学の図書館』, 22(2) (通号 351), 2003.02, p23-25.
- [2003/03/As] 浅倉秀三 (中部大学)「JAPAN/MARC 書誌データの XML への変換と検索実験」,『情報科学リサーチジャーナル』, Vol. 10, 2003.03, p87-92. * XML データベースを使用した JAPAN/MARC 書誌管理システムの構築.
- [2003/03/Hi] 樋熊須美子 (新潟市民病院図書室)「基礎講座「分類・目録入門」」,『ほすびたるらいぶらりあん』, Vol. 28, No. 1, 2003.03, p16-21. * NACSIS-CAT への参加を前提として.
- [2003/03/In] 井上修・訳「地球規模の資源共有の促進に向けて: 北米におけるグローバル ILL フレームワーク(GIF)構想の現状(国際学術コミュニケーション特集)」,『大学図書館研究』, No. 67, 2003.03, p15-18.
- [2003/03/Ki] 金容媛「主要国の図書館情報政策の概要. 日本」,『図書館情報政策/金容媛著』, 丸善, 2003.03, p140-151.
- [2003/03/Ko] 国立情報学研究所コンテンツ課「「目録所在情報サービスに関する質問・報告の受付」の運用」,『NACSIS-CAT/ILL ニュースレター』, 10 号, 2003.03.17.
- [2003/03/Ko] 小西和信「書評『図書館ネットワーク: 書誌ユーティリティの世界』宮澤彰著」,『大学図書館研究』, No. 67, 2003.03, p93-95.
- [2003/03/Mo] 森本英之「RLIN に収載された TRC MARC 書誌レコード: その日本語図書に対する LC 準拠目録の慣行との互換性 (特集)国際学術コミュニケーション」,『大学図書館研究』, No. 67, 2003.03, p58-69.
- [2003/03/Mu] 村田邦恵「北海道大学附属図書館「北海道の公共図書館 WebOPAC 横断検索システムの試作」,『学術情報センター・セミナー研究レポート』, (平成 14 年度), 2003.03, p1-40. * ILL 支援ツールとして Web 上の OPAC の横断検索システムを試作.
- [2003/03/Ne] 根岸正光「図書館とモバイル・アクセス: i モード対応システムにおける図書館員・利用者の経験」,『大学図書館研究』, No. 67, 2003.03, p50-57.
- [2004/03/Ta] 田坂憲二「『川端康成全集』と NACSIS Webcat」,『文藝と思想』, no. 67, 2003.02, p309-323.
- [2003/03/To] 梶谷泰文「グローバル ILL/DD フレームワーク: その理念と背景 (国際学術コミュニケーション

- オン特集)」、『大学図書館研究』, No. 67, 2003.03, p1-10
- [2003/03/Uz] 鶴沢和往「グローバル ILL と NACSIS-ILL の ISO ILL プロトコル対応の概要 (国際学術コミュニケーション特集)」, 『大学図書館研究』, No. 67, 2003.03, p19-27.
- [2003/03/Ya] 山岡規雄「ドイツのドキュメントサプライサービス subit o の現在 (CA1484)」, 『カレントアウェアネス』, No. 275, 2003.03, p3-4.
- [2003/07/Ko] 国立情報学研究所コンテンツ課「従来システムの廃止と新システムへの移行について」, 『NACSIS-CAT/ILL ニュースレター』, 11 号, 2003.07.11.
- [2003/07/Ko] 国立情報学研究所コンテンツ課「和漢古書に関する取扱い及び解説」「コーディングマニュアル (和漢古書に関する抜粋集)」の公開」, 『NACSIS-CAT/ILL ニュースレター』, 11 号, 2003.07.11.
- [2003/07/Ko] 国立情報学研究所コンテンツ課「アラビア文字資料の運用開始」, 『NACSIS-CAT/ILL ニュースレター』, 11 号, 2003.07.11.
- [2003/08/Ya] 山本一治「ネットワークリソースの目録作成: 対象資料とレコード作成単位について」, 『大学図書館研究』, No. 68, 2003.08, p1-13.
- [2003/09/Ki] 北克一「研究文献レビュー」電子資料と目録規則, メタデータ, リンキング・テクノロジー」, 『カレントアウェアネス』, No. 277, 2003.09, p19-24.
- [2003/09/Ko] 国立情報学研究所コンテンツ課「大学図書館等関連事業説明会 (NII Library Week 2003) の開催」, 『NACSIS-CAT/ILL ニュースレター』, 12 号, 2003.09.12.
- [2003/09/Ko] 国立情報学研究所コンテンツ課「RLG 参照ファイルの運用について」, 『NACSIS-CAT/ILL ニュースレター』, 12 号, 2003.09.12.
- [2003/09/Ko] 国立情報学研究所コンテンツ課「KORMARC の導入」, 『NACSIS-CAT/ILL ニュースレター』, 12 号, 2003.09.12.
- [2003/09/Ko] 国立情報学研究所コンテンツ課「グローバル ILL 現物貸借サービスの開始」, 『NACSIS-CAT/ILL ニュースレター』, 12 号, 2003.09.12.
- [2003/09/Ma] 松井一子「RLG の新総合目録 RedLightGreen に見る図書館目録の可能性」, 『カレントアウェアネス』, No. 277, 2003.09, p7-8. <<http://www.dap.ndl.go.jp/ca/modules/ca/item.php?itemid=934>>
- [2003/09/To] 遠山潤「書誌単位と出版年: Webcat, Webcat Plus, NDL-OPAC の書誌的記録に関する比較分析」, 『図書館学』(西日本図書館学会), No. 83, 2003.09, p13-23.
- [2003/09/Sh] 荘司雅之, 金子昌嗣, 小松尚久「図書館におけるデジタル・リソースへの対応と課題: 早稲田大学図書館の事例など」, 『電子情報通信学会技術研究報告』(ISSN09135685), 103(325) (IE2003 55-67), 2003.09, p7-12.
- [2003/09/Ya] 山本毅雄, 宮澤彰「ユニークタイトルの電子アーカイブ(1): 予備的統計と保存の提案」, 『NII journal』(国立情報学研究所 ISSN:13459996), vol. 7, 2003.09.30, p27-36.
- [2003/10/Iz] 泉沢久美子「アジア経済研究所図書館の OPAC と新着アラートサービス」, 『情報管理』(ISSN00217298), Vol. 46, No. 7, 2003.10, p463-468.
- [2003/10/Ko] 小島浩之「図書館と OPAC (学術リソースレビュー: 学術サイト)」, 『漢字文献情報処理研究』(好文出版), No. 4, 2003.10, p138-141.
- [2003/10/Ta] 高橋智, 筒井利子, 片桐裕恵「慶應義塾大学所蔵和漢古書目録作成プロジェクト」, 『Medianet』(慶應義塾大学メディアセンター本部), No. 10, 2003.10.
- [2003/11/Am] 雨森弘行「『国大図協』と共に歩んで: “温故知新” への想い」, 『国立大学図書館協議会ニュース資料』, No. 70, 2003.11, 1 冊
- [2003/11/Sh] 志保田務, 北克一「戦前期における大学等の総合目録・目録規則策定に関する史的考察」, 『資料組織化研究』, (通号 48), 2003.11, p23-29.
- [2003/12/Fu] 藤巻俊樹「早稲田大学図書館目録の推移と今後について (特集 目録はサービスである)」, 『現代の図書館』(日本図書館協会 ISSN:00166332), Vol. 41, No. 4 (通号 168), 2003.12, p206-210.
- [2003/12/Ha] 橋詰秋子「米国に見る『新しい図書館目録』とその可能性: ペイツレポートを中心に (特集

- 目録はサービスである)』、『現代の図書館』(日本図書館協会 ISSN:00166332),Vol.41, No.4 (通号 168), 2003.12, p222-230. *ベイツ教授のレポート「図書館目録とポータル情報における利用者アクセスの向上」(2003年7月)の概要解説。
- [2003/12/Ka] 加藤均「複写サービスを提供する側からみた著作権(特集:著作権)」、『医学図書館』,50(4), 2003.12, p337-340.
- [2003/12/Ki] 気谷陽子「学術情報システムのもとでの大学図書館サービスの展開」、『日本図書館情報学会誌』,49(4), 2003.12, p137-155. *1980~2002年までの大学図書館サービスの展開を統計的に実証。
- [2003/12/Ku] 黒澤節男「図書館と著作権(特集:著作権)」、『医学図書館』,50(4), 2003.12, p325-330.
- [2003/12/Ok] 岡本真「利用者の目からみた図書館の目録:評価する点,改善すべき点,期待する点(特集 目録はサービスである)」、『現代の図書館』(日本図書館協会 ISSN:00166332),Vol.41, No.4 (通号 168), 2003.12, p217-221. *OPAC インターフェースに工夫を。
- [2003/12/Oo] 大場高志「国立情報学研究所の動向:書誌ユーティリティの現状と将来(特集 目録はサービスである)」、『現代の図書館』(日本図書館協会 ISSN:00166332),Vol.41, No.4(通号 168), 2003.12, p201-205. *品質管理,多言語化,遡及入力事業,メタデータ・データベース等
- [2003/12/Sh] 白石英里子「整理業務の変質? :図書館員はどうあるべきか(特集 目録はサービスである)」,『現代の図書館』(日本図書館協会 ISSN:00166332),Vol.41, No.4 (通号 168), 2003.12, p179-184.
- [2003/12/Yo] 横山幸雄「書誌情報に関する方針と計画:国立国会図書館の動向(特集 目録はサービスである)」,『現代の図書館』(日本図書館協会 ISSN:00166332),Vol.41, No.4(通号 168), 2003.12, p185-193.
- 2004年(平成16年)**
- [2004/00/Ki] 木藤るい, 沢田純子「目録の質の向上をめぐる」,『Medianet』(慶応義塾大学メディアセンター本部), (通号 11), 2004, p58-59.
- [2004/00/Ko] 国立情報学研究所コンテンツ課「欧州 NACSIS-CAT 参加館との会合(事業活動)」,『NII ニュース』, (24), 2004, p7-8
- [2004/00/Na] 中田晴美「大学ポータルと図書館システムの連携:名古屋学院大学の事例」,『館灯』(私立大学図書館協会西地区部会東海地区協議会), 43, 2004, p20-27.
- [2004/00/Sa] 榊原佐知子, 舟橋努「事例報告 3 医科大学における相互貸借業務の現状:2004(平成16)年度[私立大学図書館協会西地区部会]東海地区協議会図書館実務担当者研修会記録」,『館灯』(私立大学図書館協会西地区部会東海地区協議会), 43, 2004, p101-104.
- [2004/00/Ta] 田中真紀, 吉井由紀子「図書館 Web サービスの現状と今後の展開」,『Medianet』(慶応義塾大学メディアセンター本部), (通号 11), 2004, p39-41.
- [2004/00/Wa] 和中幹雄, 古川肇, 永田治樹訳「書誌レコードの機能要件:IFLA 書誌レコード機能要件研究グループ最終報告」, (日本図書館協会), 2004, 121p.
- [2004/02/Sh]「総会議案 ILL システムにかかる文献複写料金等相殺処理サービスの概要(案):私立大学図書館協会第 64 回(2003 年度)総会記録」,『私立大学図書館協会会報』(私立大学図書館協会 ISSN:02887002), 通号 121, 2004.02, p75-80.
- [2004/03/Ha] 早瀬均, 笹川郁夫, 梶谷泰文[ほか]「大学図書館の国際化関連(2)GIF:大学図書館の国際連携 GIF の取り組みについて(70 号記念特集号:大学図書館の変革 その現状と展望)」,『大学図書館研究』, No.70, 2004.03, p55-62.
- [2004/03/Ku] 工藤邦彦(福岡大学図書館)「板本の書誌作成」,『図書館学』(西日本図書館学会), No.84, 2004.03, p19-29. *刊(出刊)・印(摺り)・修(補修,修訂)の記述の扱い方。
- [2004/03/Oo] 大場高志, 杉田茂樹「国立情報学研究所のメタデータ・データベース共同構築事業について(70 号記念特集号:大学図書館の変革 その現状と展望)」,『大学図書館研究』, No.70, 2004.03, p25-30.
- [2004/03/So] [相互協力研究分科会]「第 1 章 相互協力ハンドブック」,『私立大学図書館協議会東地区研究部会 相互協力研究分科会報告』, 10, 2004.03, p1-35.

- [2004/03/So] [相互協力研究分科会]「第2章 海外 ILL 事例一覧」,『私立大学図書館協議会東地区研究部会 相互協力研究分科会報告』, 10, 2004.03, p36-45.
- [2004/03/Ta] 田坂憲二「NACSIS Webcat と Webcat PLUS」,『文藝と思想』, no.68, 2004.03, p173-190.
- [2004/03/Ya] 山口直比古「平成 16 年度より開始される ILL 複写等料金相殺サービス(講演会報告)」,『私立大学図書館協議会東地区研究部会 相互協力研究分科会報告』, 10, 2004.03, p46-61.
- [2004/04/Ko] 小陳左和子「国立情報学研究所の新たな情報提供サービス展開: Genii (NII 学術コンテンツ・ポータル)」,『薬学図書館』, 49(2) (通号 184), 2004.04, p96-101.
- [2004/04/Su] 末廣恒夫「図書館と著作権: 複写と貸出を中心に」,『情報管理』, 47(1), 2004.04, p1-7.
- [2004/05/Ya] 山中秀夫「西洋古刊本を対象とした総合目録データベースに関する考察: その構築の歴史と手法」,『ビブリア』(天理図書館), No.121, 2004.05, p125-156
- [2004/06/Ha] 濱生快彦「NII の総合目録データベースについて(図書館談話室)」,『関西大学図書館フォーラム』, no.9, 2004.06, p85-88.
- [2004/06/Ko] 国立情報学研究所コンテンツ課「RECON ファイル所蔵データ一括削除」,『NACSIS-CAT/ILL ニュースレター』, 14 号, 2004.06.23.
- [2004/06/Ko] 国立情報学研究所コンテンツ課「平成 16 年度選及入力事業計画」,『NACSIS-CAT/ILL ニュースレター』, 14 号, 2004.06.23.
- [2004/06/Ko] 国立情報学研究所コンテンツ課「総合目録データベースにおける電子ジャーナルの取扱いについて」,『NACSIS-CAT/ILL ニュースレター』, 14 号, 2004.06.23.
- [2004/06/Ko] 国立情報学研究所コンテンツ課「NACSIS-ILL 文献複写料金等相殺サービスの運用開始」,『NACSIS-CAT/ILL ニュースレター』, 14 号, 2004.06.23.
- [2004/06/Ko] 国立情報学研究所コンテンツ課「メタデータ・データベースの今後の展開について」,『NACSIS-CAT/ILL ニュースレター』, 14 号, 2004.06.23.
- [2004/06/Wa] 和中幹雄「FRBR とはなにか: その意義と課題」,『現代の図書館』, 42(2) (通号 170), 2004.06, p115-123.
- [2004/08/Og] 荻原寛「ILL 文献複写料金相殺サービスの展開(特集: 大学図書館 2004)」,『図書館雑誌』, 98(8), 2004.08, p511-513. * 国公私を越えた ILL 料金の相殺サービスの概要。
- [2004/08/Su] 杉本若葉, 地原扶由子「電子ジャーナルの資料特性と組織: NACSIS-CAT の課題と展望(2003 年度[私立大学図書館協会]東地区研究部 研究分科会報告大会)」,『私立大学図書館協会会報』(私立大学図書館協会 ISSN:02887002), 通号 122, 2004.08, p129-136
- [2004/09/Ka] 兼宗進「図書館システムとオープンソースの利用(CA1529)」,『カレントアウェアネス』, No.281, 2004.09, p2-3. <<http://www.dap.ndl.go.jp/ca/modules/ca/images2/ca/ca281.pdf>>
- [2004/09/Ka] 加藤信哉「電子ジャーナルのコンソーシアム利用が大学図書館の文献デリバリーへ及ぼす影響(CA1530)」,『カレントアウェアネス』, No.281, 2004.09, p3-5. <<http://www.dap.ndl.go.jp/ca/modules/series/item.php?itemid=14>>
- [2004/09/Ma] 梶添博邦(九州産業大学)「資料組織: 分類・目録を再考する」,『図書館学』(西日本図書館学会), No.85, 2004.09, p53-57. * 司書が「資料組織」から解放されたことの影響。
- [2004/10/Ko] 小島浩之「漢籍と図書館・OPAC(学術リソースレビュー: 学術サイト)」,『漢字文献情報処理研究』(好文出版), No.5, 2004.10, p150-152.
- [2004/11/Ko] 国立情報学研究所コンテンツ課「旧 CAT/ILL サービスの終了について」,『NACSIS-CAT/ILL ニュースレター』, 15 号, 2004.11.29.
- [2004/11/Ko] 国立情報学研究所コンテンツ課「書誌ユーティリティ課題検討プロジェクトの発足」,『NACSIS-CAT/ILL ニュースレター』, 15 号, 2004.11.29.
- [2004/11/Ko] 国立情報学研究所コンテンツ課「グローバル ILL の新展開: 日韓 ILL/DD 暫定サービスの運用開始」,『NACSIS-CAT/ILL ニュースレター』, 15 号, 2004.11.29.
- [2004/11/Ko] 国立情報学研究所コンテンツ課「ILL 用参照ファイルの導入(KERISB, KERISS)」,

『NACSIS-CAT/ILL ニュースレター』, 15 号, 2004.11.29.

[2004/12/Ai] 相田満「目録データベースの高次化によるデータマイニングを可能とするために: 複数種のオントロジ辞書の利用・接合により検索効率の向上を試みる」, 『情報処理学会シンポジウム論文集』, Vol.2004 No.17, 2004.12, p151-158. * オントロジの実効性を目録データベースで検証。

[2004/12/As] 浅倉秀三「日本語 MARC の XML データベースへの変換に関する一実験: JAPAN/MARC と TRCMARC の変換」, 『日本図書館情報学会誌』, Vol.50, No.4, 2004.12, p159-170.

[2004/12/In] 井上佐知子, 山岡規雄, 上田貴雪, 筑木一郎「デジタル時代のドキュメント・デリバリー・サービス (CA1545)」, 『カレントアウェアネス』, 282, 2004.12.

<<http://www.dap.ndl.go.jp/ca/modules/ca/images2/ca/ca282.pdf>>

[2004/12/Mo] 森山光良「富山県内図書館蔵書総合目録事業に関する考察」, 『日本図書館情報学会誌』, Vol.50, No.4, 2004.12, p125-141

[2004/12/No] Noguchi Setsuko (野口契子), 鈴木祐介「米国における ILL サービスの現状: イリノイ大学アーバナ・シャンペーン校の事例」, 『大学図書館研究』, No.72, 2004.12, p36-40.

[2004/12/Su] 諏訪部直子 (杏林大学図書館)「『EBM』を書名に含む国内臨床医学書の分析と評価」, 『医学図書館』, 51(4), 2004.12, p363-367. * NACSIS-CAT で対象図書を検索。

[2004/12/Ta] 高野明彦, 西岡真吾, 丹羽芳樹「連想に基づく情報アクセス技術: 汎用連想計算エンジン GETA を用いて (<特集>最新情報検索技術)」, 『情報の科学と技術』, 54(12), 2004.12, p634-639.

[2004/12/Ue] 上田洋, 村上晴美「関連語提示機能付携帯 OPAC の試作」, 『情報処理学会シンポジウム論文集』, Vol.2004 No.17, 2004.12, p189-194.

2005 年（平成 17 年）

- [2005/00/Ha] 原田隆史「オープンソースを利用した図書館システム」,『INFOPRO2005 予稿集』, 2005.
- [2005/00/Ku] 熊田淳美「『国書総目録』の文化史的背景; 第一部: 戦前の国史・国文学界と幻の岩波『国書解題』」,『中央大学文学部紀要』, Vol. 39, No. 3, 4, 2005, p144-80.
- [2005/00/Ok] 岡野純子「RLG 総合目録への書誌レコード登録と国際貢献」,『Medianet』(慶応義塾大学メディアセンター本部), (通号 12), 2005, p38-39.
- [2005/00/Sa] 作野誠「学術雑誌必要度調査結果の概要: 愛知学院大学歯学・薬学図書館情報センターにおける学術情報基盤の充実を目指して」,『館灯』(私立大学図書館協会西地区部会東海地区協議会), 44, 2005, p9-14.
- [2005/00/Se] 関秀行「OPAC 改善の動き: OPAC 改善検討ワーキング」,『Medianet』(慶応義塾大学メディアセンター本部), (通号 12), 2005, p36-37.
- [2005/00/Se] 関口素子「ILL システムのその後と昨今のサービス展開」,『Medianet』(慶応義塾大学メディアセンター本部), (通号 12), 2005, p56-58.
- [2005/00/To] 東京都立中央図書館資料管理課「“中国語・韓国・朝鮮語図書の NACSIS-CAT(国立情報学研究所目録所在情報サービス・目録システム)の利用”(サービスの新たな展開)」,『都立図書館報』, (154), 2005, p20.
- [2005/02/Fu] 古里兌夫「Web 上における図書館目録の公開と予約利用形態の変化: 品川区立図書館におけるインターネットによる貸出予約開始と利用状況の変化(特集: Web による図書館サービスの可能性を探る)」,『図書館雑誌』(日本図書館協会, ISSN:03854000), 99(2), 2005.02, p82-85.
- [2005/02/Ue] 上田修一「ウェブの 10 年を図書館はどう過ごしてきたか(特集: Web による図書館サービスの可能性を探る)」,『図書館雑誌』(日本図書館協会, ISSN:03854000), 99(2), 2005.02, p79-81.
- [2005/03/Es] 江上敏哲(京都大学情報学研究所図書室)「欧州の日本資料図書館における活動・実態調査報告: 日本資料・情報の管理・提供・入手」,『大学図書館研究』(ISSN:03860507), No. 73, 2005.03, p45-56.
- [2005/03/Ko] 国公立大学図書館協力委員会平成 16 年度シンポジウム企画委員会「国公立大学図書館協力ニュース: 平成 16 年度シンポジウム「日本の書誌ユーティリティと GIF の進展と課題」報告」,『大学図書館研究』(ISSN:03860507), No. 73, 2005.03, p69-80.
- [2005/03/Ko] 国公立大学図書館協力委員会著作権問題拡大ワーキンググループ「大学図書館における著作権問題 Q&A; 第 4 版」, 2005.03. * 全面改訂。国立大学図書館協会の Web サイトで公開。
- [2005/03/Ko] 国立情報学研究所コンテンツ課「平成 17 年度遡及入力事業について」,『NACSIS-CAT/ILL ニュースレター』, 16 号, 2005.03.25.
- [2005/03/Ko] 国立情報学研究所コンテンツ課「NACSIS-CAT 参照ファイルに OCLC を導入」,『NACSIS-CAT/ILL ニュースレター』, 16 号, 2005.03.25.
- [2005/03/Ko] 国立情報学研究所コンテンツ課「『教科書に関する取扱い及び解説』,『コーディングマニュアル(教科書に関する抜粋集)』の公開」,『NACSIS-CAT/ILL ニュースレター』, 16 号, 2005.03.25.
- [2005/03/Ko] 国立情報学研究所コンテンツ課「NACSIS-CAT/ILL システムの移行について」,『NACSIS-CAT/ILL ニュースレター』, 16 号, 2005.03.25.
- [2005/03/Ko] 国立情報学研究所コンテンツ課「平成 17 年度総合目録データベース実務研修実施報告」,『NACSIS-CAT/ILL ニュースレター』, 16 号, 2005.03.25.
- [2005/03/Ko] 小山憲司「NACSIS-CAT を活用した大学図書館における目録業務の現状と課題--東京大学総合図書館における書誌レコード調整業務を中心に」,『TP&D フォーラムシリーズ』(TP&D フォーラム実行委員会 ISSN:0918404X), 通号 12-14, 2005.03, p59-72.
- [2005/03/Na] 中田晴美「大学ポータルと図書館システムの連携: 名古屋学院大学の事例」,『館灯』(私立大学図書館協会西地区部会東海地区協議会), 43, 2005.03, p20-27.
- [2005/03/Oo] 大場高志「国立情報学研究所の新たな情報提供サービス」,『看護と情報: 看護図書館協議会

- 誌』, 12, 2005.03, p87-89.
- [2005/03/Sa] 佐藤康之「<動向レビュー>MARC とメタデータのクロスワーク (CA1552)」,『カレントアウェアネス』, No.283, 2005.03, p11-15.
- [2005/03/Ta] 高橋菜奈子 (一橋大学附属図書館)「NACSIS-CAT における韓国・朝鮮人著者名典拠の標目記述とその課題 : 韓・日出版物にみる著者名表記の字体と著者略歴の分析を通して」,『日本図書館情報学会誌』(日本図書館情報学会 ISSN:13448668), Vol.51, No.1, 2005.03, p15-24
- [2005/03/To] 兎内勇津流 (北海道大学スラブ研究センター講師)「NII 総合目録データベースにおける著者名典拠ファイルの形成過程」,『大学図書館研究』(大学図書館研究編集委員会 ISSN:03860507), No.73, 2005.03, p1-13
- [2005/04/Ko] 国立国会図書館関西館事業部図書館協力課総合目録係『国内公共図書館の相互貸借等に関する調査報告書: 国立国会図書館総合目録ネットワーク参加館状況調査のまとめ (デジタル環境下における ILL, ドキュメント・デリバリーとその運用基盤)』,『図書館研究シリーズ』, No.38, 2005.04.
- [2005/05/Ni] 新元公寛「会議録・会議資料: OCLC が提供する会議録検索用データベース」,『情報の科学と技術』, Vol.55, No.5, 2005.05, p224-226. *FirstSearch で提供する ProceedingsFirst と PapersFirst
- [2005/05/Ya] 山田稔「Worldcat は「真の世界書誌」をめざす」,『司書の目と耳』(愛知淑徳大学図書館), 2005.05. * <http://www2.aasa.ac.jp/org/lib/j/issues_i/metomimi/metomimi2005html#20050512>
- [確認: 2009 年 2 月 22 日]
- [2005/06/Is] 石田栄美「日本十進分類法と基本件名標目の相互マッピングの試み」,『文化情報学』(駿河台大学文化情報学部 ISSN13410962), Vol.12, No.1, 2005.06, p1-11. *NACSIS-CAT の書誌データ 10 万件を使用している相互マッピング。
- [2005/06/Ki] 北克一[ほか]「第 52 回日本図書館情報学会研究大会シンポジウム記録: 図書館目録とメタデータ情報の組織化における新たな可能性<学会記事>」,『日本図書館情報学会誌』(日本図書館情報学会 ISSN:13448668), Vol.51, No.2 (通号 162), 2005.06, p75-98.
- [2005/06/Ya] 山中秀夫「和古書総合目録構築のための基本的問題に関する考察」,『日本図書館情報学会誌』(日本図書館情報学会 ISSN:13448668), Vol.51, No.2, 2005.06, p62-74
- [2005/06/Yo] 横山幸雄「図書館目録とメタデータ: 情報の組織化における新たな可能性 (第 52 回日本図書館情報学会研究大会シンポジウム記録)」,『日本図書館情報学会誌』(日本図書館情報学会 ISSN:13448668), Vol.51, No.2, 2005.06, p75-98.
- [2005/06/Yo] 吉野貴庸「大学図書館のポロイング・ポリシー: 貸借資料の複写可否」,『大学図書館問題研究会誌』, 28, 2005.06, p1-13.
- [2005/07/Ki] 喜田哲也, 南俊朗「図書目録カード画像検索システムの改善: 扱いやすく柔軟なインタフェースへの移行」,『電子情報通信学会技術研究報告』(ISSN09135685), 105(172)(DE2005 65-106), 2005.07, p151-156.
- [2005/07/Ko] 国公立大学図書館協力委員会『大学図書館協力における資料複製に関するガイドライン』, 2005.07. *国立大学図書館協会の Web ページで公開。
- [2005/07/Ta] 竹内比呂也「第 1 章 大学図書館の現状と政策」,『変りゆく大学図書館/逸村裕, 竹内比呂也 [ほか] 編著』(劉草書房), 2005.07, p10-.
- [2005/08/Mo] 森本英幸「NII Webcat Plus の北アメリカ地域での有用性: 検索及び基盤となる書誌レコードの観点より」,『大学図書館研究』(大学図書館研究編集委員会 ISSN:03860507) No.74, 2005.08, p19-27
- [2005/08/No] 野末道子「土木図書館目録書誌目録データベース検索用語選択支援インタフェースの構築と評価」,『土木学会年次学術講演会概要集 (CD-ROM)』, Vol.60th.Disk2, 2005.08.
- [2005/08/Ok] 岡嶋偉久子「総合目録における和漢古書書誌記述の考察:NACSIS-CAT(NII)及び NCR での取扱いを踏まえて」,『大学図書館研究』(学術文献普及会 ISSN:03860507), No.74, 2005.08, p1-8.
- [2005/08/Wa] 渡邊隆弘「継続資料の組織化と総合目録データベース」,『大学図書館研究』(大学図書館研究編集委員会 ISSN:03860507), No.74, 2005.08, p9-18

- [2005/09/Ir] 入江伸「ライブラリーシステム研究会の活動と今後のテーマ(特集:図書館システム)」、『医学図書館』, Vol. 52, No. 3, 2005.09, p246-250. * Z.39.50 プロトコルの適用。
- [2005/09/Ku] 工藤邦彦「和古書の組織化における現状と課題」, 『図書館学』(西日本図書館学会), 87, 2005.09, p51-64.
- [2005/09/Ku] 黒澤公人「図書館システム コンピュータの進化と図書館システムの進化: 図書館システムビッグバン 40 年間の旅へ」, 『医学図書館』, Vol. 52, No. 3, 2005.09, p215-222.
- [2005/09/Ma] 牧田真紀子「図書館システム更新から 1 年半を経過して(特集:図書館システム)」, 『医学図書館』, Vol. 52, No. 3, 2005.09, p234-236. * リコー製 Limedio
- [2005/09/Sh] 志村直子[ほか]「順天堂大学図書館における iLiswave の導入の実例(特集:図書館システム)」, 『医学図書館』, Vol. 52, No. 3, 2005.09, p229-233.
- [2005/09/Sh] 白木俊男「図書館システム更新に伴う考察(特集:図書館システム)」, 『医学図書館』, Vol. 52, No. 3, 2005.09, p223-228.
- [2005/10/Ha] 林賢紀「RSS (Rich Site Summary) を活用した OPAC サービスの展開: 農林水産研究情報センターにおける事例」, 『情報プロフェッショナルシンポジウム予稿集』, Vol. 2nd, 2005.10, p167-171.
- [2005/10/Ha] 原田隆史, 横山瑠美, 長井英夫, 佐々木雅吾「オープンソースを利用した図書館システム」, 『情報プロフェッショナルシンポジウム予稿集』, Vol. 2nd, 2005.10, p173-176.
- [2005/10/Ko] 小島浩之「図書館と OPAC・漢籍目録(学術リソースレビュー: 学術サイト)」, 『漢字文献情報処理研究』(好文出版), No. 6, 2005.10, p200-202.
- [2005/10/Ko] 国立情報学研究所書誌ユーティリティ課題検討プロジェクト『書誌ユーティリティ課題検討プロジェクト最終報告』(国立情報学研究所), 2005.10, 12p.
<http://www.nii.ac.jp/CAT-ILL/contents/ncat_info_kadaIPT-last-report.pdf>
- [2005/10/To] 豊田久美子「相互貸借と文献入手(病院図書研究会 2005 年度第 1 回研修会)」, 『ほすびたるらいぶらりあん』, 107, 2005.10, p226-232.
- [2005/11/Do] 呑海沙織「利用者志向の図書館サービス: 変化する利用者と図書館の関係性(特集: 大学図書館 2005)」, 『図書館雑誌』, 99(11), 2005.11, p785-786.
- [2005/11/Ja] Jackson, Mary E.「ドキュメント・デリバリー・サービスの将来(デジタル環境下における ILL ドキュメント・デリバリーとその運用基盤)」, 『図書館研究シリーズ』(ISSN:18804845), No. 38, 2005.11, p121-146.
- [2005/11/Ki] 北克一「総合目録の現状と今後の方向性: 第 12 回総合目録ネットワーク参加館フォーラム講演(デジタル環境下における ILL ドキュメント・デリバリーとその運用基盤)」, 『図書館研究シリーズ』(ISSN:04541960), No. 38, 2005.11, p85-115
- [2005/11/Ko] 国立国会図書館関西館事業部図書館協力課編「国内公共図書館の相互貸借等に関する調査報告書: 国立国会図書館総合目録ネットワーク参加館状況調査のまとめ(デジタル環境下における ILL ドキュメント・デリバリーとその運用基盤)」, 『図書館研究シリーズ』(ISSN:18804845), No. 38, 2005.11, p1-83.
- [2005/11/Pf] Pfleger, Mat「デジタル時代における英国図書館の文献提供(デジタル環境下における ILL ドキュメント・デリバリーとその運用基盤)」, 『図書館研究シリーズ』(ISSN:18804845), No. 38, 2005.11, p121-146.
- [2005/11/To] 當山仁健, 永田智和, 玉城史朗「利用者のプロフィールを考慮した連想検索 OPAC の構築(検索)」, 『情報処理学会研究報告・自然言語処理研究会報告』, 2005(117), 2005.11, p38-38.
- [2005/12/In] 稲濱みのる「新しい国際目録原則(CA1571)」, 『カレントアウェアネス』, No. 286, 2005.12, p4-5.
- 2006 年(平成 18 年)**
- [2006/00/Ha] 長谷川豊祐「フォーカス・グループ・インタビューによる大学図書館業務電算化の構造解明」, 『三田図書館・情報学会研究大会発表論文集』, Vol. 2006 年度, 2006, p17-20.

- [2006/00/Ha] 橋詰秋子「FRBR から見た JAPAN/MARC フォーマットの機能的構造」,『三田図書館・情報学会研究大会発表論文集』, Vol. 2006 年度, 2006, p53-56.
- [2006/00/Ki] 木下和彦「<海外レポート>北米図書館における図書館システム導入動向調査」,『Medianet』(慶応義塾大学メディアセンター本部), (通号 13), 2006, p52-55.
- [2006/00/Na] 中村亜日香「OPAC 改善の動き・続: OPAC 改善委員会」,『Medianet』(慶応義塾大学メディアセンター本部), (通号 13), 2006, p32-33.
- [2006/00/Ta] 高橋菜奈子「全国漢籍データベースと NACSIS-CAT データベース比較: 漢籍目録の書誌記述の標準化のために」,『漢籍』(漢籍研究会), No.13, 2006, p57-73.
- [2006/00/To] 東京都立中央図書館資料管理課「“NACSIS-CAT 参加後の中国語・韓国・朝鮮語圖書の書誌所蔵データ入力と資料検索”(サービス)」,『都立図書館報』, (155), 2006, 25-26
- [2006/00/Wa] 渡邊智康「機械化による図書館の変化: 特にインターネットの出現」,『短期大学図書館研究』(私立短期大学図書館協議会), 26, 2006, p87-92.
- [2006/01/Ha] 長谷川豊祐『大学図書館業務電算化の評価: フォーカス・グループ・インタビューによる分析』慶應義塾大学大学院文学研究科 図書館・情報学専攻情報資源管理分野 平成 17 年度修士論文), 2006.01, 106p.
- [2006/01/Ha] 林賢紀, 宮坂和孝「RSS(RDF Site Summary)を活用した新たな図書館サービスの展開: OPAC2.0 へ向けて」,『情報管理』, 49(1), 2006.01, p11-23.
- [2006/02/Ya] 山田稔「ドイツ図書館も MARC21 へ」,『司書の目と耳』(愛知淑徳大学図書館), 2006.02.
* <http://www2.aasa.ac.jp/org/lib/j/issues_i/metomimi/metomimi2006html#20060217> [確認: 2009 年 2 月 22 日]
- [2006/03/Do] 呑海沙織「学術情報基盤の形成: CADLIS と NII (特集: 第 4 回国際図書館学セミナー研究発表等報告: 日中両国のライブラリアンシップの相互理解と発展のために)」,『現代の図書館』, 57(6), 2006.03, p380-382.
- [2006/03/It] 伊藤光郎「最近の海外 ILL 事情: 中央図書館レファレンス係の依頼の取り組みを中心に」,『図書の譜』(明治大学図書館), 通号 10, 2006.03, p142-158.
- [2006/03/Ko] 国公立大学図書館協力委員会シンポジウム企画運営委員会「国公立大学図書館協力委員会ニュース: 平成 17 年度シンポジウム「新たな相互協力をめざして: ILL サービスの課題と書誌ユーティリティ」報告」,『大学図書館研究』(ISSN:03860507), No.76, 2006.03, p97-109.
- [2006/03/Ko] 国立情報学研究所コンテンツ課「Webcat Plus の紹介(特集: Webcat Plus)」,『NACSIS-CAT/ILL ニュースレター』, 17 号, 2006.03.31.
- [2006/03/Ko] 国立情報学研究所コンテンツ課「平成 17 年度遡及入力事業追加採択について」,『NACSIS-CAT/ILL ニュースレター』, 17 号, 2006.03.31.
- [2006/03/Ko] 国立情報学研究所コンテンツ課「自動登録システム実証実験プロジェクト平成 17 年度報告書について」,『NACSIS-CAT/ILL ニュースレター』, 17 号, 2006.03.31.
- [2006/03/Ko] 国立情報学研究所コンテンツ課「平成 18 年度遡及入力事業について」,『NACSIS-CAT/ILL ニュースレター』, 17 号, 2006.03.31.
- [2006/03/Ko] 国立情報学研究所コンテンツ課「図書館所蔵レコード 8,000 万件突破!」,『NACSIS-CAT/ILL ニュースレター』, 17 号, 2006.03.31.
- [2006/03/Ko] 国立情報学研究所コンテンツ課「平成 17 年度総合目録データベース実務研修実施報告」,『NACSIS-CAT/ILL ニュースレター』, 17 号, 2006.03.31.
- [2006/03/Ko] 小西和信「電子ジャーナルとドキュメントデリバリー」,『平成 16 年度図書館講演会記録集』(聖心女子大学図書館), 2006.03, p17-26. * ILL で雑誌購読を中止できるか
- [2006/03/Ma] 松下眞也「古典籍総合データベースの構築と展開」,『早稲田大学図書館紀要』, 53, 2006.03, p1-24.
- [2006/03/Na] 中林雅士「図書館システムの高可能性とシステム構築負荷分散とデータベースの多重化」,

- 『図書の譜』(明治大学図書館), 通号 10, 2006.03, p183-200.
- [2006/03/Sa] 酒井由紀子, 園原麻里「ILL 統計データ分析からみた医学文献流通における私大医学図書館の役割」, 『医学図書館』, 53(3), 2006.03, p233-238.
- [2006/03/Wa] 渡邊隆弘「典拠コントロールの現在: FRAR と LCSH の動向」, 『情報の科学と技術』(社団法人情報科学技術協会 ISSN:09133801), Vol.56, No.3, 2006.03, p108-113.
- [2006/03/Yo] 米田菜穂, 武内八重子, 加藤晃一「ビッグ・ディール後の ILL: 千葉大学附属図書館亥鼻分館における調査」, 『大学図書館研究』(大学図書館研究編集委員会 ISSN:03860507), No.76, 2006.03, p74-81.
- [2006/04/Ha] 林賢紀, 宮坂和考「RSS (RDF Site Summary) を活用した図書館サービスの展開」, 『情報管理』, 49(1), 2006.04, p11-23.
- [2006/04/Ma] 松下茂「ドキュメントデリバリーサービスの現状: 主に Electronic Document Delivery Service について(特集: デジタル・ドキュメントの流通: ドキュメント・デリバリー・サービスとオンデマンド・パブリッシングの現在)」, 『大学の図書館』, 25(4) (通号 389), 2006.04, p46-48.
- [2006/05/Ue] 上田洋, 村上晴美「蔵書検索のための Web 情報源を用いた件名の提案(情報検索・情報解析)」, 『情報処理学会研究報告・データベース・システム研究会報告』, 2006 (59), 2006.05, p17-24.
- [2006/06/Ha] 原田隆史「図書館とオープンソース・ソフトウェア(特集: Open)」, 『現代の図書館』, Vol.44, No.2(通号 178), 2006.06, p68-75.
- [2006/07/Hi] 平山亮「情報検索および図書館相互貸借の標準規格(特集: 情報活動と標準規格)」, 『情報の科学と技術』, 56(7), 2006.07, p307-311.
- [2006/04/Ho] 星屋真「大阪大学生命科学分館の ILL 複写受付の現状: 国公私立大学図書館委員会主催平成 17 年度シンポジウム事例報告より」, 『大学の図書館』, 25(4) (通号 389), 2006.04, p50-52.
- [2006/07/Mu] 村上泰子, 北克一「オープンソースと図書館システム--導入への評価モデル(『日本図書館研究会』第 47 回研究大会グループ研究発表)」, 『図書館界』, Vol.58, No.2(通号 329), 2006.07, p124-134.
- [2006/08/Ho] 星和夫「新潟大学附属図書館所蔵古文書群の整理と活用(小特集: 図書館におけるアーカイブズ)」, 『大学図書館研究』(大学図書館研究編集委員会 ISSN:03860507), No.77, 2006.08, p21-27.
- [2006/08/Ko] 国立情報学研究所コンテンツ課「タイ語等資料の取扱い及び解説, コーディングマニュアルの公開」, 『NACSIS-CAT/ILL ニュースレター』, 18 号, 2006.08.10.
- [2006/08/Ko] 国立情報学研究所コンテンツ課「展覧会カタログ資料の取扱い及び解説, コーディングマニュアルの公開」, 『NACSIS-CAT/ILL ニュースレター』, 18 号, 2006.08.10.
- [2006/08/Ko] 国立情報学研究所コンテンツ課「視聴覚資料の取扱いについて」, 『NACSIS-CAT/ILL ニュースレター』, 18 号, 2006.08.10.
- [2006/08/Ku] 黒澤公人「図書全文検索と図書館システム (Infopro ならこれを読んでおこう)」, 『情報の科学と技術』, Vol.56, No.8, 2006.08, p374-375. *馬場重徳著『Union index of books in the field of documentation』.
- [2006/08/Li] 李晨英, 謝琴芳, 喻爽爽「CALIS 日本語書誌作成と典拠コントロールの全面的実現: CALIS 共同目録のオンライン典拠コントロールシステムについて」, 『大学図書館研究』(大学図書館研究編集委員会 ISSN:03860507), No.77, 2006.08, p51-59.
- [2006/09/Ha] 原田隆史「<動向レビュー>オープンソースと統合図書館システム (CA1605)」, 『カレントアウェアネス』, 289, 2006.09, p15-18.
- [2006/09/Ik] 池田和弘, 衛藤俊介, 永井智子「利用者志向目録: その手法とアメリカに見る先駆的な取り組み」, 『私立大学図書館協会会報』, 通号 126, 2006.09, p133-142. *FRBR に関する OCLC のプロジェクト.
- [2006/09/Mi] 三上彰, 川中はるか, 伊藤彩[ほか]「海外 ILL 事例報告を中心に: 第 13 期相互協力研究分科会活動報告」, 『私立大学図書館協会会報』, 通号 126, 2006.09, p138-142.

- [2006/09/Nu] 沼田晃佑[ほか]「和漢古書の刊行年推定とNII方式での書誌データ作成：アンケート集計結果を踏まえて」、『私立大学図書館協会会報』, 通号 126, 2006.09, p155-161.
- [2006/09/Oj] 尾城孝一「GeNii:NIIの学術コンテンツ・ポータルについて(電子情報サービスの現状;2)」, 『専門図書館』, No.219, 2006.09, p17-21. *Webcat Plusにも言及
- [2006/10/Sh] 柴崎直也, 横山幸雄, 沢辺均「国立国会図書館・JAPAN/MARCの現場を歩く(〔インタビュー〕国会図書館は、どうやって本を集めMARCをつくっているのだろうか?〔含マーク作成の現場、書誌部国内図書課探訪〕)」, 『ず・ぼん』, 12, 2006.10, p70-89.
- [2006/10/Su] 角谷佳未「文献複写ILLの最近の動向：〔慶応義塾大学〕湘南藤沢メディアセンターの場合」(特集：図書館ポータル), 『Medianet』(慶応義塾大学メディアセンター本部), (13), 2006.10, p42-43.
- [2006/10/Ta] 田邊実「次世代図書館サービスにおける認証システム(特集：図書館ポータル)」, 『Medianet』(慶応義塾大学メディアセンター本部), (13), 2006.10, p22-25.
- [2006/11/Ku] 黒澤公人「Web2.0が導く新たな地平：新しい図書館システムを求めて(〈特集〉図書館とWeb2.0)」, 『情報の科学と技術』, 56(11), 2006.11, p514-519.
- [2006/11/Ok] 岡本真「『Web2.0』時代に対応する学術情報発信：真のユーザー参加拡大のためのデータ開放の提案」, 『情報管理』, 49(11), 2006.11, p632-643.
- [2006/11/To] 萱山仁健(沖縄国際大学)「利用者のプロフィールを考慮した連想検索OPACの構築(〈特集〉図書館とWeb2.0)」, 『情報の科学と技術』, 56(11), 2006.11, p520-525. *沖縄国際大学図書館のOPAC
- [2006/12/Da] 「課題別分科会ILL：大学図書館問題研究会第37回全国大会記録2006年8月5日(土)～7日(月)」, 『大学の図書館』(大学図書館問題研究会), 25(12)(通号397), 2006.12, p214-216.
- [2006/12/It] 逸村裕「『学術情報基盤の今後の在り方について(報告)』の背景と展開(特集：2006・トビックスを追う)」, 『図書館雑誌』, 100(12), 2006.12, p811-813.
- [2006/12/Ko] 国立情報学研究所コンテンツ課「『NACSIS-CATレコード調整方式検討ワーキング・グループ報告書』で提案された応急策の実施について」, 『NACSIS-CAT/ILLニュースレター』, 19号, 2006.12.12.
- [2006/12/Ko] 国立情報学研究所コンテンツ課「ILLシステムの国立国会図書館依頼機能の運用中止」, 『NACSIS-CAT/ILLニュースレター』, 19号, 2006.12.12.
- [2006/12/Ko] 国立情報学研究所コンテンツ課「KERISとのILLシステム間リンクの運用開始」, 『NACSIS-CAT/ILLニュースレター』, 19号, 2006.12.12.
- [2006/12/Ko] 国立情報学研究所コンテンツ課「WebcatおよびWebcat Plusのサービスに関するアンケート集計結果」, 『NACSIS-CAT/ILLニュースレター』, 19号, 2006.12.12.
- [2006/12/Ko] 国立情報学研究所コンテンツ課「平成18年度総合目録データベース実務研修実施報告」, 『NACSIS-CAT/ILLニュースレター』, 19号, 2006.12.12.
- [2006/12/Wa] 渡邊隆弘「研究図書館目録の危機と将来像：3機関の報告書から(CA1617)」, 『カレントアウェアネス』, 290, 2006.12, p14-16 <<http://www.dap.ndl.go.jp/ca/modules/ca/item.php?itemid=1053>>
- 2007年(平成19年)**
- [2007/00/Ha] 橋詰秋子「FRBRから見た日本のMARCの特徴」, 『三田図書館・情報学会研究大会発表論文集』, Vol.2007, 2007, p13-16.
- [2007/00/Ha] 橋詰秋子「FRBRから見た日本の図書館目録における著作の傾向：慶応義塾大学OPACを例として」, 『Library and Information Science』, no.58, 2007, p33-48.
- [2007/00/Ha] 林賢紀「〈講演要旨〉Web2.0時代の新たな図書館サービスの展開」, 『東海地区大学図書館協議会誌』, 52, 2007, p18-26.
- [2007/00/Ma] 前川由美子「書誌ユーティリティにおける総合目録の品質管理の実証的研究：総合目録データベースNACSIS-CATにおける書誌レコード調整の記録分析を通して」, 『Journal of Informatics：情報学』(大阪市立大学 電子ジャーナル), Vol.4, No.1, 2007. *<http://ojs.info.gsucc.osaka-cu.ac.jp/JI/viewissue.php?id=13> [2009/02/16 確認]
- [2007/00/Ok] 岡本真「〈講演要旨〉Web2.0時代の図書館：大学図書館にとってのWeb2.0」, 『東海地区大学

図書館協議会誌』, 52, 2007, p3-8.

[2007/03/Ab] 阿部潤也「Google になる? Google にする?」,『大学図書館研究』, No.79, 2007.03, p62-67.

* Google を OPAC に利用する可能性について。

[2007/03/It] 逸村裕「わが国の大学図書館政策の歴史的回顧」,『電子情報環境下における大学図書館機能の再検討 (REFORM): 科学研究費補助金研究成果報告書』, 研究代表者: 土屋俊 (千葉大学), 2007.3

[2007/03/Ko] 国立大学図書館協会学術情報委員会図書館システム検討ワーキンググループ『今後の図書館システムの方向性について』, 国立大学図書館協会総会資料 No.54-3, 2007.03, 59p.

内容: 1 章. 図書館システムの再構築 (北村明久, p6-9); 2 章. 管理しない図書館システム: 管理志向からサービス提供志向へ (茂出木理子, p10-14); 3 章. 図書館 CRM と図書館システム (岡部幸祐, p15-21); 4 章. 利用者と図書館蔵書のマッチングを支援する図書館へ (高橋努, p22-25); 5 章. Web2.0 と今後の図書館システムの展開 (村田輝・村上晋司, p26-32); 6 章. 図書館システム・ベンダーからのコメント (p33-38); 7 章. 大学図書館を支える全国的な図書館システムの今後 (相原雪乃, p38-41); 8 章. 5 年・10 年後の大学図書館/システムを予測する (星野雅英, p42-45); 付録 1. ワーキンググループ議事メモ (岡部幸祐, p46-58); 付録 1. ワーキンググループ要項.

[2007/03/Ko] 国立情報学研究所コンテンツ課「目録外注化のための仕様書モデル(案)の作成について」,『NACSIS-CAT/ILL ニュースレター』, 20 号, 2007.03.31.

[2007/03/Ko] 国立情報学研究所コンテンツ課「全国漢籍データベースとのリンク」,『NACSIS-CAT/ILL ニュースレター』, 20 号, 2007.03.31.

[2007/03/Ko] 国立情報学研究所コンテンツ課「SPCAT (Selected Package CAT) の新規提供終了について」,『NACSIS-CAT/ILL ニュースレター』, 20 号, 2007.03.31.

[2007/03/Mu] 村上浩介「次世代の図書館サービス? : Library2.0 とは何か (CA1624)」,『カレントアウェアネス』, 291, 2007.3, p5-7. <<http://www.dap.ndl.go.jp/ca/modules/ca/item.php?itemid=1062>>

[2007/03/Sa] 佐藤義則「近年の NACSIS-ILL における看護文献の需要と供給: ログ分析の結果から」,『看護と情報: 看護図書館協議会誌』, 14, 2007.03, 65-72.

[2007/03/Sa] 佐藤義則「大学図書館を中心とする ILL と文献需要の動向」,『電子情報環境下における大学図書館機能の再検討 (REFORM): 科学研究費補助金研究成果報告書』, 研究代表者: 土屋俊 (千葉大学), 2007.3

[2007/04/Ta] 高野明彦「検索から連想へ: 情報を発想力に変換する連想エンジン(特集: <検索>の未来)」,『科学』, 岩波書店, 77(4) (通号 896), 2007.07, p356-361.

[2007/04/Tu] Tuchiya, Shun (土屋俊); Takeuchi, Hiroya (竹内比呂也); Sato, Yoshinori (佐藤義則); Itsumura, Hiroshi (逸村裕). ILL/DD in Japan across the turn of the century: Basic findings about NACSIS-ILL from 1994 to 2005. 「日本の図書館間相互貸借/ドキュメント・デリバリー: 1994 年から世紀をまたいで 2005 年までの NACSIS-ILL 基本調査結果」, "Progress in informatics", (4), 2007.04, p29-49. * 英文

[2007/05/Ka] 春日井泉江「文献入手の可能性を広げよう: 病院図書館における相互貸借(はじめての図書館員へ)」,『病院図書館』, Vol.26, No.4, 2007.05, p167-170.

[2007/05/Ne] 根本彰「デジタル情報空間における書誌コントロール論の位相(図書館情報学の研究動向と新たな流れ)」,『情報の科学と技術』, 57(5), 2007.05, p220-225.

[2007/05/Ya] 山田稔「世界最大になるため, OCLC は知恵を集める」,『司書の目と耳』(愛知淑徳大学図書館), 2005.05. * <http://www2.aasa.ac.jp/org/lib/j/issues_i/metomimi/metomimi2007html#20070502> [確認: 2009 年 2 月 22 日]

[2007/06/Ha] 原田隆史「図書館員自身の協同で作る図書館システム仕様: 日本発のオープンソース図書館システム作成を目指して (CA1629)」,『カレントアウェアネス』, 292, 2007.06, p4-6.

[2007/06/Ki] 気谷陽子「『学術情報システム』の総体としての蔵書における未所蔵図書の発生」,『日本図書館情報学会誌』, 53(2), 2007.6, p103-121. * 要求タイトルと収集状況をロジスティック回帰分析。

- [2007/07/Ko] 国立情報学研究所学術コンテンツ課「RLG 参照ファイルのサービス終了について」,『NACSIS-CAT/ILL ニュースレター』, 21号, 2007.07.20.
- [2007/07/Ko] 国立情報学研究所学術コンテンツ課「平成 19 年度選及入力事業について」,『NACSIS-CAT/ILL ニュースレター』, 21号, 2007.07.20.
- [2007/07/Ko] 国立情報学研究所学術コンテンツ課「視聴覚資料の取扱い及び解説, コーディングマニュアルの公開」,『NACSIS-CAT/ILL ニュースレター』, 21号, 2007.07.20.
- [2007/07/Ko] 国立情報学研究所学術コンテンツ課「NII での目録品質管理(1)」,『NACSIS-CAT/ILL ニュースレター』, 21号, 2007.07.20.
- [2007/07/Na] 中島操「再考! アウトシング: 同志社大学の目録整理の事例を通して(特集: 図書館業務のアウトソーシング)」,『情報の科学と技術』, 57(7), 2007.07, p341-346.
- [2007/08/Ta] 高橋菜奈子「NACSIS-CAT における韓国・朝鮮人著者名典拠の同定」,『大学図書館研究』, No.80, 2007.08, p65-73.
- [2007/08/Ta] 高橋隆一郎「海外 ILL 入門: 東京学芸大学附属図書館での経験に基づいて」,『大学図書館問題研究会誌』, 30, 2007.08, p1-13.
- [2007/08/Ta] 高辻功一, 大前富美「電子ジャーナル導入による NACSIS-ILL 経由の文献複写依頼件数の減少効果: 大阪府立大学における調査」,『大学図書館研究』, No.80, 2007.08, p74-78.
- [2007/09/Ku] 倉橋英逸「米国議会図書館における書誌コントロールの環境変化と再構築の道程」,『整理技術研究グループ 50 周年記念論文集/日本図書館研究会整理技術研究グループ編』, (発売: 日本図書館協会), 2007.09, p84-104.
- [2007/09/Ma] 前川由美子, 北克一「書誌ユーティリティにおける総合目録の品質管理の実証的研究: 総合目録データベース NACSIS-CAT における書誌レコード調整の記録分析を通して」,『日本図書館情報学会誌』, 53(3), 2007.09, p188.
- [2007/09/No] 野末道子, 江良隆一, 坂本夏至「土木図書館目録書誌連想検索システム試行運用上に見る利用者検索行動分析」,『土木学会年次学術講演会概要集 (CD-ROM)』, Vol.62nd.Disk2.
- [2007/09/Ok] 岡本真「試論・理想の OPAC を求めて: ユーザビリティの観点から(特集: 図書館のアクセシビリティ・ユーザビリティ)」,『現代の図書館』, 45(3), 2007.09, p136-142.
- [2007/09/Ok] 岡本真「Web2.0 と図書館: Blog と RSS の活用を中心に(全国研究集会 第 4 分科会: 図書館と Web2.0)」,『専門図書館』, 225, 2007.09, p64-70.
- [2007/09/Ta] 竹内比呂也「<特別講演>学術コミュニケーションの変容と図書館相互協力(日本病院ライブラリー協会 2007 年度第 1 回研修会)」,『ほすびたるらいぶらりあん』, 114, 2007.09, p153-159.
- [2007/09/Ta] 穂市淳子(名古屋柳城短期大学図書館), 逸村裕「短期大学図書館における目次を付与した OPAC の情報探索行動」,『日本図書館情報学会誌』, Vol.53, No.3, 2007.09, p189.
- [2007/09/Ts] 筑木一郎「<研究文献レビュー>学術情報流通と大学図書館の学術情報サービス (CA1639)」,『カレントアウェアネス』, No.293, 2007.09, p21-30.
- [2007/09/Wa] 渡邊隆弘「LC「カルホーン報告書」をめぐる論争: 整理と考察」,『整理技術研究グループ 50 周年記念論文集/日本図書館研究会整理技術研究グループ編』, (発売: 日本図書館協会), 2007.09.
- [2007/10/Ko] 小島浩之「図書館と OPAC (学術リソースレビュー: 学術サイト)」,『漢字文献情報処理研究』(好文出版), No.8, 2007.10, p168-171.
- [2007/11/Ko] 国立情報学研究所学術コンテンツ課「図書館所蔵レコード 9,000 万件突破!」,『NACSIS-CAT/ILL ニュースレター』, 22号, 2007.11.30.
- [2007/11/Ko] 国立情報学研究所学術コンテンツ課「NII での目録品質管理(2)」,『NACSIS-CAT/ILL ニュースレター』, 22号, 2007.11.30.
- [2007/12/Da]「課題別分科会 ILL: 大学図書館問題研究会第 38 回全国大会記録」,『大学の図書館』(大学図書館問題研究会), 26(12) (通号 409), 2007.12, p224-226.
- [2007/12/Da]「課題別分科会 図書館システム: 大学図書館問題研究会第 38 回全国大会記録」,『大学の図

- 書館』(大学図書館問題研究会), 26(12)(通号 409), 2007.12, p232-234.
- [2007/12/Ka] 神山貴子(京都桂病院図書室)「Kinki Webcat:目録サポートチームからの紹介」,『病院図書館』, Vol. 27, No. 2, 2007.12, p64-66.
- [2007/12/Ya] 山中秀夫「コレクションの構築と運営:和古書の組織化とイメージ・データの有効性」,『情報の科学と技術』, 57(12), 2007.12, p556-560.
- 2008 年(平成 20 年)**
- [2008/00/Mi] 宮田洋輔「JAPAN/MARC レコードからの自動構築可能な著作識別子の提案」,『三田図書館・情報学会研究大会発表論文集』, (2008 年度), 2008, p69-72. * JAPAN/MARC の自動 FRBR 化の試行。
- [2008/00/Na] 中島正道, 佐藤奨平, 中島めぐみ「新渡戸稲造『武士道』の書誌事項をめぐる混乱について」,『三田図書館・情報学会研究大会発表論文集』, (2008 年度), 2008, p73-76. * 『武士道』英文初版の刊行 1899 年説と 1900 年説を現物, Webcat Plus, LC の Catalogue 等を照合し 1900 年と確定。
- [2008/01/Ku] 黒澤公人「現代の超巨大コンピュータ:世界中のデータを検索するコンピュータとは(シリーズ・図書館システム管理の現場から; 4)」,『図書館雑誌』, 102(1)(通号 1010), 2008.01, p50-51.
- [2008/02/Ko] 国立情報学研究所学術コンテンツ課「NII での目録品質管理(3)」,『NACSIS-CAT/ILL ニュースレター』, 23 号, 2008.02.29.
- [2008/02/Ko] 国立情報学研究所学術コンテンツ課「メタデータ・データベース共同構築事業の終了について」,『NACSIS-CAT/ILL ニュースレター』, 23 号, 2008.02.29.
- [2008/02/Ko] 小山憲司「ILL 文献複写の需給状況の変化と学術情報の電子化(特集:大学図書館の現況)」,『図書館雑誌』, 102(2)(通号 1011), 2008.02, p97-99.
- [2008/02/Sa] 佐藤義則「NACSIS-CAT と大学図書館のコレクションの現況(特集:大学図書館の現況)」,『図書館雑誌』, 102(2)(通号 1011), 2008.02, p100-102. * NACSIS-CAT データベースの分析
- [2008/03/Ka] 片山俊治「OCLC と地区サービス・プロバイダ(RSP)の連携から見てくるもの」,『私立大学図書館協会会報』, No.129, 2008.03, p183-196. * PALINET と Amigo Library Service
- [2008/03/Ko] 国立情報学研究所学術コンテンツ課「運営・連携本部図書館連携作業部会(次世代目録ワーキンググループ)『次世代目録所在情報サービスの在り方について(中間報告)』」,国立情報学研究所学術基盤推進部学術学術コンテンツ課, 2008.03, 25p.
- [2008/03/Ko] 小材健[ほか]「大学の図書館情報システムに対する要求工学的アプローチ」,『デジタル図書館』(ISSN13407287), No.34, 2008.03, p33-41.
- [2008/03/Ku] 久保山健「次世代 OPAC 導入事例リンク集」<http://dwsv.library.osaka-u.ac.jp/pitt_report/pitt200803ngc.html>
- [2008/03/Ku] 倉光典子「書誌コントロールの将来に向けた LC の取り組み(CA1650)」,『カレントアウェアネス』, No.295, 2008.03, p2-5.
- [2008/03/Mi] 宮澤彰「UCS と Unicode:文字と文字コード管理(特集:書誌調整)」,『国立国会図書館月報』, no.564, 2008.03, p18-19.
- [2008/03/Na] 中林雅士(明治大学図書館)「大学間の図書館システムの統合:システムモデルと実装」,『私立大学図書館協会会報』, 通号 129, 2008.03, p156-174. * 図書館システムの ASP 化など。
- [2008/03/Su] 鈴木宏子, 鶴岡真知子「ILL サービスにおける機関リポジトリとオープンアクセスのインパクト:千葉大学の経験から(動き始めた機関リポジトリ)」,『専門図書館』, 228, 2008.03, p1-6.
- [2008/03/Ta] 穂市淳子(名古屋柳城短期大学図書館), 逸村裕「短期大学図書館における情報探索行動:目次を付与した OPAC のログ分析と検索実験をもとにして」,『名古屋大学附属図書館研究年報』, No.5, 2008.03, p57-68.
- [2008/03/Ue] 上田洋, 辰巳昭治, 金田千寿, 村上晴美, 平方善雄「大阪市立大学携帯 OPAC の独自開発とその評価」,『大学図書館研究』, No.82, 2008.03, p40-50.
- [2008/04/Jo] ジェイ・ジョーダン(Jordan, Jay)「2008 年 OCLC の戦略, 新サービス概観」,『薬学図書館』, 53(2), 2008.04, p122-129.

- [2008/04/Ka] 「NACSIS-CAT/ILL の「現状における問題点」とは？」、『カレントアウェアネス-E』, No.126, 2008.04, E772.
- [2008/04/To] 図書館退屈男「『猫の司書さん』に見るシステム開発の基本：大学図書館問題研究会関西4支部新春合同例会「『猫の司書さん』を創った！～高校生が語る図書館システム～」を聴講して」、『大学の図書館』, 413, 2008.04, p64-67.
- [2008/04/Ya] 矢ヶ部光「Project Shizuku: 大学生による図書館情報システムへの挑戦(図書館の若き力)」, 『大学の図書館』, 413, 2008.04, p59-61.
- [2008/05/Ha] 原田隆史「図書館システムについて一緒に考えてみませんか：Project NEXT-L への誘い(シリーズ・図書館システム管理の現場から；7)」, 『図書館雑誌』, 102(5), 2008.05, p308-309.
- [2008/05/Ha] 林賢紀「Firefox 検索バー用の OPAC 検索プラグインを自作する(特集：ソフトウェア活用のススメ)」, 『情報の科学と技術』, 58(5), 2008.05, p242-247.
- [2008/05/Ya] 山田稔「次の国際目録原則(International Cataloging Principles)の最終的な草案が公開された」, 『司書の目と耳』(愛知淑徳大学図書館), 2008.05.
* <http://www2.aasa.ac.jp/org/lib/j/issues_i/metomimi/metomimi2008html#20080502> [確認：2009年2月22日]
- [2008/06/Ha] 林賢紀「次世代の図書館システムと OPAC」, 『医学図書館』, 55(2), 2008.06, p121-126.
- [2008/06/Hi] 日高友江「情報の保存と資料の修復：山口大学所蔵戦前期東アジア関係資料の可能性：ILLでの利用と保存の問題を端緒として」, 『現代の図書館』, Vol.46, No.2, 2008.06, p97-101. * 内容：1) NACSIS-CAT への登録, 2) 反響と ILL への影響, 3) 資料の保存のために, 4) 今後の展望と資料の可能性。
- [2008/06/Ko] 国立情報学研究所学術コンテンツ課「『次世代目録所在情報サービスの在り方について(中間報告)』の公開」, 『NACSIS-CAT/ILL ニュースレター』, 24号, 2008.06.30.
- [2008/06/Ko] 国立情報学研究所学術コンテンツ課「平成20年度次世代学術コンテンツ基盤共同構築事業総合目録データベース遷及入力事業の実施について」, 『NACSIS-CAT/ILL ニュースレター』, 24号, 2008.06.30.
- [2008/06/Ko] 小西和信「<動向レビュー>日本の学術情報流通政策を考えるために(CA1667)」, 『カレントアウェアネス』, No.296, 2008.06, p17-22.
- [2008/06/Ta] 田辺浩介「海外で開発される図書館向けオープンソース・ソフトウェア：総合型図書館管理システム・OPAC 編(シリーズ・図書館システム管理の現場から；8)」, 『図書館雑誌』, 102(6), 2008.06, p398-399.
- [2008/07/Ko] 小池勇治, 西岡真吾, 森本武資, 丸山雄三, 高野明彦「分散連想計算サーバー群を統合する連想検索システム「想・IMAGINE」(アーキテクチャ)」, 『電子情報通信学会技術研究報告・NLC, 言語理解とコミュニケーション』(ISSN09135685), 108(141), 2008.07, p31-36.
- [2008/07/Ma] 松井純子, 河手太士「図書館目録の将来設計：主題検索機能の提供を中心に」, 『図書館界』, 60(2), 2008.07, p102-113.
- [2008/07/Su] 寸田五郎「宮崎大学附属図書館における OPAC と Junii+ のマッシュアップ(図書館システムと他システムとの連携)」, 『大学の図書館』, 416, 2008.07, p145-146.
- [2008/07/Ta] 高木貞治「熊本大学附属図書館における他システムとの連携事例：図書館システムと大学ポータル統合認証を中心に(図書館システムと他システムとの連携)」, 『大学の図書館』, 416, 2008.07, p142-145.
- [2008/07/Ta] 田辺浩介「日本で開発される図書館向けオープンソース・ソフトウェア：Project NEXT-L 編(シリーズ・図書館システム管理の現場から；9)」, 『図書館雑誌』, 102(5), 2008.07, p468-469.
- [2008/07/Wa] 渡邊隆弘「新しい目録規則に向けて<座標>」, 『図書館界』, 341, 2008.07, p53.
- [2008/08/Ha] 林賢紀「変貌する OPAC：「目録検索サービス」を超えて(シリーズ・図書館システム管理の現場から；10)」, 『図書館雑誌』, 102(8), 2008.08, p546-547.
- [2008/08/Ue] 上田志保「NDLの書誌作成：和図書(クローズアップ NDL; 第3回)」, 『図書館雑誌』, 102(8),

2008.08, p532.

- [2008/09/Ha] 橋武志「VBA プログラムと節約のすすめ：図書館システムのデータ処理について」、『中部図書館学会誌』, 49, 2008.09, p179-183.
- [2008/09/Ha] 橋詰秋子「書誌レコードの基本要件 (FRBR) と新しい国際目録原則覚書：目録の今後の方向性 (特集：これからの図書館目録に向けて)」、『現代の図書館』, 46(3) (通号 187), 2008.09, p159-165.
- [2008/09/Ho] 細川聖二, 平田義郎, 齊藤泰雄, 内藤裕美子「国立情報学研究所 次世代目録所在情報サービスの検討状況 (特集：目録の現状と未来)」、『情報の科学と技術』, 58(9), 2008.09, p442-447.
- [2008/09/Ho] 細川聖二, 平田義郎, 齊藤泰雄「NII アクションプランの成果と NACSIS-CAT/ILL の今後 (特集：これからの図書館目録に向けて)」、『現代の図書館』, 46(3) (通号 187), 2008.09, p172-178.
- [2008/09/Iz] 泉浩三ほか「西洋古版本の構造とその書誌作成 (2007 年度東海地区研究部会研究会分科会報告大会)」、『私立大学図書館協会会報』, 通号 130, 2008.09, p98-103.
- [2008/09/Na] 永田治樹「図書館の資源記述 (目録) の今後 (特集：目録の現状と未来)」、『情報の科学と技術』, 58(9), 2008.09, p424-429. * LC の『書誌コントロールの将来に関するワーキング・グループ報告書』を踏まえた資源記述 (目録) のあり方を検討。
- [2008/09/Na] 中井万知子「国立国会図書館の書誌データ作成・提供のこれから：2008 年からの新しい方針 (特集：これからの図書館目録に向けて)」、『現代の図書館』, 46(3) (通号 187), 2008.09, p179-183.
- [2008/09/Nu] 沼田晃佑ほか「和漢古書の情報を読む：複雑さと個性の世界 (2007 年度東海地区研究部会研究会分科会報告大会)」、『私立大学図書館協会会報』, 通号 130, 2008.09, p104-109.
- [2008/09/Ok] 岡嶋偉久子「総合目録における和漢古書書誌記述の考察：主として注記記述のあり方について (2007 年度西地区部会研究会)」、『私立大学図書館協会会報』, 通号 130, 2008.09, p213-222. * 現物情報の「転記」を提案。
- [2008/09/Ok] 奥山智靖「愛三岐に図書館あり；愛知編：1994-2000 年目録の記憶を辿る」、『中部図書館学会誌』, 49, 2008.09, p41-48.
- [2008/09/Oo] 大串純子, 高井君枝「東京都立図書館の整理業務について：日本語資料の場合 (特集：目録の現状と未来)」、『情報の科学と技術』, 58(9), 2008.09, p448-453.
- [2008/09/Oo] 大塩裕子「創価大学図書館における OPAC 高度化の取組み (特集：これからの図書館目録に向けて)」、『現代の図書館』, 46(3) (通号 187), 2008.09, p184-195.
- [2008/09/Sa] 酒見佳世「目録業務の進むべき方向とは？：トロント大学図書館研修報告 (特集：目録の現状と未来)」、『情報の科学と技術』, 58(9), 2008.09, p.
- [2008/09/Sa] 佐藤義則「デジタル環境下の書誌コントロール：これからの図書館目録に向けた動き (特集：これからの図書館目録に向けて)」、『現代の図書館』, 46(3) (通号 187), 2008.09, p151-158.
- [2008/09/Sa] 佐藤義則「NACSIS-CAT の過去・現在・将来 (講演)」, 2008.09, 63 コマ. * 「日本図書館研究会情報組織化研究グループ」(大阪市立浪速人権文化センター, 2008 年 9 月 20 日)における講演のプレゼン資料。
- [2008/09/Sh] 清水ゆかり「「相互貸借, 特に利用者からのオンライン申込に関するアンケート」集計報告 (2007 年度東海地区研究部会研究会分科会報告大会)」、『私立大学図書館協会会報』, 通号 130, 2008.09, p175-184.
- [2008/09/Su] 鈴木啓子「世界に向けての新しい目録規則 RDA 策定の動向：ある米国目録司書からの報告 (特集：これからの図書館目録に向けて)」、『現代の図書館』, 46(3) (通号 187), 2008.09, p166-171.
- [2008/09/Ta] 田辺浩介「Project NEXT-L プロトタイプで実現する「新しい目録」ERBR と「Web2.0」の実装 (特集：これからの図書館目録に向けて)」、『現代の図書館』, 46(3) (通号 187), 2008.09, p196-213.
- [2008/09/Wa] 渡邊隆弘「書誌コントロールの将来をめぐる論点：LC の WG 報告書とわが国の検討状況から (特集：目録の現状と未来)」、『情報の科学と技術』, 58(9), 2008.09, p.
- [2008/10/Ha] 原田隆史(慶応大学文学部)「第 1 章米国の図書館の概況, 4. 全国規模の協会・組織の概況, 4.3. OCLC の動向」、『図書館研究シリーズ』(国立国会図書館 ISSN:18804845), No. 40, 2008.10, p225-227.

* OCLC の「サーピス、データベースなどの統合」と「オープン化」への対応など最近の動向を紹介。

[2008/10/Ko] 小島浩之「図書館と OPAC (学術リソースレビュー : 学術サイト)」,『漢字文献情報処理研究』(好文出版), No. 9, 2008. 10, p162-165.

[2008/10/Ko] 国立情報学研究所学術コンテンツ課「NACSIS-CAT 所蔵レコード一億件突破」,『NACSIS-CAT/ILL ニュースレター』, 25 号, 2008. 10. 31.

[2008/10/Ko] 国立情報学研究所学術コンテンツ課「NII での目録品質管理(4)」,『NACSIS-CAT/ILL ニュースレター』, 25 号, 2008. 10. 31.

[2008/10/Ku] 黒沢俊典, 松田真美 (医学中央雑誌刊行会)「医中誌 Web から OPAC, リンクリソルバへのリンクの現況」,『情報プロフェッショナルシンポジウム予稿集』, Vol. 5th, 2008. 10, p115-119.

[2008/10/Ku] 工藤絵理子, 片岡真「次世代 OPAC の可能性 : その特徴と導入への課題」,『情報管理』, 51(7), 2008. 10, p480-498.

[2008/11/Ko] [国立国会図書館]収書書誌部「[1998-2008]この 10 年のトピックスと今後 : 開館 60 周年を記念して ; 6」,『国立国会図書館月報』, 572, 2008. 11, p24-30.

[2008/11/Na] 中道真一, 田辺浩介, 原田隆史「FRBR と集合知を利用した図書館システム仕様の策定」,『デジタル図書館』, No. 35, 2008. 11, p25-36.

[2008/12/Ku] 久保山健「次世代 OPAC を巡る動向 : その機能と日本での展開 (特集 : ファインダビリティ向上)」,『情報の科学と技術』, 58(12), 2008. 12, p602-609.

[2008/12/Ma] 前田朗「ローコストでできるファインダビリティ向上 (特集 : ファインダビリティ向上)」,『情報の科学と技術』, 58(12), 2008. 12, p615-620.

[2008/12/Na] 中嶋晋平「図書館による API の公開 : PORTA の事例から (CA1677)」,『カレントアウェアネス』, No. 298, 2008. 12, p10-12.

2009 年 (平成 21 年)

[2009/01/Ta] 竹内比呂也「学術情報政策と大学図書館 (『図書館界』60 巻記念企画 : 構造的転換期にある図書館の法制度と政策 ; 第 4 回)」,『図書館界』, 60(5) (通号 344), 2009. 01, p334-343.

以上